

吉川市

子ども・子育て支援に関するニーズ調査

【調査結果報告書】

2019（平成31）年3月

吉川市 こども福祉部 子育て支援課

【目次】

第1章 調査の概要.....	3
1. 調査の目的.....	3
2. 実施概要.....	3
3. 本報告書の見方.....	3
4. 居住区域の区分について.....	4
第2章 調査結果（就学前児童）.....	7
1. 地域と家庭の状況.....	7
2. 子どもの育ちをめぐる環境.....	10
① 子育て.....	10
② 子の見守り.....	12
③ 子育ての相談先.....	13
3. 就労状況.....	15
① 就労状況.....	15
② 就労の転換意向.....	21
4. 定期的なサービスの利用.....	27
① サービスの利用状況.....	27
② 今後のサービス利用意向.....	39
③ 無償化後の施設の利用.....	42
④ 地域子育て支援拠点事業の利用.....	43
⑤ 平日以外の定期的利用意向.....	48
5. 不定期的サービス利用.....	52
① 幼稚園利用者の長期休暇中のサービスの利用意向.....	52
② 緊急時の預かり.....	55
③ 不定期の事業の利用.....	63
④ 不定期での事業の利用意向.....	67
⑤ 宿泊が必要なサービスの利用意向.....	72
6. 小学校就学後の放課後の過ごし方.....	75
① 平日放課後の過ごし方の希望.....	75
7. 育児休業.....	89
8. 子育て施策.....	98
① 子育ての各分野への満足度.....	98
② 情報提供のあり方.....	100
第3章 調査結果（小学生児童）.....	103
1. 地域と家庭の状況.....	103
2. 子どもの育ちをめぐる環境.....	107
① 子育て.....	107
② 子育ての相談先.....	110
3. 就労状況.....	113
① 就労状況.....	113
② 就労の転換意向.....	119

4. 小学校高学年での放課後の過ごし方.....	125
①平日放課後の過ごし方の希望.....	125
5. 育児休業.....	134
6. 子育て施策.....	141
①子育ての各分野への満足度.....	141
②情報提供のあり方.....	143
調査票.....	147
1. 未就学児の保護者用 調査票.....	147
2. 小学生児童の保護者用 調査票.....	167

第1章 調査の概要

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

子ども・子育て支援法に基づき定める「吉川市子ども・子育て支援事業計画」においては、確保を図るべき教育・保育及び子ども・子育て支援事業の「量の見込み」を位置づけることになります。

「量の見込み」は、現在の利用状況、今後の利用希望等を踏まえて設定することが、国の「基本指針」に位置づけられていることから、本調査は、現在の利用状況及び今後の利用希望を把握するため実施しました。

2. 実施概要

区分	就学前児童調査 (就学前児童)	小学生児童調査 (小学生児童)
調査対象	0歳から就学前までの児童がいる子育て世帯	小学1年生から小学4年生までの児童がいる子育て世帯
標本数(票)	1,500	1,500
回収数(票)	782	770
回収率(%)	52.1	51.3
抽出方法	住民基本台帳による無作為抽出法	
調査方法	郵送配布、郵送回収	
調査期間	平成30年11月30日(金)～12月17日(月)	

3. 本報告書の見方

①調査結果の比率は、その設問の回答者を基数として、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。

そのため、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

②複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常100%を超えます。

③図表中の「n=」とは、回答者数を表します。

④選択肢の語句が長い場合、本文中や表・グラフでは省略した表現を用いることがあります。

⑤グラフ中の標記について、次の略称を使用しています。

SA：シングルアンサー（一つだけ選択回答）

MA：マルチアンサー（すべての選択回答）

4. 居住区域の区分について

本市では、平成 32 年 4 月の吉川中学校の開校に伴い、吉川中学校の通学区域の編成と、これに伴う南中学校の通学区域の見直しをした結果、下表の区分となる予定です。

本調査は地域の子育て支援ニーズをより適切に把握するため、吉川中学校開校を前提とした区分としています。

<今回調査の居住区域区分>

1. 東中学校区域	旭、上内川、下内川、拾壹軒、鍋小路、八子新田、南広島、川藤、会野谷、会野谷一丁目・二丁目、飯島、加藤、上笹塚、上笹塚一丁目から三丁目、小松川、皿沼、皿沼一丁目・二丁目、鹿見塚、関新田、関新田一丁目・二丁目、土場、中井、中井一丁目から三丁目、中島、中島一丁目から三丁目、半割、平方新田、深井新田、二ツ沼、二ツ沼一丁目・二丁目、三輪野江、三輪野江一丁目・二丁目、吉屋、吉屋一丁目・二丁目、きよみ野一丁目、きよみ野四丁目・きよみ野五丁目
2. 南中学校区域	中川台、平沼 1 番地から 50 番地まで、53 番地から 195 番地まで、214 番地から 316 番地まで、平沼一丁目、保、保一丁目、木売新田、富新田、中野、木売、高富、高久、中曽根、道庭、木売一丁目から三丁目まで、高富一丁目、高富二丁目、美南一丁目
3. 中央中学校区域	吉川 1400 番地から 2076 番地、吉川一丁目・二丁目、須賀、川野、川富、関、吉川団地、きよみ野二丁目・三丁目、栄町、新栄一丁目・二丁目、平沼（南中学校区を除く）、中央土地区画整理地内
4. 吉川中学校区域	高久一丁目、高久二丁目、中曽根一丁目、中曽根二丁目、道庭一丁目、道庭二丁目、美南二丁目、美南三丁目、美南四丁目、美南五丁目

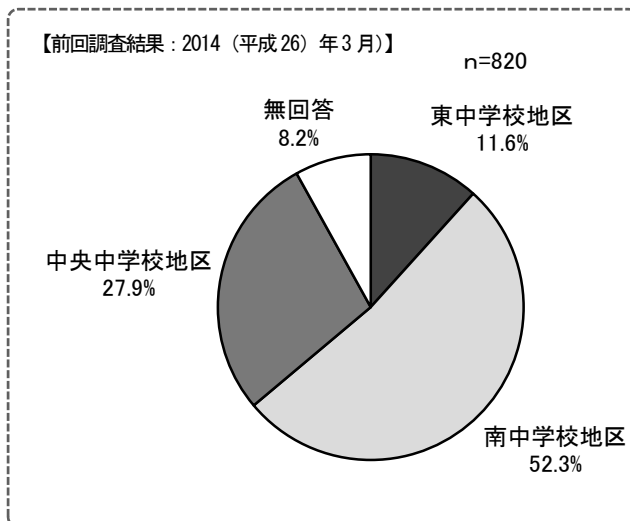
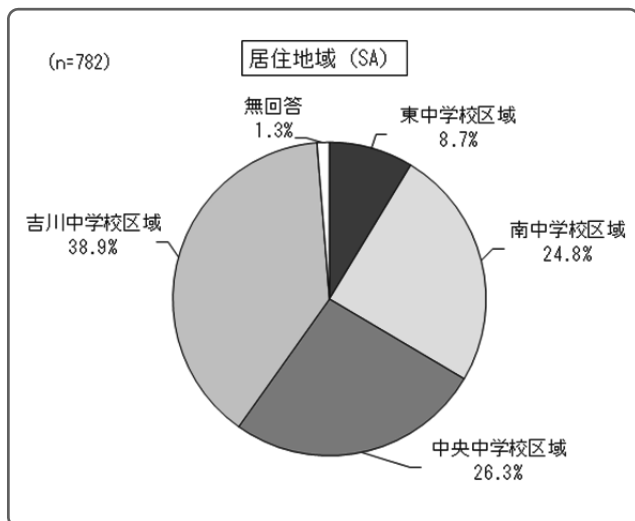
第2章 調査結果（就学前児童）

第2章 調査結果（就学前児童）

1. 地域と家庭の状況

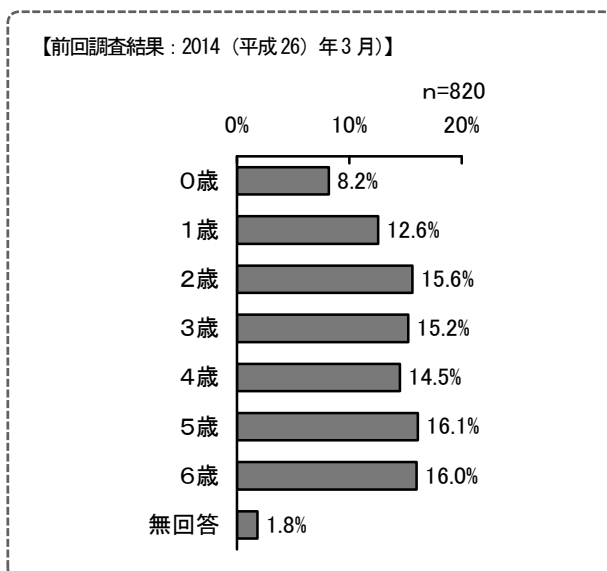
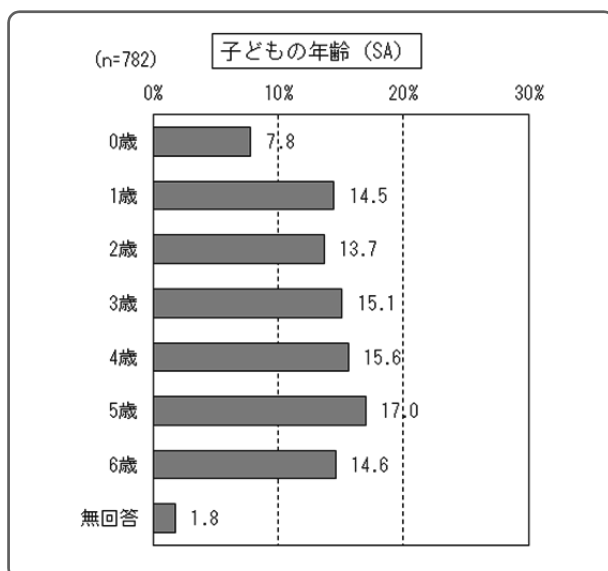
問1 お住まいの地域として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

平成32年4月の吉川中学校の開校に伴い設定した、吉川中学校区域の居住者割合が38.9%と最も高い回答割合となっています。



問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。（口内に数字でご記入ください。）

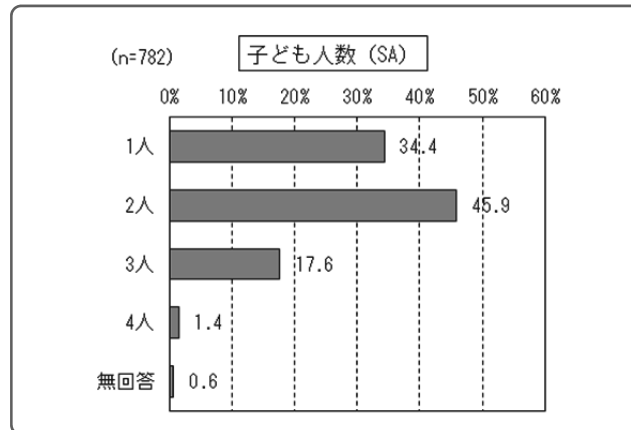
回答者の子どもの年齢構成は、以下のとおりでした。



※本調査では記入された生年月について、各年度（該当年4月～翌年3月）をひとつの年齢としています。（例：平成28年4月～平成29年3月は1歳）

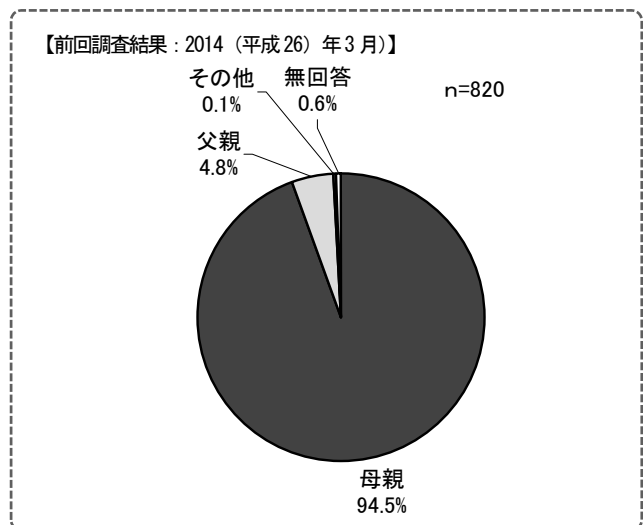
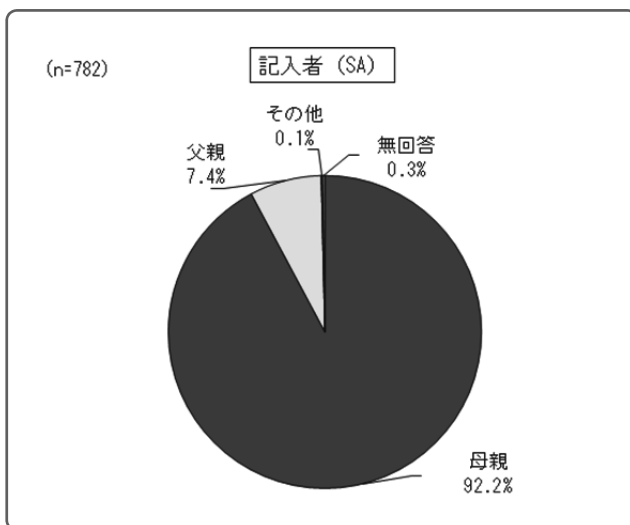
問2-1 宛名のお子さんを含めたお子さんの人数をご記入ください。また、一番下のお子さんの年齢（平成30年4月1日現在）をご記入ください。（口内に数字でご記入ください。）

回答者の子どもの人数は、2人が45.9%と最も高く、次いで1人が34.4%となっており、合わせて80.3%となっています。



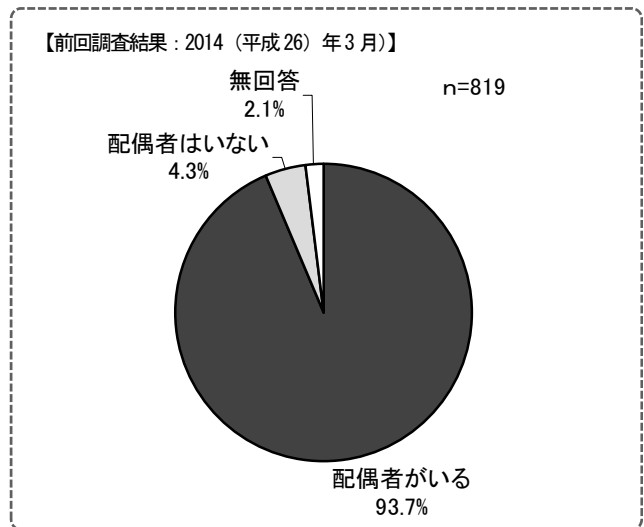
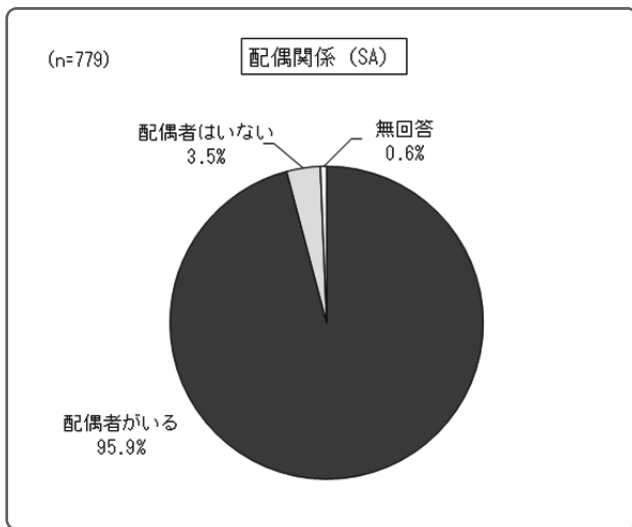
問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

回答者は「母親」が92.2%と、回答者のほとんどが母親となっています。



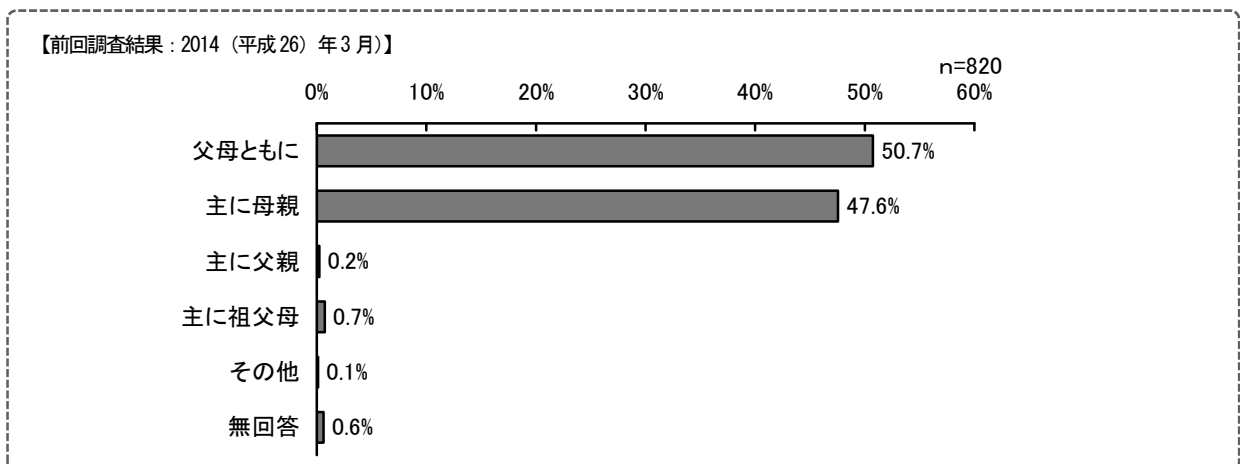
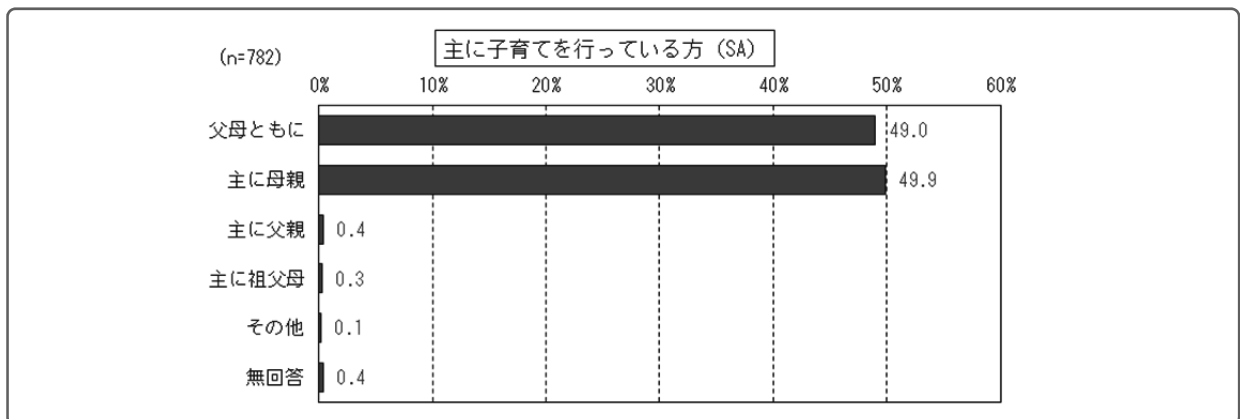
問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。(問3で「3. その他」と回答した方は回答不要です)

回答者の95.2%が「配偶者がいる」と回答し、「配偶者はいない」への回答は3.5%となっています。



問5 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

子育てを主に行っているのは「主に母親」が49.9%で最も高く、次いで「父母ともに」が49.0%となっています。

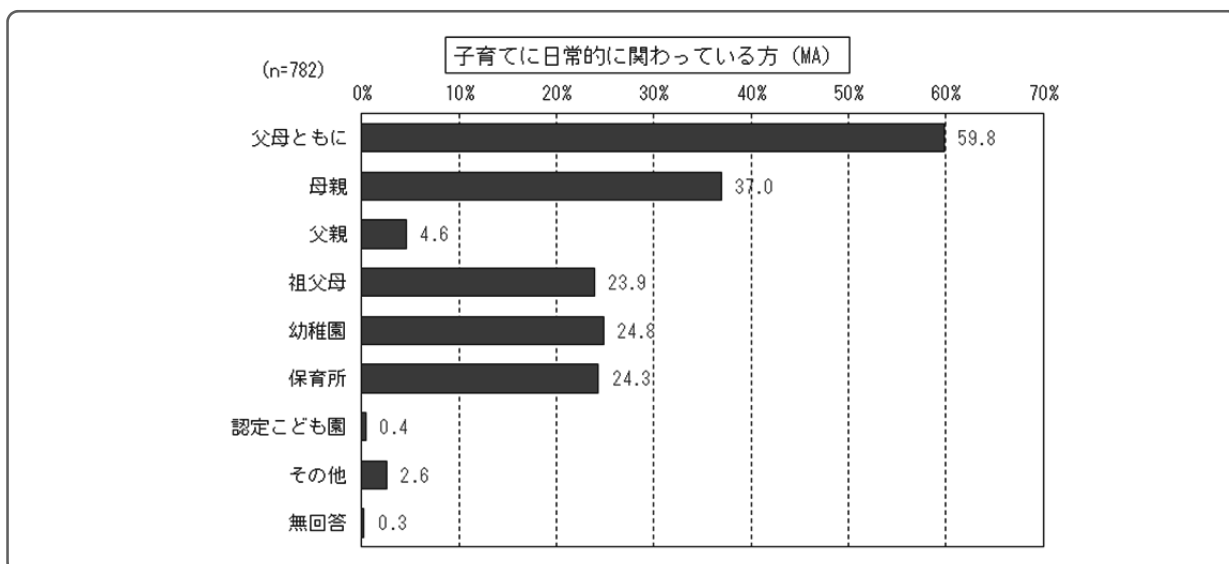


2. 子どもの育ちをめぐる環境

① 子育て

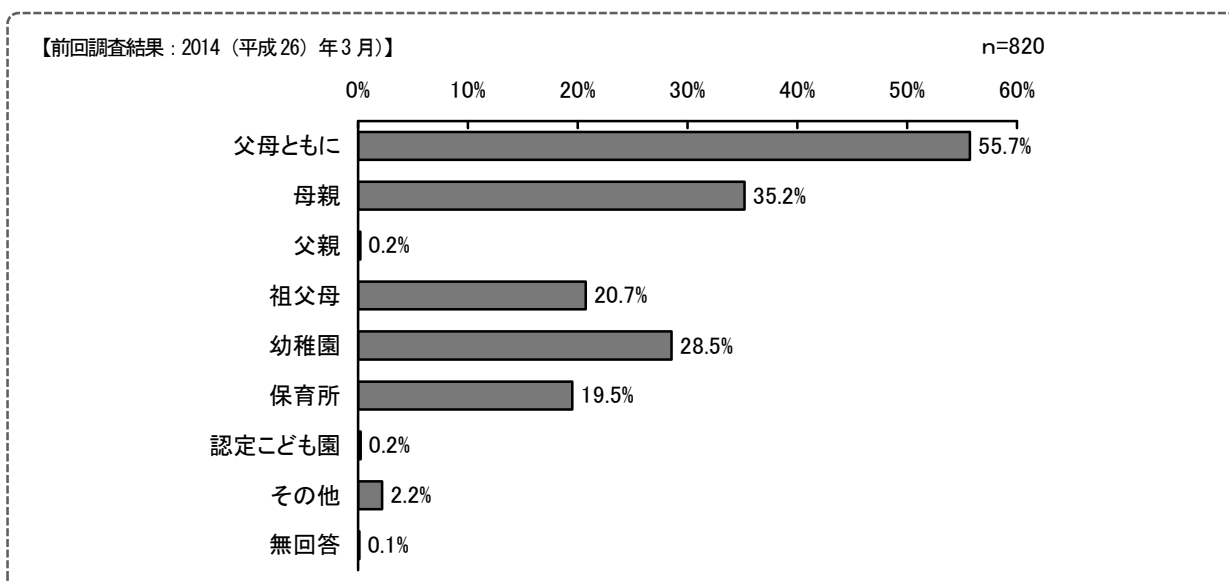
問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子育てに日常的に関わってる人については、「父母ともに」が59.8%で最も高く、次いで「母親」が37.0%、「幼稚園」が24.8%、「保育所」が24.3%と続いています。



今回の調査結果を前回調査（2014年（平成26年）3月実施）と比較すると、「父母ともに」及び「保育所」の回答割合が高くなっている一方、「幼稚園」及び「祖父母」の回答割合が低くなっています。

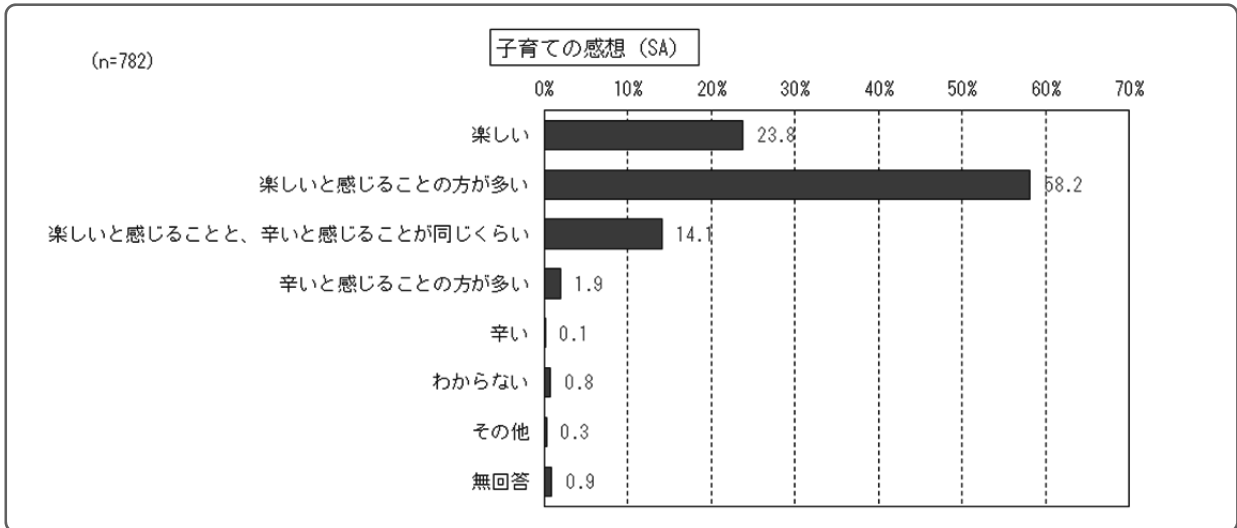
なお、「認定こども園」の回答割合は僅かですが高くなっています。



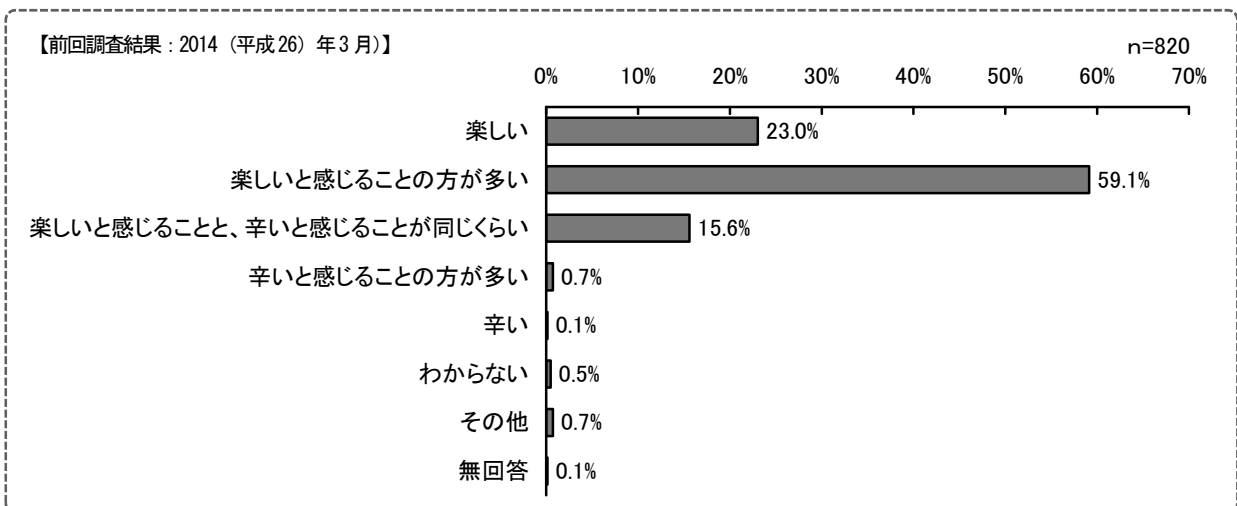
問7 宛名のお子さんの子育てに関して、もっとも近いと感じている番号1つに○をつけてください。

子育てをどう感じるかについては、「楽しいと感じるほうが多い」への回答が58.2%と最も高く、6割に近くになっています。

また、「楽しい」は23.8%となっており、「楽しいと感じることの方が多い」を合わせた『楽しいと感じている』層は、82.0%で8割を超える結果となっています。



今回の調査結果を前回調査結果と比較すると、『楽しいと感じている』層は、今回が82.0%、前回は82.1%とほぼ同じ結果となっています。

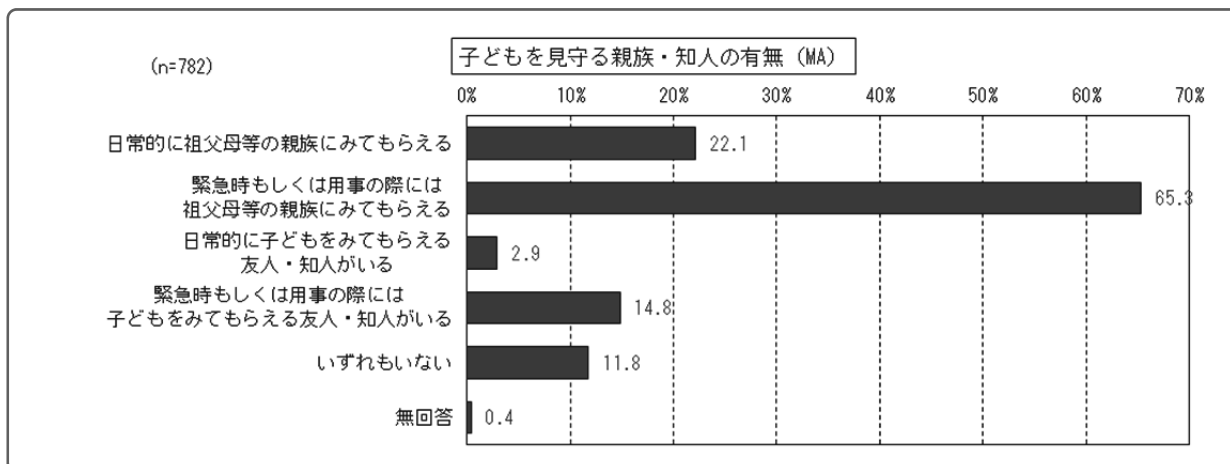


② 子の見守り

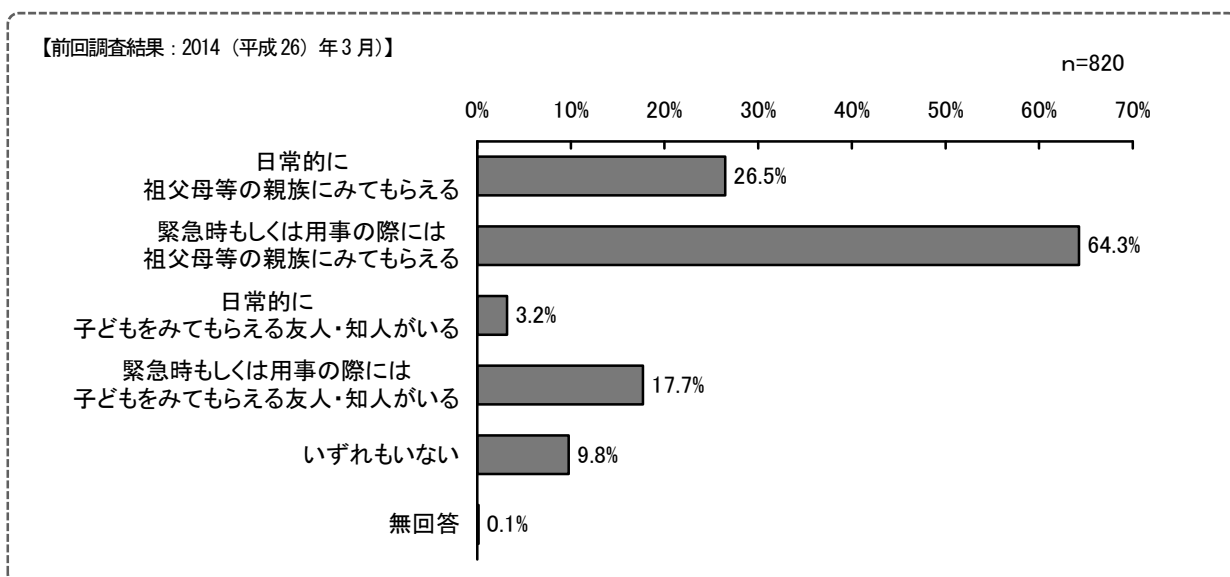
問8 日頃、宛名のお子さんを見てもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

日頃子どもを見てもらえるか、については「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が65.3%で最も高くなっています。

一方、「いずれもない」との回答は11.8%となっています。



今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、「日常的に祖父母等の親族に見てもらえる」の回答割合が低くなっているとともに、「緊急時もしくは用事の際には子どもを見てもらえる友人・知人がいる」の回答割合も低くなっています。

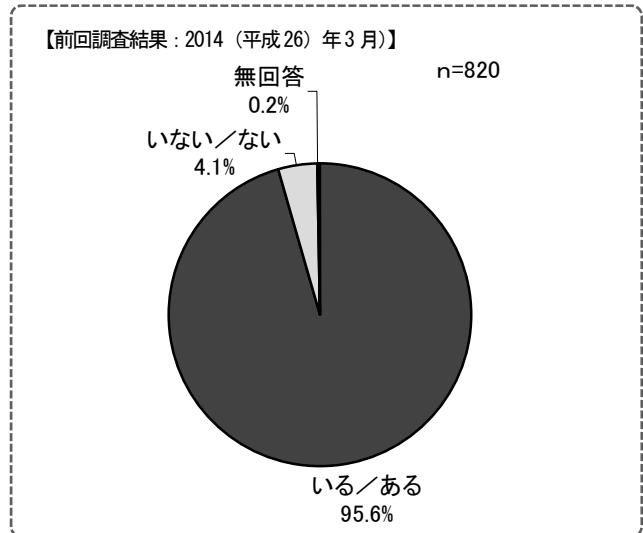
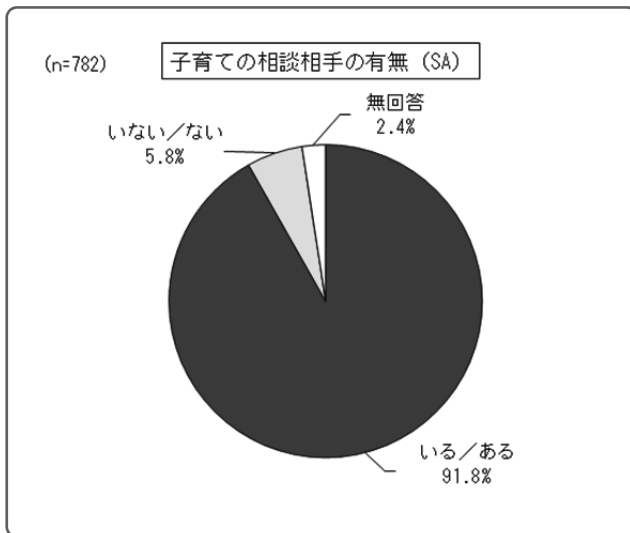


③ 子育ての相談先

問9 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

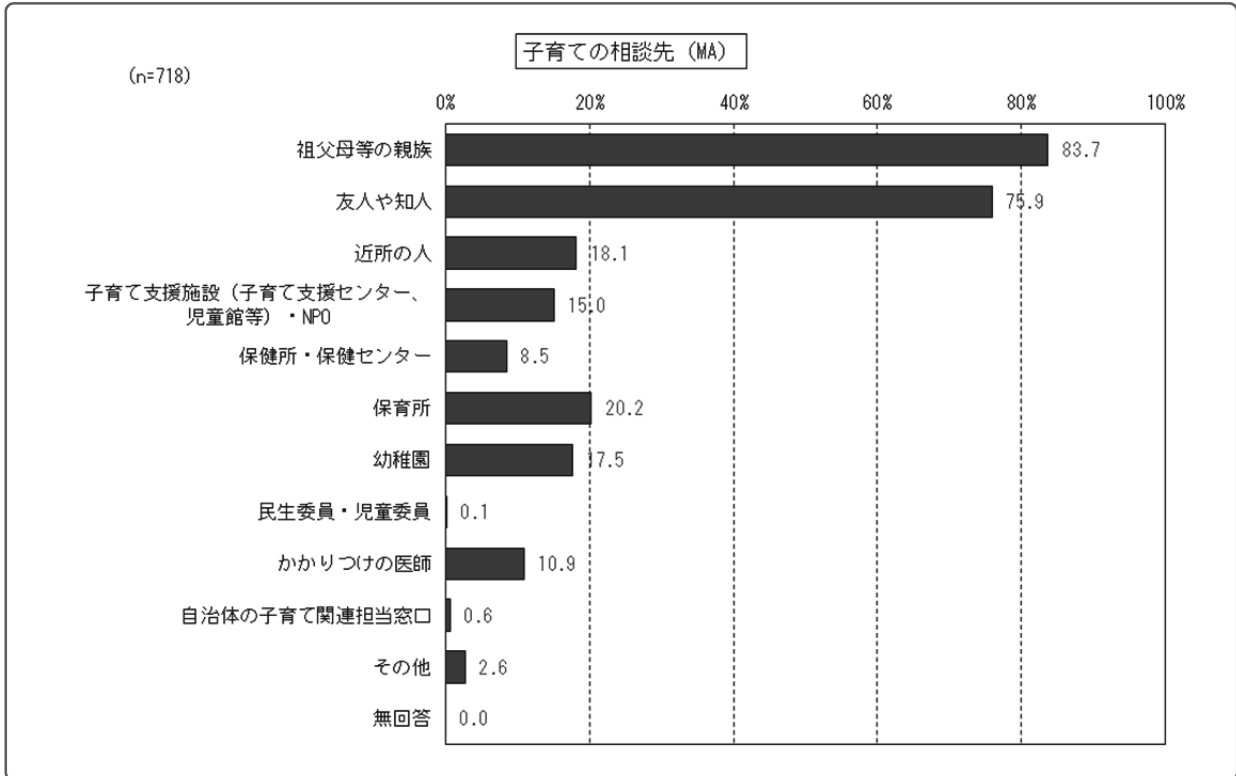
気軽に相談できる人、については「いる／ある」が91.8%と9割を超える結果となっています。

しかし、今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、「いる／ある」への回答割合は低くっており、「いない／ない」の回答割合は高くなっています。

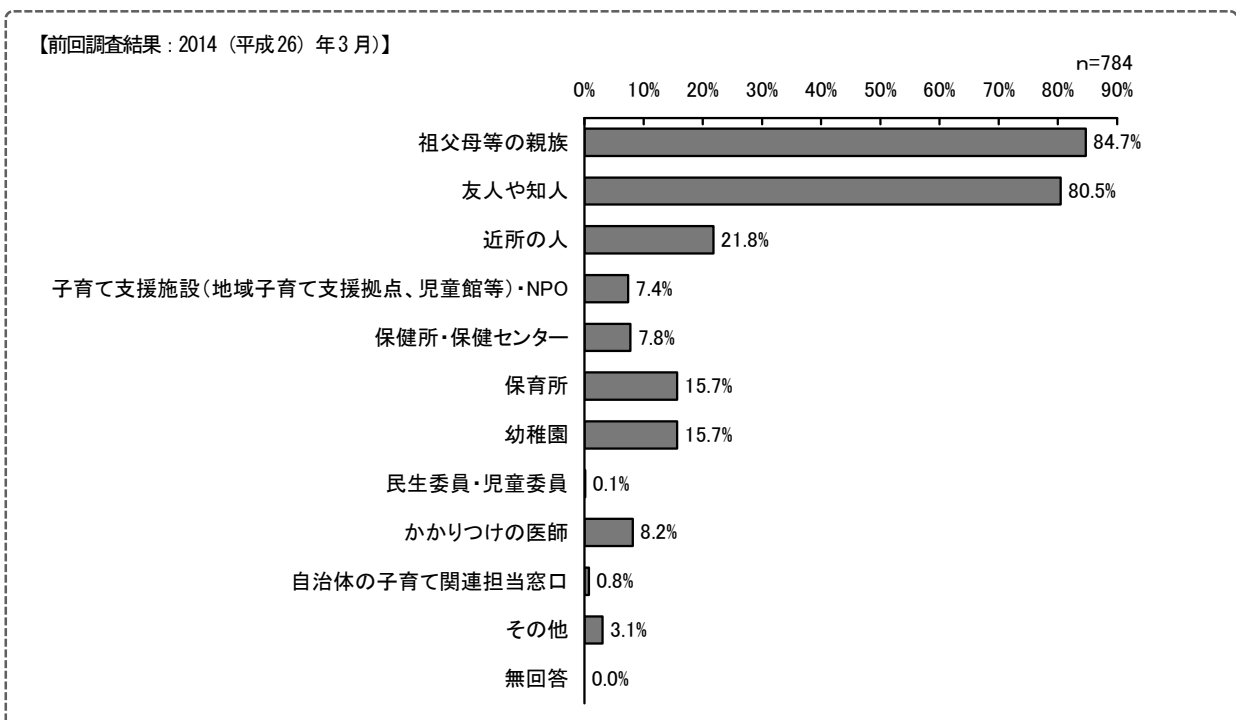


問9-1 問9で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

気軽に相談できる人・場所が「いる／ある」と回答した人に、その相談先についてたずねたところ、「祖父母等の親族」が83.7%で最も高く、次いで「友人や知人」が75.9%と、この2項目が特に高くなっています。次いで、「保育所」が20.2%、「近所の人」が18.1%、「幼稚園」が17.5%と続いています。



今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、「近所の人」が低下している一方で、「子育て支援施設（子育て支援センター）、児童館等」・NPO」及び「保育所」は回答割合が増加しています。



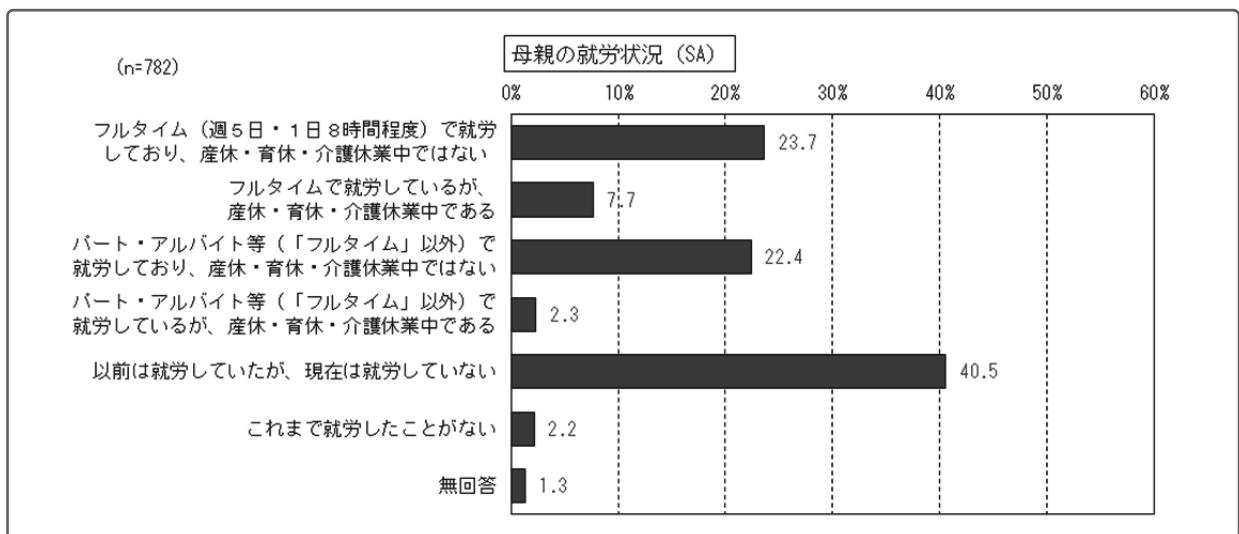
3. 就労状況

① 就労状況

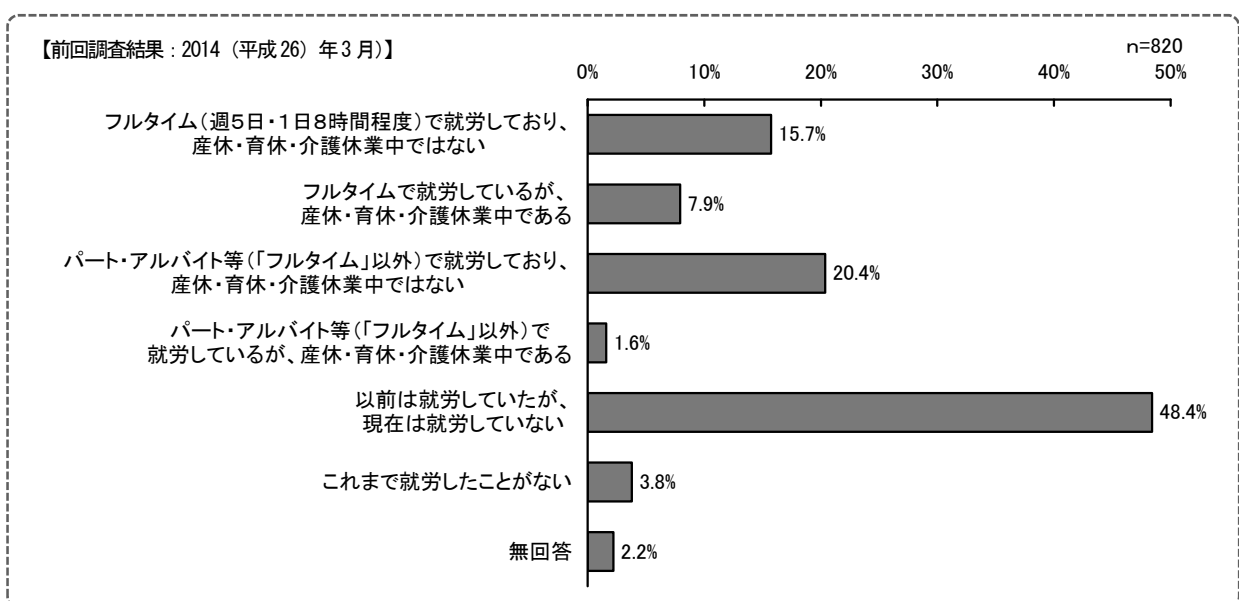
問10 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親 【父子家庭の場合は、記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親の就労状況は、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が40.5%と最も高くなっています。次いで、「フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が23.7%、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が22.4%と続いており、産休等ではない『働いている』層は全体の46.1%となっています。

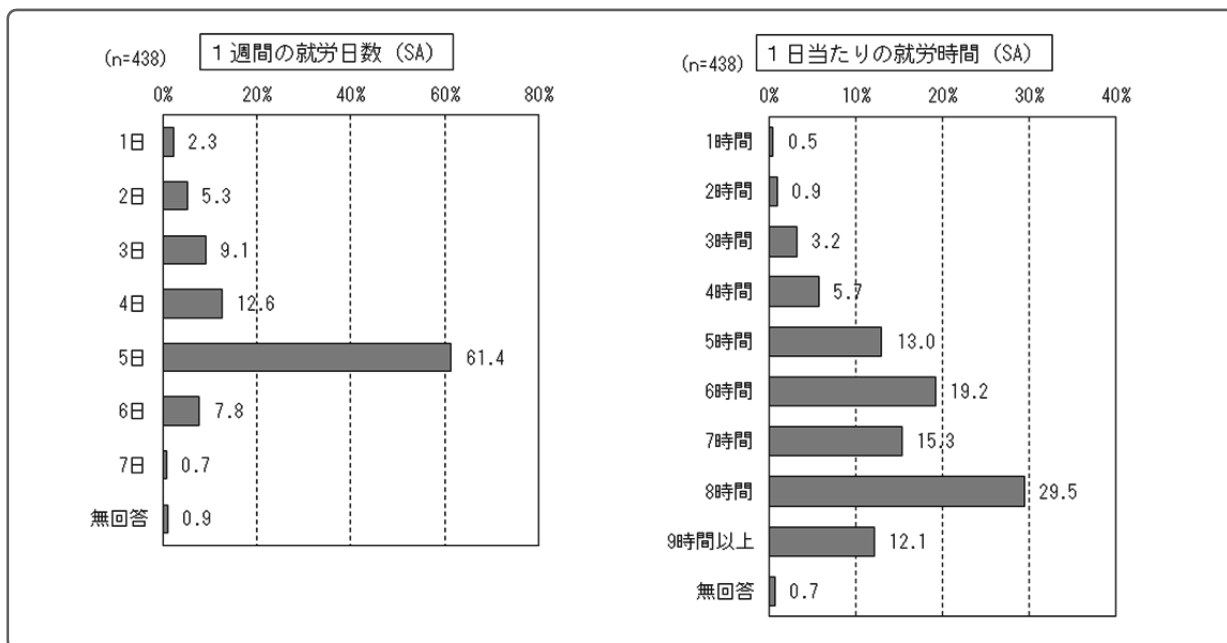


今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が減少し、一方で、「フルタイム」と「パート・アルバイト等」を合わせた産休等ではない『働いている』層は増加しています。

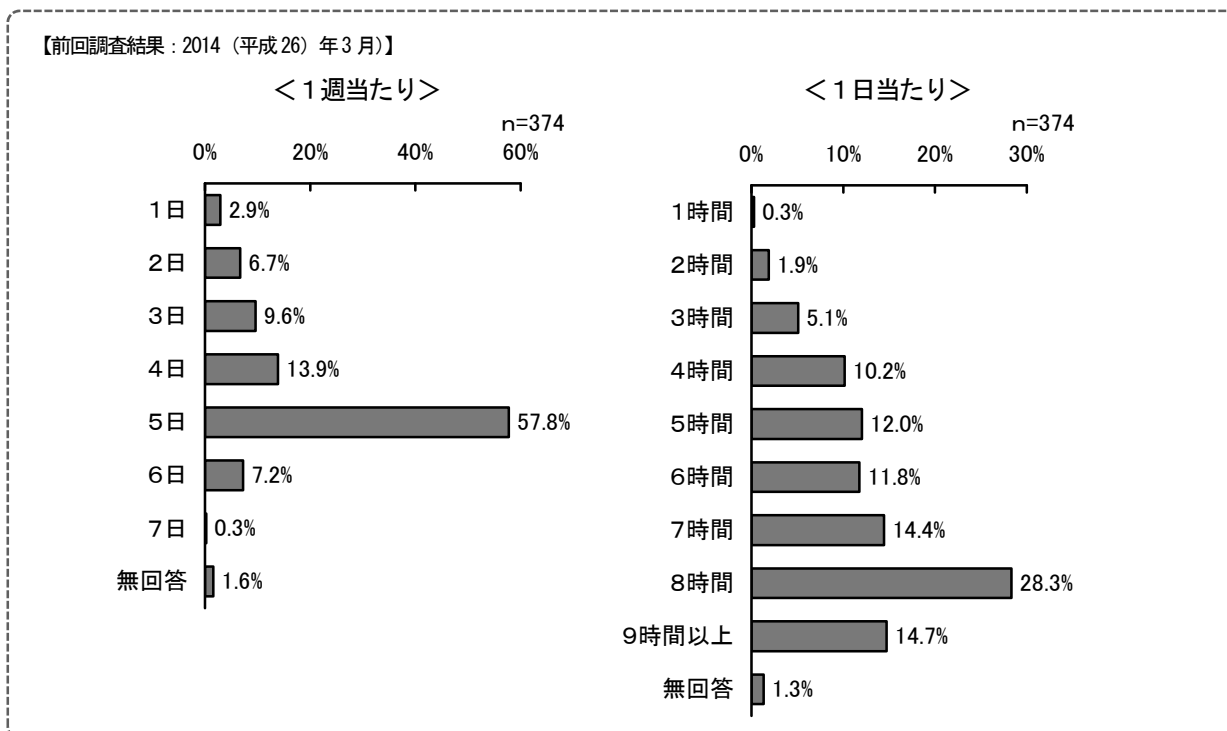


(1) -1 (1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(口内に数字でご記入ください。)

就労している母親の就労状況については、1週当たりの就労日数では「5日」との回答が61.4%で最も高く、1日当たりの就労時間では「8時間」が29.5%で最も高くなっています。

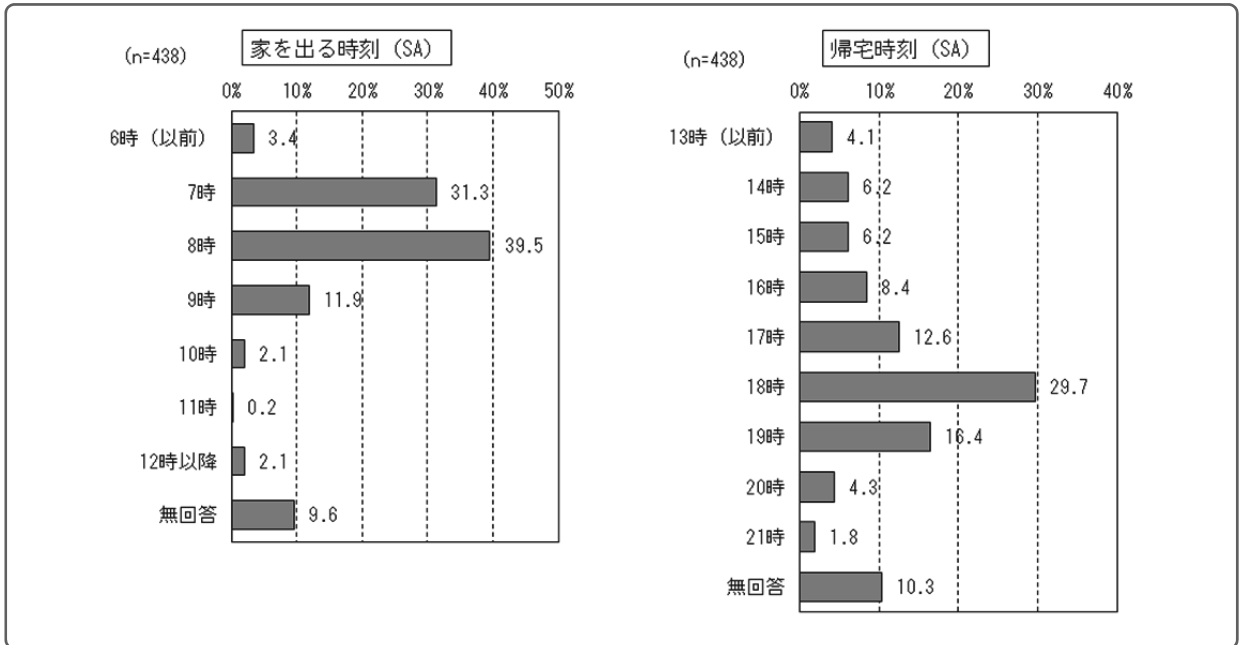


今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、就労日数は全体的に増加し、就労時間も「5時間」から「8時間」で増加しています。

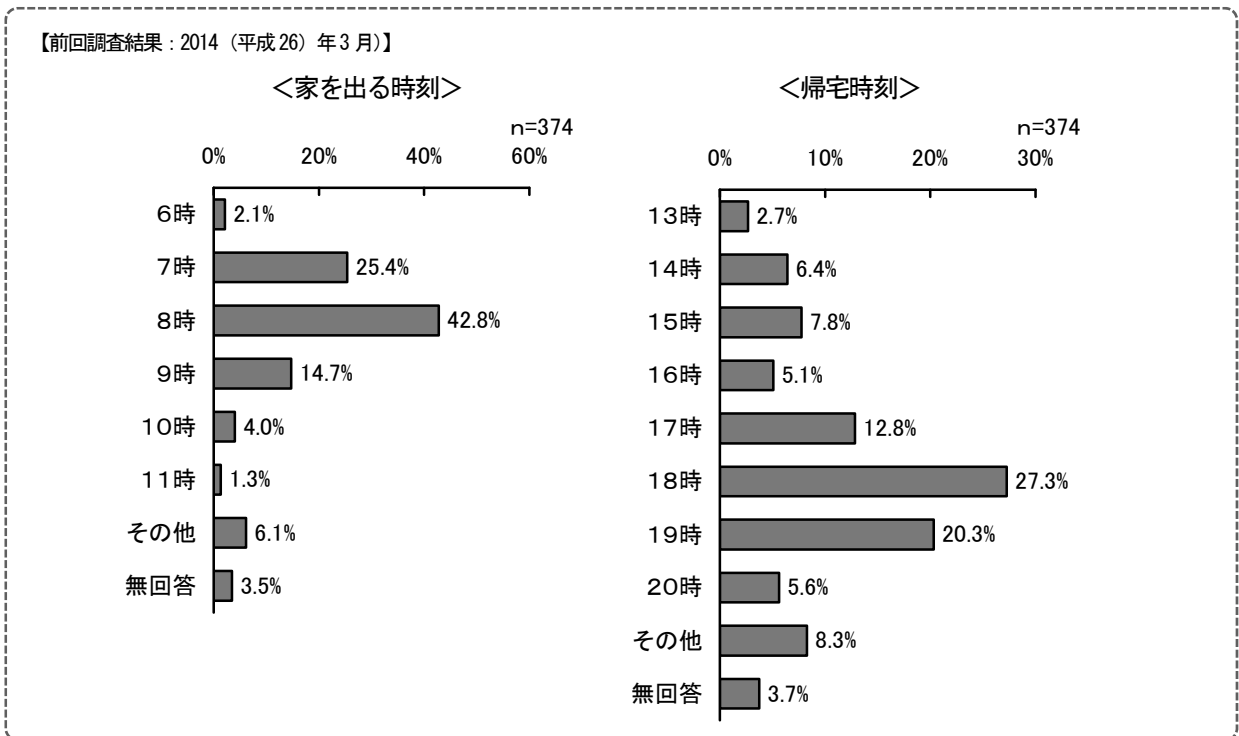


(1) -2 (1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時刻は、必ず(例)8時、18時のように、24時間制でお答えください。(口内に数字でご記入ください。)

就労している母親が家を出る時刻は、「8時」台が39.5%、帰宅時刻は「18時」台が29.7%で最も高くなっています。

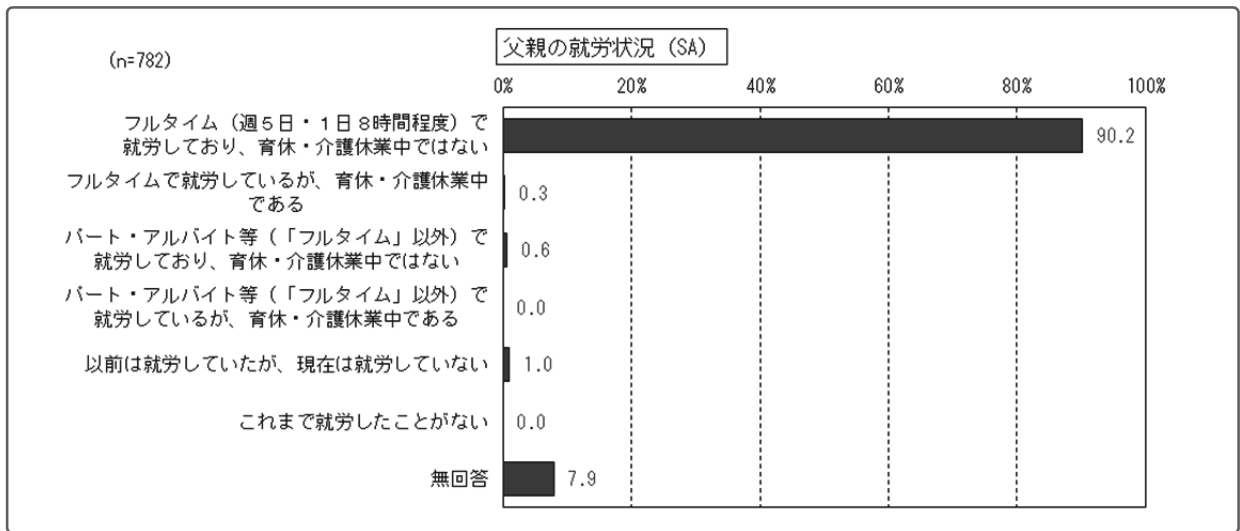


今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、家を出る時刻は「7時」台が増加し、帰宅時刻は「18時」台が増加しています。

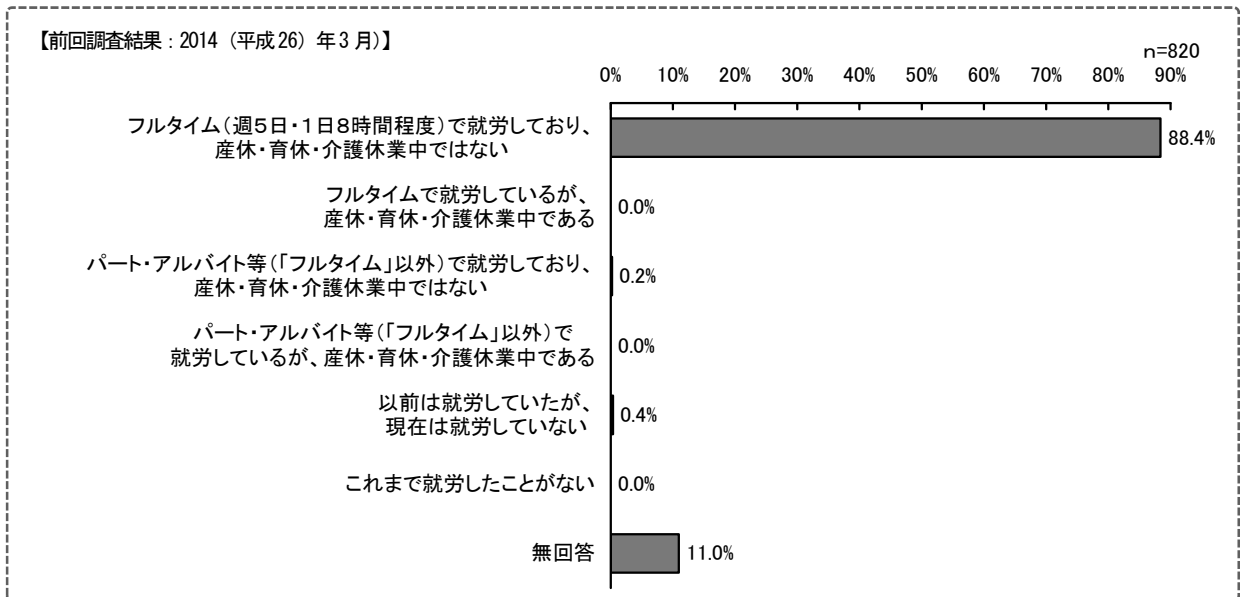


(2) 父親 【母子家庭の場合は、記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

父親の就労状況は、「フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労しており、育休・介護休業中ではない」が90.2%です。

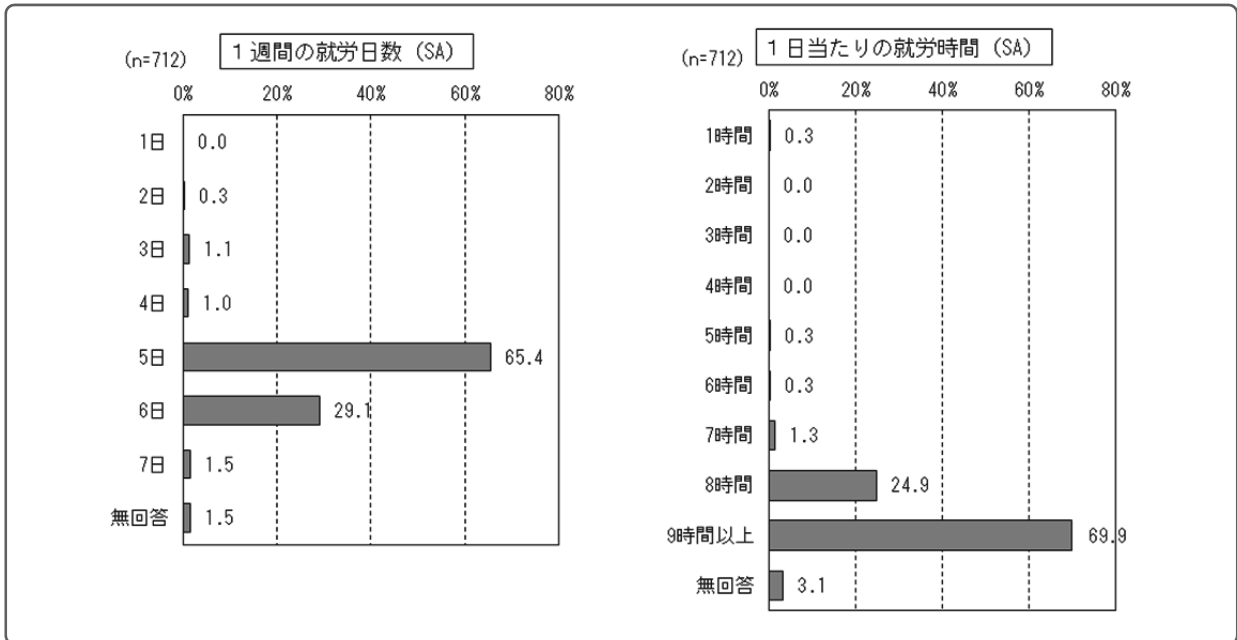


今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、大きな違いは出ていません。

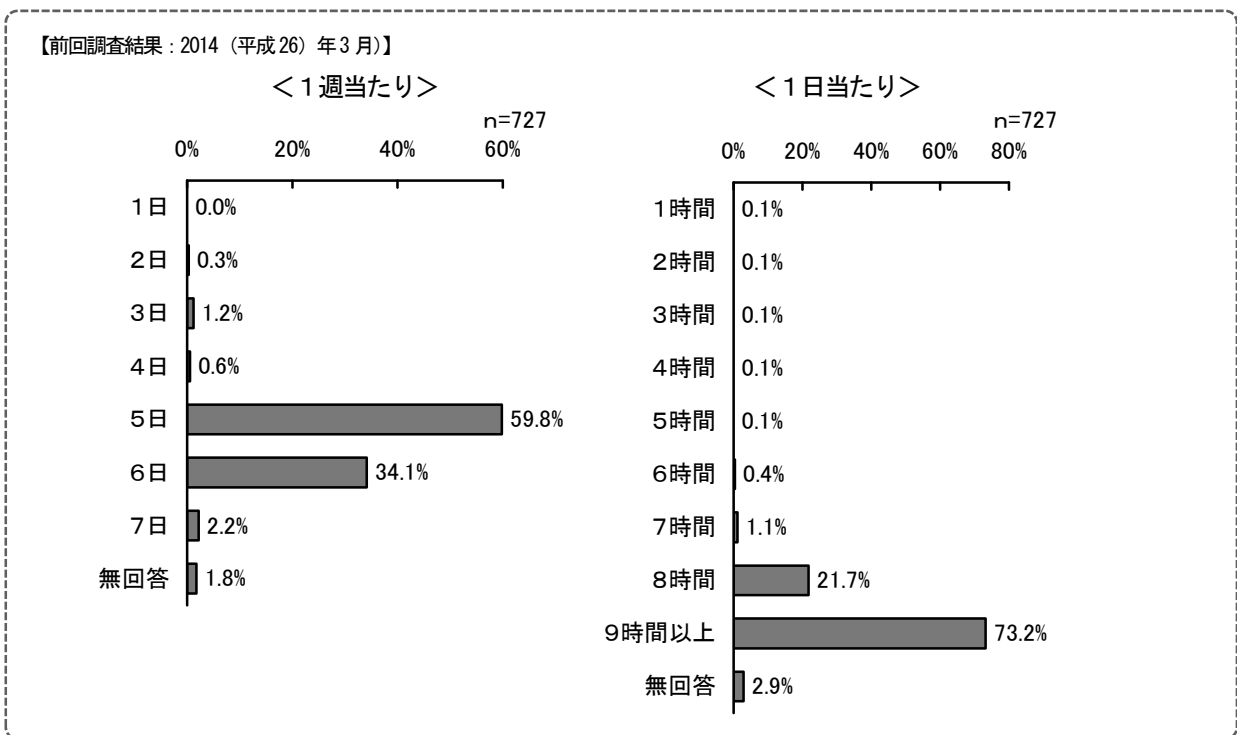


(2) -1 (2) で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(口内に数字でご記入ください。)

就労している父親の就労状況は、1週当たりの就労日数では「5日」との回答が65.4%で最も高く、1日当たりの就労時間では「9時間以上」が69.9%で最も高くなっています。

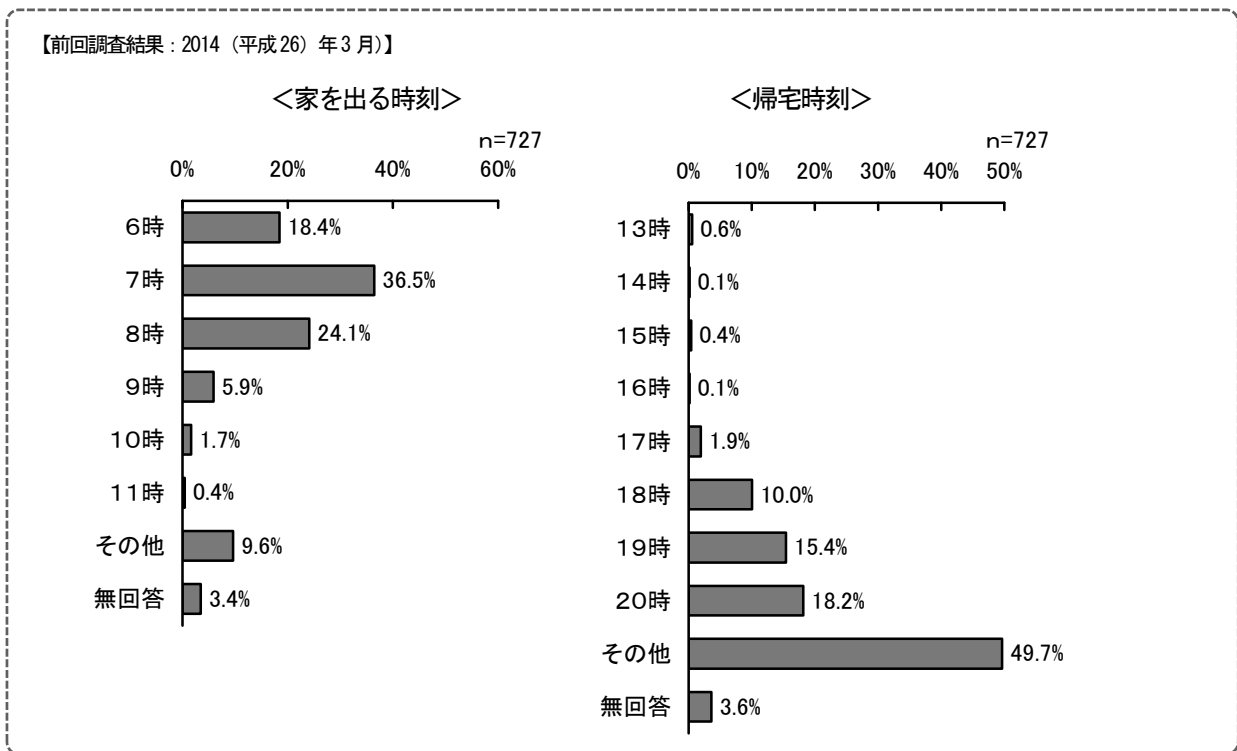
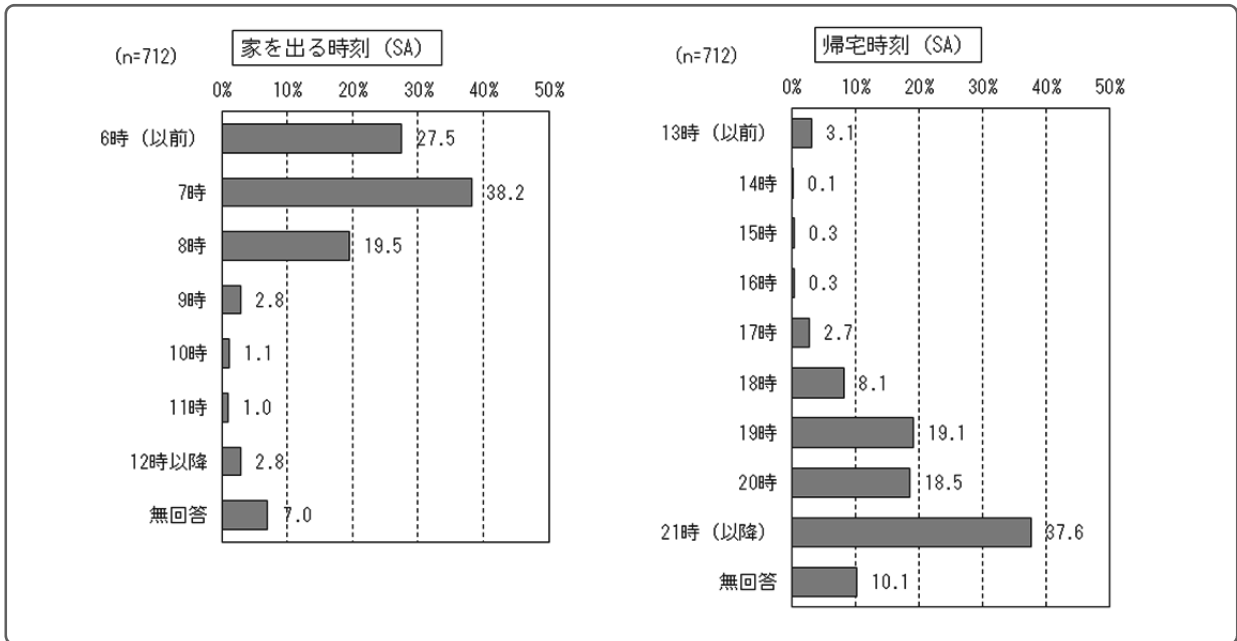


今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、就労日数は「5日」が増加し、就労時間は「9時間以上」で多少減少する結果となっています。



(2) -2 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時刻は、必ず(例)8時、18時のように、24時間制でお答えください。(口内に数字でご記入ください。)

就労している父親が家を出る時刻は、「7時」台が38.2%、帰宅時刻は「21時」台が37.6%で最も高くなっています。

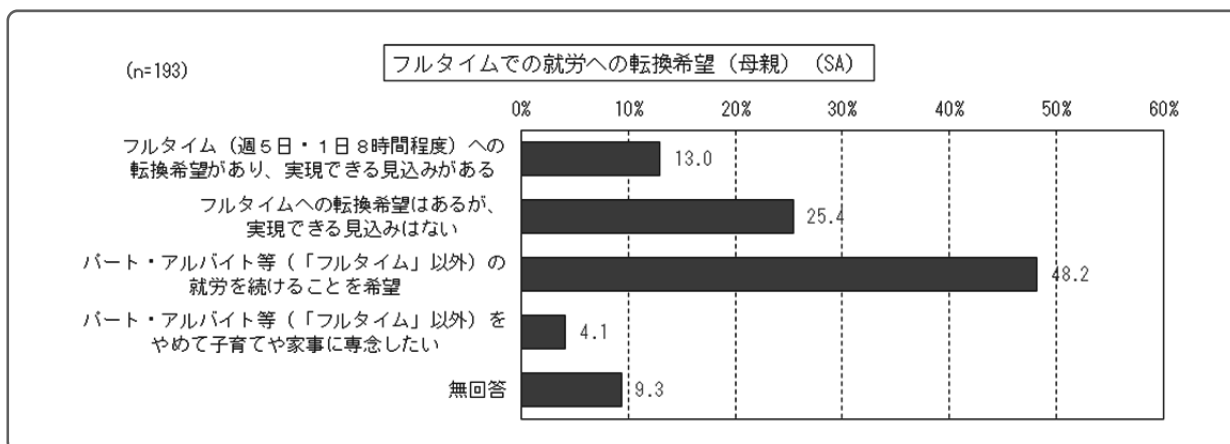


② 就労の転換意向

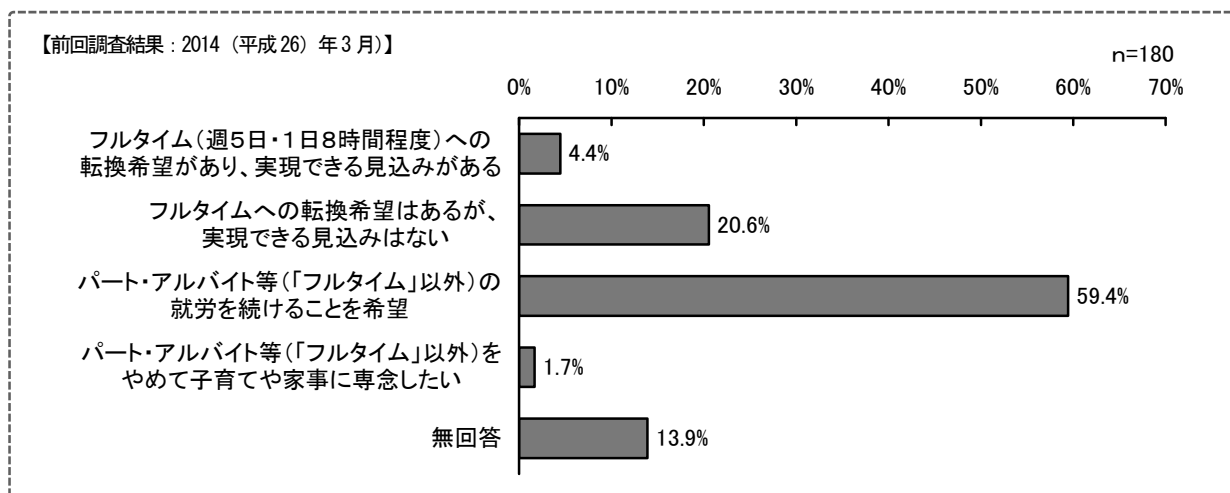
問11 問10の「(1) 母親」または「(2) 父親」で、「3.」または「4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。
フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

パート、アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」との回答が48.2%で最も高くなっています。



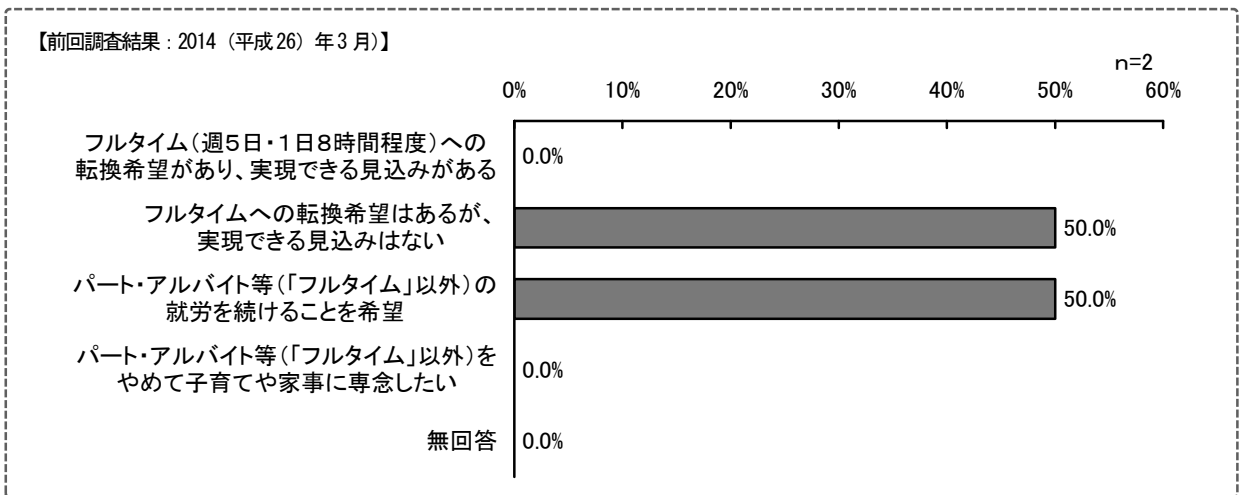
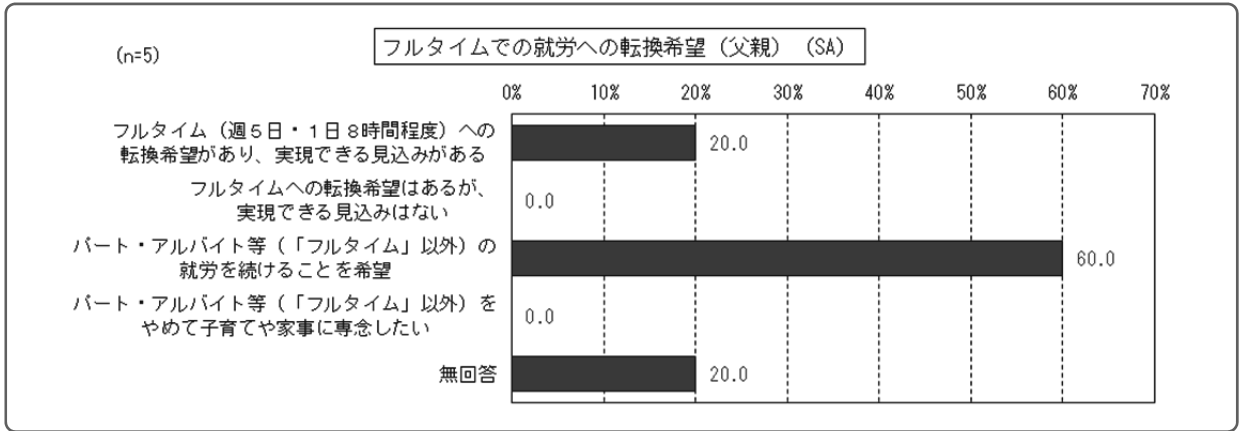
今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」が低下し、「フルタイム(週5日・1日8時間程度)への転換希望があり、実現できる見込みがある」と「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が増加しています。



(2) 父親

パート、アルバイト等で就労していると回答した父親は全体の5名にとどまっております、そのフルタイムへの転換希望は、下記のような結果となっています。

※なお、本回答結果は回答者数が少ないため、参考数値としてみる必要があります。

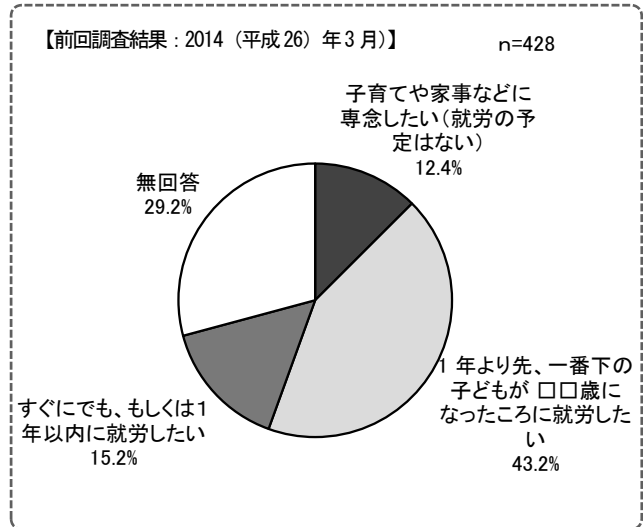
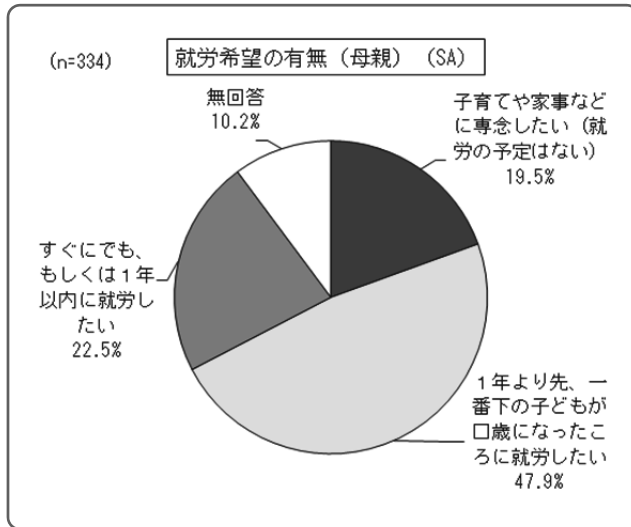


問12 問10の「(1) 母親」または「(2) 父親」で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。
 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。

(1) 母親

現在、休業等以外で就労していない母親の就労意向については、「1年より先、一番下の子どもが□歳になったころに就労したい」との回答が47.9%で最も高くなっています。

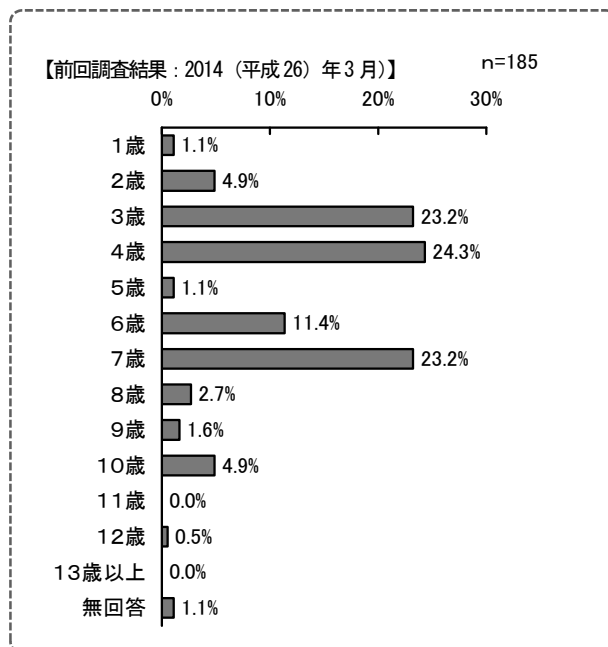
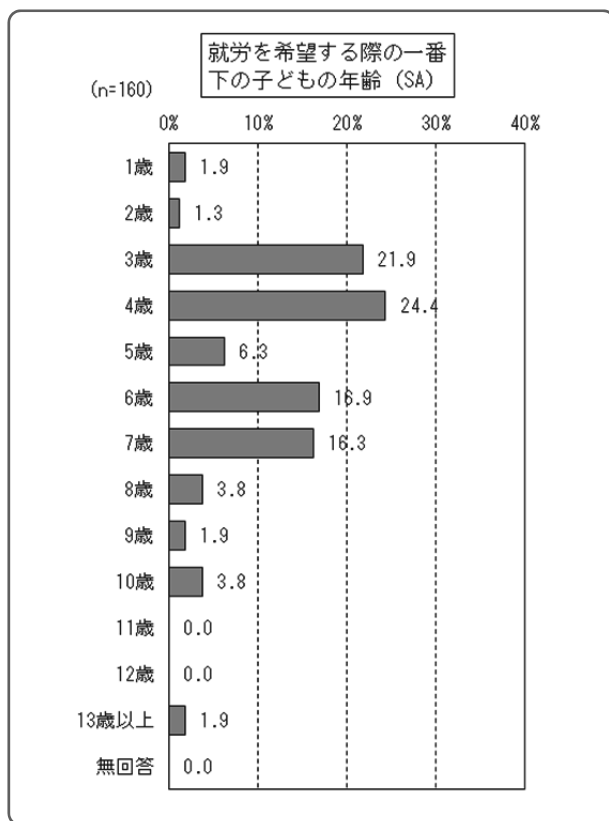
今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が増加している一方で、「1年より先、一番下の子どもが□歳になったころに就労したい」及び「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が増加する結果となっています。



■ 『1年より先、一番下の子どもが□歳になったところに就労したい』の年齢

『1年より先、一番下の子どもが□歳になったところに就労したい』と回答した人にその年齢を記入していたところ、「4歳」の24.4%が最も高く、次いで、「3歳」が21.9%、「6歳」が16.9%、「7歳」が16.3%と続いています。

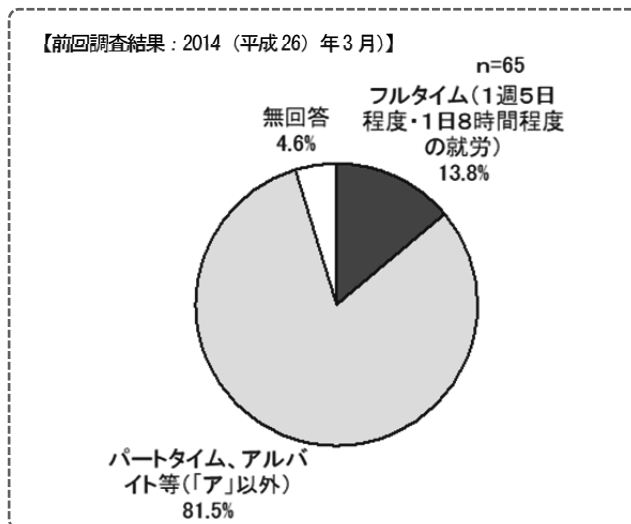
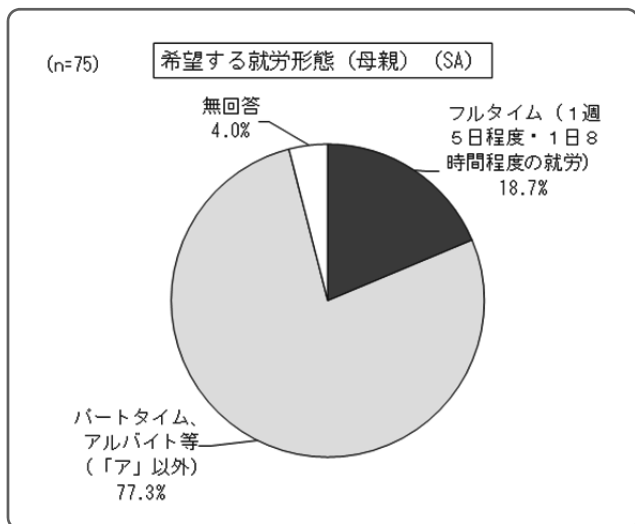
今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、「2歳」の回答割合が低下し、「5歳」及び「6歳」の回答割合が増加する結果となっています。



■ 希望する就労形態

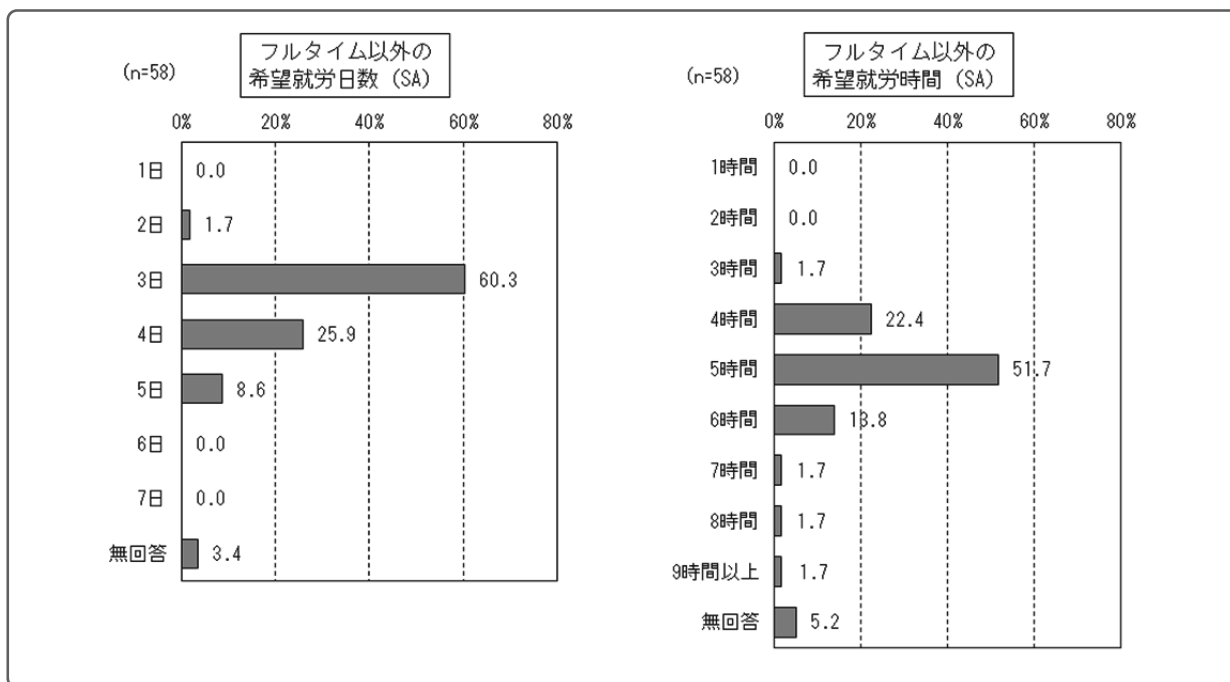
『すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい』と回答した人に就労形態をたずねたところ、「パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）」が77.3%で最も高くなっています。

今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が増加し、「パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）」が低下する結果となっています。

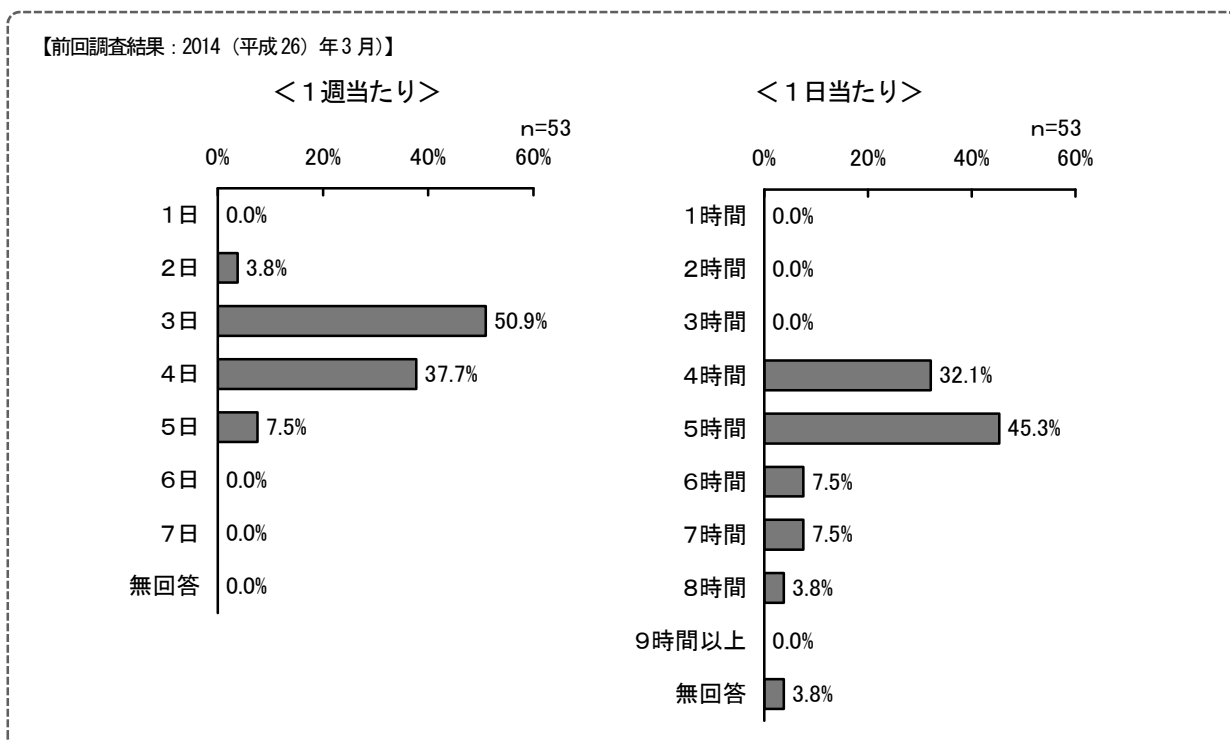


■ フルタイム以外の働き方

希望する就労形態で「パートタイム、アルバイト等」を選んだ方に働き方をお聞きしたところ、1週当たりの希望就労日数では「3日」が60.3%、希望就労時間では「5時間」が51.7%で最も高い結果となっています。



今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、1週当たりの希望就労日数では「3日」が増加し、希望就労時間では「5時間」が増加する結果となっています。



(2) 父親

現在、休業等以外で就労していない父親の就労意向については、回答者数8名の回答結果は以下のとおりとなっています。

※なお、本回答結果は回答者数が少ないため、参考数値としてみる必要があります。

就労希望の有無 (n=8)	割合 (%)
子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)	12.5
1年より先、一番下の子どもが□歳になったところに就労したい	25.0
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	25.0
無回答	37.5
全体	100.0

【前回調査結果：2014（平成26）年3月】

n=3	割合 (%)
子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)	0.0
1年より先、一番下の子どもが□歳になったところに就労したい	0.0
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	0.0
無回答	100.0
全体	100.0

また、休業等以外で就労していない父親の就労意向については、回答者数2名の回答結果は以下のとおりとなっています。

※なお、本回答結果は回答者数が少ないため、参考数値としてみる必要があります。

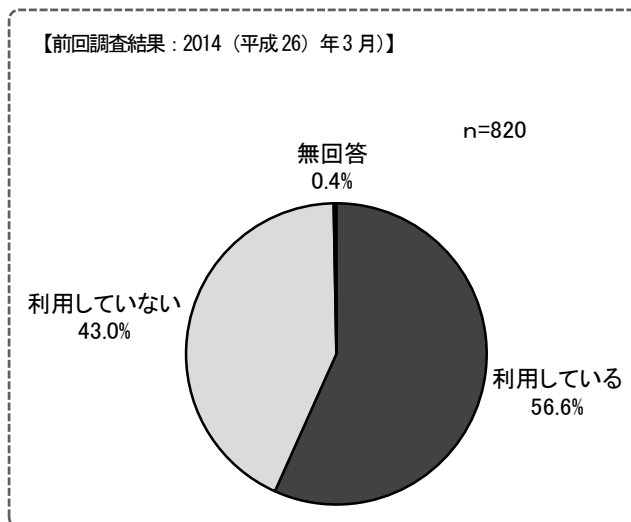
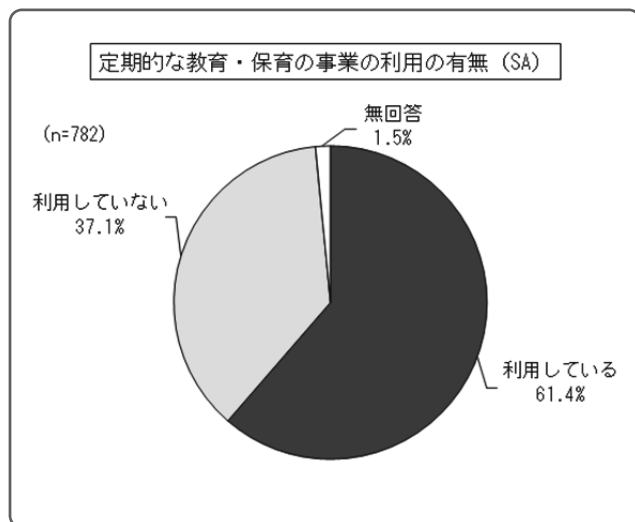
希望する就労形態 (n=2)	割合 (%)
フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)	50.0
パートタイム、アルバイト等 (「ア」以外)	0.0
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	50.0
全体	100.0

4. 定期的なサービスの利用

① サービスの利用状況

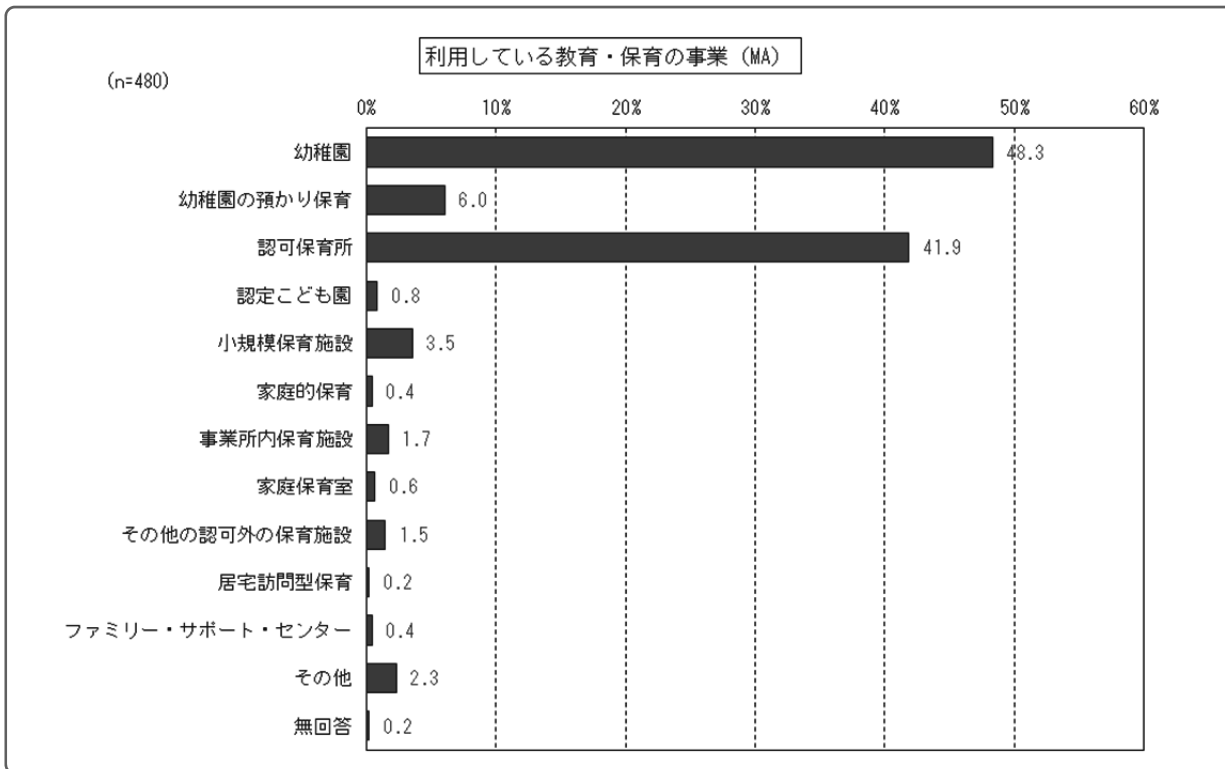
問13-1 問13-1～問13-4は、問13で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。
宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」
利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「定期的な教育・保育の事業」については、利用していると回答した人は61.4%となっています。
今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、「利用している」が増加し、「利用していない」の回答割合が
低下する結果となっています。

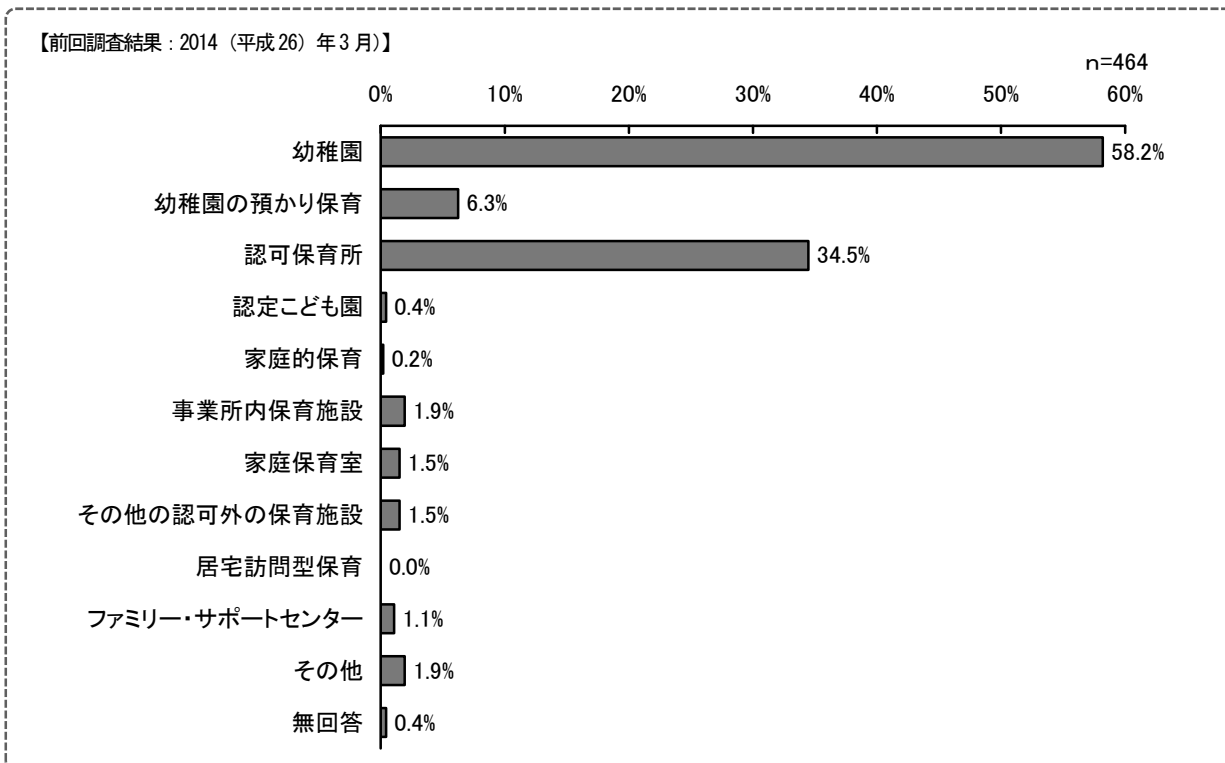


問13-1 問13-1～問13-4は、問13で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。
宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」
利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「定期的な教育・保育の事業」を利用していると回答した人に、その利用している事業をお聞きしたところ、
「幼稚園」との回答が48.3%と最も高くなっており、次いで、「認可保育所」が41.9%、「幼稚園の預かり保
育」が6.0%となっています。



今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、「幼稚園」の回答割合が低下し、「認可保育所」の回答割合が
増加する結果となっています。

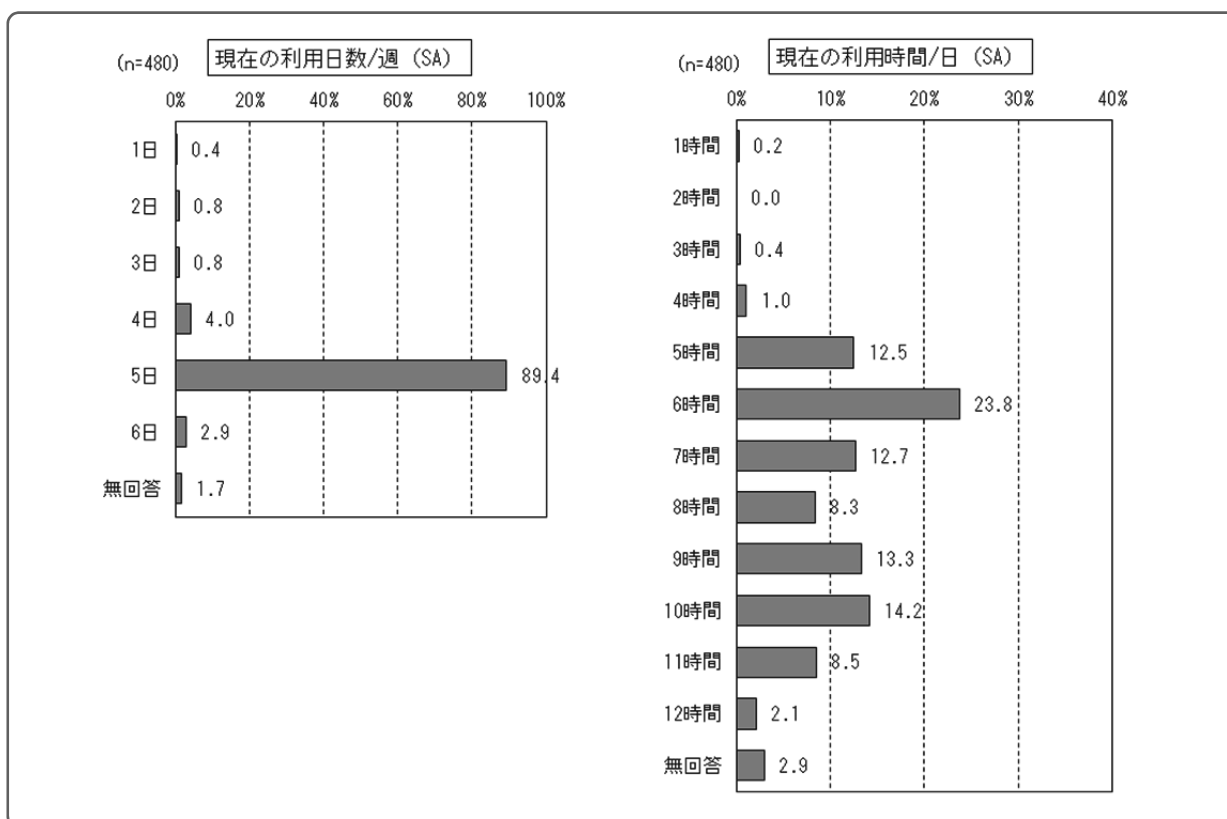


問13-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、□内に具体的な数字でご記入ください。

※時間は、必ず（例）9時から18時までのように24時間制でご記入ください。

(1) 現在

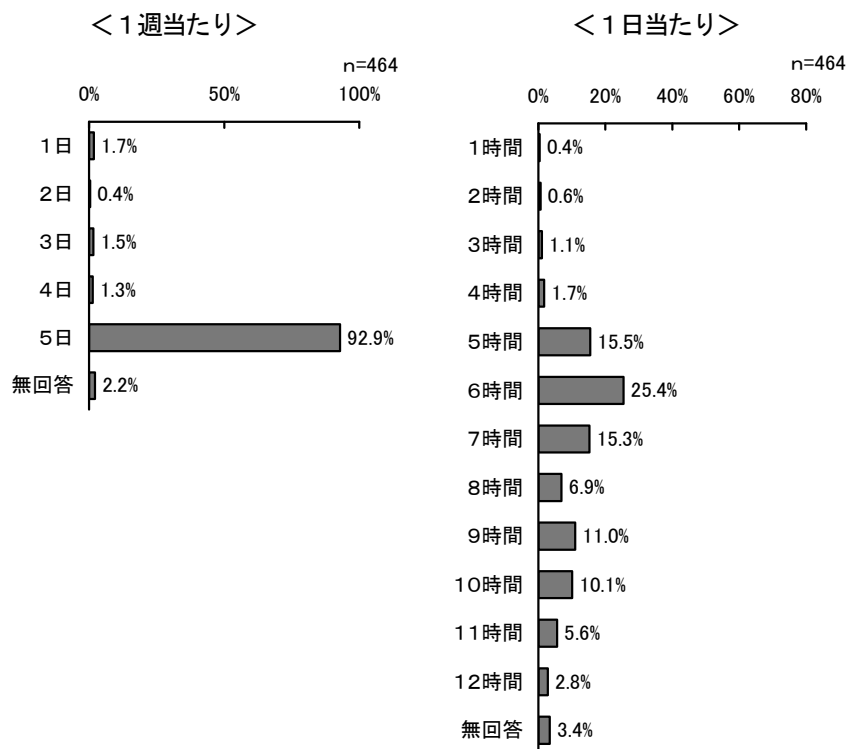
「定期的な教育・保育の事業」の利用の様子についてお聞きしところ、1週当たりの利用日数は「5日」が89.4%と最も高く、1日当たりの利用時間では「6時間」が23.8%と最も高くなっています。



今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、1週当たりの利用日数で最も回答割合が高い「5日」に変わりはありませんが、今回調査では多少低下しています。

また、1日当たりの利用時間では最も回答割合が高い「6時間」に変わりはありませんが、今回「9時間」及び「10時間」の回答割合が増加しており、長時間の利用傾向が高まる結果となっています。

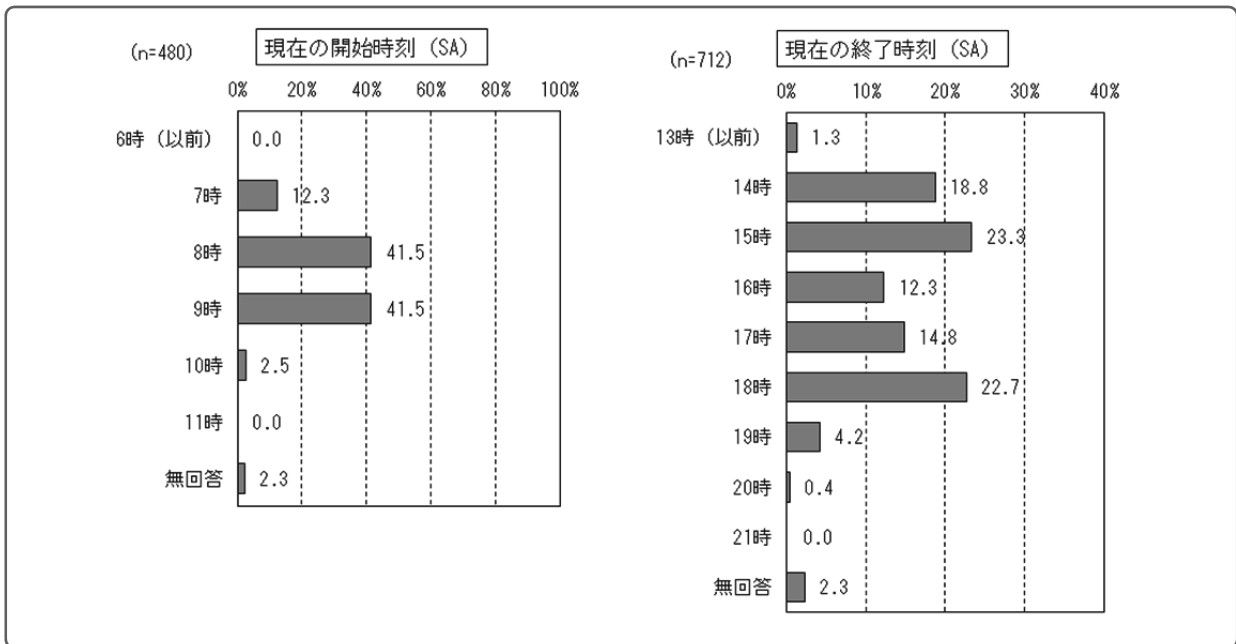
【前回調査結果：2014（平成26）年3月】



■ 「定期的な教育・保育の事業」の利用の開始時刻と終了時刻

「定期的な教育・保育の事業」の利用の開始時刻は「8時」台と「9時」台が 41.5%と最も高くなっています。

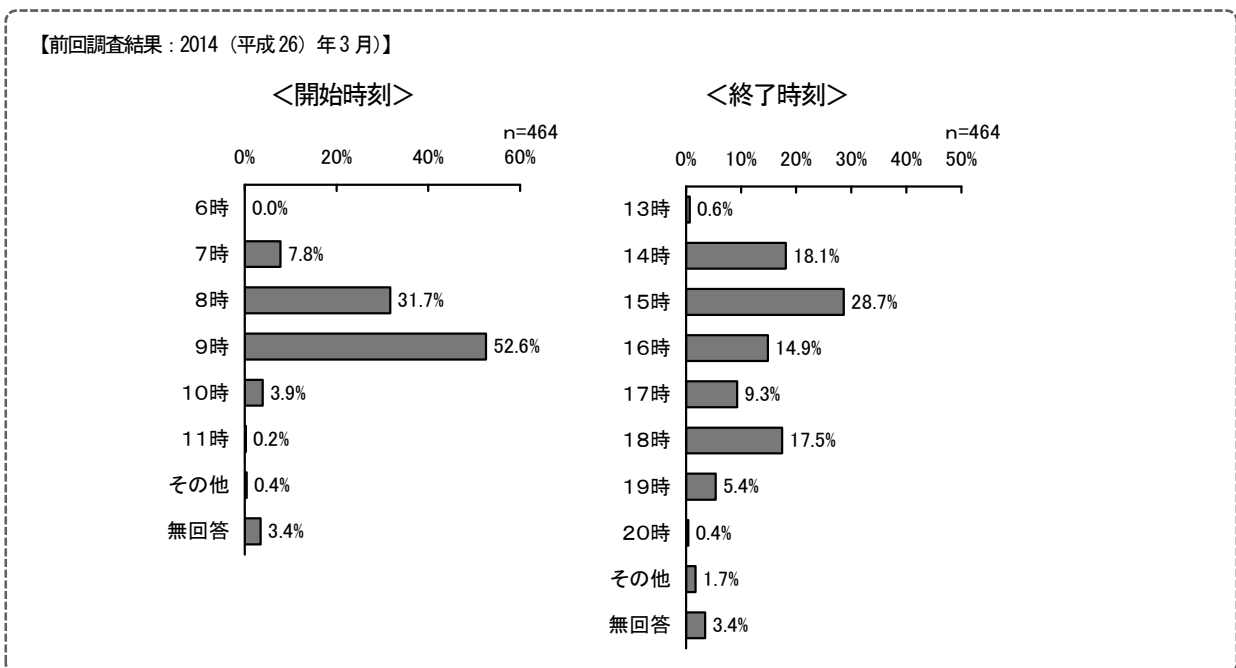
利用の終了時刻は「18時」台が 22.7%と最も高く、次いで「15時」台が 23.3%、「14時」台が 18.8%と続いています。



※「現在の開始時刻」の「6時 (以前)」は、6時台及びそれ以前を、また、「現在の終了時刻」の「13時 (以前)」は、13時台及びそれ以前を含みます。

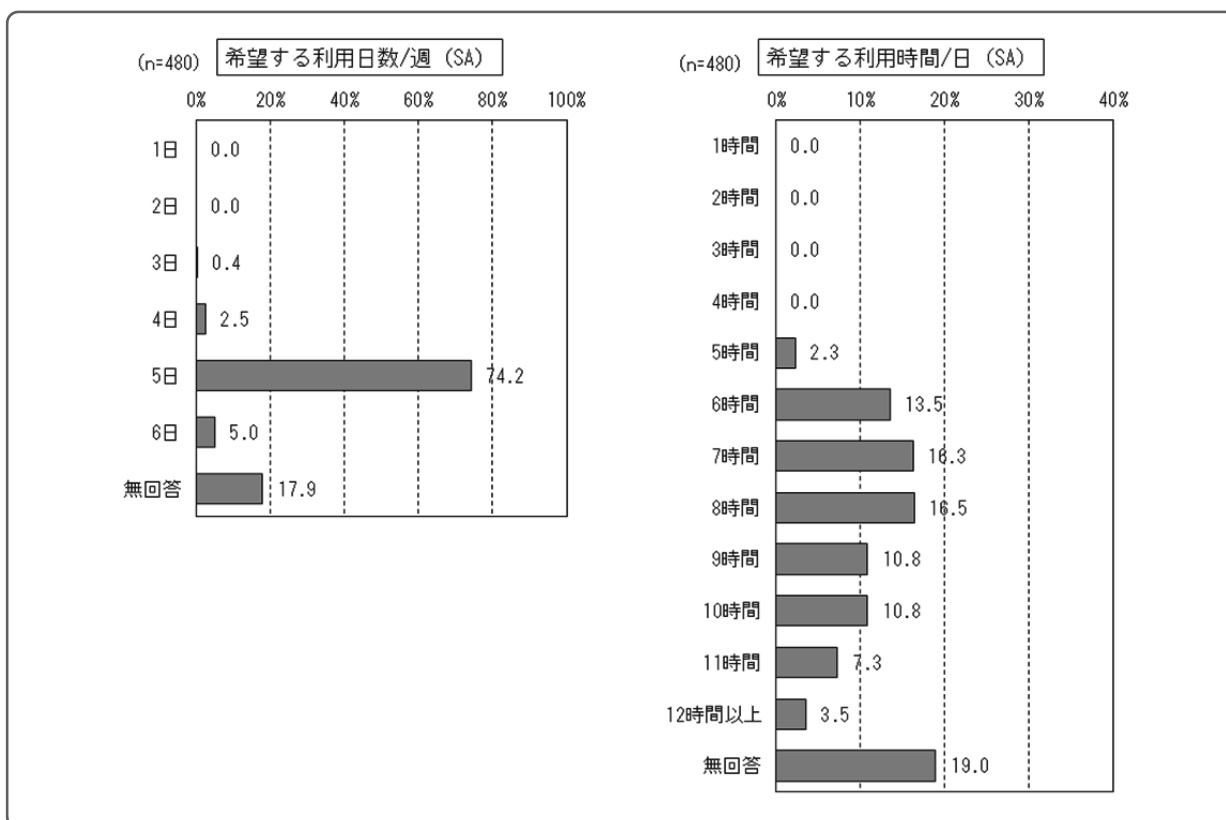
今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、開始時刻では「9時」台が低下する一方で「8時」台の回答割合が増加しています。

終了時刻では「15時」台が低下する一方で、「17時」台及び「18時」台の回答割合が増加する結果となっています。



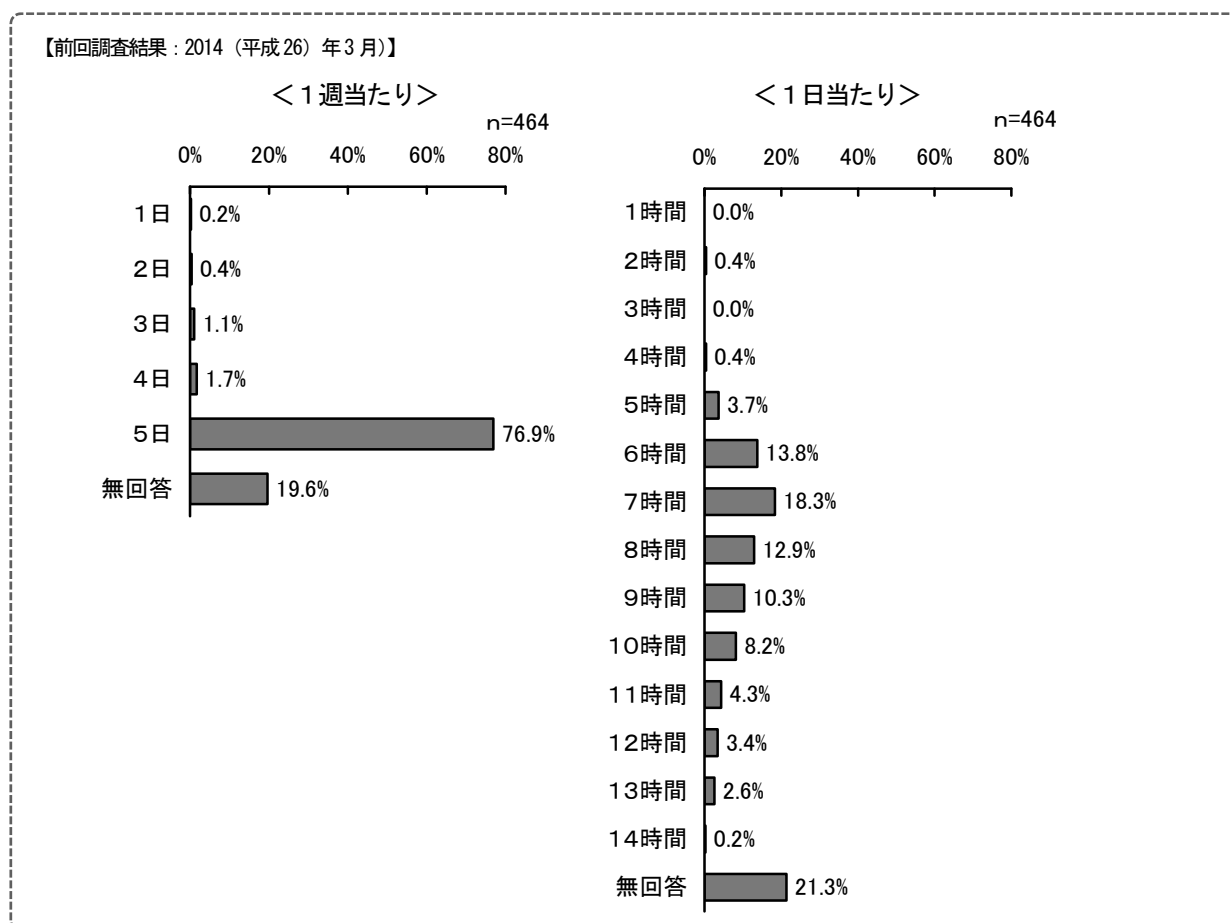
(2) 希望

「定期的な教育・保育の事業」の利用の希望についてお聞きしところ、1週当たりの利用希望日数は「5日」が74.2%と最も高く、1日当たりの利用希望時間では「8時間」が最も高く16.5%となっており、次いで「7時間」が16.3%、「6時間」が13.5%と続いています、回答割合に大きな差はない結果となっています。



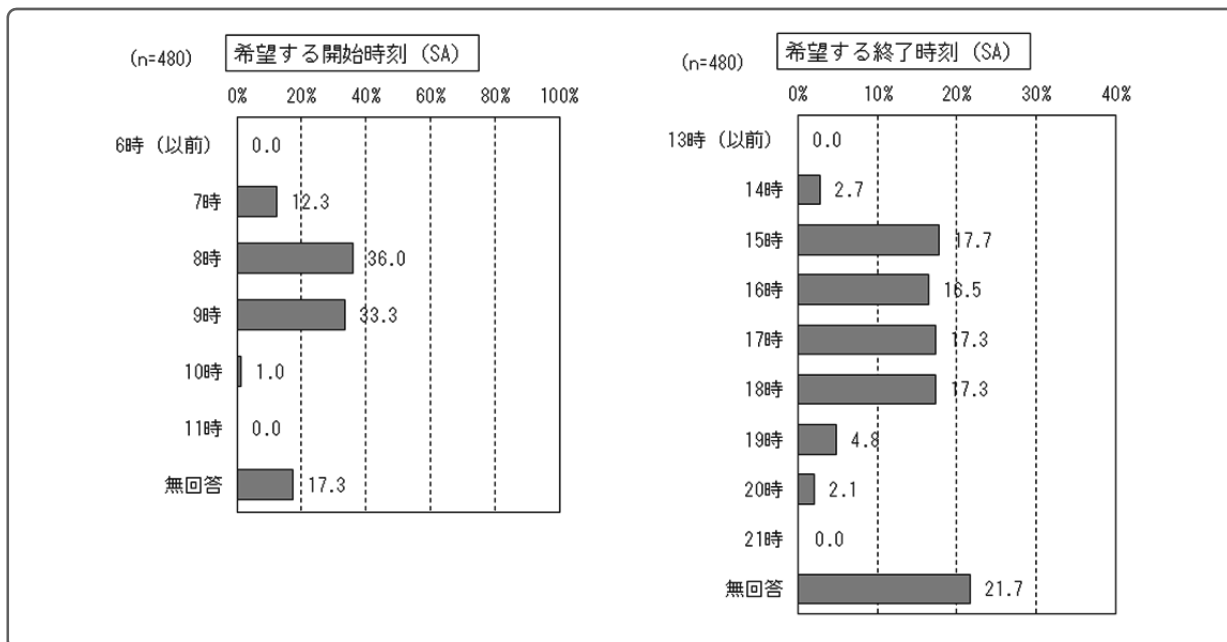
今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、1週当たりの利用希望日数で最も回答割合が高い「5日」に変わりはありませんが、今回調査では多少低下しています。

また、1日当たりの利用希望時間では、前回で最も回答割合が高かった「7時間」は今回調査でも高い回答割合となっていますが、「8時間」への回答割合が増加し、「7時間」よりもわずかに高い結果となっています。



■ 「定期的な教育・保育の事業」の利用の希望開始時刻と希望終了時刻

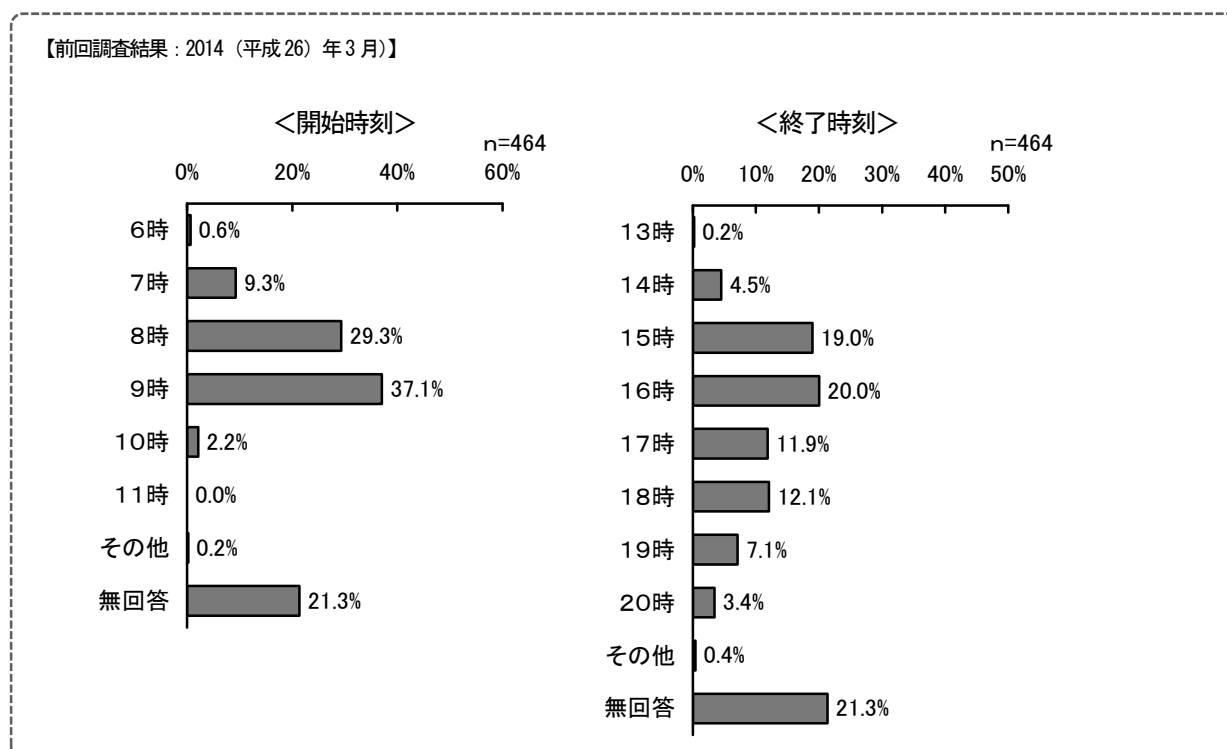
「定期的な教育・保育の事業」の利用の希望開始時間は「8時」が36.0%で最も高く、終了時刻は「15時」が17.7%で最も高くなっていますが、「15時」台から「18時」台までの回答割合に大きな差はない結果となっています。



※「希望する開始時刻」の「6時 (以前)」は、6時台及びそれ以前を、また、「希望する終了時刻」の「13時 (以前)」は、13時台及びそれ以前を含みます。

今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、開始時刻では「9時」台が低下する一方で「8時」台の回答割合が増加しています。

終了時刻では「15時」台及び「16時」台が多少低下する一方で、「17時」台及び「18時」台の回答割合が増加する結果となっています。



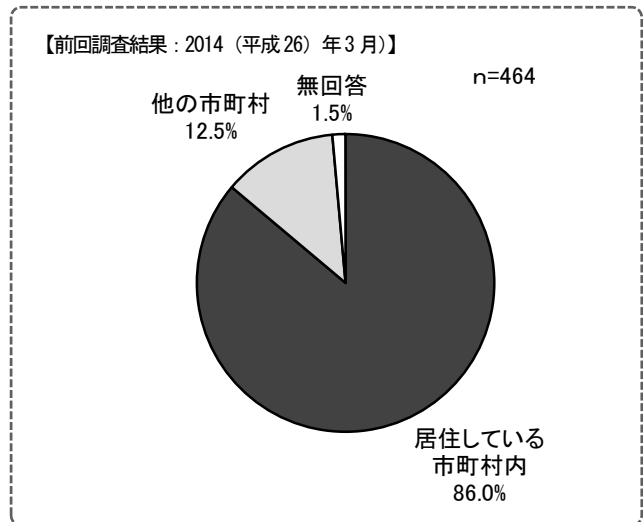
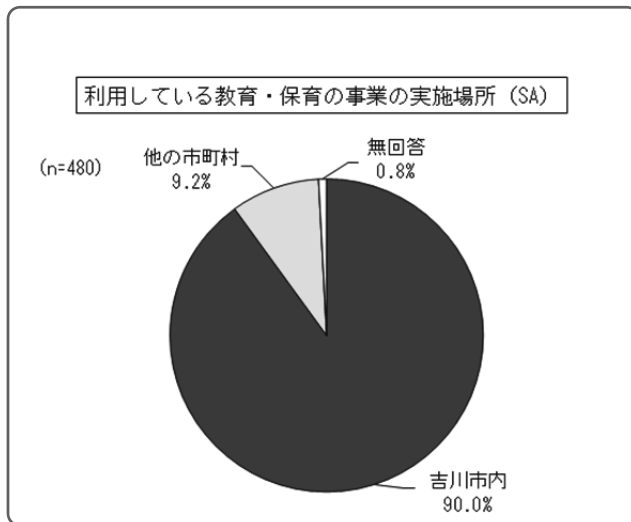
問 13-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。

「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。「2. 他の市町村」を選んだ場合は、実施場所の市町村名を記入してください。

「定期的な教育・保育の事業」の利用している地域については、「吉川市内」での利用が90.0%となっています。

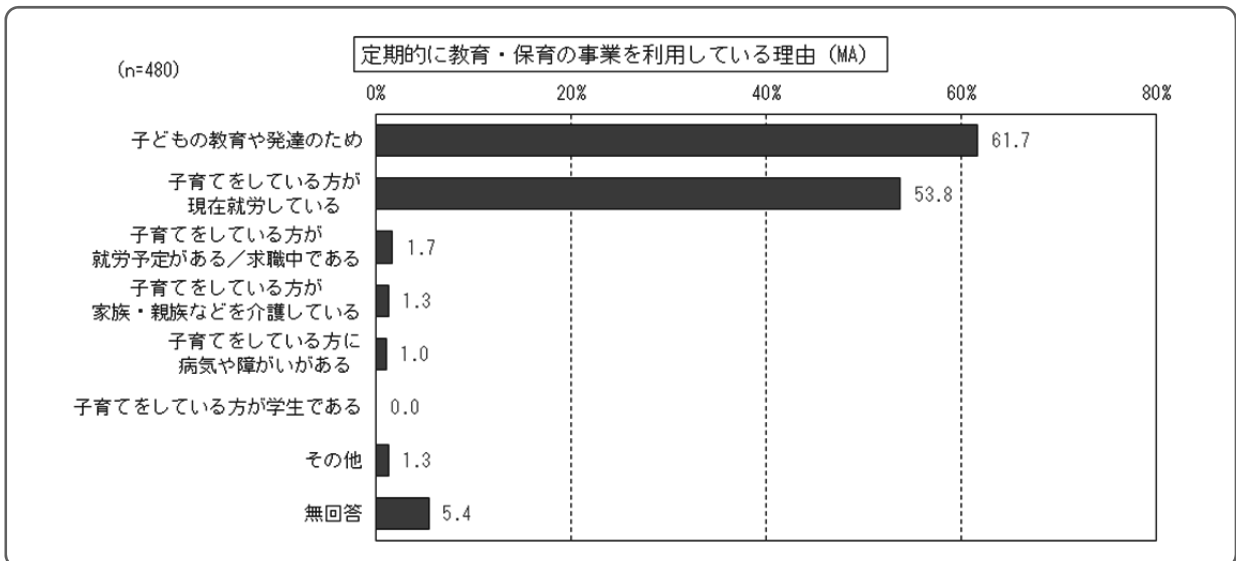
また、他の市町村の利用は9.2%となっています。

今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、「吉川市内」での利用が増加し、「他の市町村」では低下する結果となっています。

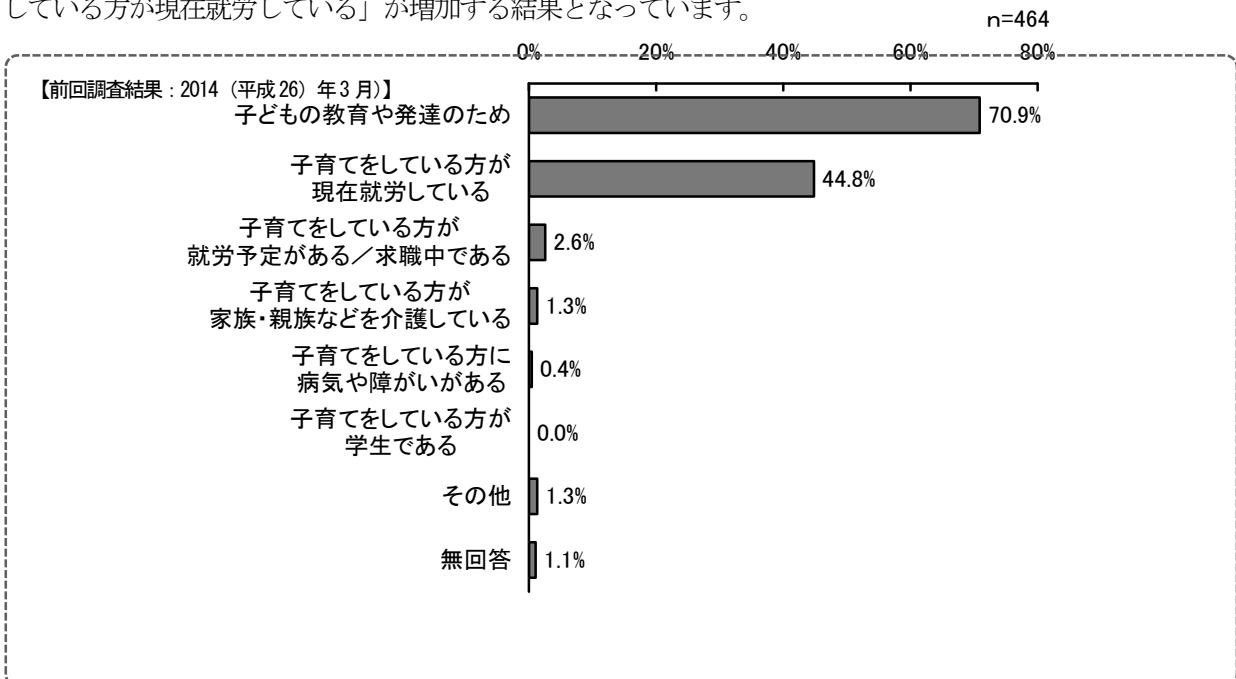


問 13-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「定期的に教育・保育の事業を利用している理由」は、「子どもの教育や発達のため」が61.7%と最も高く、次いで「子育てをしている方が現在就労している」ためが53.8%と続いています。



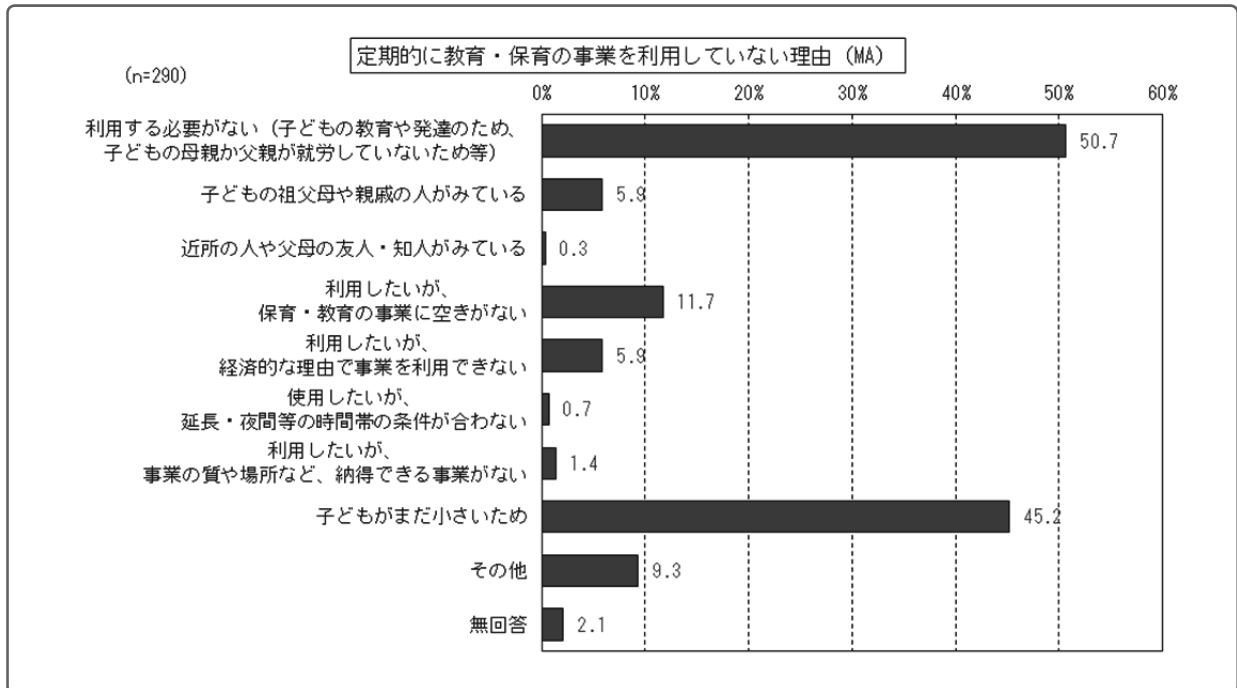
今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、「子どもの教育や発達のため」が低下している一方、「子育てをしている方が現在就労している」が増加する結果となっています。



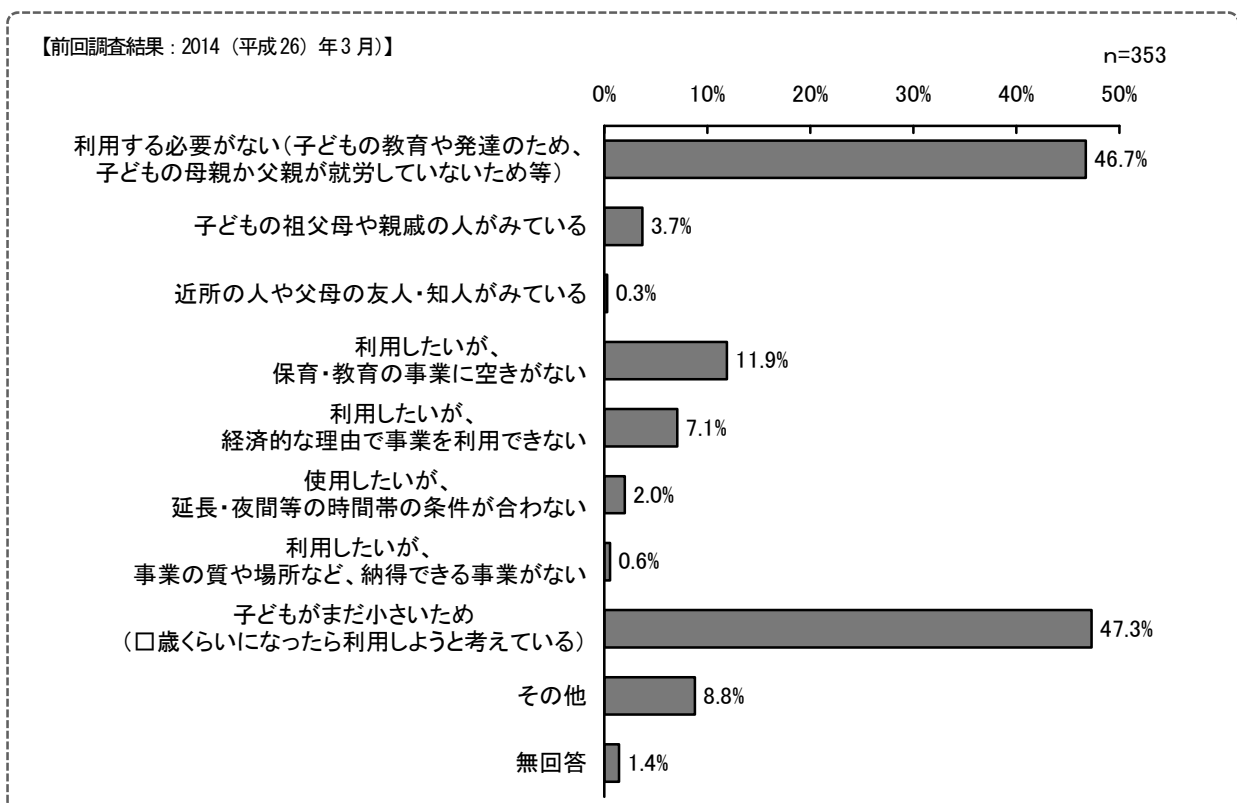
問13-5 問13で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「定期的な教育・保育の事業を利用していない理由」は、「利用する必要がない」が50.7%と最も高く、次いで、「子どもがまだ小さいため」が45.2%と続いています。

また、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」への回答が11.7%となっています。

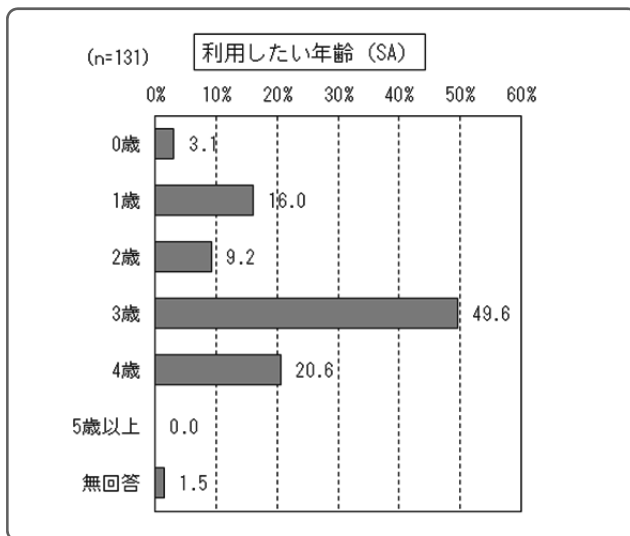


今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、「利用する必要がない」が多少増加し、「子どもがまだ小さいため」が多少低下する結果となっています。



◇ 「定期的な教育・保育の事業」を利用し始めたいと思う子どもの年齢

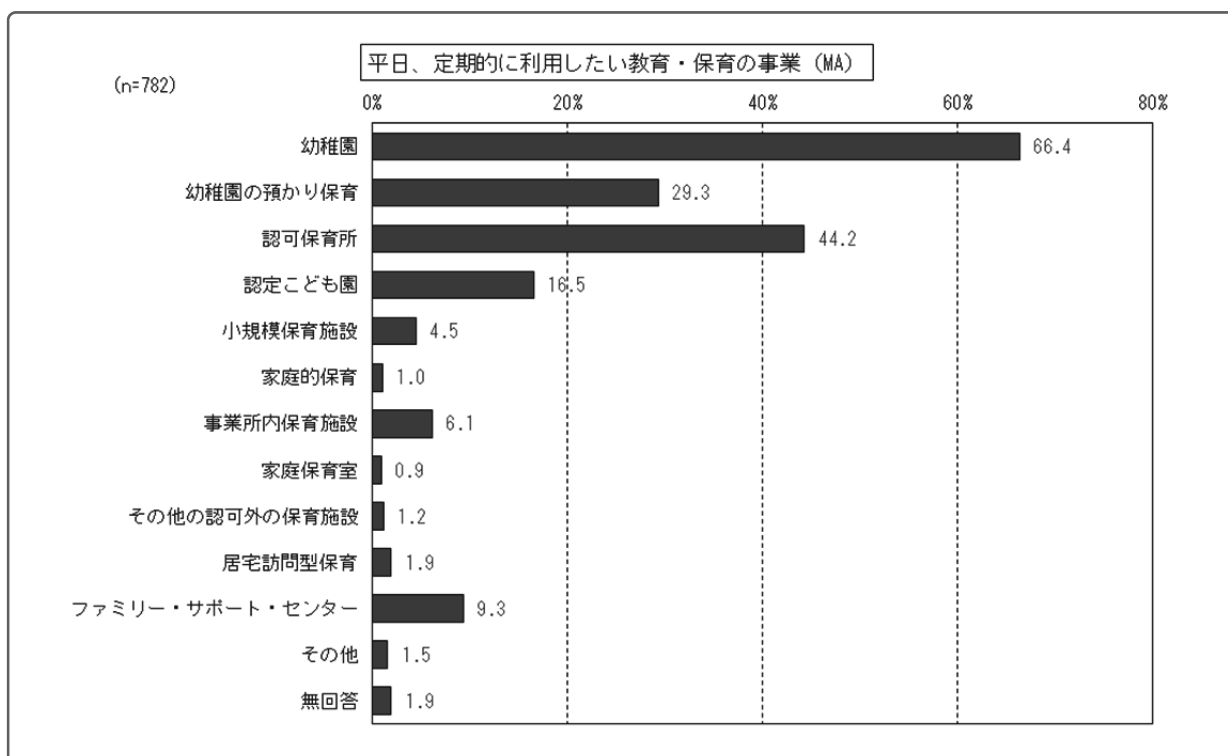
「定期的な教育・保育の事業」を利用し始めたいと思う子どもの年齢は、「3歳」が最も高く 49.6%となっており、次いで、「4歳」が20.6%、「1歳」が16.0%と続いています。



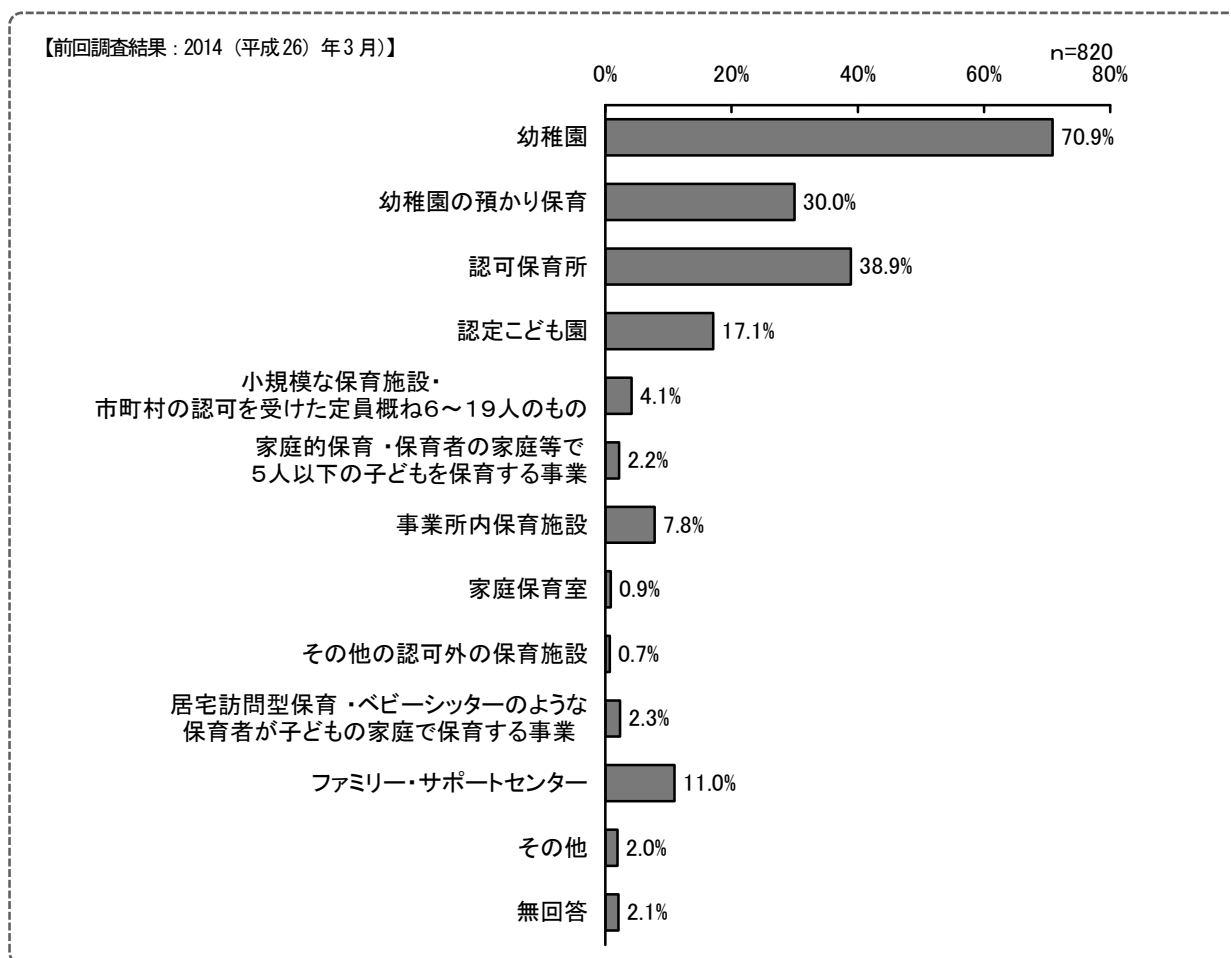
② 今後のサービス利用意向

問 14 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

平日の教育・保育の事業として「定期的に」利用したい事業についてお聞きしたところ、「幼稚園」が66.4%と最も高く、次いで、「認可保育所」が44.2%、「幼稚園の預かり保育」が29.3%と続いています。



今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、「幼稚園」への回答割合は多少低下し、「認可保育園」への回答割合が多少増加する結果となっています。

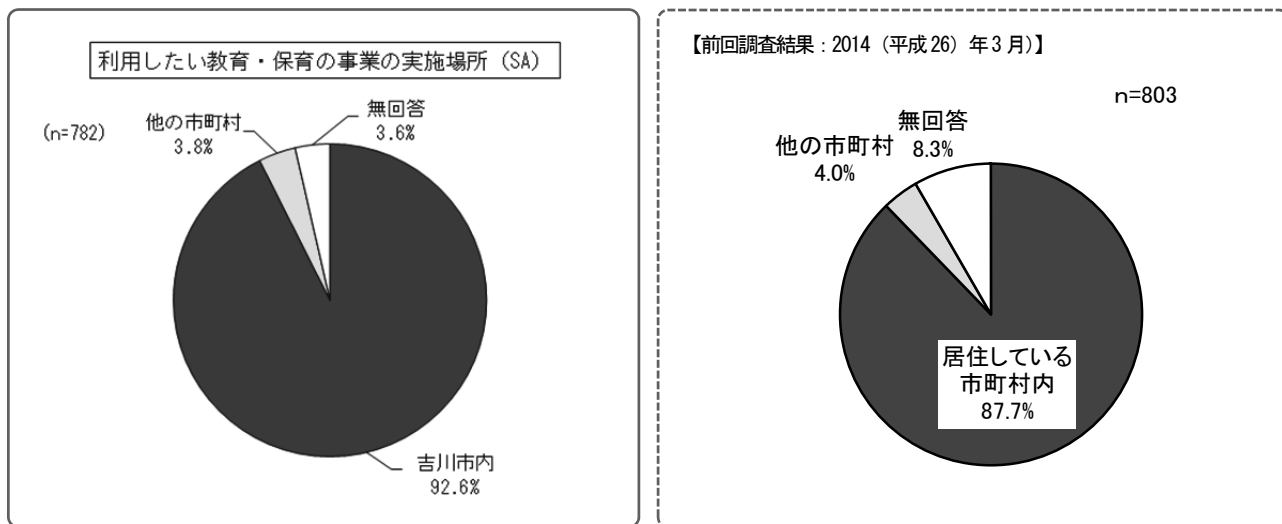


問 14-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。「2. 他の市町村」を選んだ場合は、実施場所の市町村名を記入してください。

「定期的な教育・保育の事業」を利用したい地域については、「吉川市内」での利用が92.6%となっています。

また、他の市町村の利用は3.8%となっています。

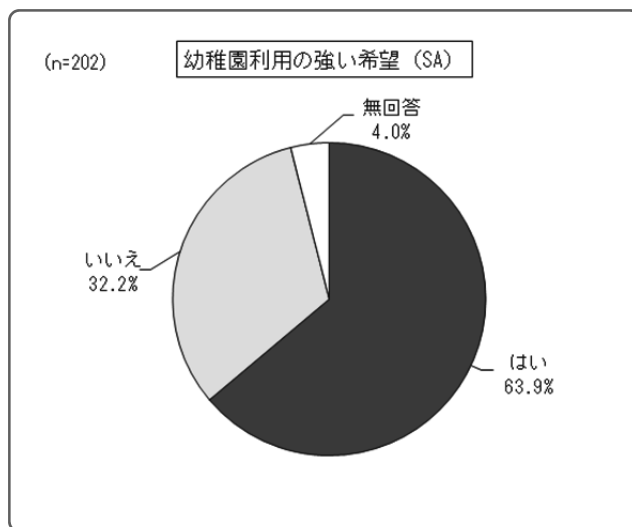
今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、「吉川市内」での利用が増加していますが、「他の市町村」では大きな差は出ていない結果となっています。



問 14-2 問 14 で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ3～12にも○をつけた方にうかがいます。

その中で、特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業として「幼稚園」または「幼稚園の預かり保育」を選択した方で、特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望するかをお聞きしたところ、「はい」は63.9%と6割を超え、「いいえ」は32.2%と3割の回答結果となっています。

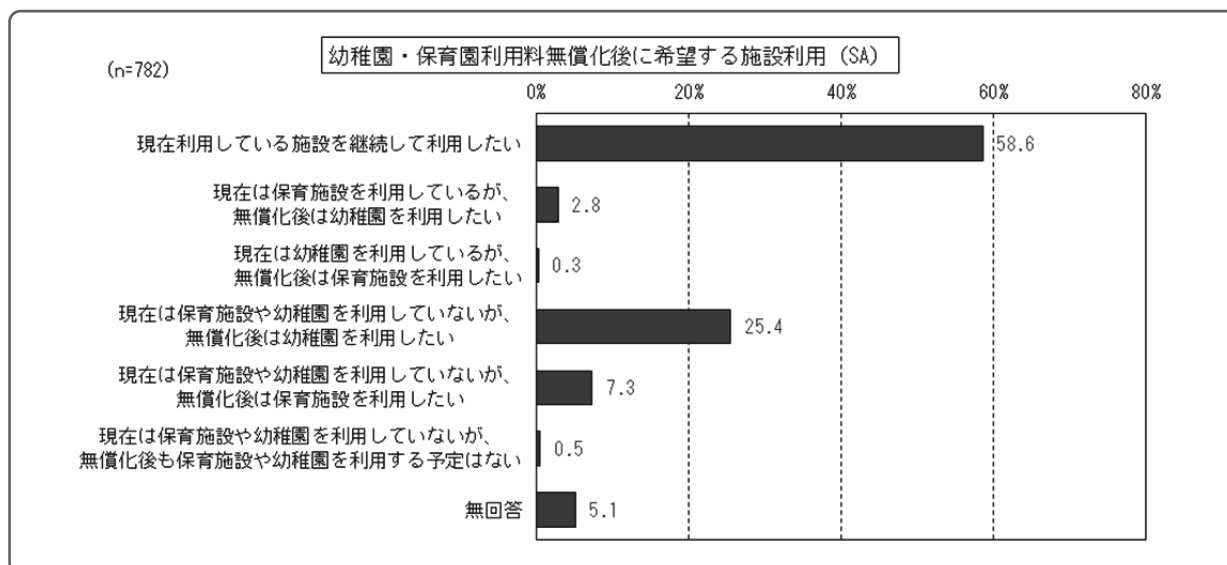


③ 無償化後の施設の利用

問 15 平成 31 年 10 月以降、3～5 歳のお子さんを対象として、幼稚園や保育所などの利用料が無償化される予定です。(幼稚園は月額 25,700 円が上限。)

もし、予定通り無償化が実施された場合、宛名のお子さんについて、どのような施設を利用しますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

幼稚園や保育所などの利用料が無償化された場合、利用したい施設についてお聞きしたところ、「現在利用している施設を継続して利用したい」が 58.6%と約 6 割の回答結果となっています。



④ 地域子育て支援拠点事業の利用

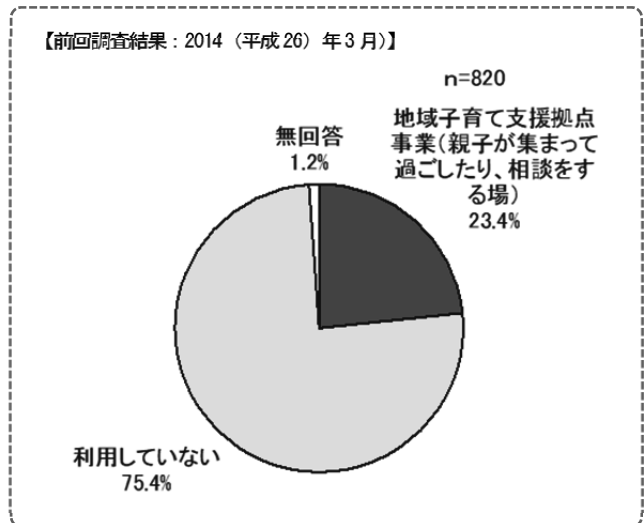
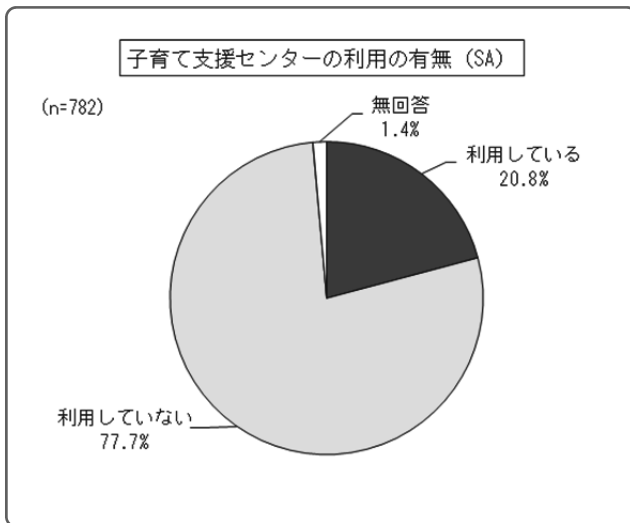
問 16 宛名のお子さんは、現在、子育て支援センター（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、市には子育て支援センター（おあしす内）、中央子育て支援センター（吉川団地名店会内）、美南子育て支援センター（美南小学校併設）の3か所があります。）を利用していますか。

当てはまる番号1つに○をつけてください。

なお、利用されている場合は、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。

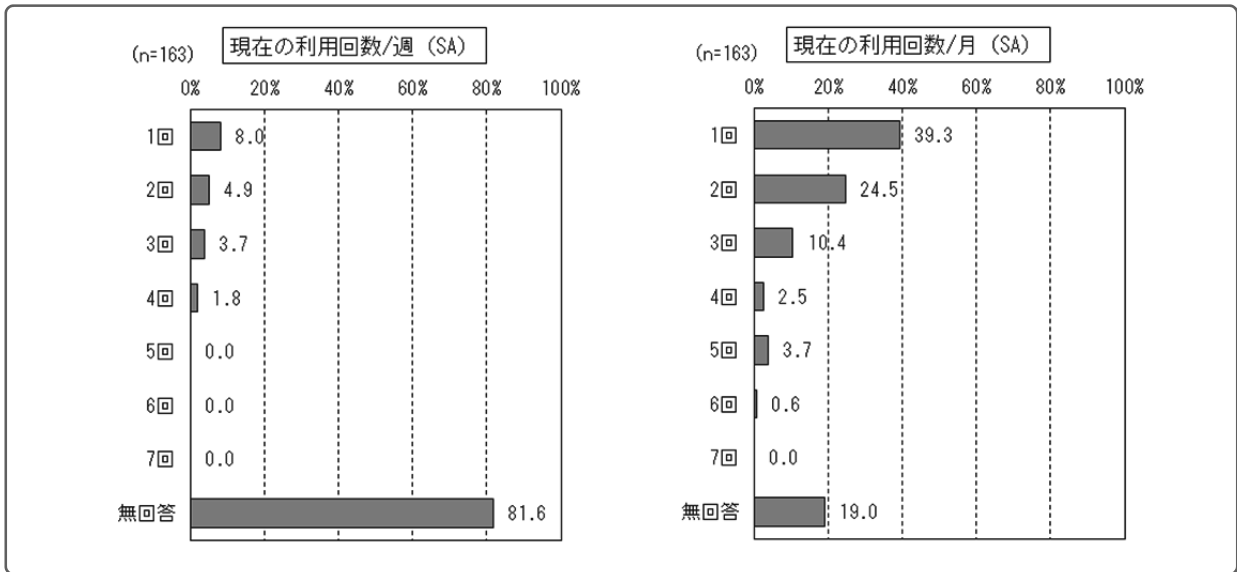
市内3か所にある地域子育て支援拠点の利用については、「利用している」が20.8%、「利用していない」が77.7%となっています。

また、今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、「利用していない」の回答割合が多少増加する結果となっています。

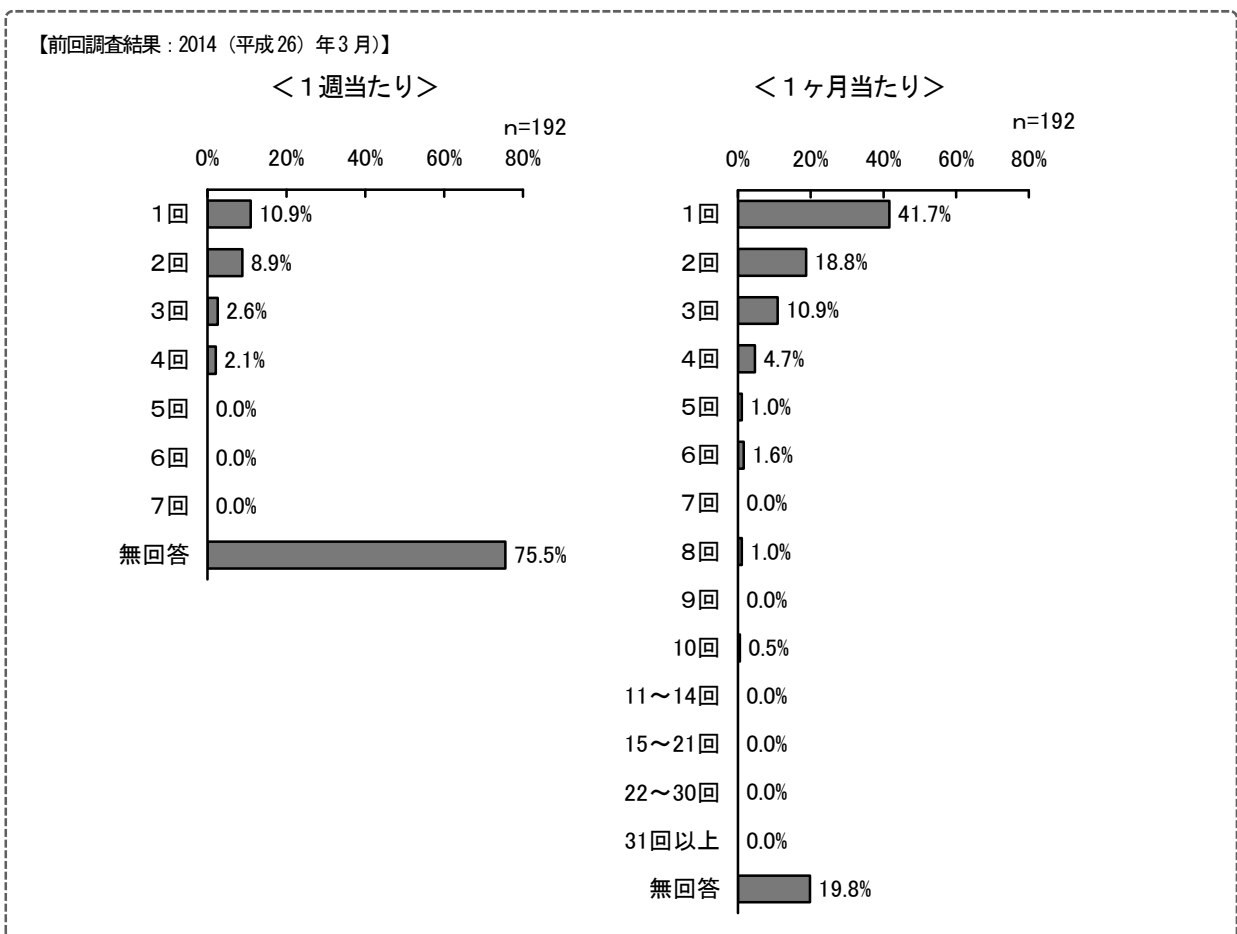


■「地域子育て支援拠点事業」の利用の状況

「地域子育て支援拠点事業」の利用状況は、現在の1週当たりの利用回数では「1回」が最も高く8.0%となっており、1か月当たりの利用回数でも「1回」が最も高い回答結果となっています。



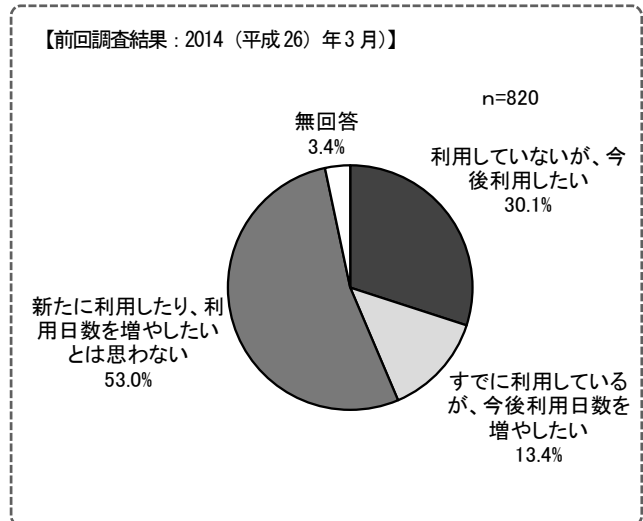
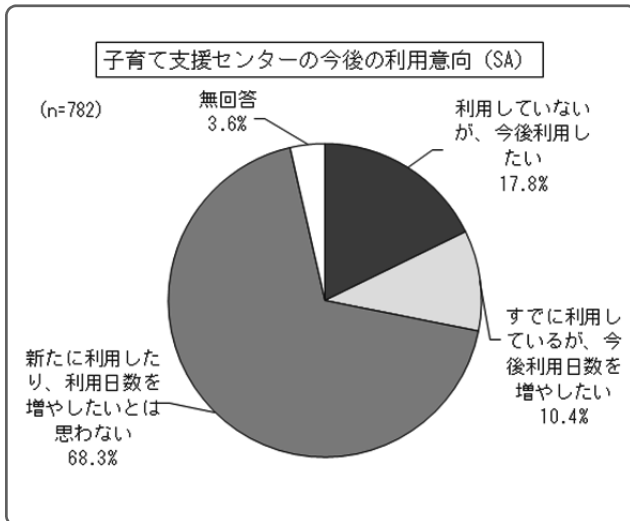
今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、前回調査での現在の1週当たりの利用回数及び、1か月当たりの利用回数は、ともに今回調査と同様の回答傾向となっていますが、1か月当たりの利用回数は「1回」が多少低下している一方で、「2回」は増加する結果となっています。



問 17 子育て支援センターについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。
また、利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。

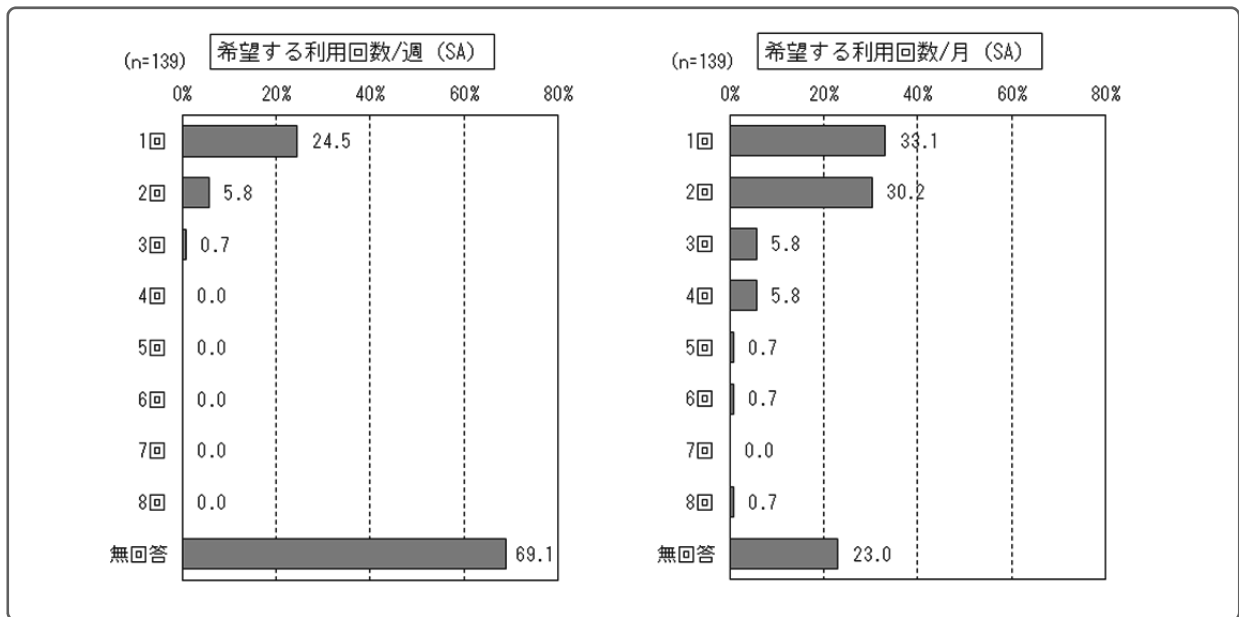
「地域子育て支援拠点事業」の今後の利用希望については、「新たに利用したり、利用したい日数を増やしたいとは思わない」が68.3%と最も高く、「利用していないが、今後利用したい」が17.8%となっています。

今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、「利用していないが、今後利用したい」への回答割合が低下している一方で、「新たに利用したり、利用したい日数を増やしたいとは思わない」への回答割合が増加する結果となっています。



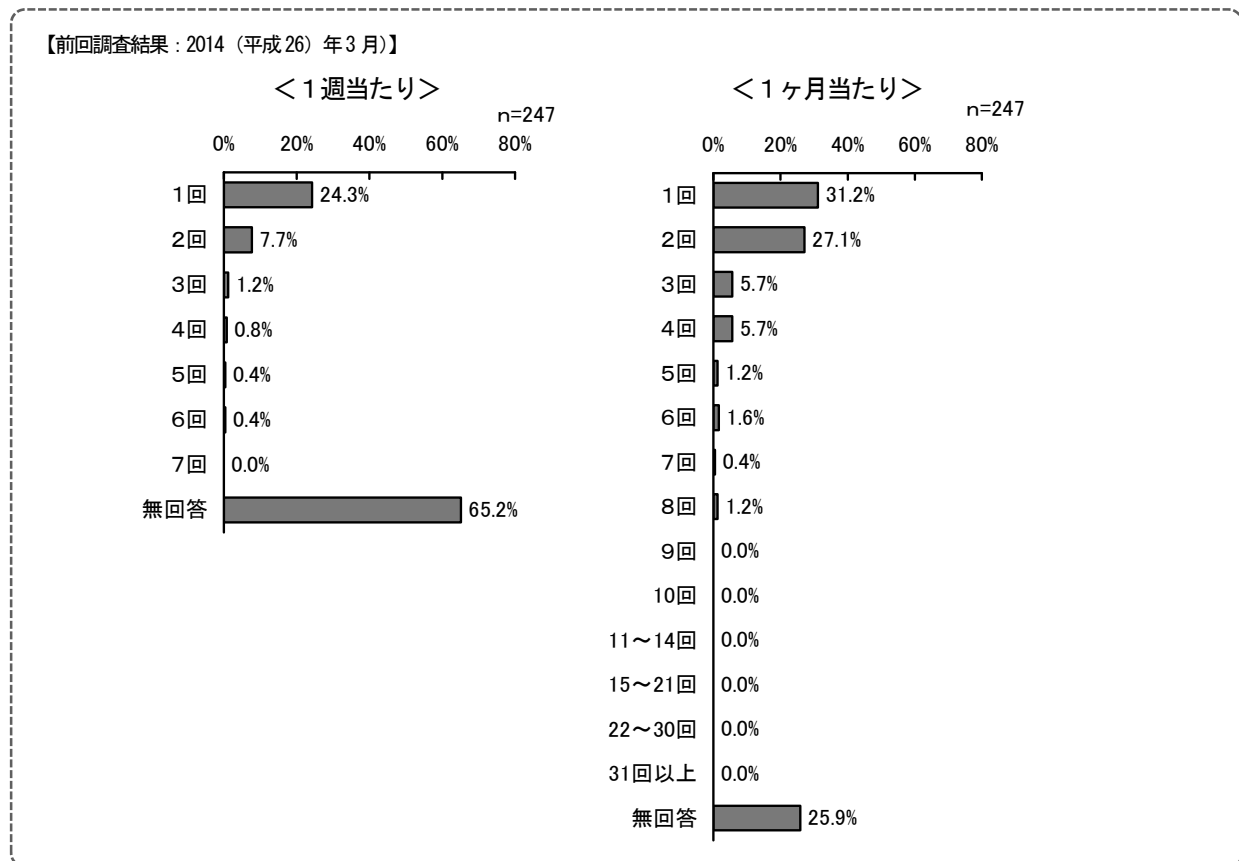
■ 「利用していないが、今後利用したい」人の利用希望

「利用していないが、今後利用したい」と回答した人の希望の回数をお聞きしたところ、希望する利用回数について、1週当たりでは1回との回答が24.5%と最も高く、1か月当たりでは1回との回答が33.1%と最も高くなっています。



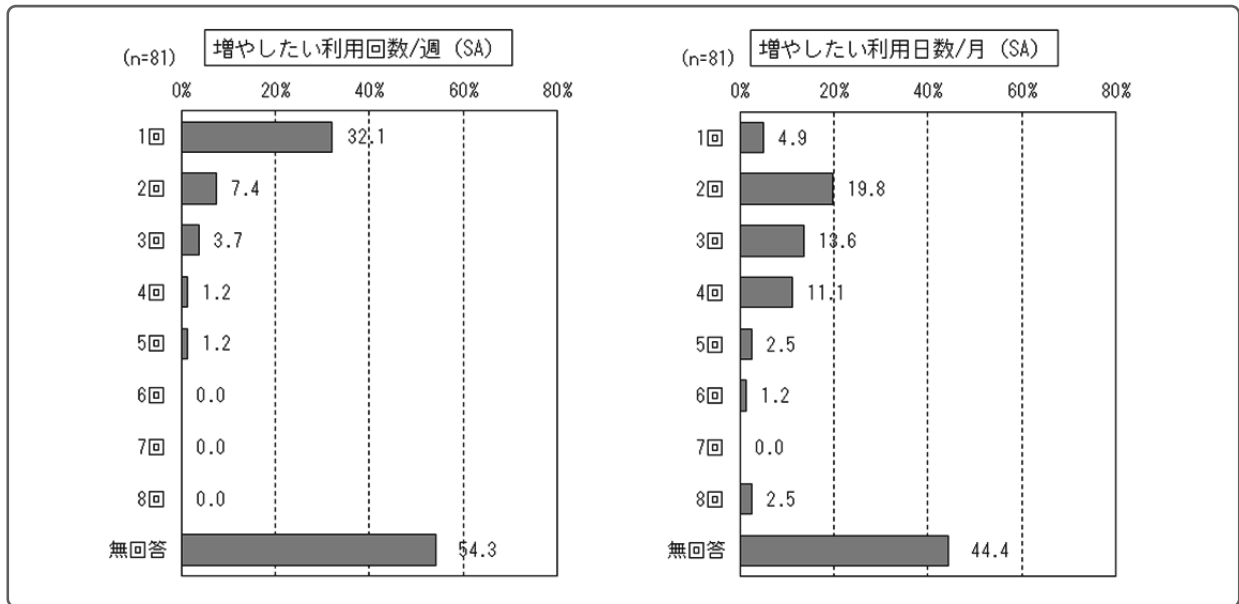
今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、前回調査での現在の1週当たりの利用希望回数及び、1か月当たりの利用希望回数は、ともに今回調査と同様の回答傾向となっています。

また、1か月当たりの利用希望回数は「1回」、「2回」とともに、僅かに増加する結果となっています。

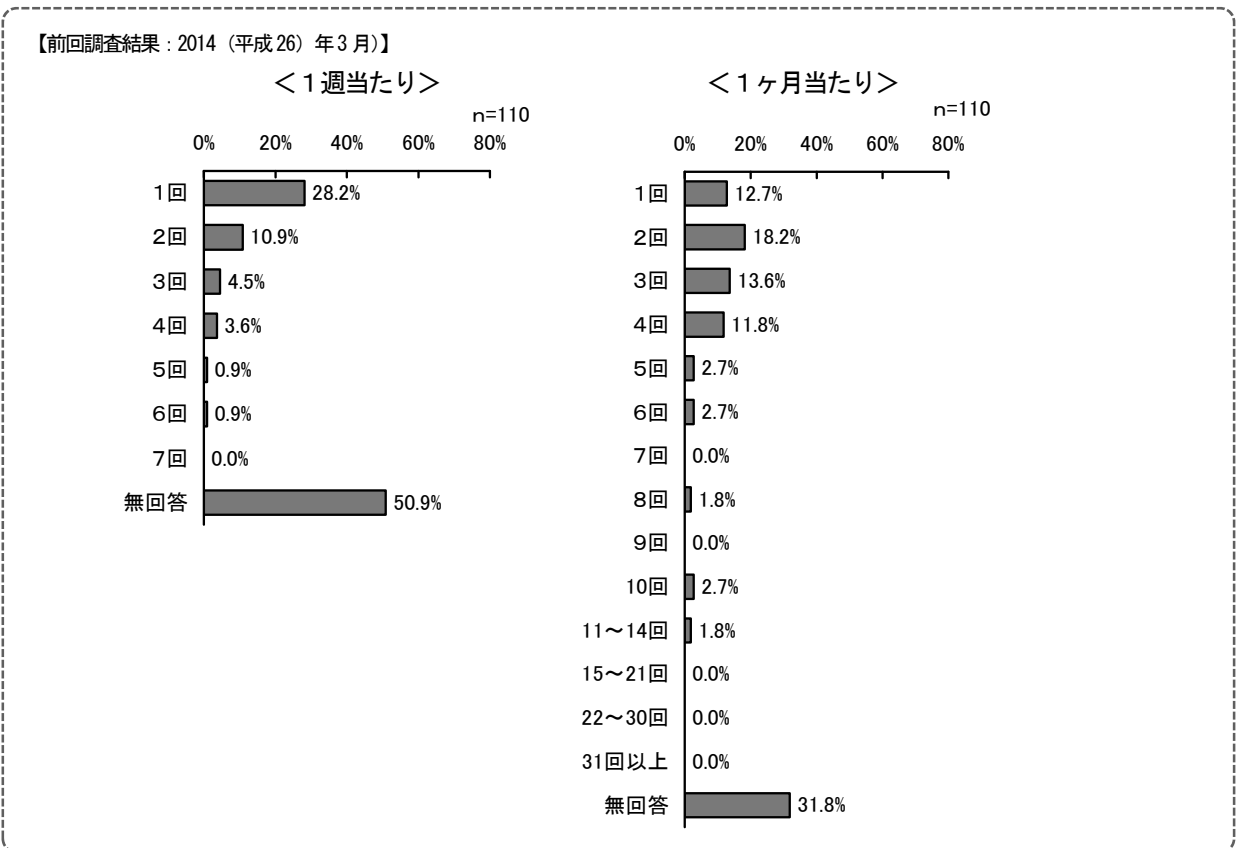


■ 「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」人の利用希望

「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」と回答した人の希望の回数をお聞きしたところ、希望する利用回数について、1週当たりでは1回との回答が32.1%と最も高く、1か月当たりでは2回との回答が19.8%と最も高くなっています。



今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、前回調査での現在の1週当たりの利用希望回数及び、1か月当たりの利用希望回数は、ともに今回調査と同様の回答傾向となっていますが、1か月当たりの利用希望回数は「1回」が低下している一方で、「2回」は僅かに増加する結果となっています。



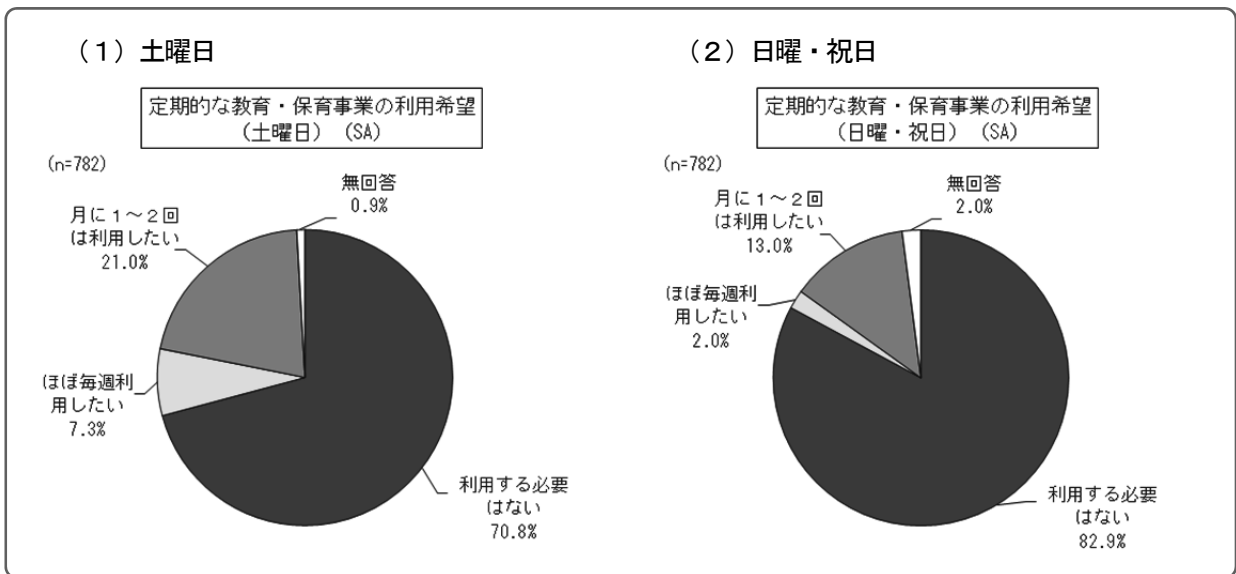
⑤ 平日以外の定期的の利用意向

問 18 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。当てはまる番号1つに○をつけてください。

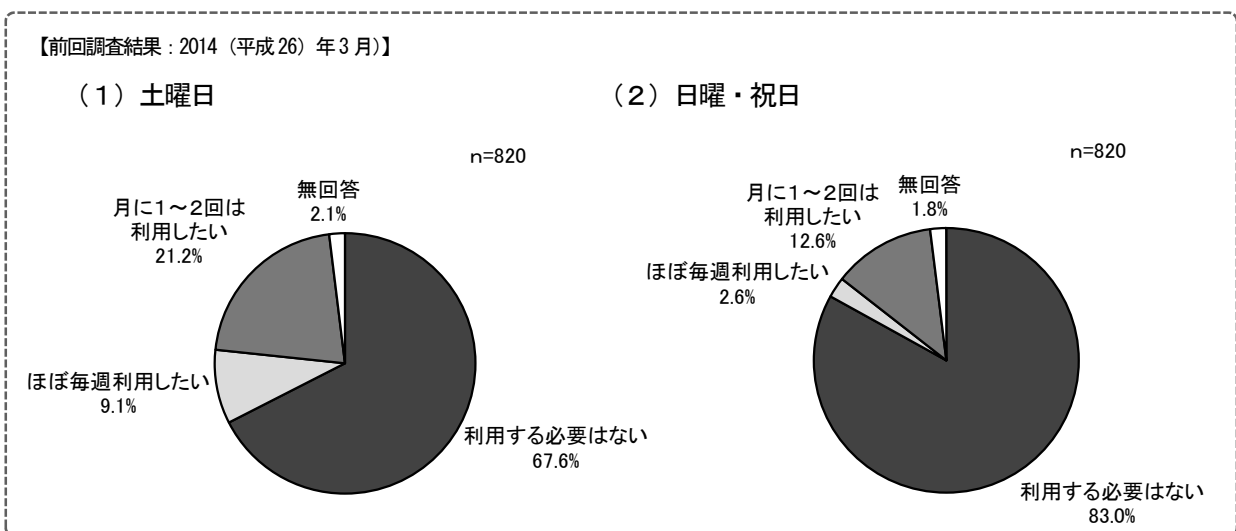
希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 9時から18時までのように24時間制でご記入ください。なお、この事業の利用には、一定の利用料がかかります。

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

土曜日、または日曜・祝日に定期的な教育・保育の利用希望があるかをお聞きしたところ、どちらも「利用する必要はない」への回答が最も高く、土曜日が70.8%、日曜・祝日が82.9%となっています。

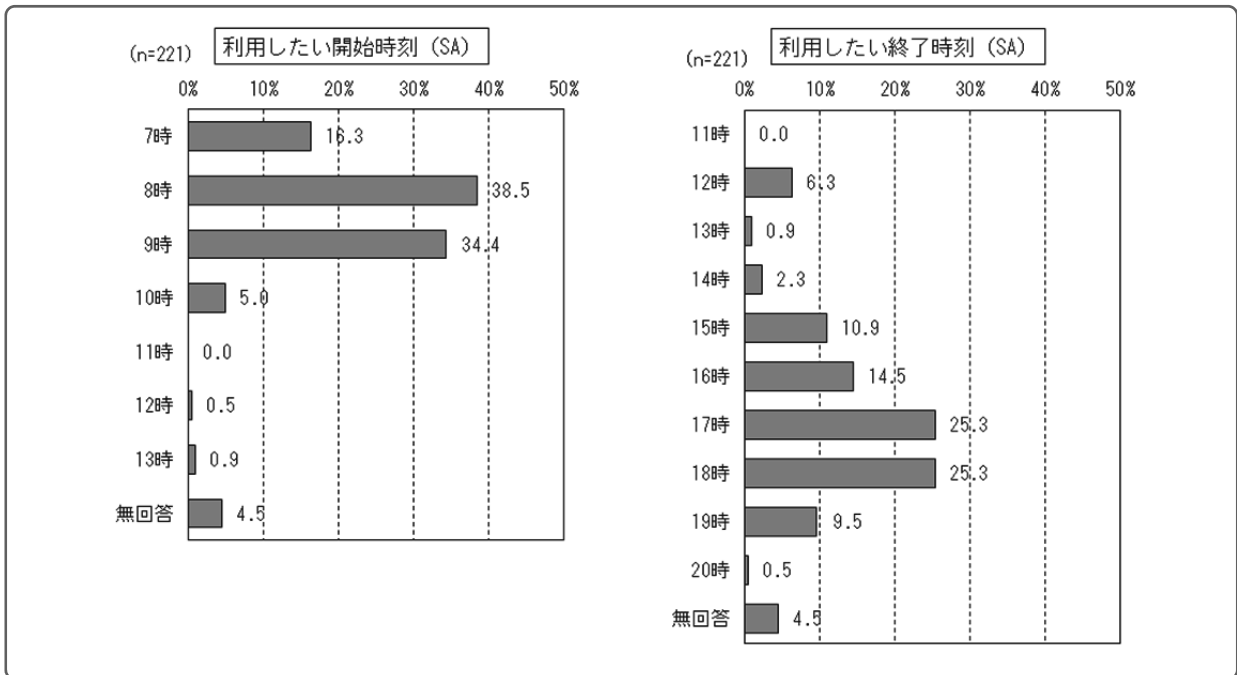


今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、土曜日、日曜・祝日ともに大きな差は出ていない結果となっています。



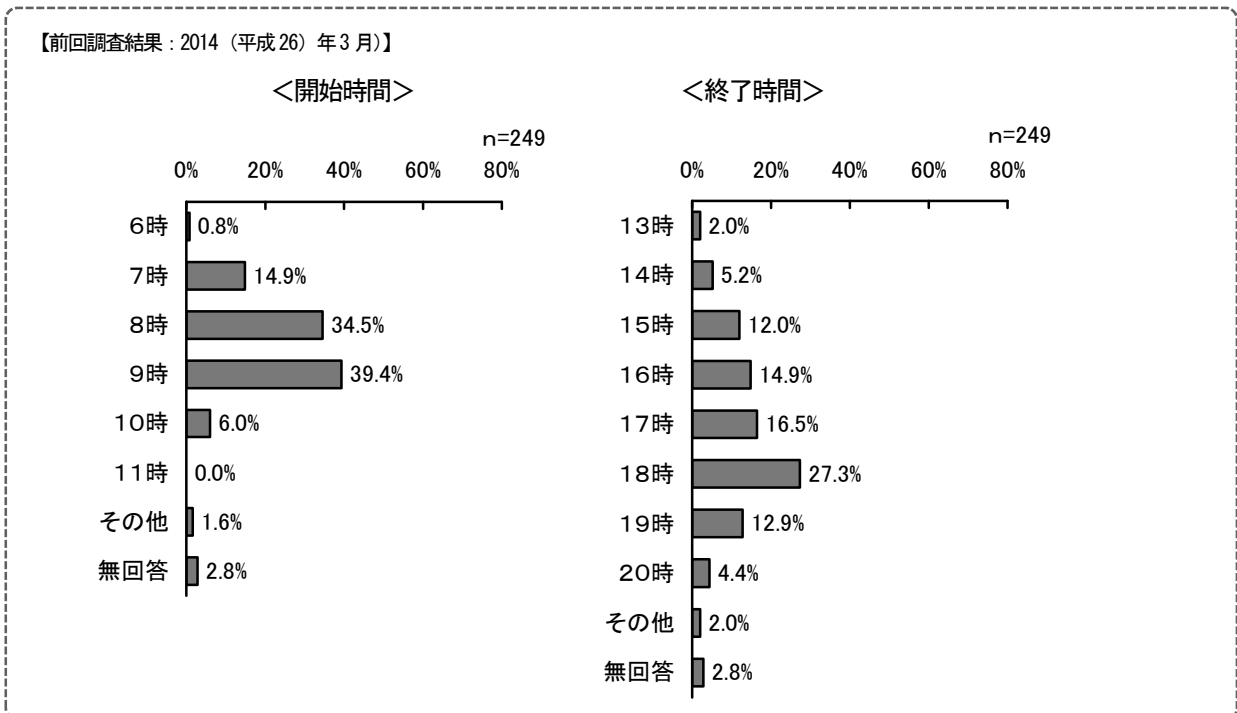
■ 土曜日の利用希望

土曜日の利用について「ほぼ毎週利用したい」、「月に1～2回は利用したい」と回答した人に希望の開始時刻と終了時刻をお聞きしたところ、開始時刻は「8時」が38.5%で最も高く、終了時刻は「17時」及び「18時」が25.3%と最も高くなっています。



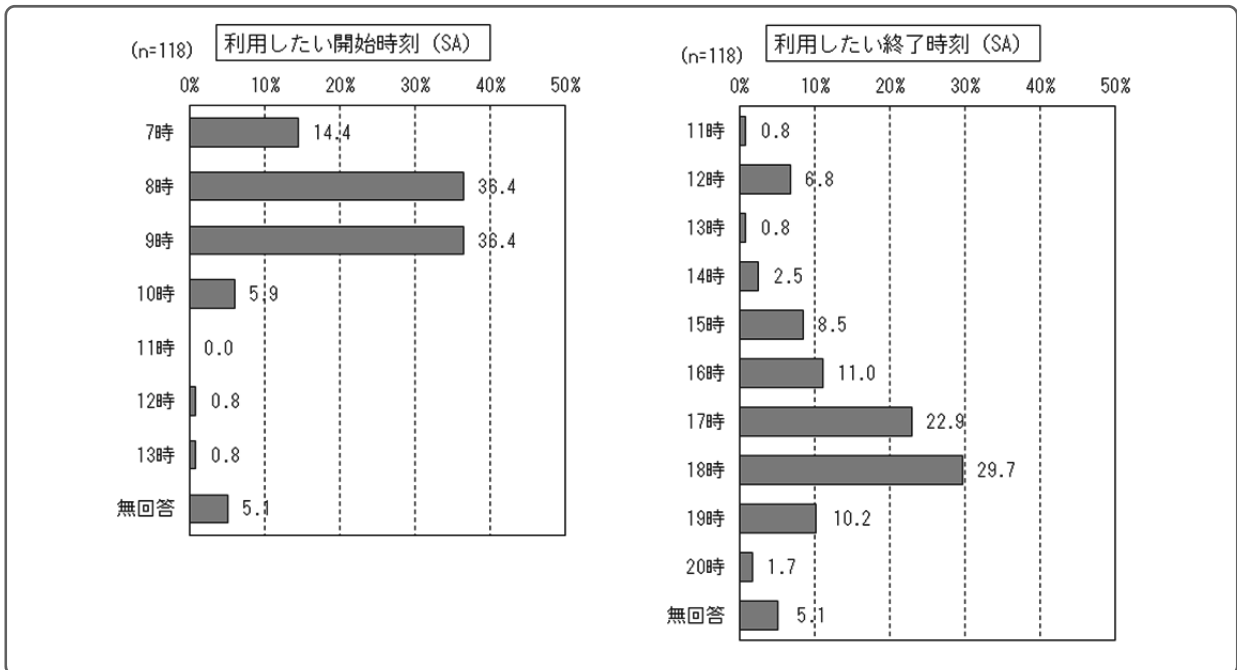
今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、開始時刻は「8時」が増加し「9時」が低下する結果となっています。

また、終了時刻は「17時」が増加する結果となっています。



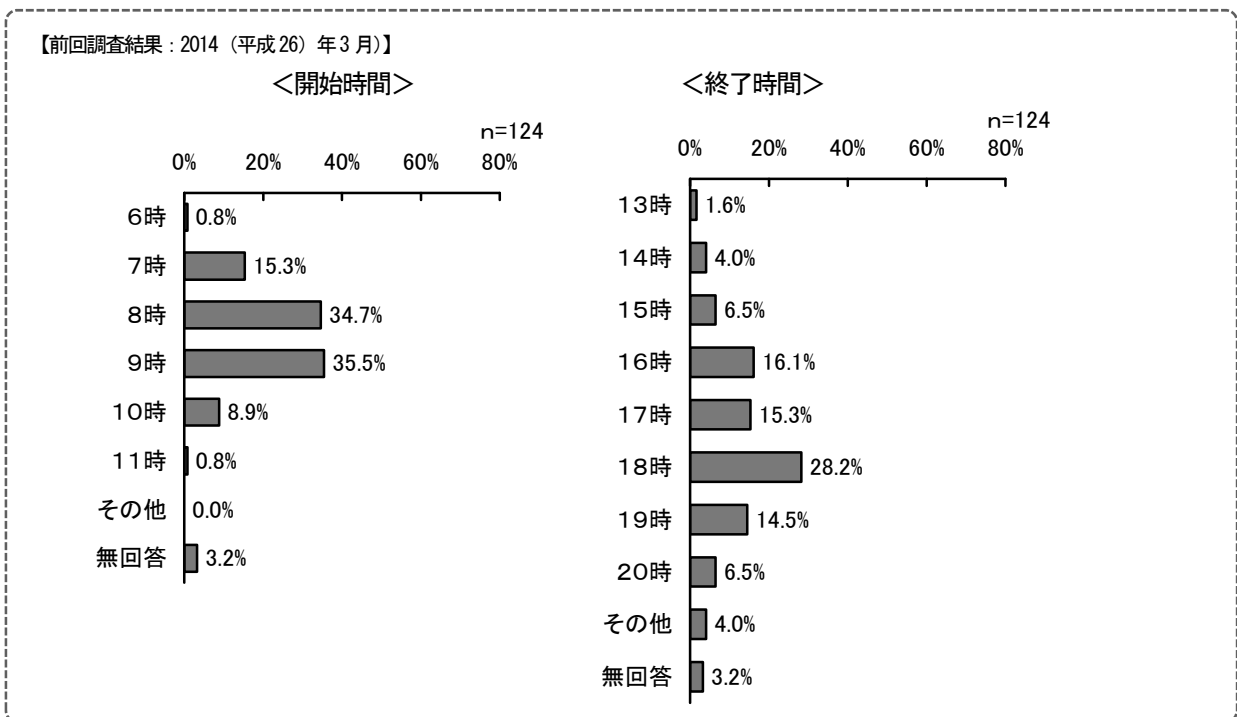
■ 日曜・祝日の利用希望

日曜・祝日の利用について「ほぼ毎週利用したい」、「月に1～2回は利用したい」と回答した人に希望の開始時刻と終了時刻をお聞きしたところ、開始時刻は「8時」及び「9時」が36.4%と最も高く、終了時刻は「18時」が29.7%と最も高くなっています。



今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、開始時刻は「8時」及び「9時」が多少増加する結果となっています。

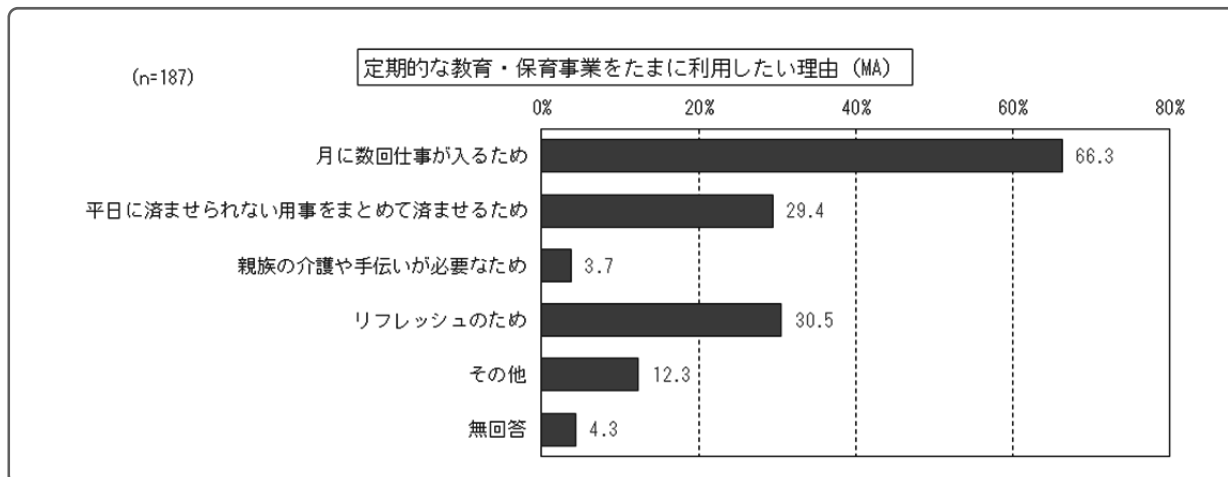
また、終了時刻は「17時」と「18時」が増加する結果となっています。



問18-1 問18の(1)(2)のいずれか、または両方で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方がいます。

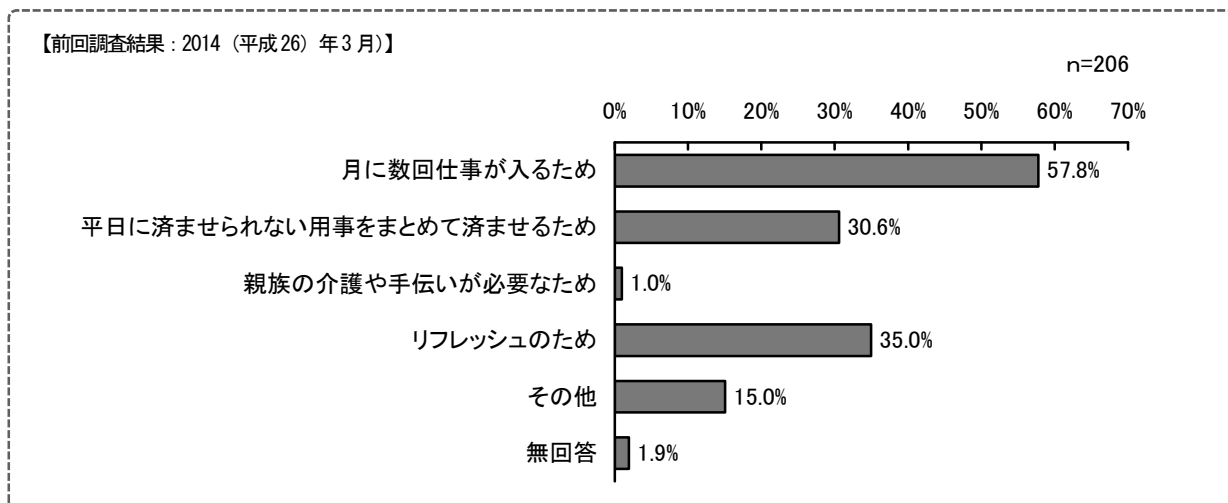
毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

土曜日もしくは日曜・祝日に、月に1～2回は利用したい人にその理由をお聞きしたところ、「月に数回仕事が入るため」が66.3%と最も高くなっています。



今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、「月に数回仕事が入るため」への回答割合が増加する結果となっています。

また、「リフレッシュのため」は、回答割合が低下する結果となっています。



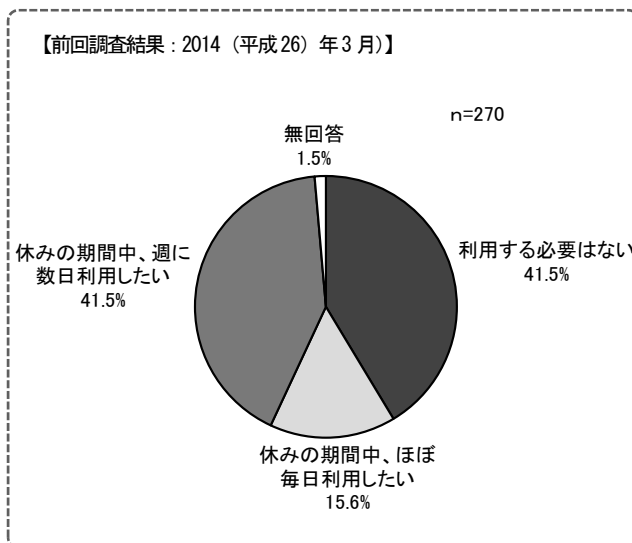
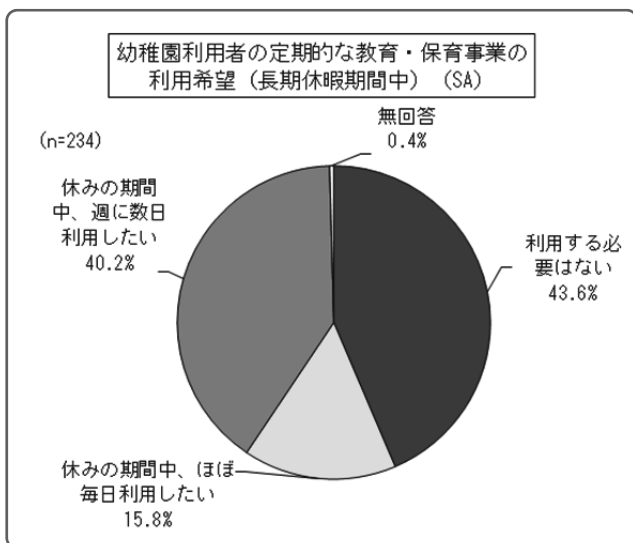
5. 不定期のサービス利用

① 幼稚園利用者の長期休暇中のサービスの利用意向

問 19 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）9時から18時までのように24時間制でご記入ください。なお、この事業の利用には、一定の利用料がかかります。

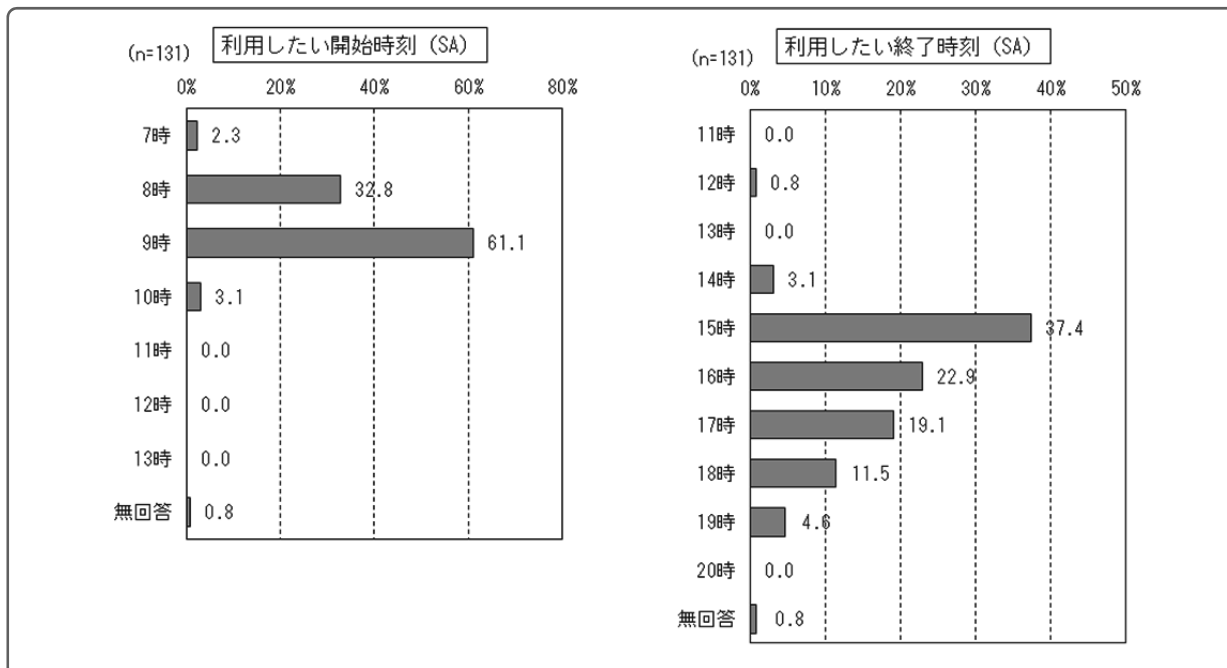
「定期的な教育・保育の事業を利用している」に回答した方のうち、「幼稚園」を選択した方に、夏休みや冬休みなどの長期休暇中の教育・保育の事業の利用希望をお聞きしたところ、「利用する必要はない」への回答割合は43.6%、「休みの期間中、週に数日利用したい」への回答割合は40.2%となっています。

今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、「利用する必要はない」への回答割合が多少増加したものの、大きな差は出ていない結果となっています。

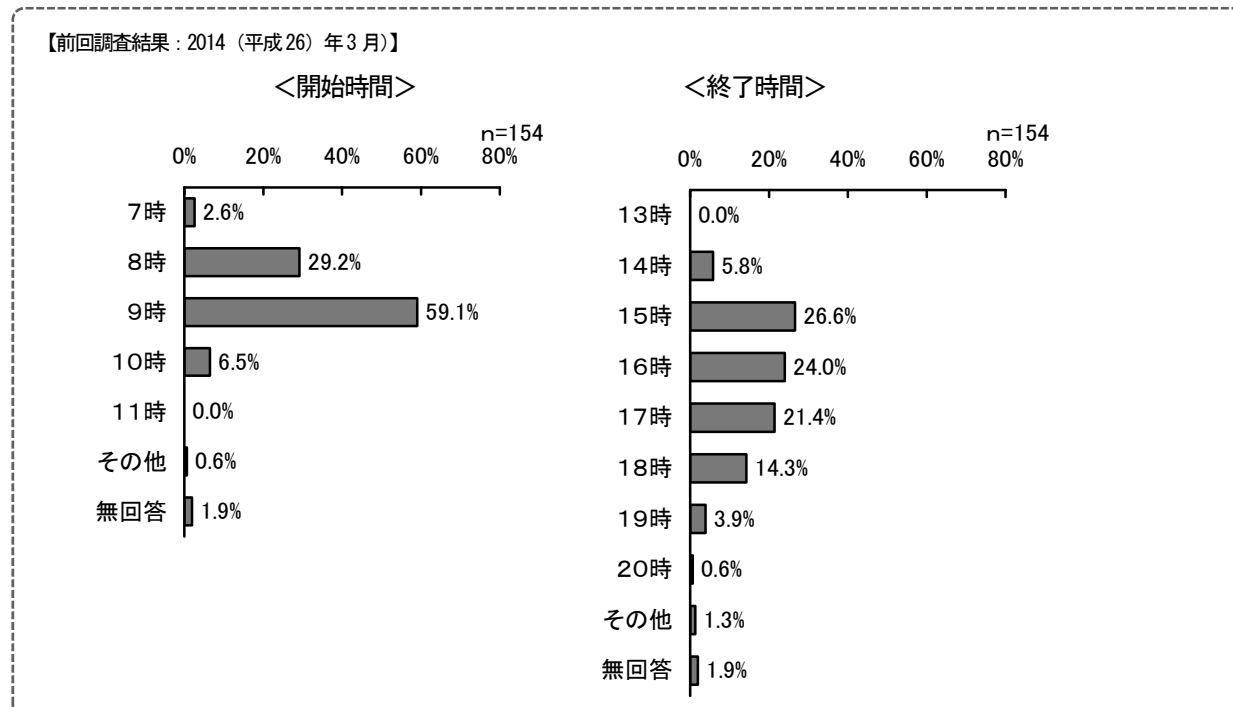


■ 「ほぼ毎日利用したい」、「週に数日利用したい」への回答者の、利用希望時刻

「ほぼ毎日利用したい」、「週に数日利用したい」と回答した方にその利用希望時刻をお聞きしところ、開始時刻は「9時」が61.1%と最も高く、終了時刻は「15時」が37.4%と最も高くなっています。

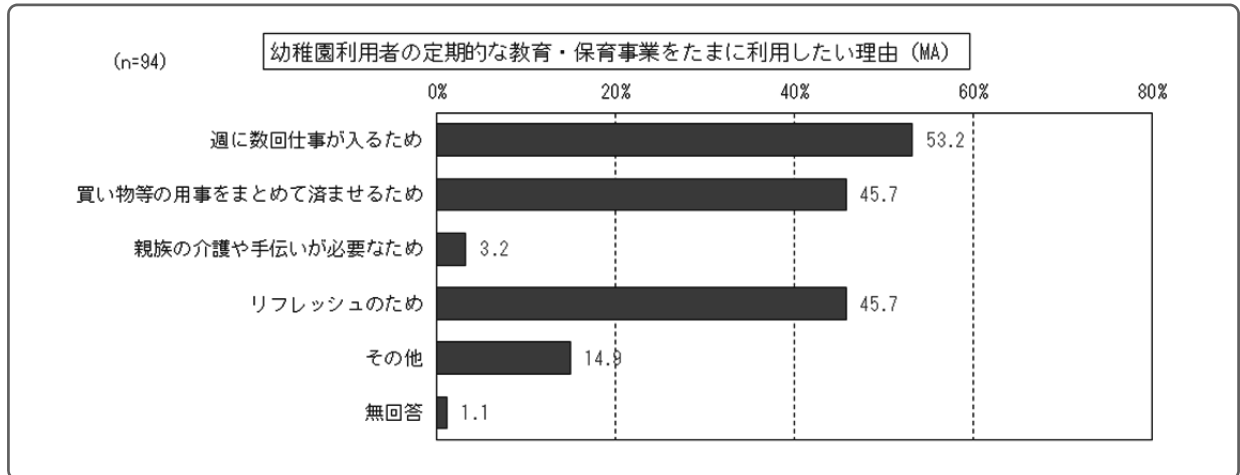


今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、開始時刻は「9時」が多少増加し、終了時刻は「15時」が大きく増加する結果となっています。

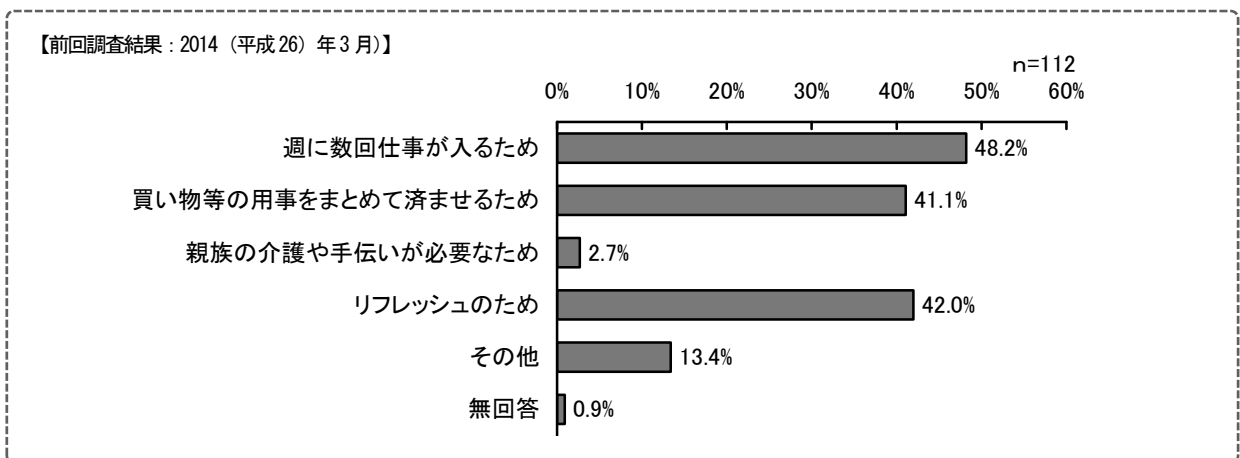


問 19-1 問 19 で、「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

幼稚園を週に数日利用したい方に、その理由をお聞きしたところ、「週に数回仕事が入るため」が53.2%と最も高くなっており、次いで、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」と「リフレッシュのため」がともに45.7%となっています。



今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、「週に数回仕事が入るため」は回答割合が増加しているとともに、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」と「リフレッシュのため」についても、回答割合が増加している結果となっています。



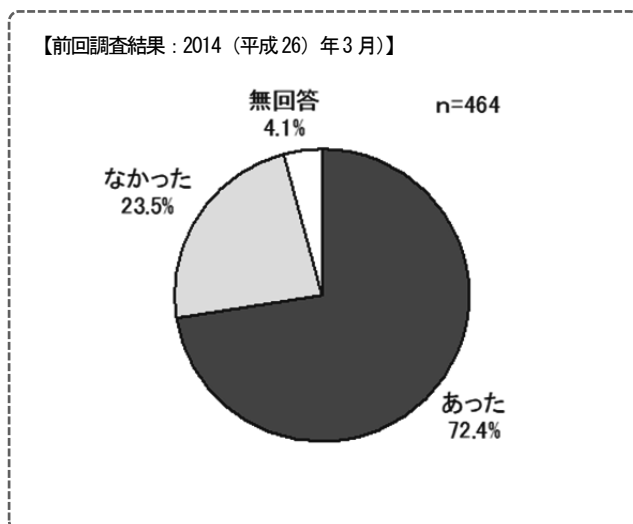
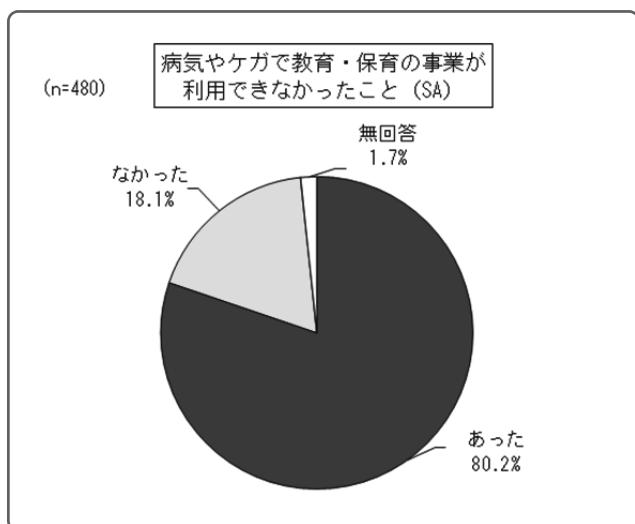
② 緊急時の預かり

問20 平日、幼稚園や保育所などを利用している方にうかがいます。

この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の教育・保育が利用できなかったことはありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

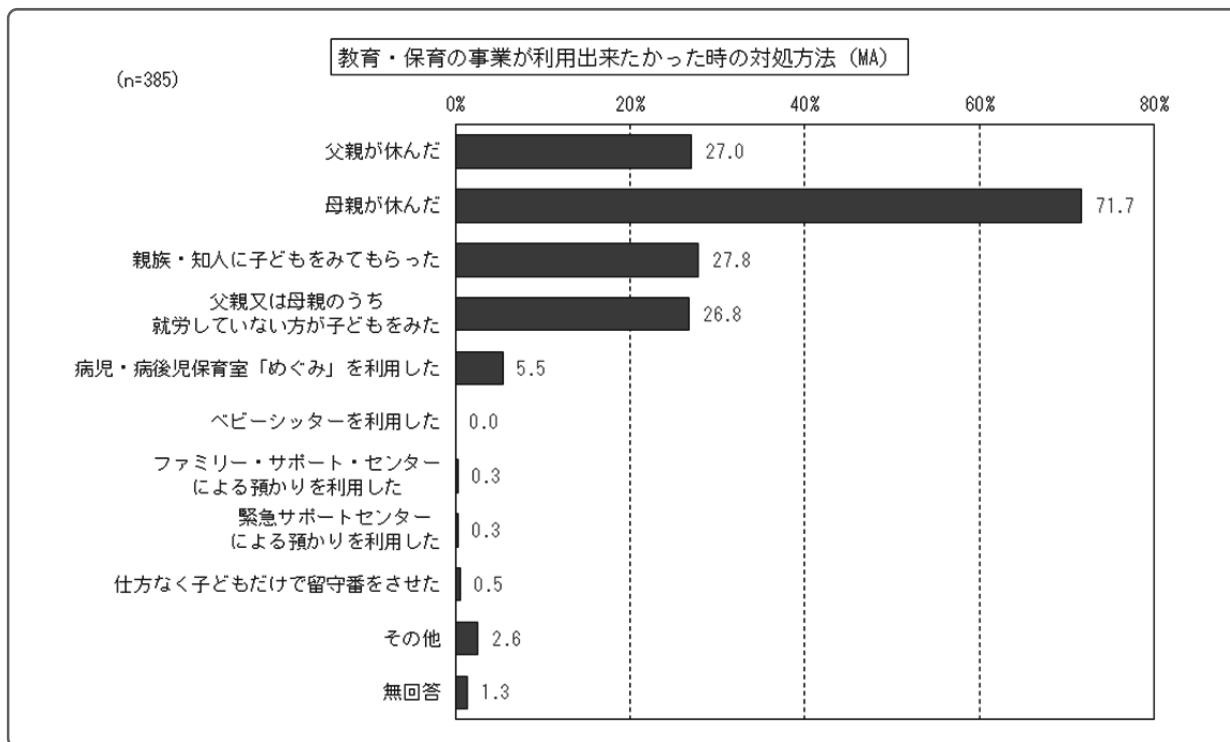
「定期的な教育・保育の事業」を利用している人に、子の病気やケガで通常の教育・保育が利用できなかったことの有無をお聞きしたところ、「あった」と回答した方は80.2%に上っています。

今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、「あった」と回答した方の割合が増加する結果となっています。

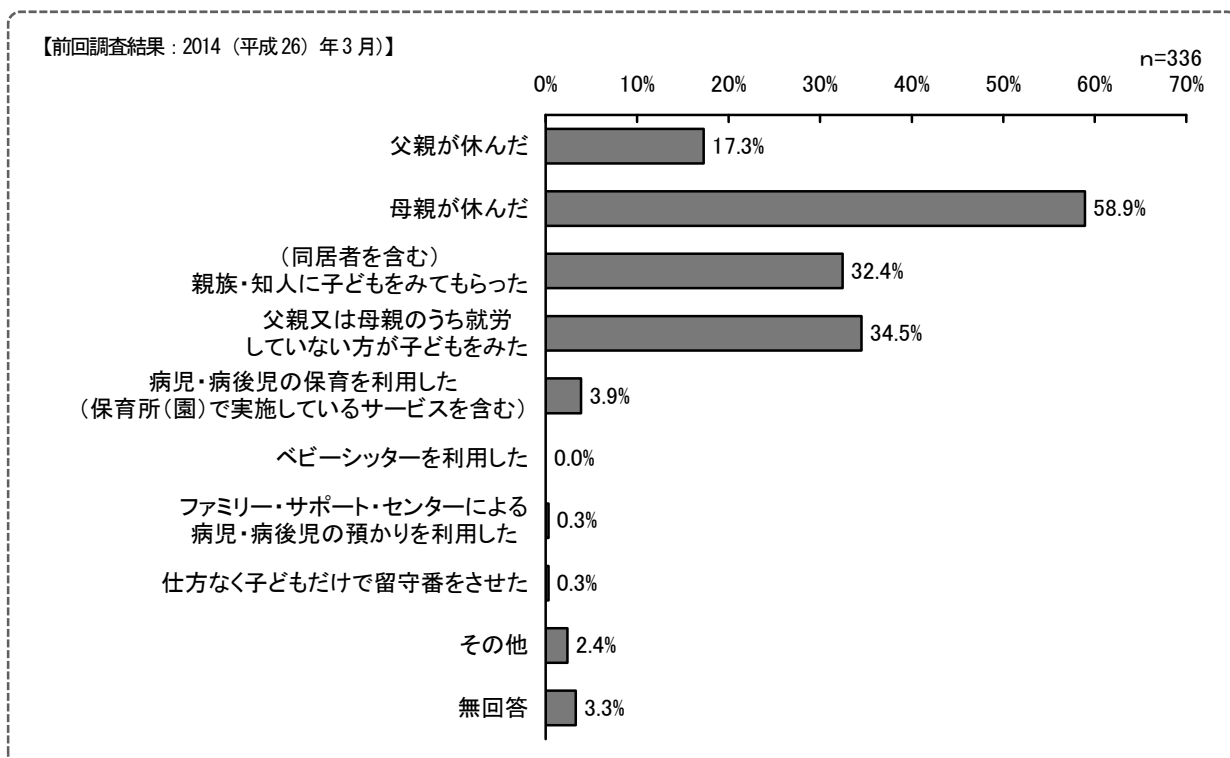


問 20-1 宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）。

子の病気やケガで通常の教育・保育が利用できなかった場合の対処方法をお聞きしたところ、「母親が休んだ」が71.7%と最も高くなっており、次いで、「親族・知人に子どもをみてもらった」が27.8%、「父親が休んだ」が27.0%、「父親又は母親のうち、就労していない方が子どもをみた」が26.8%と続いています。



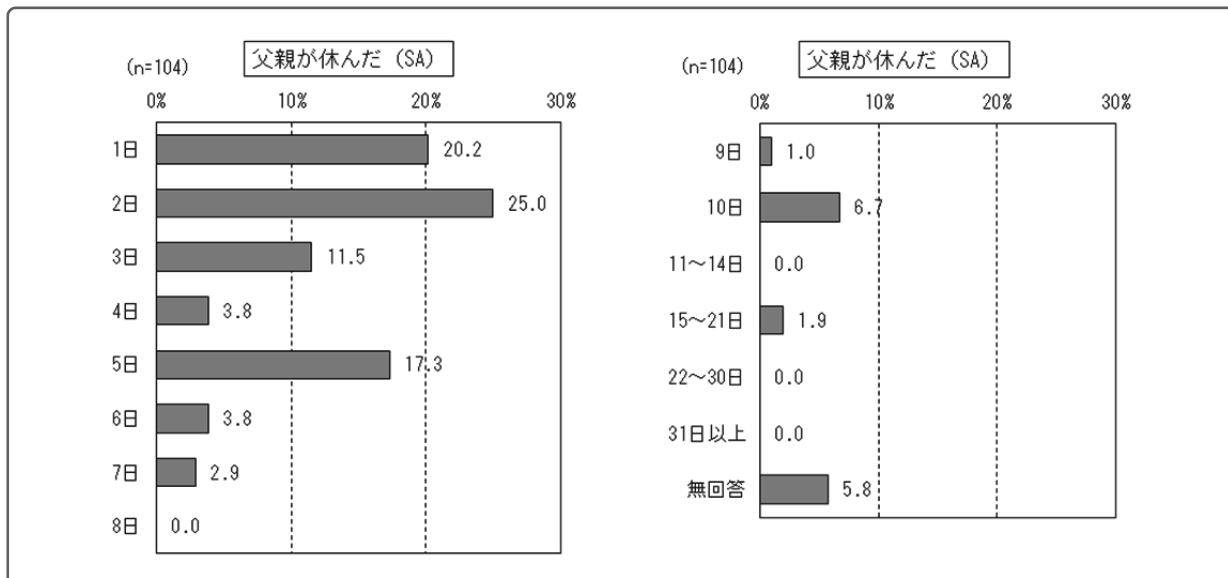
今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、「母親が休んだ」は増加、「父親又は母親のうち、就労していない方が子どもをみた」「親族・知人に子どもをみてもらった」がいずれも低下し、その一方で、「父親が休んだ」の回答割合が増加する結果となっています。



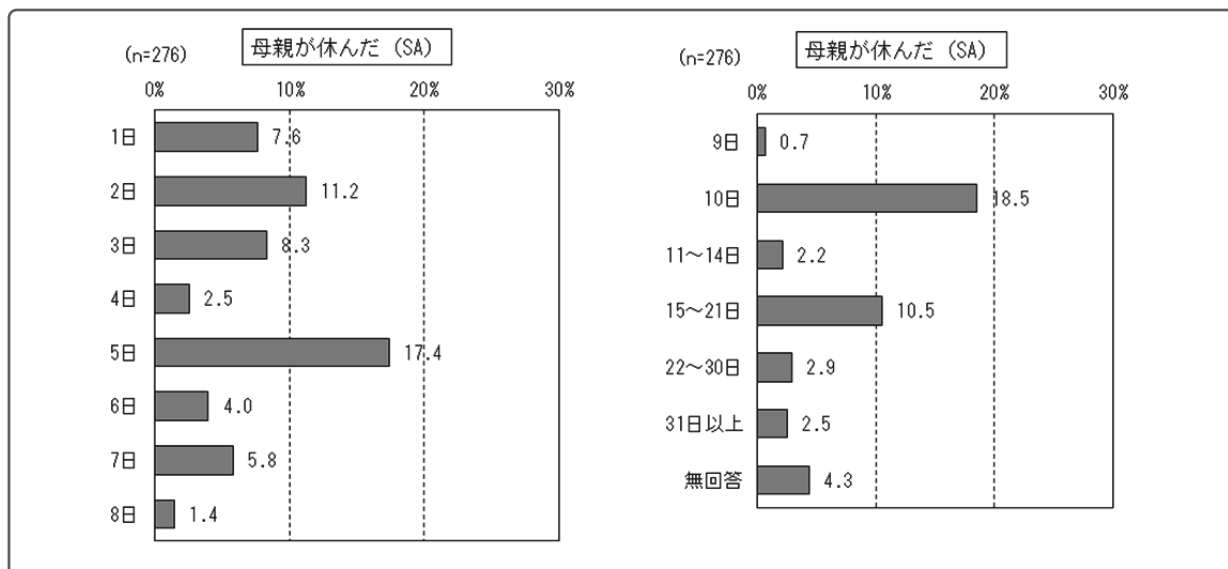
■ 対処方法の日数

子の病気やケガで通常の教育・保育が利用できなかったことが「あった」人に、どのような対処を何日ずつそれぞれの対処方法を行ったかを記入していただいたところ、以下の結果となりました。

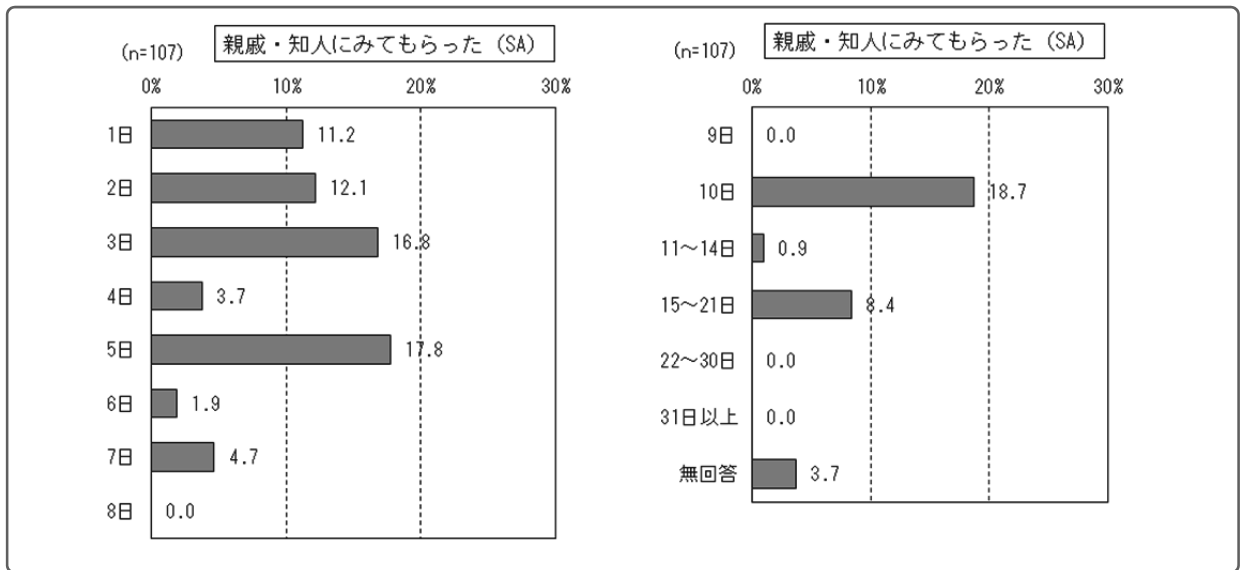
「父親が休んだ」では「2日」への回答割合が25.0%と最も高く、次いで「1日」が20.2%、「5日」が17.3%と続いています。



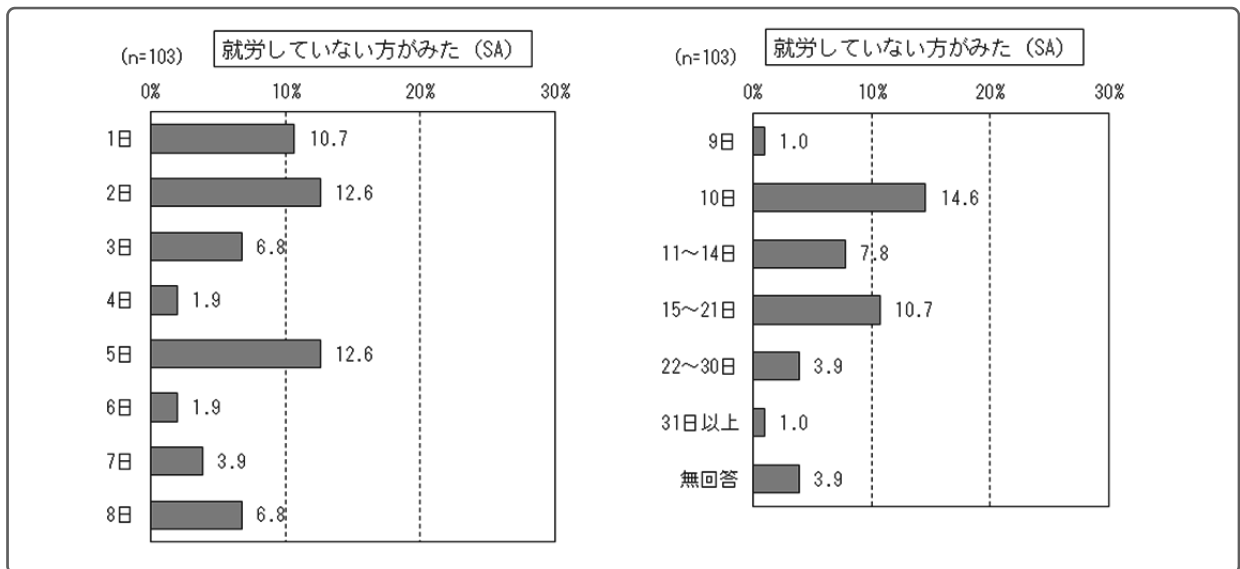
「母親が休んだ」では「10日」への回答割合が18.5%と最も高く、次いで「5日」が17.4%、「2日」が11.2%、「15~21日」が10.5%と続いています。



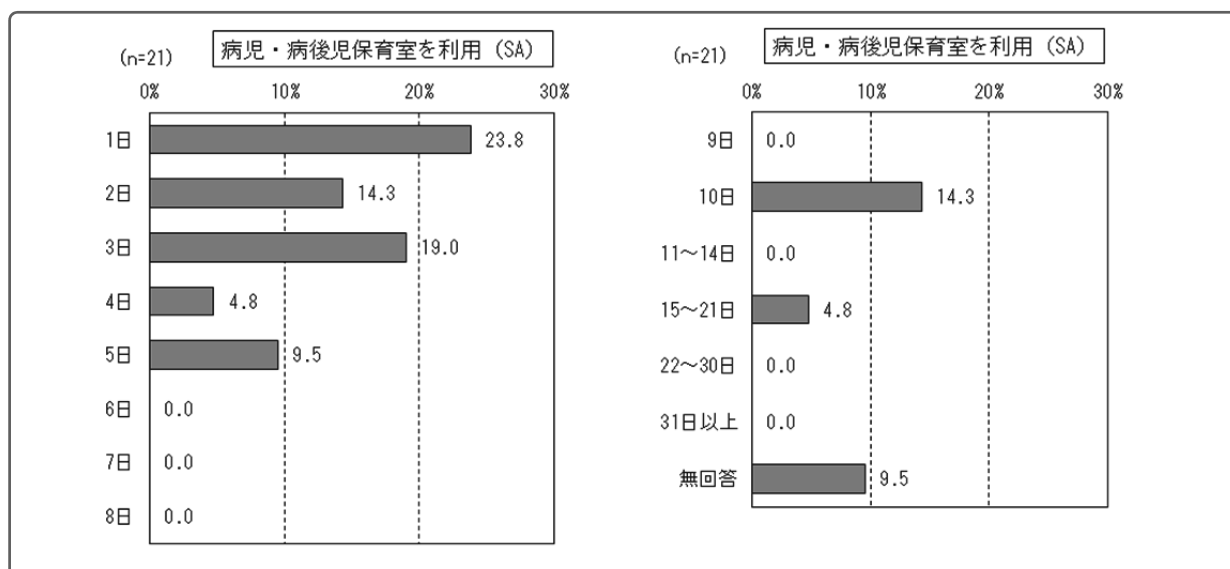
「親戚・知人にみてもらった」では「10日」への回答割合が18.7%と最も高く、次いで「5日」が17.8%、「3日」が16.8%、「2日」が12.1%、「1日」が11.2%と続いています。



「就労していない方がみた」では「10日」への回答割合が14.6%と最も高く、次いで「2日」と「5日」が12.6%、「1日」と「15~21日」が10.7%と続いています。



「病児・病後児保育室を利用」では「1日」への回答割合が23.8%と最も高く、次いで「3日」が19.0%、「2日」及び「10日」が14.3%と続いています。



※なお、「ベビーシッター」の回答者は0名、「ファミリー・サポート・センターによる預かりを利用した」の回答者は1名、「緊急サポートセンターによる預かりを利用した」の回答者は1名、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」の回答者は2名、「その他」の回答者は10名であったことから、グラフ化はしていません。

10日以上の長い期間の対処方法が取られたとの回答があったのは「母親が休んだ」、「親族等にみてもらった」、「就労していないほうが見た」の4項目で、いずれも身内による対応となっています。

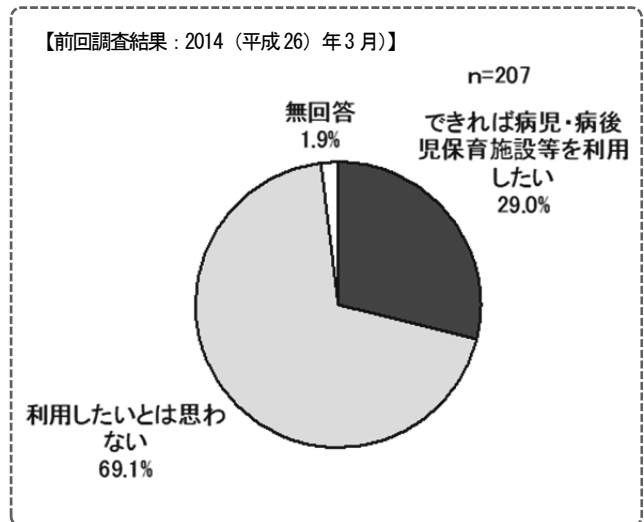
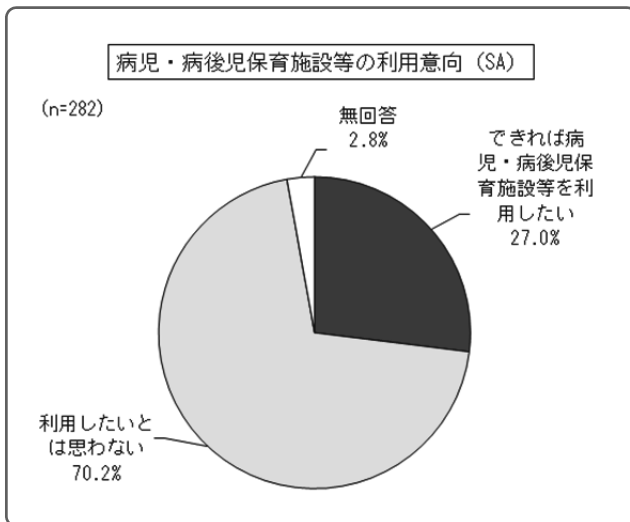
問20-2 問20-1で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください。

なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。〔保育料：0～2,000円程度〕

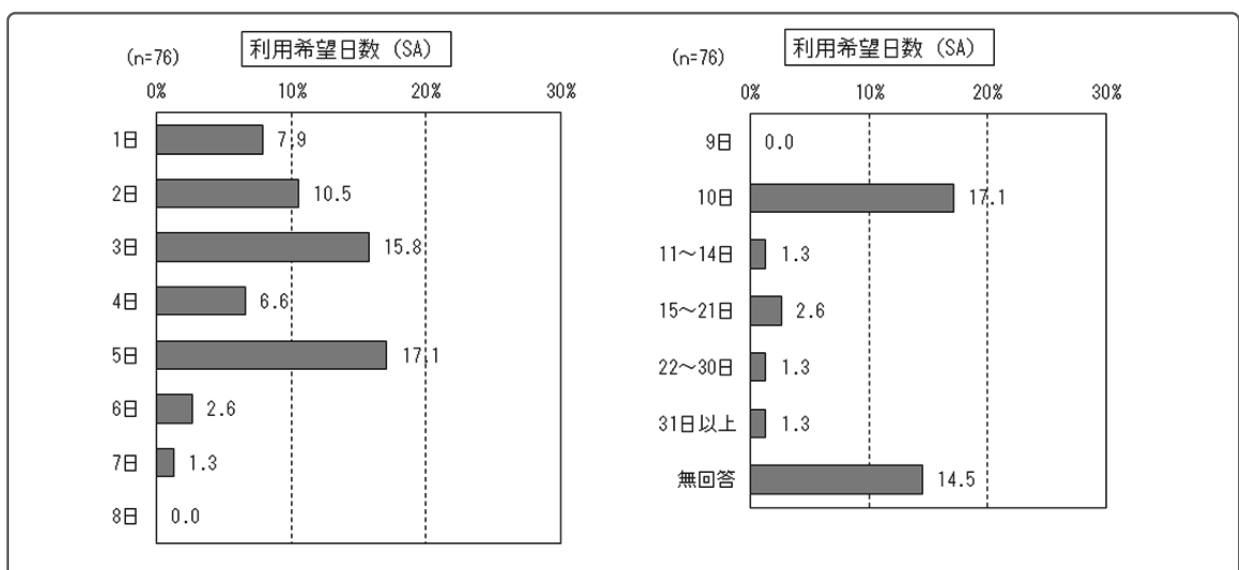
「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」かをお聞きしたところ、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」への回答割合は27.0%にとどまる一方、「利用したいとは思わない」への回答割合は70.2%に上る結果となっています。

今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、その回答結果に大きな違いはあらわれていない結果となっています。

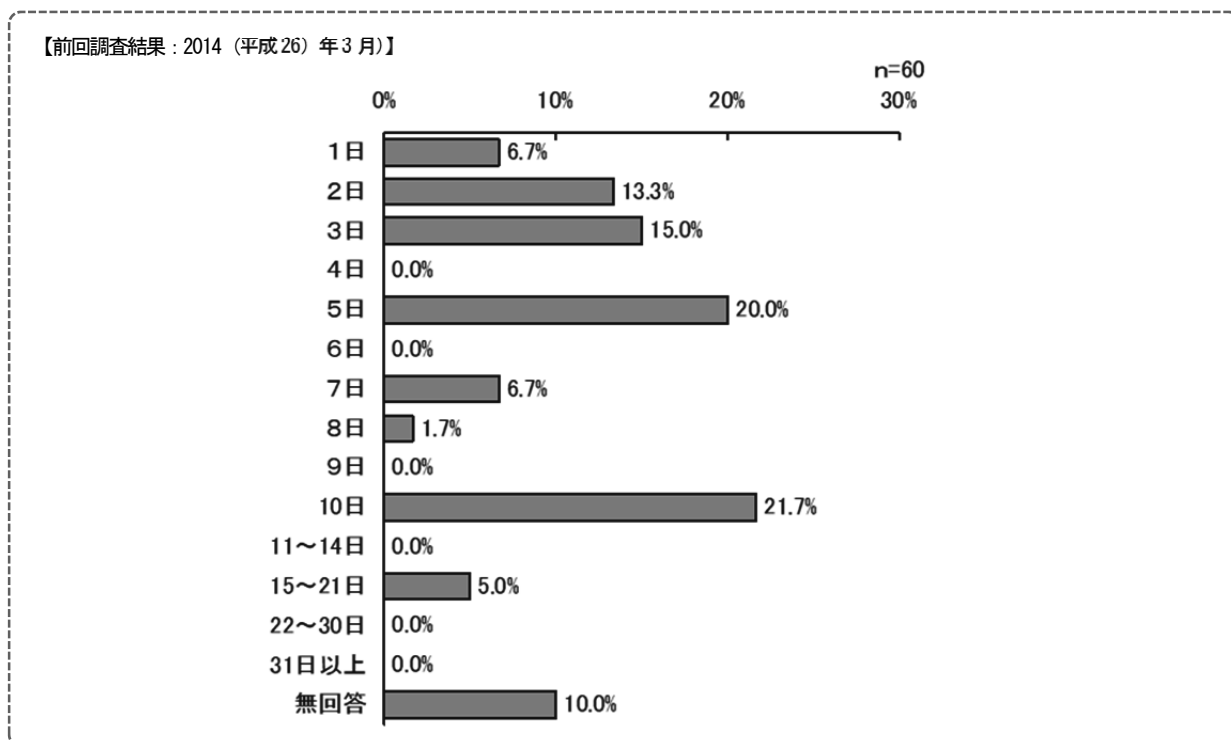


■ 利用したい日数

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」へ回答した方に、その利用希望日数をお聞きしたところ、「5日」と「10日」が17.1%と最も高く、次いで、「3日」が15.8%、「2日」が10.5%と続いています。

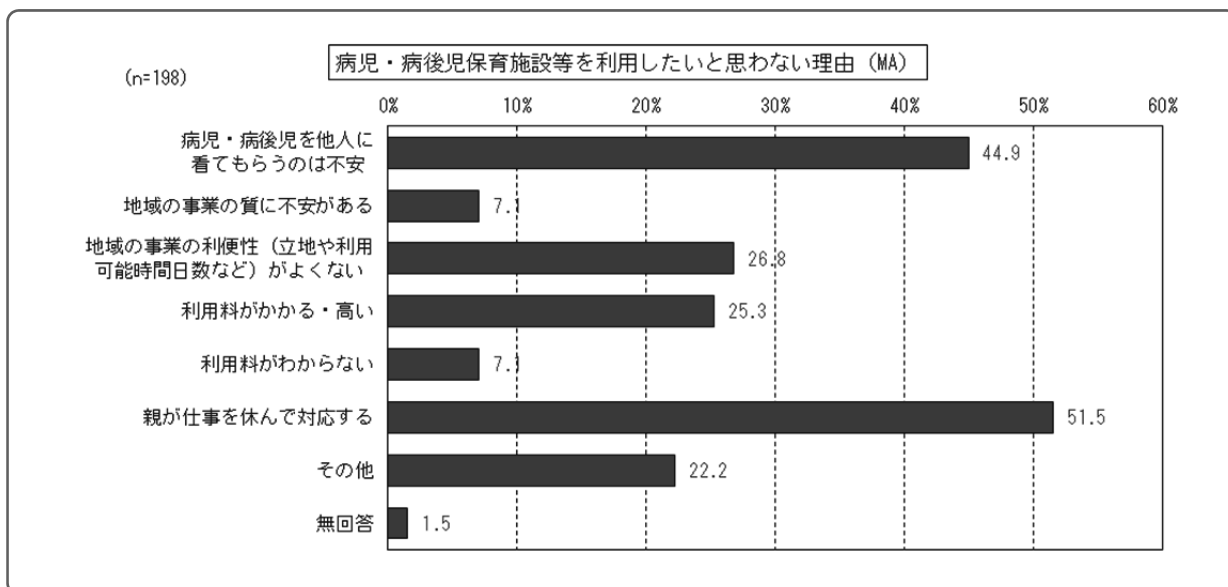


今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、その回答傾向に大きな違いはあらわれていませんが、「1日」から「10日」までの間で増加または多少増加したのは「1日」、「3日」、「4日」、「6日」で、「2日」、「5日」、「7日」、「8日」、「10日」は多少減少する結果となっています。

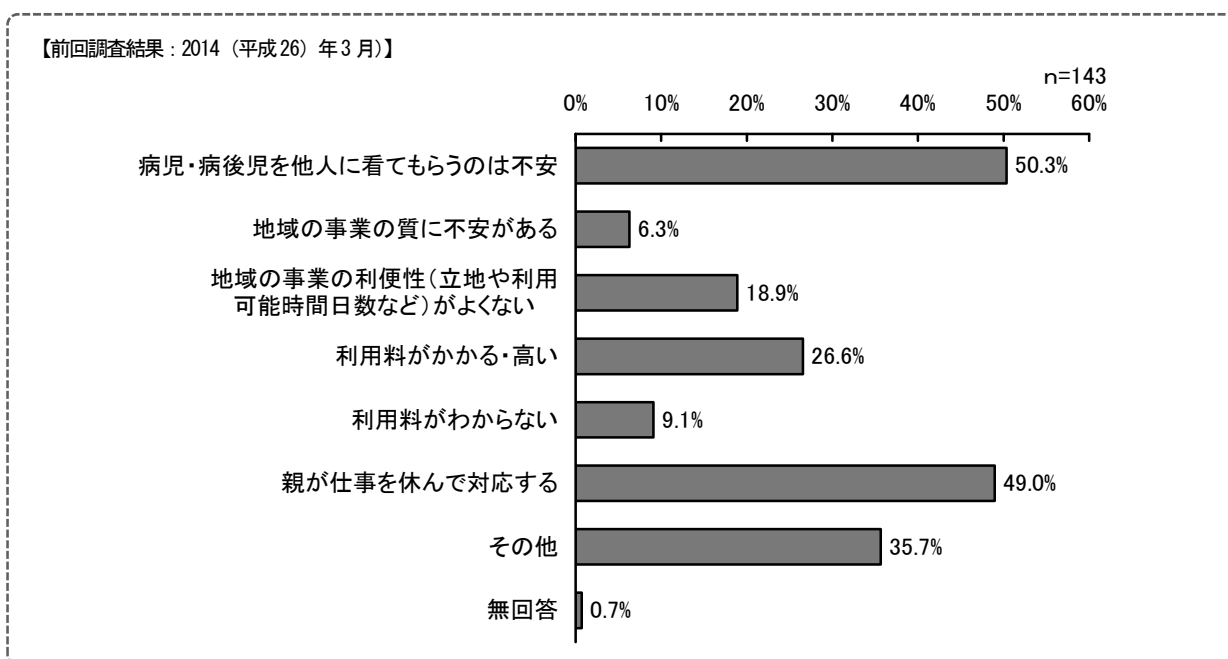


問 20-3 問 20-2 で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方にかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

病児・病後児保育施設等を「利用したいと思わない理由」をお聞きしたところ、「親が休んで対応をする」が 51.5%と最も高く、次いで、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が 44.9%、「地域の事業の利便性（立地や利用可能時間日数など）がよくない」が 26.8%、「利用料がかかる・高い」が 25.3%と続いています。



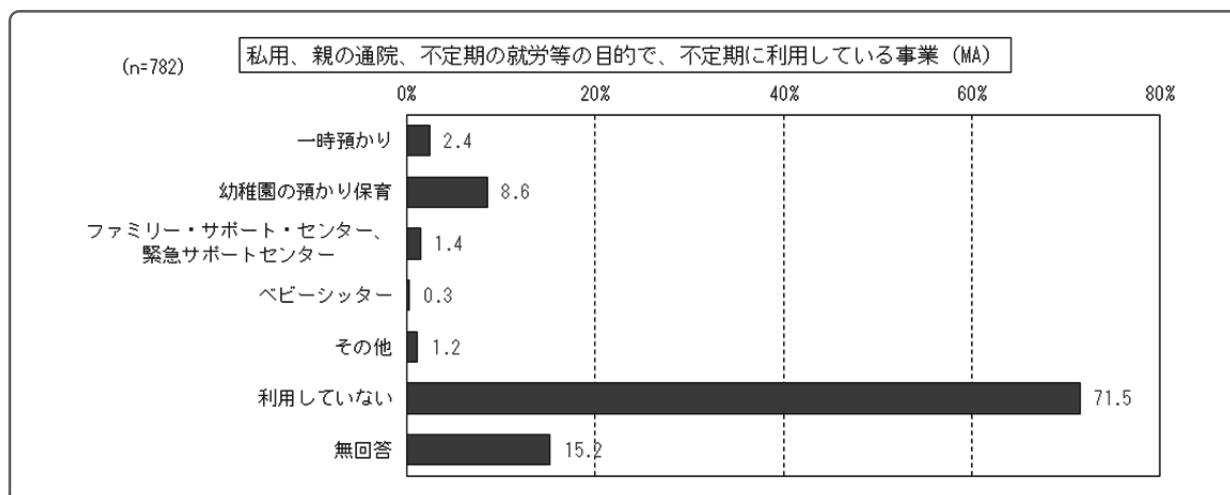
今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」への回答割合は低下した一方、「地域の事業の利便性（立地や利用可能時間日数など）がよくない」への回答割合は増加する結果となっています。



③ 不特定の事業の利用

問 21 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください。

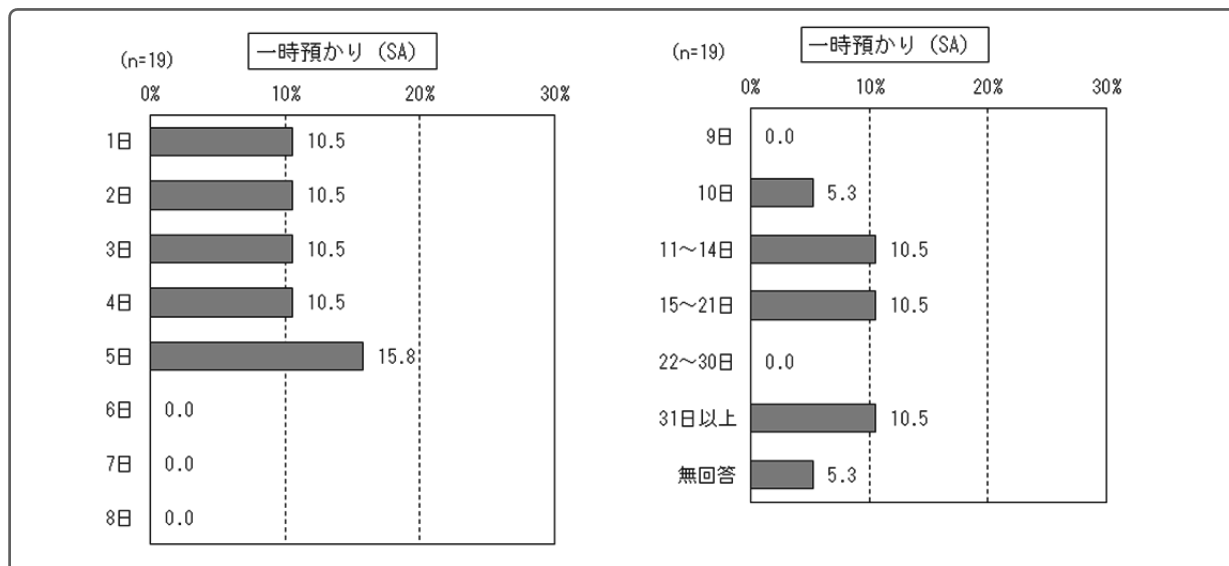
日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業についてお聞きしたところ、「利用していない」への回答割合が高くなっていますが、それ以外では「幼稚園の預かり保育」が8.6%、「一時預かり」が2.4%となっています。



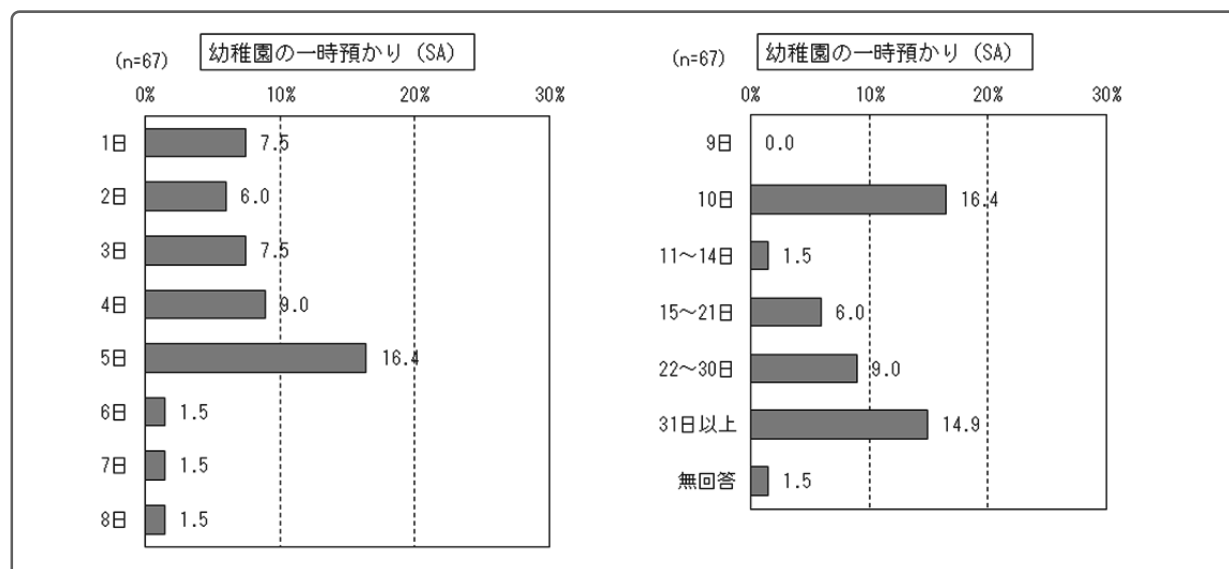
■それぞれの事業の利用状況

不定期に利用しているそれぞれの事業ごとに利用している日数を記入していただいたところ、以下の結果となりました。

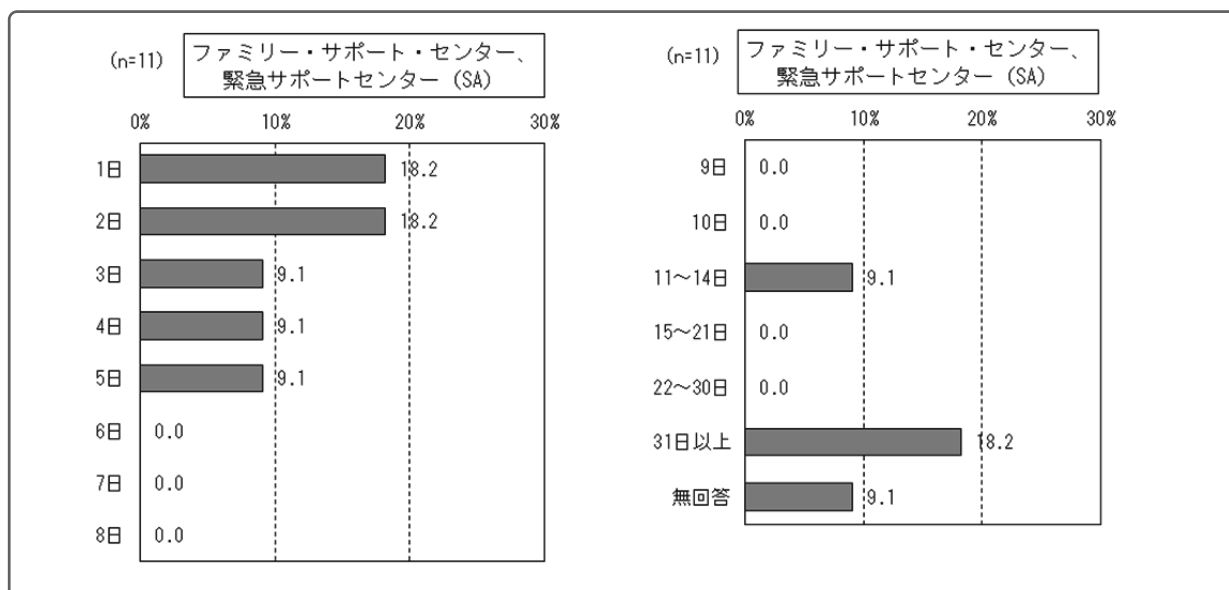
「一時預かり」では「5日」への回答割合が15.8%と最も高く、「1日」、「2日」、「3日」、「4日」、「11～14日」、「15～21日」、「31日以上」がいずれも10.5%となっています。



「幼稚園の一時預かり」では「5日」及び「10日」への回答割合が16.4%と最も高く、次いで、「31日以上」が14.9%、「4日」及び「22～30日」が9.0%と続いています。



「ファミリー・サポート・センター、緊急サポートセンター」では、「1日」、「2日」及び「31日以上」が18.2%となっています。



※なお、「ベビーシッター」の回答者は2名、「その他」の回答者は9名であったことから、グラフ化はしていません。

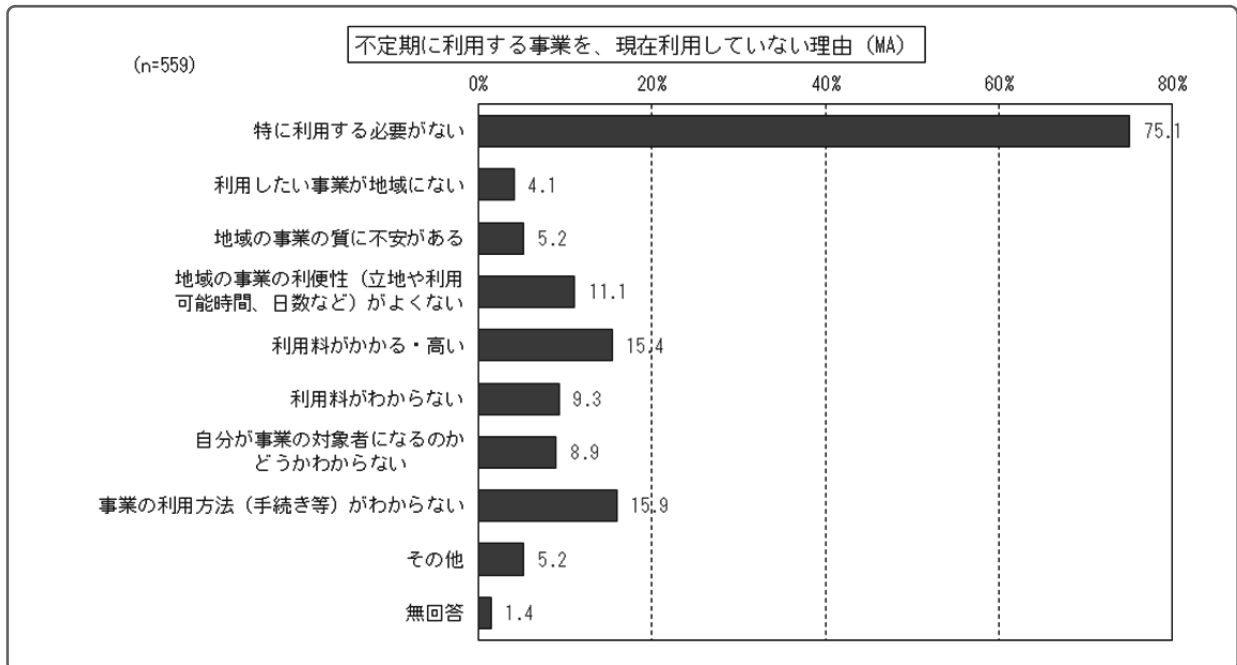
【前回調査結果：2014（平成26）年3月】

(単位：%)	一時預かり (n=27)	幼稚園の 預かり保育 (n=85)	ファミリー・ サポート・ センター (n=5)	ベビー シッター (n=0)	その他 (n=2)
1日	25.9	7.1	20.0	0.0	0.0
2日	18.5	15.3	20.0	0.0	0.0
3日	14.8	20.0	0.0	0.0	50.0
4日	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0
5日	0.0	16.5	0.0	0.0	0.0
6日	7.4	3.5	0.0	0.0	0.0
7日	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0
8日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
9日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10日	11.1	15.3	40.0	0.0	0.0
11~14日	0.0	3.5	0.0	0.0	0.0
15~21日	11.1	2.4	20.0	0.0	50.0
22~30日	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0
31日以上	11.1	4.7	0.0	0.0	0.0
日数無回答	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0

問21-1 問21で「6. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

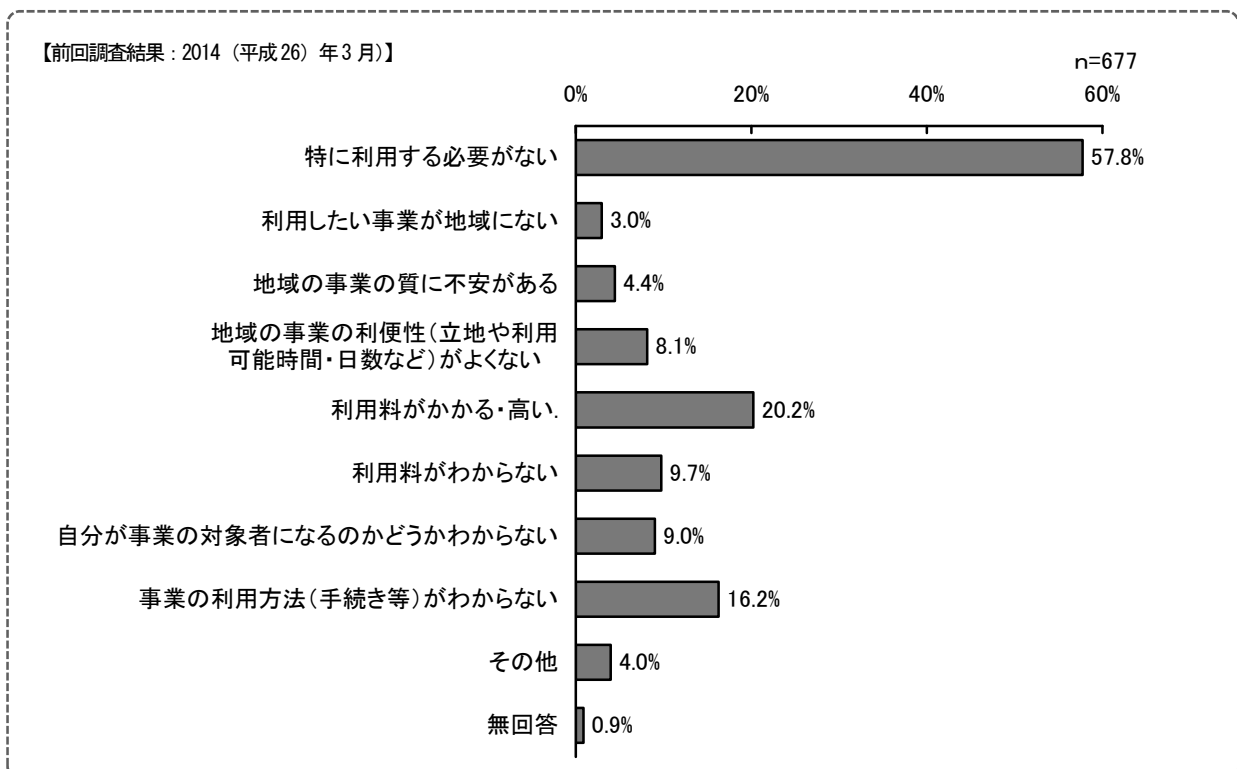
現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

不定期に利用している事業を「利用していない」と回答した方に、その理由についてお聞きしたところ、「特に利用する必要がない」が75.1%と最も高く、次いで、「事業の利用方法(手続き等)が分からない」が15.9%、「利用料がかかる・高い」が15.4%と続いています。



今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、回答割合の高い「特に利用する必要がない」が大きく増加しています。

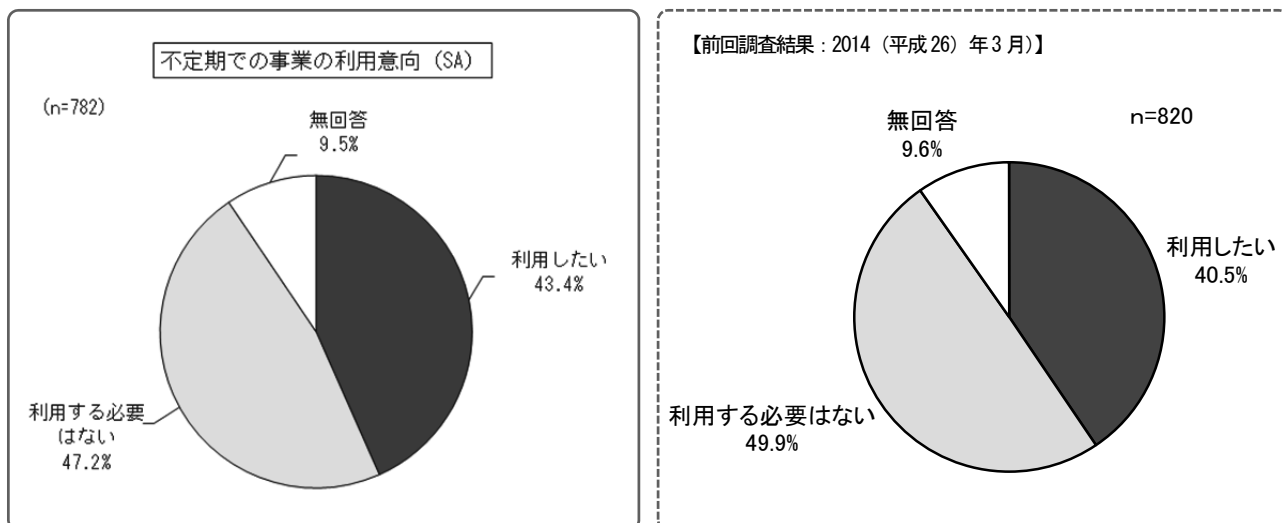
一方、「事業の利用方法(手続き等)が分からない」は僅かに低下し、「利用料がかかる・高い」も低下しています。



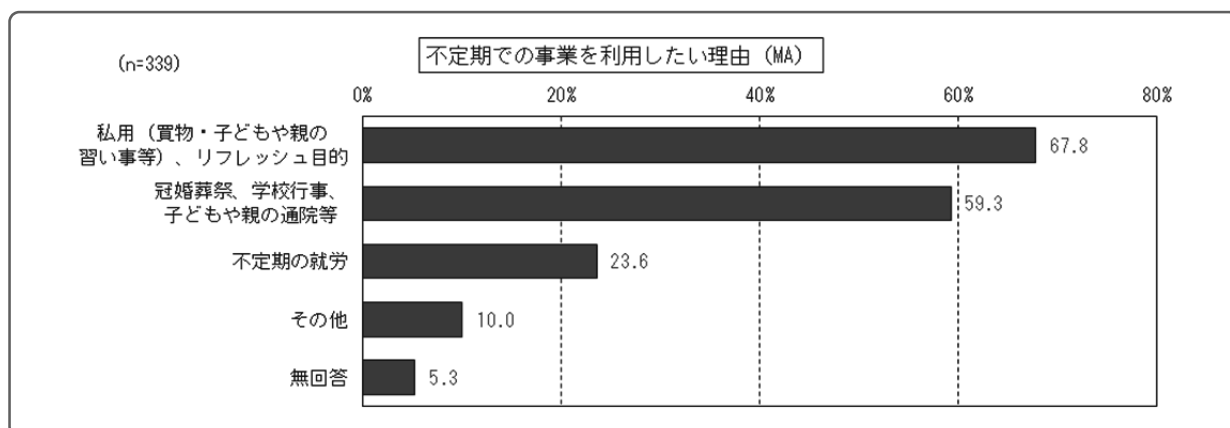
④ 不定期での事業の利用意向

問 22 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください）。

私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、不定期での事業の利用意向をお聞きしたところ、「利用したい」が43.4%、「利用する必要はない」が47.2%となっています。



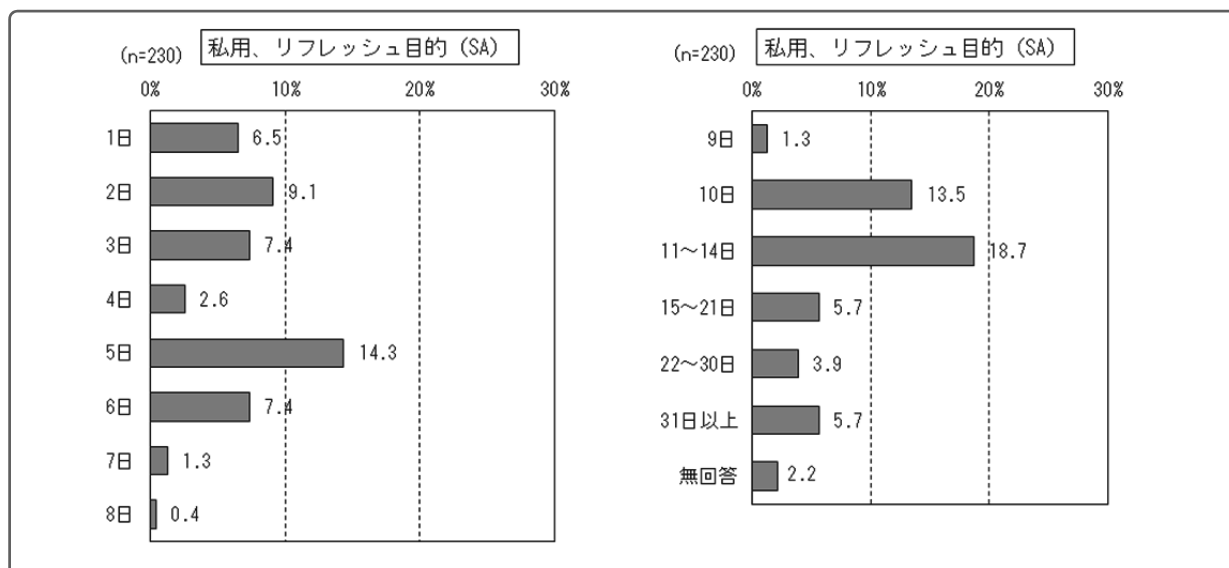
また、不定期での事業を利用したい理由は、「私用（買物・子どもや親の習い事等）、リフレッシュ目的」が67.8%、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が59.3%、「不定期の主労就労」が23.6%となっています。



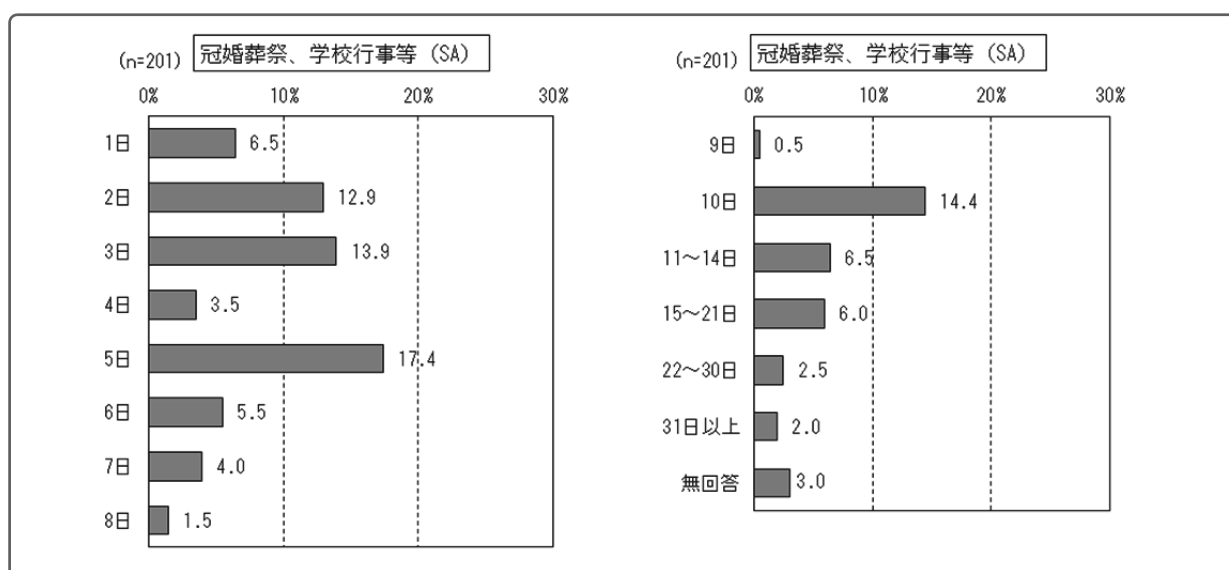
■ 利用したい理由の日数

利用したい理由について必要な日数を記入していただいたところ、以下の結果となりました。

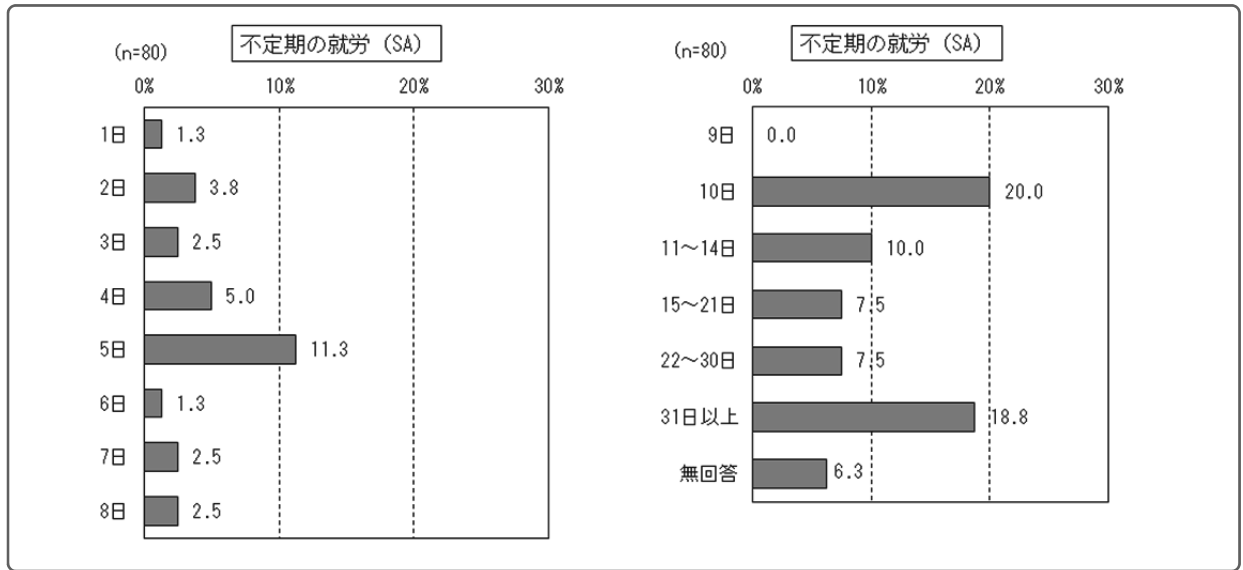
「私用（買物・子どもや親の習い事等）、リフレッシュ目的」では、「11～14日」への回答割合が18.7%と最も高く、「5日」が14.3%、「10日」が13.5%と続いています。



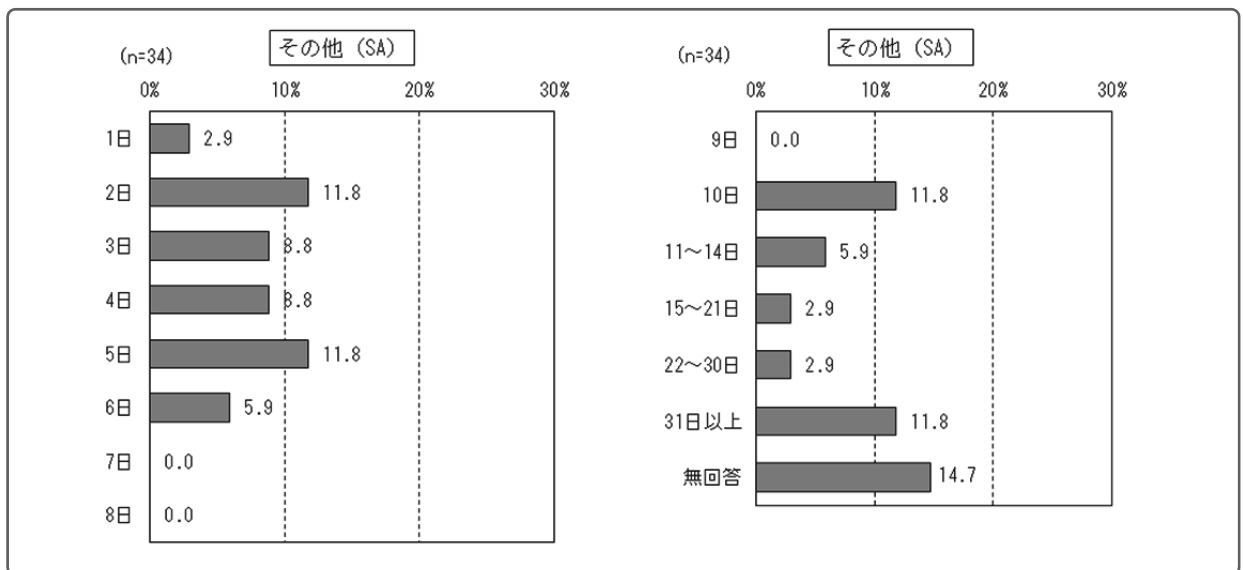
「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」では、「5日」が17.4%と最も高く、「10日」が14.4%、「3日」が13.9%、「2日」が12.9%と続いています。



「不定期の就冠就労」では、「10日」への回答割合が20.0%と最も高く、「31日以上」が18.8%、「5日」が11.3%と続いています。



「その他」では、無回答を除き、「2日」、「5日」、「10日」及び「31日以上」がともに11.8%となっています。



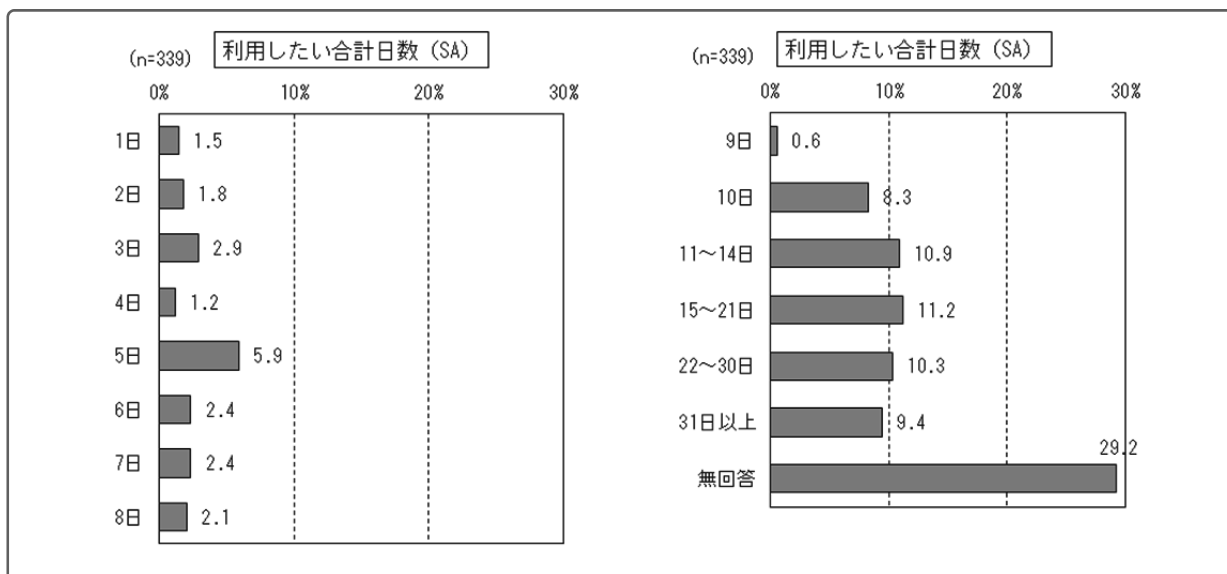
【前回調査結果：2014（平成26）年3月】

(n=332) (単位：%)	私用、 リフレッシュ 目的	冠婚葬祭、 学校行事、 子どもや親の 通院 等	不定期の就労	その他
1日	1.5	2.7	0.3	-
2日	5.1	3.3	0.9	-
3日	6.9	6.9	1.2	0.6
4日	2.1	0.6	-	-
5日	9.3	14.5	3.3	0.6
6日	2.4	2.7	0.6	-
7日	1.5	3.6	0.3	-
8日	0.9	0.6	0.6	-
9日	-	-	-	-
10日	11.1	12.7	4.8	0.9
11～14日	15.4	3.3	2.1	-
15～21日	5.7	5.1	2.1	0.3
22～30日	4.5	1.5	4.5	-
31日以上	4.2	0.6	6.0	0.3

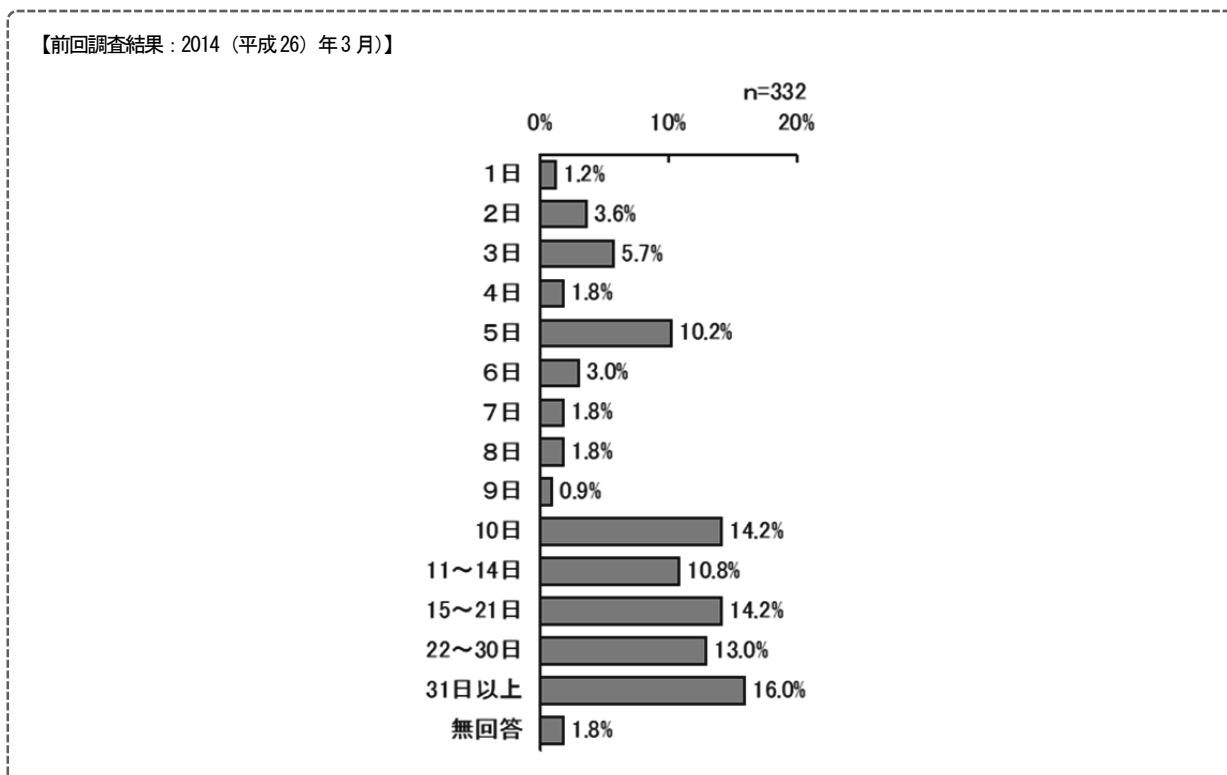
※回答者数が0人のところは「-」となっています。

■ 利用したい全体の日数

利用したい全体の日数としては、無回答を除き、「15～21日」が11.2%と最も高くなっており、次いで、「11～14日」が10.9%、「22～30日」が10.3%、「31日以上」が9.4%と続いています。



今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、「10日」以上への回答割合が高い傾向に変わりはありませんが、「5日」への回答割合は低下しています。

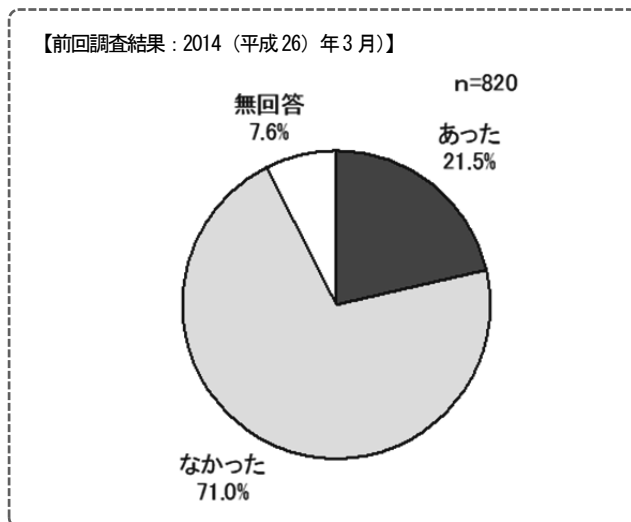
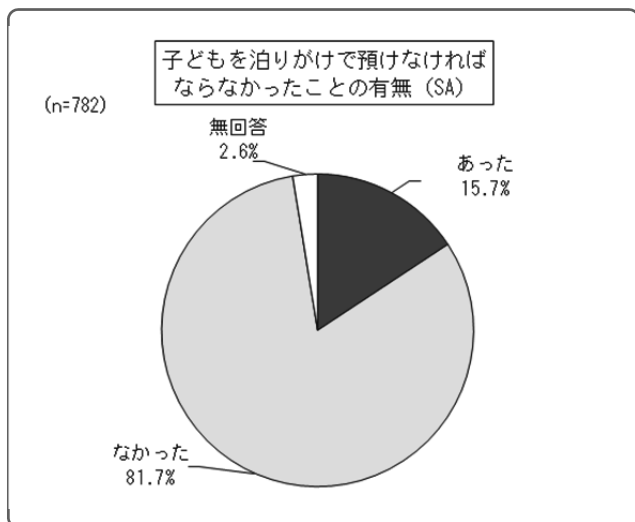


⑤ 宿泊が必要なサービスの利用意向

問 23 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。
 あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号と記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。

この1年間で、保護者の用事により子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことについて、「あった」と回答した方は15.7%、「なかった」と回答した方は81.7%でした。

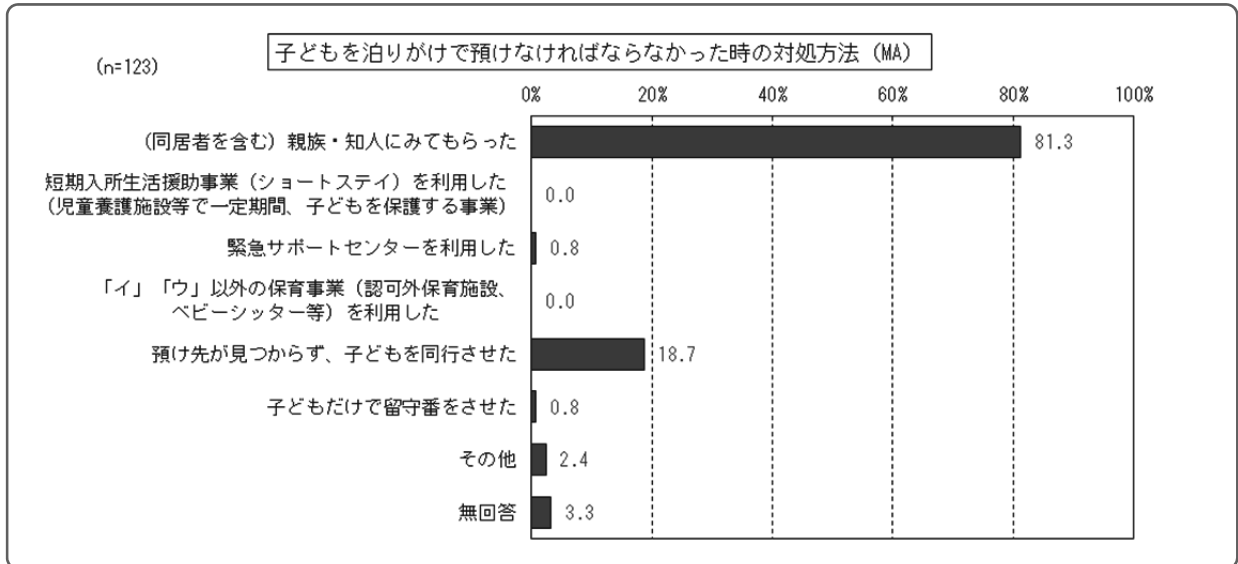
今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、「あった」が低下する結果となっています。



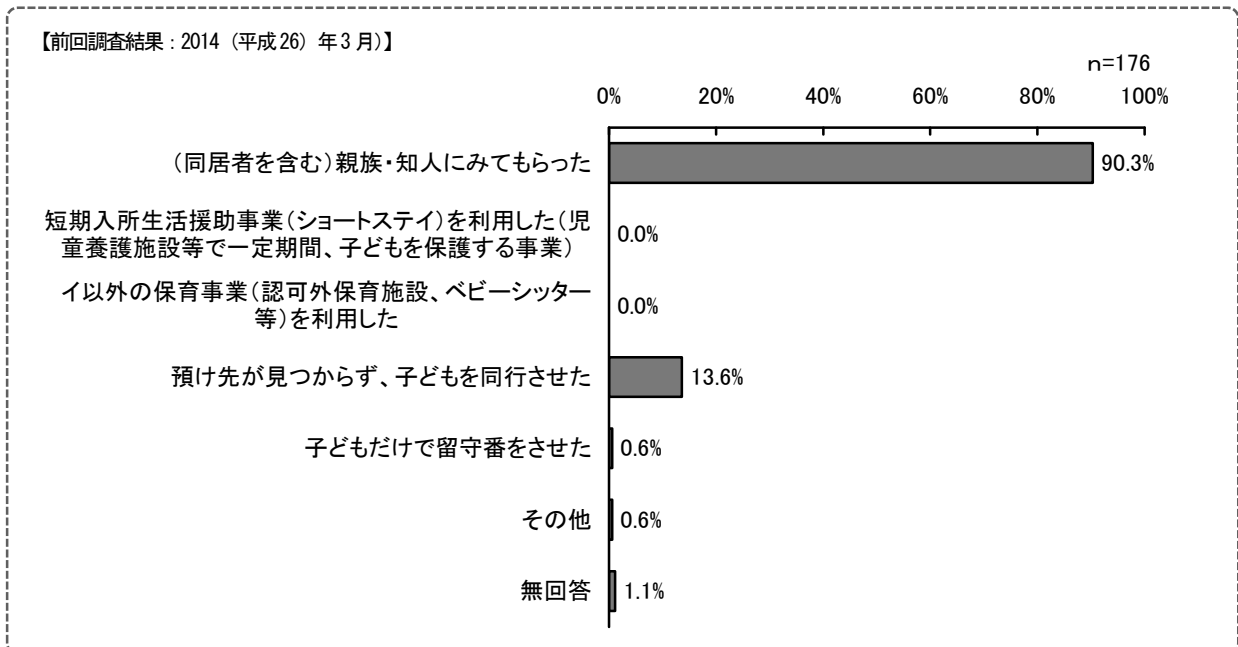
■対処方法

この1年間で、保護者の用事により子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった時の対処方法は、「親族・知人に見てもらった」への回答が81.3%と最も高く、全体の8割を超える結果となっています。

次いで、「預け先が見つからず、子どもを同行させた」が18.7%となっており、ほぼこの二つの選択肢に回答が集中しています。



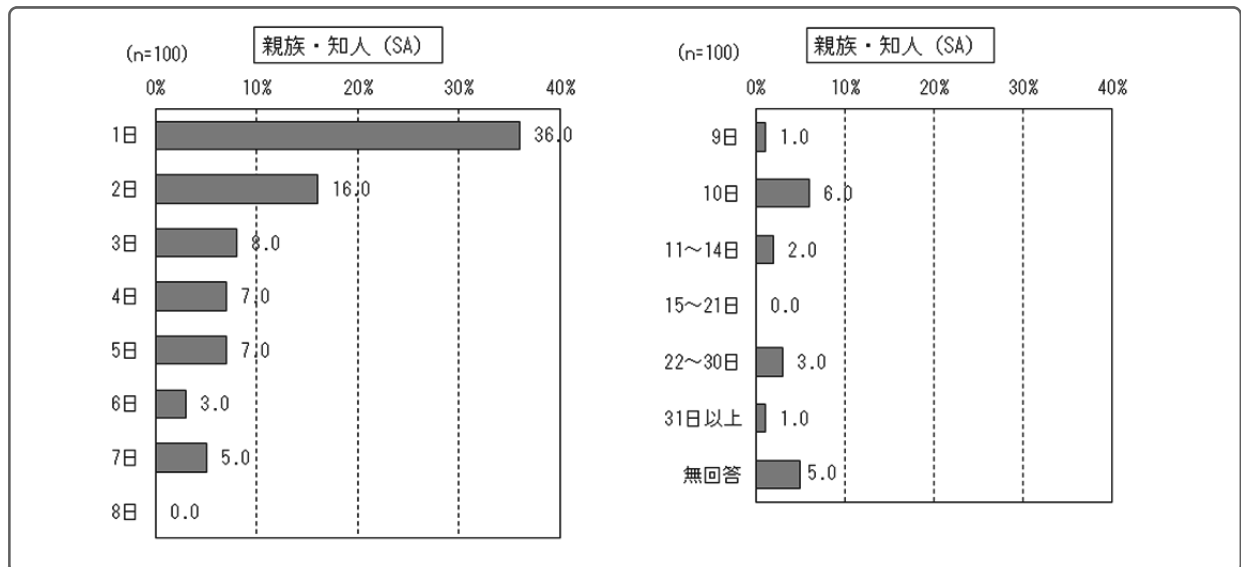
今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、「親族・知人に見てもらった」への回答割合が低下し、「預け先が見つからず、子どもを同行させた」への回答割合が多少増加しています。



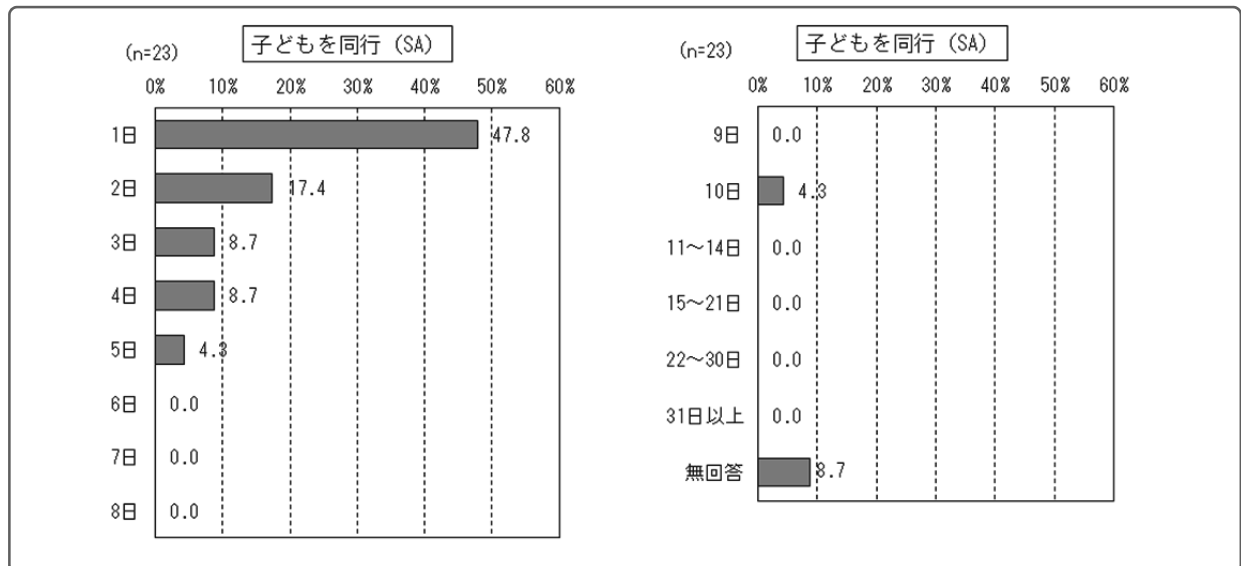
■対処した内容の日数

この1年間で、保護者の用事により子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった時の対処方法について、その日数を記入していただいたところ、以下の結果となりました。

「(同居者を含む) 親戚・知人にみてもらった」では、「1日」への回答割合が36.0%と最も高く、「2日」が16.0%と続いています。



「預け先が見つからず、子どもを同行させた」では、「1日」への回答割合が47.8%と最も高く、「2日」が17.4%と続いています。



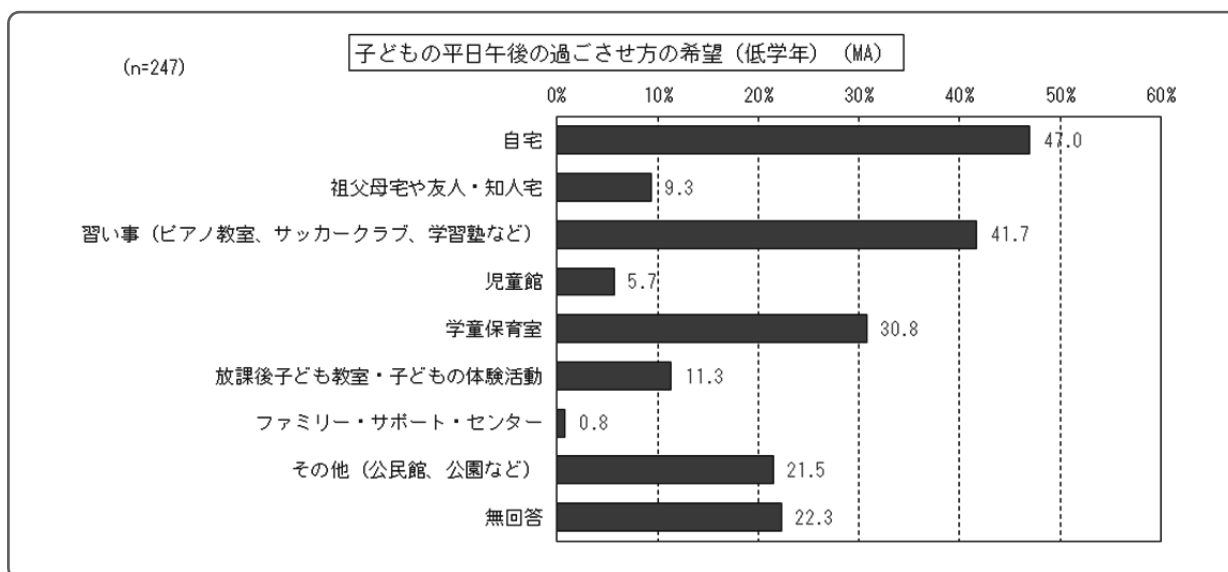
※なお、「短期入所生活援助事業 (ショートステイ) を利用した」の回答者数は0名、「緊急サポートセンターを利用した」の回答者数は1名、短期入所生活援助事業や緊急サポートセンター「以外の保育事業を利用した」の回答者数は0名、「子どもだけで留守番させた」の回答者数は0名、「その他」の回答者数は3名であったことから、グラフ化はしていません。

6. 小学校就学後の放課後の過ごし方

①平日放課後の過ごし方の希望

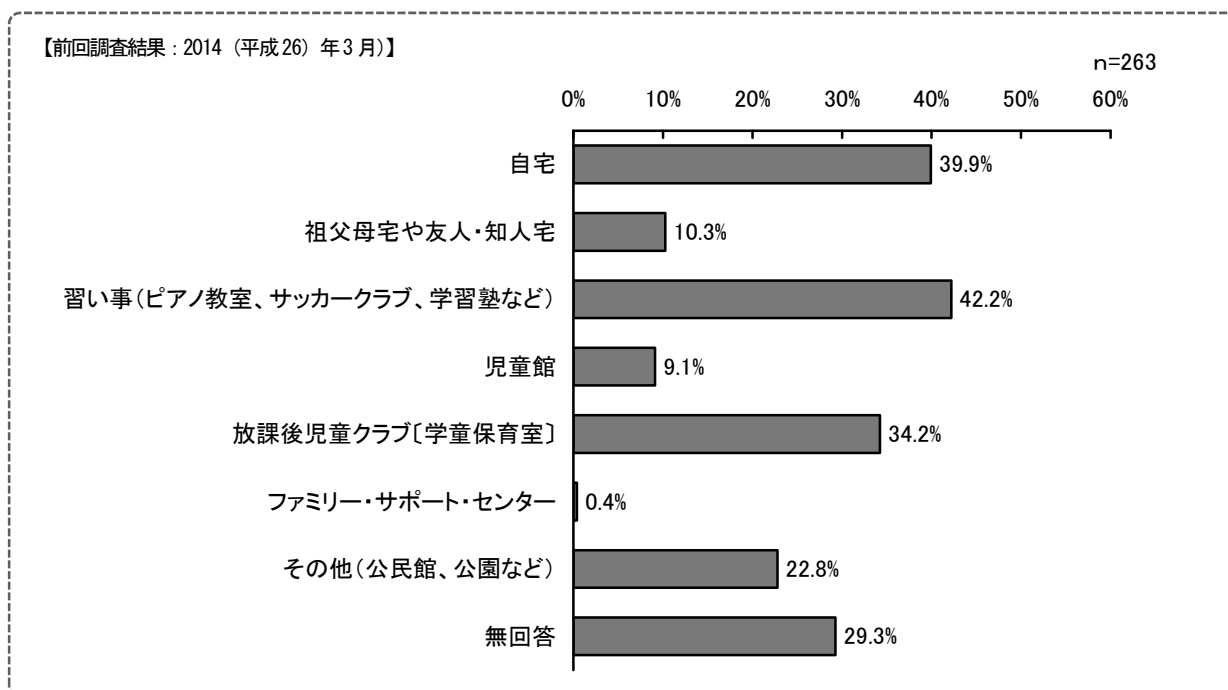
問 24 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を数字でご記入ください。また、「学童保育室」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

子どもが小学校に進学した後、低学年の間、放課後をどのように過ごさせたいかについてお聞きしたところ、「自宅」への回答割合が47.0%と最も高く、次いで、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が41.7%、「学童保育室」が30.8%、「その他（公民館、公園など）」が21.5%、「放課後子ども教室・子どもの体験活動」が11.3%と続いています。



今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、「自宅」への回答割合が増加する結果となっています。また、「学童保育室」への回答割合が多少低下しています。

※前回調査の回答選択肢は、今回調査の回答選択肢と一部異なります。



■ 放課後の過ごし方の日数（低学年）

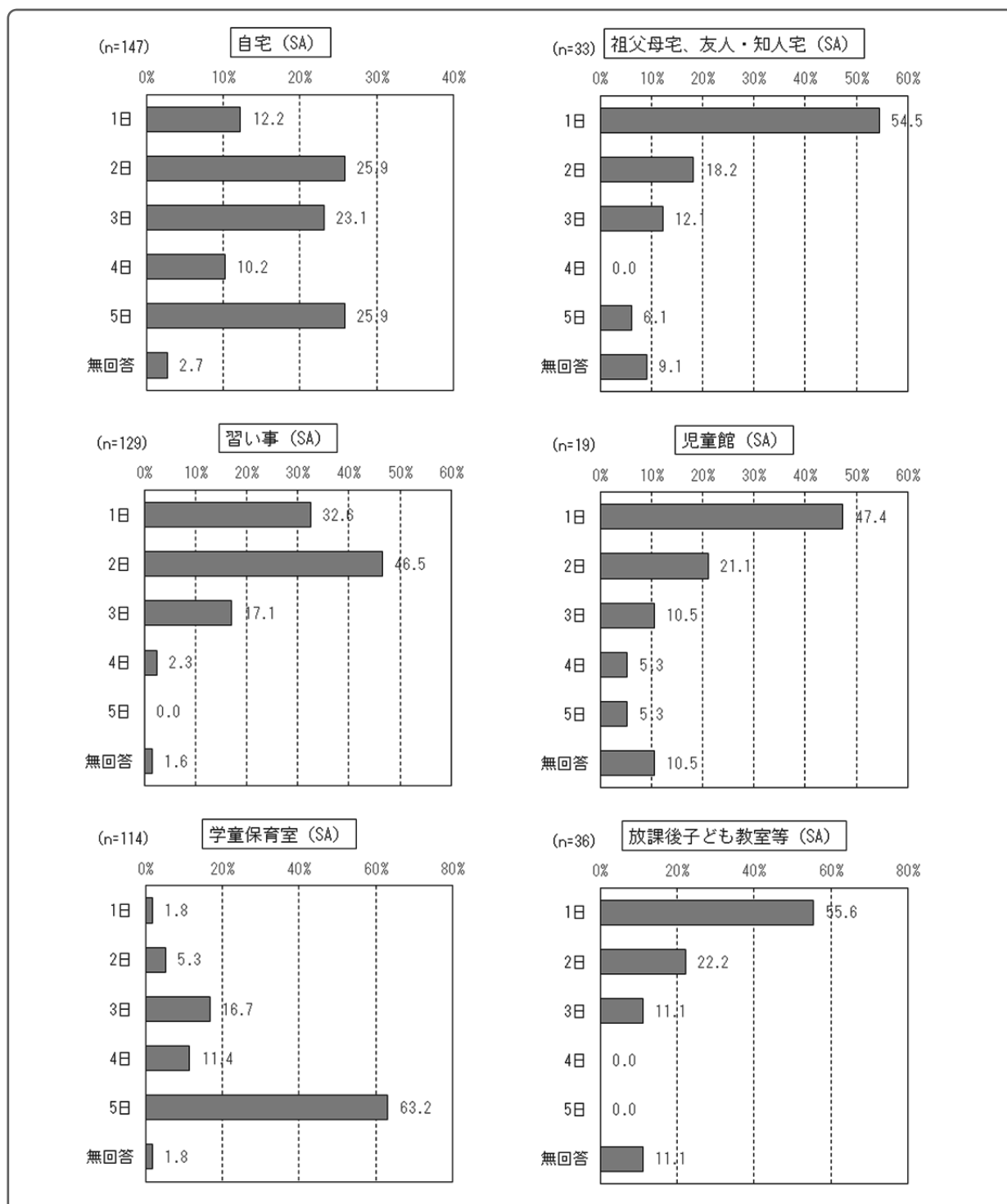
子どもが小学校に進学した際の、低学年の間の放課後の過ごし方の日数を記入していただいたところ、以下の結果となりました。

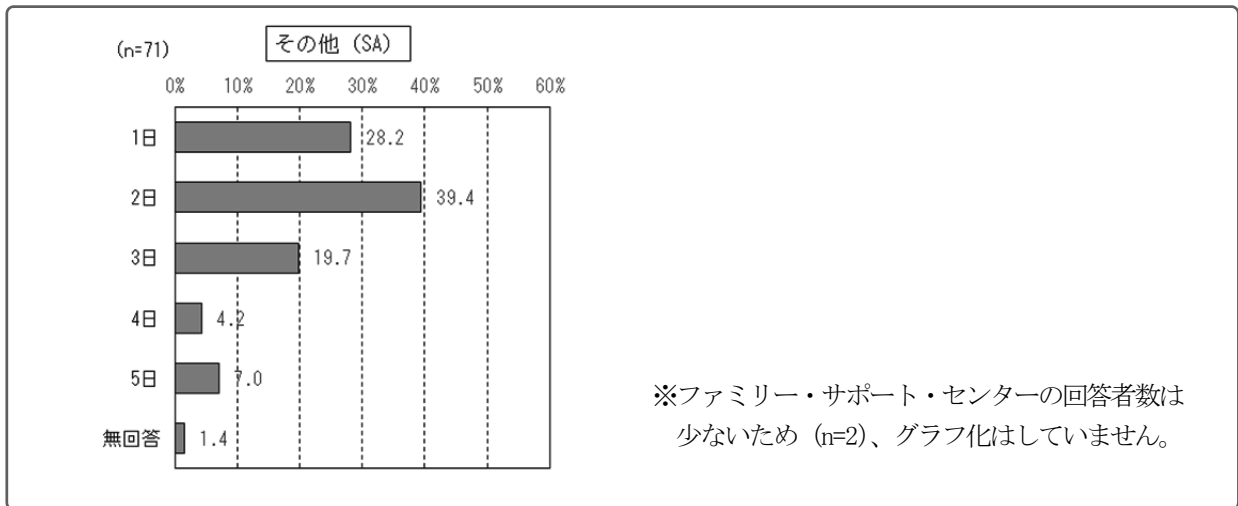
「自宅」では、「2日」及び「5日」への回答割合が25.9%と最も高く、次いで、「3日」の23.1%となっています。

「習い事」では、「2日」への回答割合が46.5%と最も高く、次いで、「1日」の32.6%となっています。

「学童保育室」では、「5日」への回答割合が63.2%と最も高くなっています。

その他の「祖父母宅、友人・知人宅」、「児童館」、「放課後子ども教室」ではともに「1日」への回答割合が最も高い結果となっています。





【前回調査結果：2014（平成26）年3月】

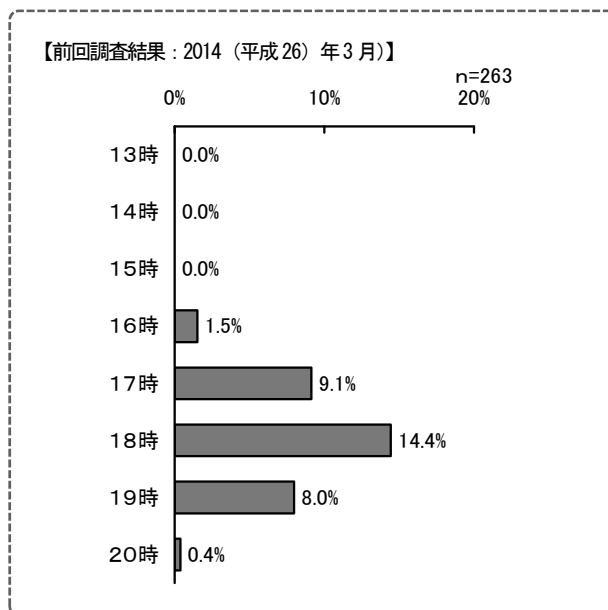
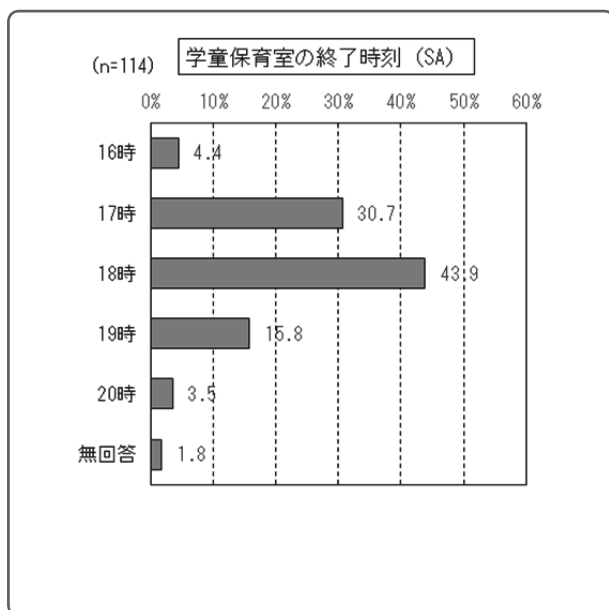
(n=263) (単位：%)	自宅	祖父母宅や 友人・知人宅	習い事	児童館	放課後児童クラブ 〔学童保育室〕	ファミリー・ サポート・センター	その他
1日	7.6	6.1	20.9	5.3	0.8	0.4	7.6
2日	9.5	1.9	15.2	2.3	2.7	-	7.2
3日	9.5	1.1	4.6	0.4	5.3	-	4.2
4日	4.2	0.4	0.8	0.4	4.6	-	2.3
5日	8.4	0.4	0.4	0.8	20.9	-	1.5

※回答者数が0人のところは「-」となっています。

■ 学童保育室の終了時刻（低学年）

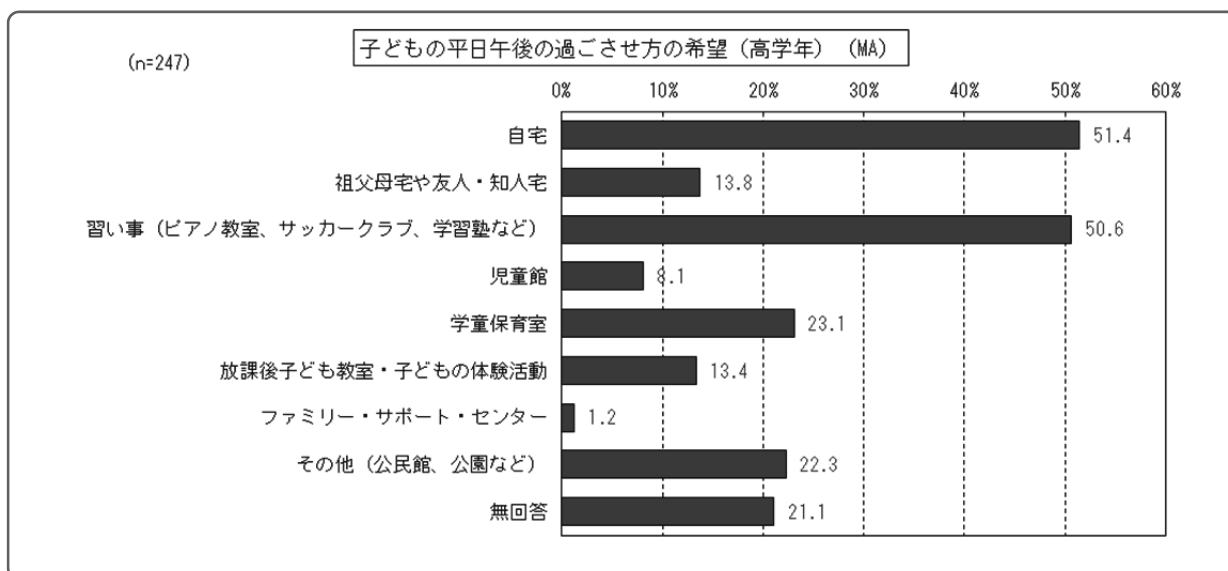
「学童保育室」と回答された方の、希望する終了時刻については、「18時」への回答割合が43.9%と最も高く、次いで、「17時」が30.7%、「19時」が15.8%と続いています。

今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、「17時」及び「18時」ともに前回から大幅に回答割合が増加する結果となっています。



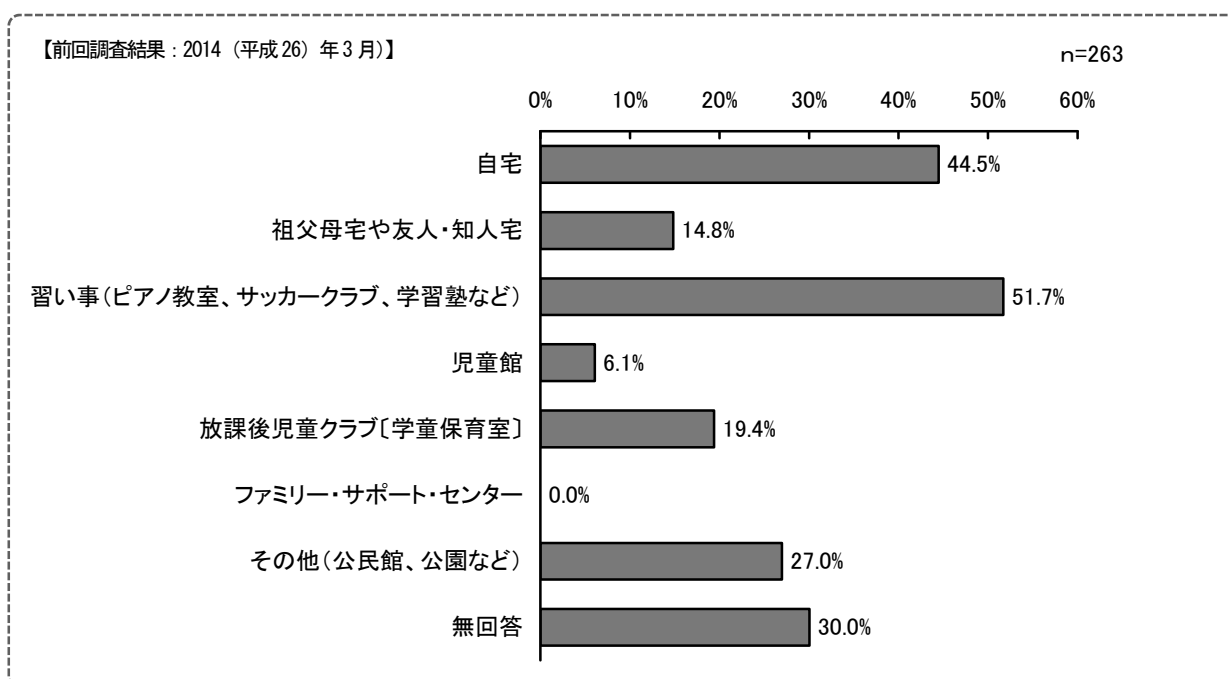
問 25 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を数字でご記入ください。また、「学童保育室」の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

子どもが小学校に進学した後、高学年の間、放課後をどのように過ごさせたいかについてお聞きしたところ、「自宅」への回答割合が51.4%と最も高く、次いで、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が50.6%、「学童保育室」が23.1%、「その他（公民館、公園など）」が22.3%、「祖父母宅他友人・知人宅」が13.8%、「放課後子ども教室・子どもの体験活動」が13.4%と続いています。



今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、「自宅」への回答割合が増加する結果となっているとともに、「学童保育室」への回答割合も増加しています。

※前回調査の回答選択肢は、今回調査の回答選択肢と一部異なっています。



■ 放課後の過ごし方の日数（高学年）

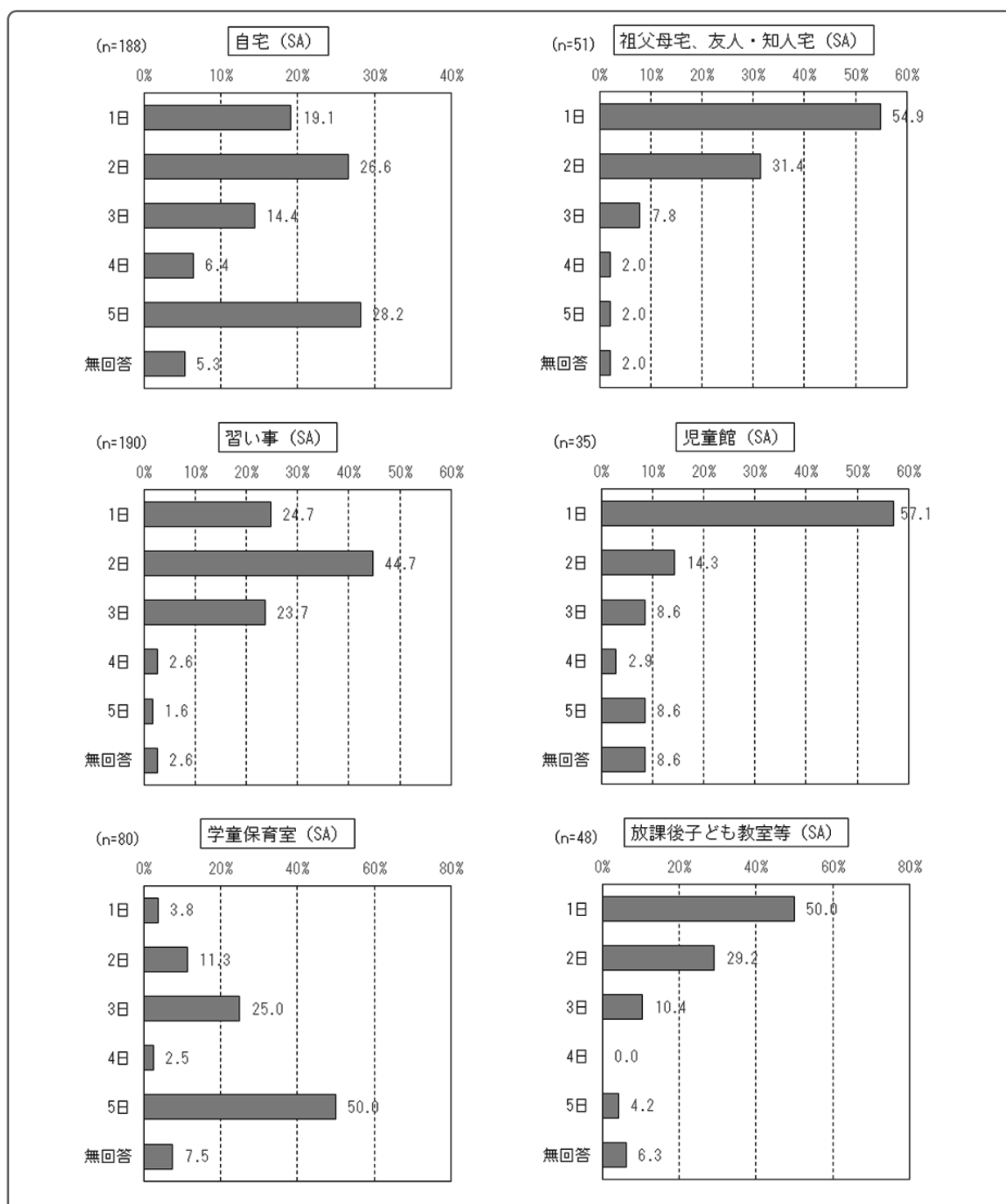
子どもが小学校に進学した際の、高学年の間の放課後の過ごし方の日数を記入していただいたところ、以下の結果となりました。

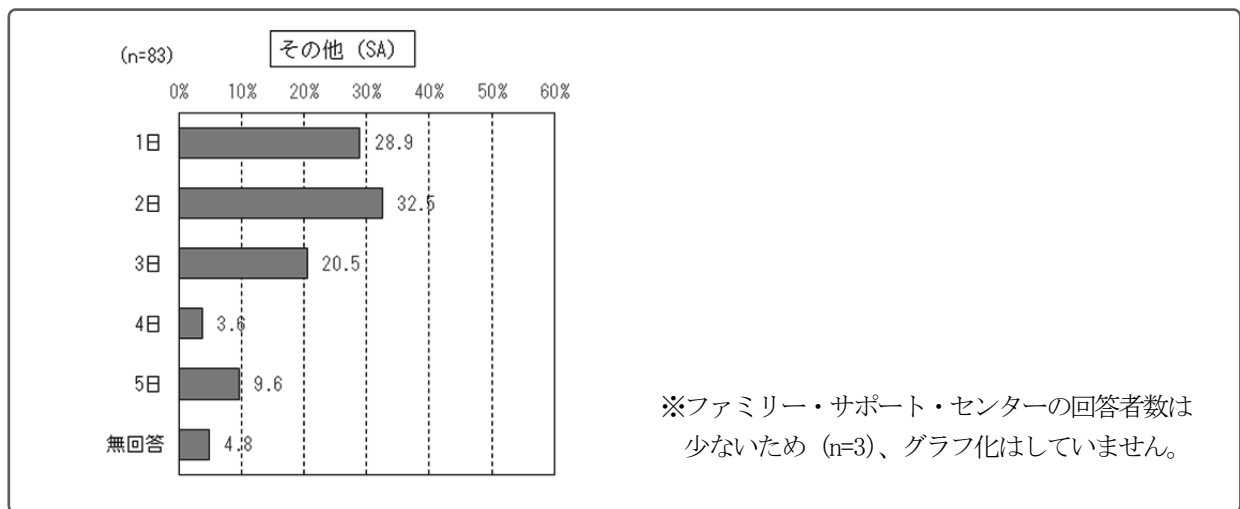
「自宅」では、「5日」への回答割合が28.2%と最も高く、次いで、「2日」の26.6%となっています。

「習い事」では、「2日」への回答割合が44.7%と最も高く、次いで、「1日」の24.7%となっています。

「学童保育室」では、「5日」への回答割合が50.0%と最も高くなっています。

また、「祖父母宅、友人・知人宅」、「児童館」、「放課後子ども教室等」ではともに「1日」への回答割合が最も高い結果となっています。





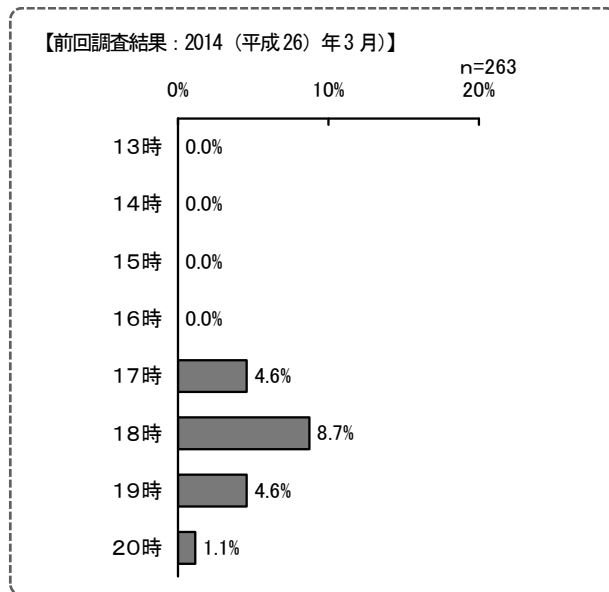
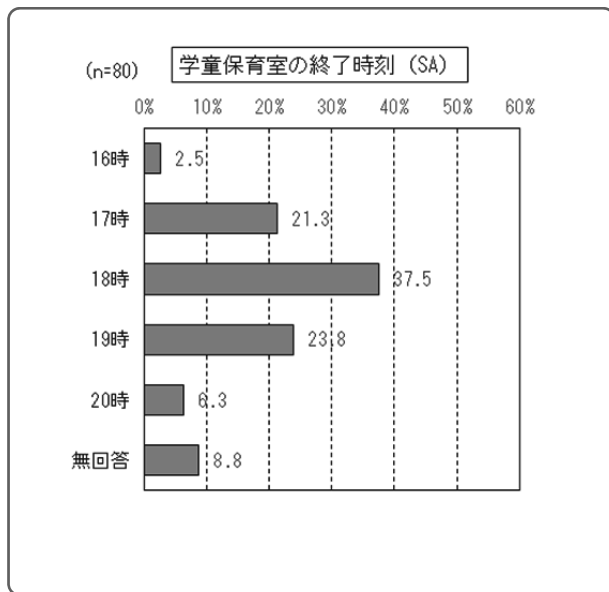
【前回調査結果：2014（平成26）年3月】

(n=263) (単位：%)	自宅	祖父母宅や 友人・知人宅	習い事	児童館	放課後児童クラブ 〔学童保育室〕	ファミリー・ サポート・センター	その他
1日	9.5	8.4	15.2	2.3	0.8	-	8.4
2日	10.6	4.2	25.5	1.9	2.3	-	6.8
3日	8.0	0.8	7.6	1.5	4.2	-	7.6
4日	5.7	0.4	1.5	-	1.1	-	2.7
5日	9.5	0.4	1.1	0.4	11.0	-	0.8

※回答者数が0人のところは「-」となっています。

■ 学童保育室の終了時刻（高学年）

「学童保育室」と回答された方の、希望する終了時刻については、「18時」への回答割合が37.5%と最も高く、次いで、「19時」が23.8%、「17時」が21.3%と続いています。



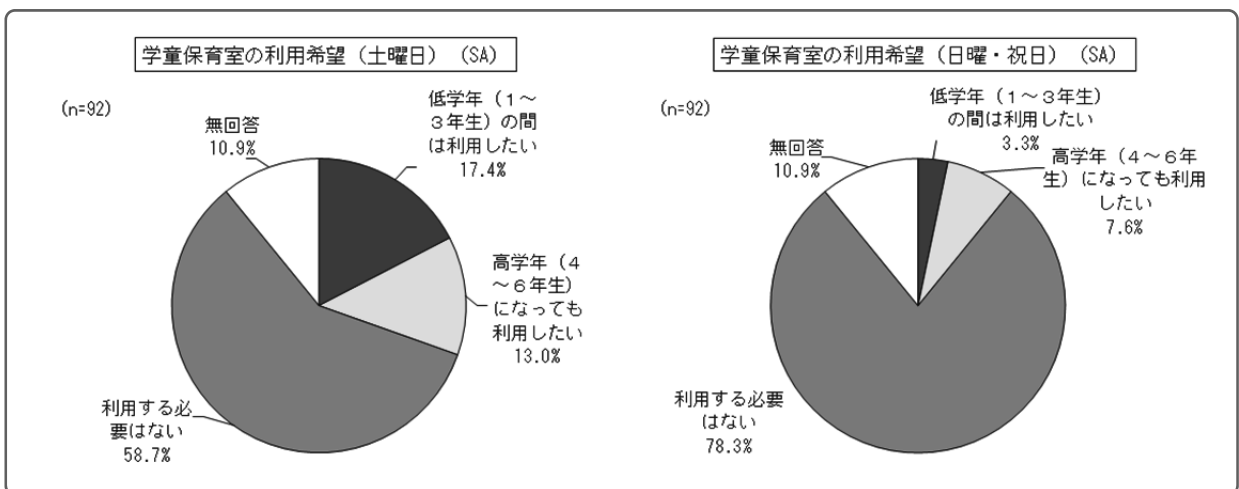
② 平日以外の「放課後児童クラブ」の利用意向

問 26 問 24 または問 25 で「5. 学童保育室」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育室の利用希望はありますか。

(1) (2) それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に(例) 9時から18時までのように24時間制でご記入ください。
 なお、この事業の利用には一定の利用料がかかります。

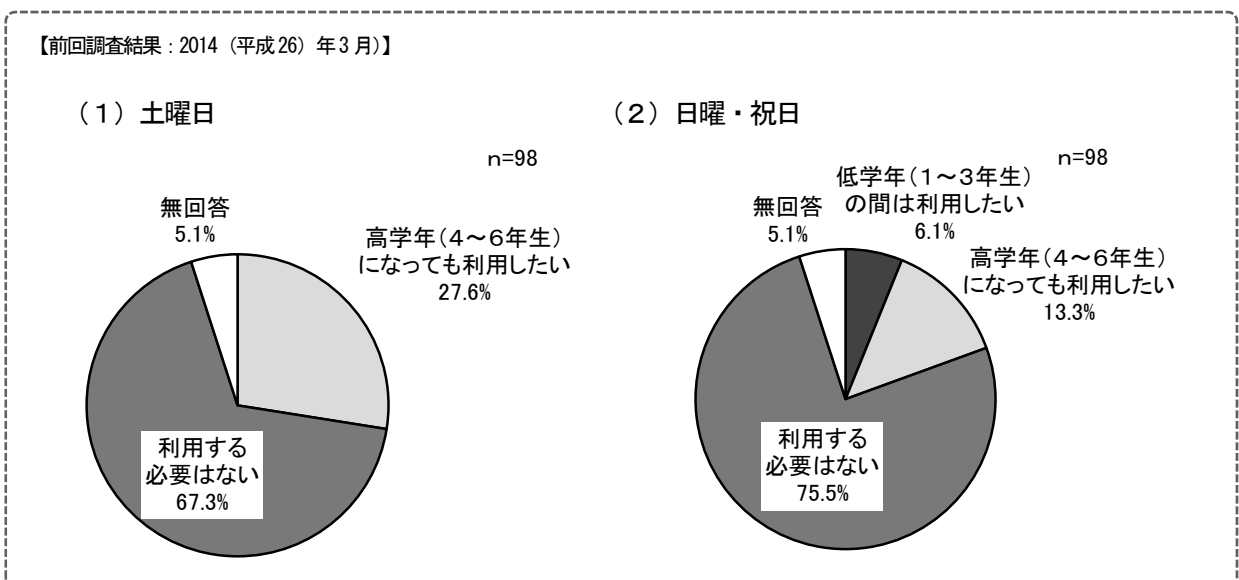
小学校の低学年または高学年になった際、「学童保育室」の利用を希望されている方に、土曜日、または日曜日・祝日に「学童保育室」の利用希望があるかをお聞きしたところ、土曜日について、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が17.4%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」と回答した方は全体の13.0%に上っています。

また、日曜・祝日については、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が3.3%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が7.6%であり、学童保育室の『利用意向がある』方は合計で10.9%となっています。



今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、土曜日では「利用する必要はない」が67.3%から58.7%に低下しています。

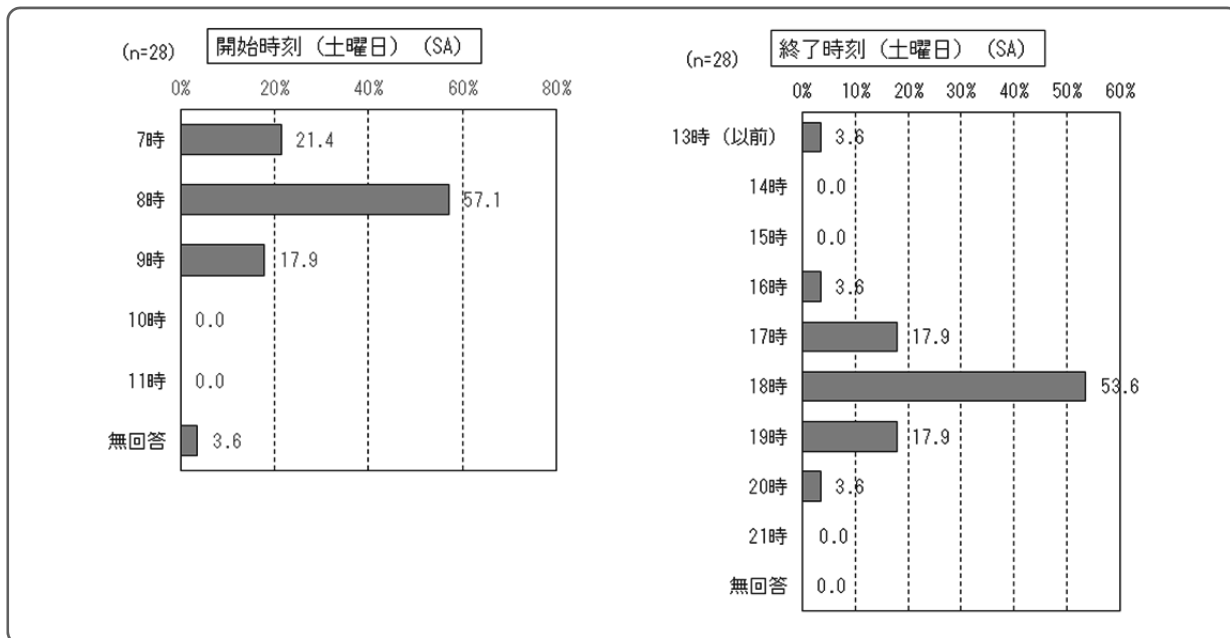
また、日曜・祝日では、「利用する必要はない」への回答割合が多少増加し、学童保育室の利用意向は減少する結果となっています。



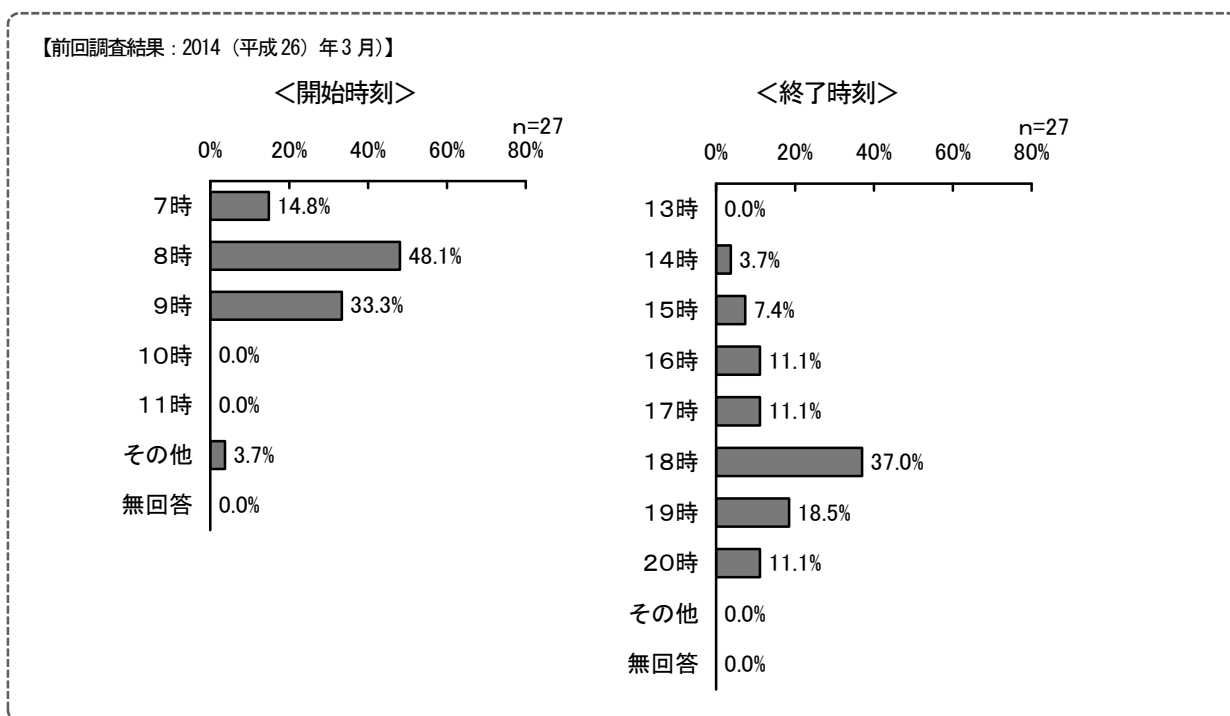
■利用希望時間

【土曜日】

土曜日に利用希望がある方の、希望開始時刻は「8時」が57.1%と最も高く、終了時刻は「18時」が53.6%と最も高くなっています。

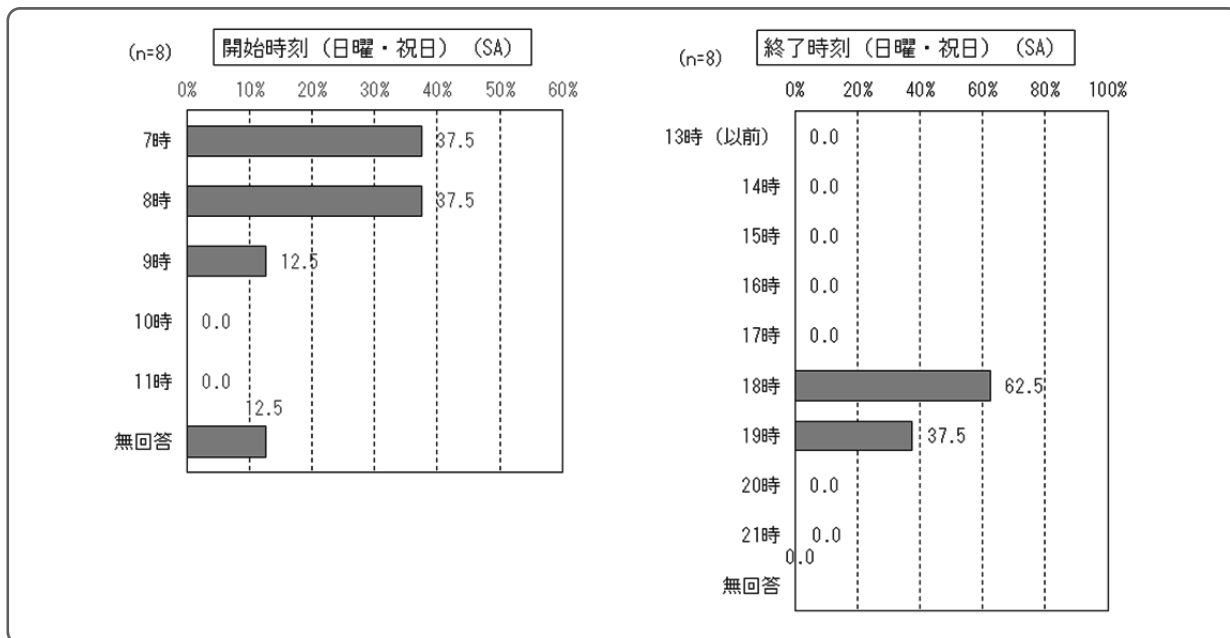


今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、「8時」の開始希望時刻の割合が増加しているとともに、終了希望時刻の「18時」への回答割合も増加する結果となっています。



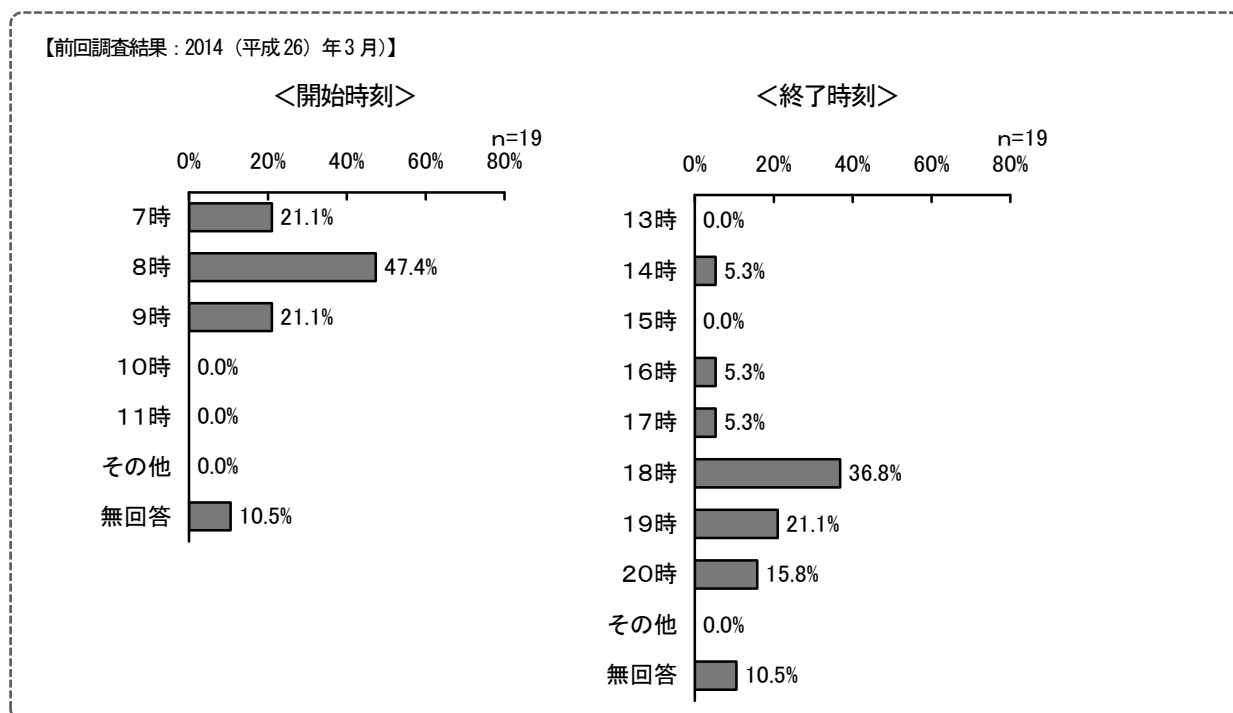
【日曜・祝日】

日曜・祝日で「利用意向がある」と回答した人の利用希望時間については、回答者数は少ないものの、開始時間は「7時」と「8時」が37.5%でもっとも高く、終了時刻は「18時」が62.5%でもっとも高くなっています。



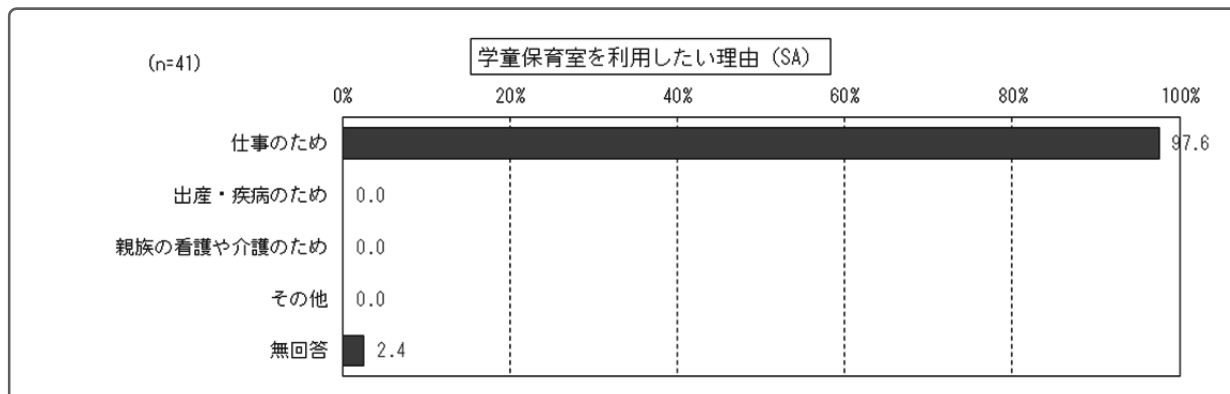
今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、「8時」の開始希望時刻が低下する一方で、「7時」の開始希望時刻の割合が増加しています。

また、終了希望時刻の「18時」への回答割合が増加する結果となっています。

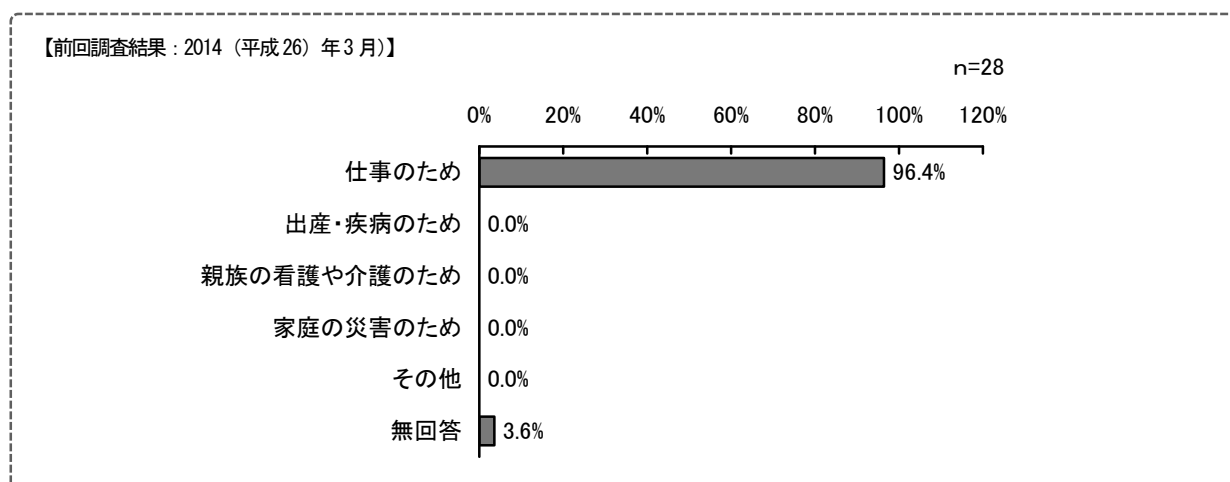


問26-1 問26(1)(2)のいずれか、または両方で「利用したい」に○をつけた方にうかがいます。利用したい理由は何ですか。
 当てはまる番号1つに○をつけてください。

土曜日または日曜・祝日に「利用意向がある」と回答した方に、学童保育室を利用したい理由についてお聞きしたところ、回答者数は少ないものの、「仕事のため」との回答が97.6%となっています。

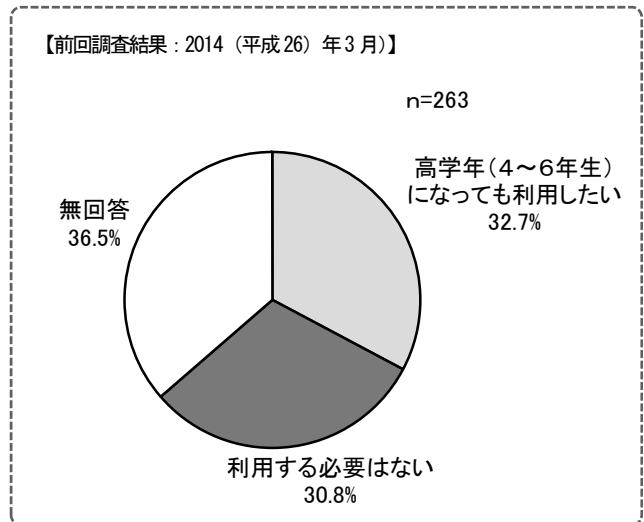
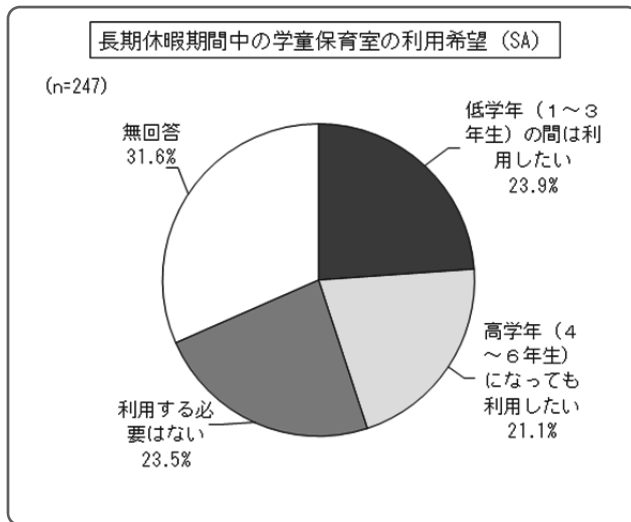


今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、ほぼ同様の結果となっています。



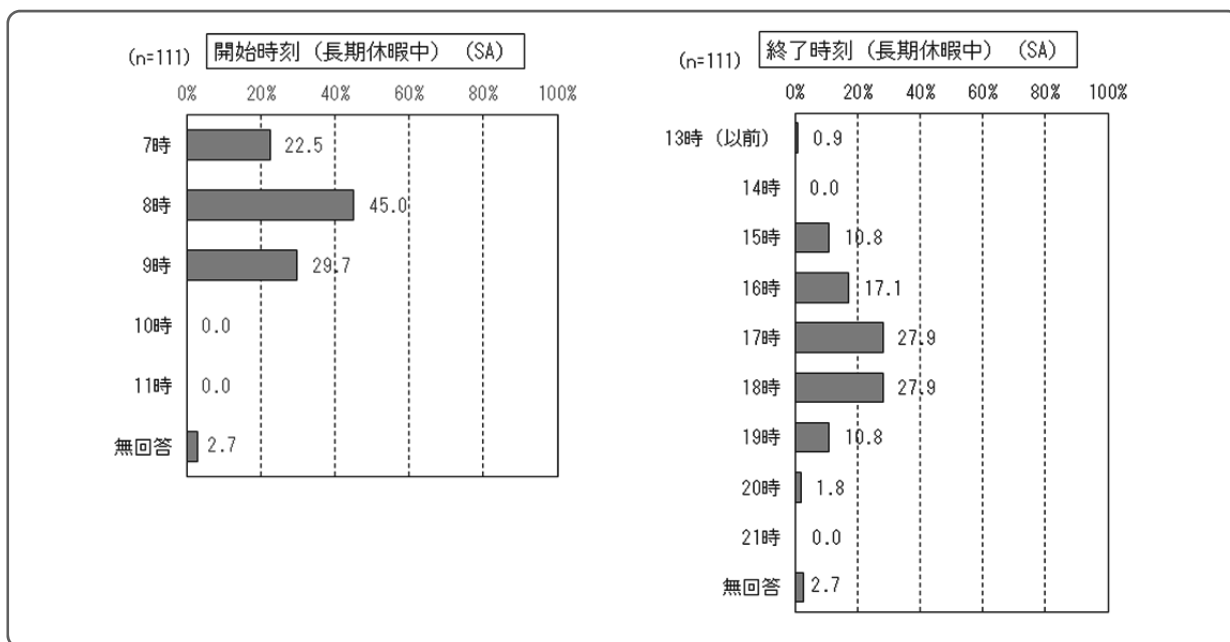
問27 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育室の利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に(例)9時から18時までのように24時間制でご記入ください。

夏休みや冬休みなどの長期休暇中、「学童保育室」の利用を希望されているをお聞きしたところ、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が23.9%、「高学年になっても利用したい」が21.1%となっています。また、「利用する必要はない」は23.5%となっています。

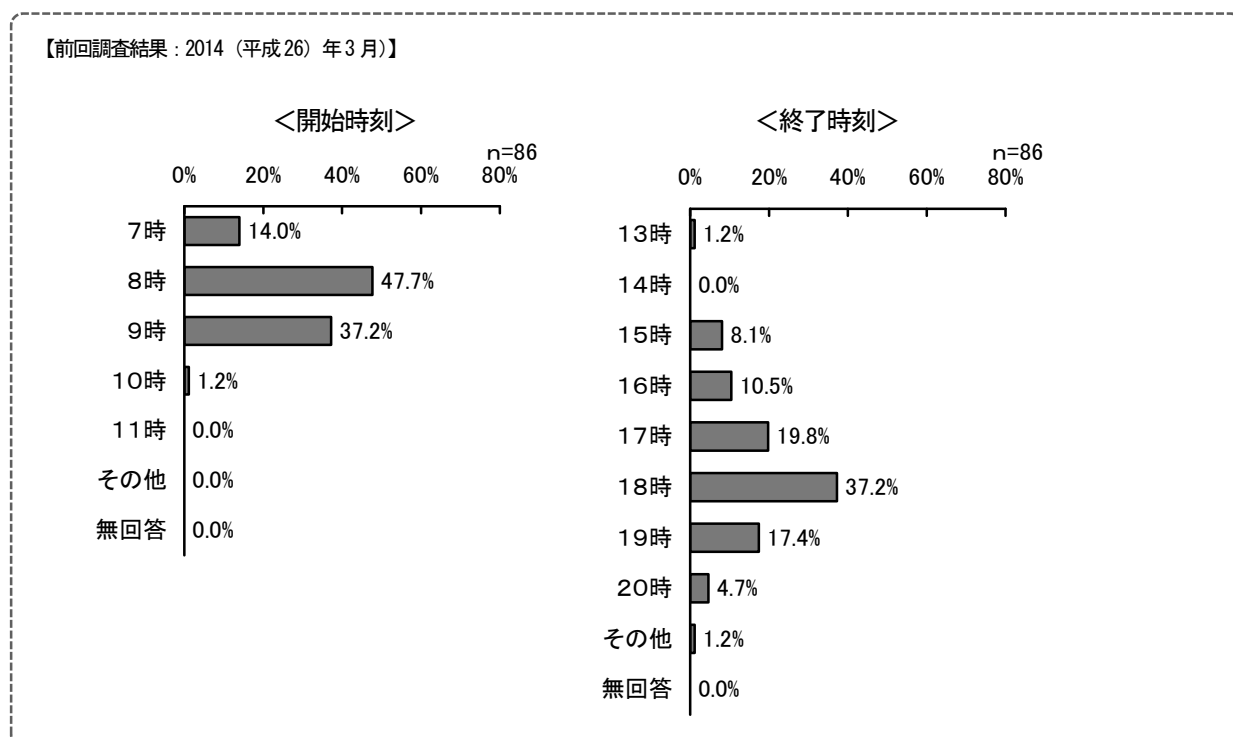


■長期休暇時の利用希望時間

長期休暇時に利用希望がある方の、希望開始時刻は「8時」が45.0%と最も高く、終了時刻は「17時」及び「18時」が27.9%と最も高くなっています。



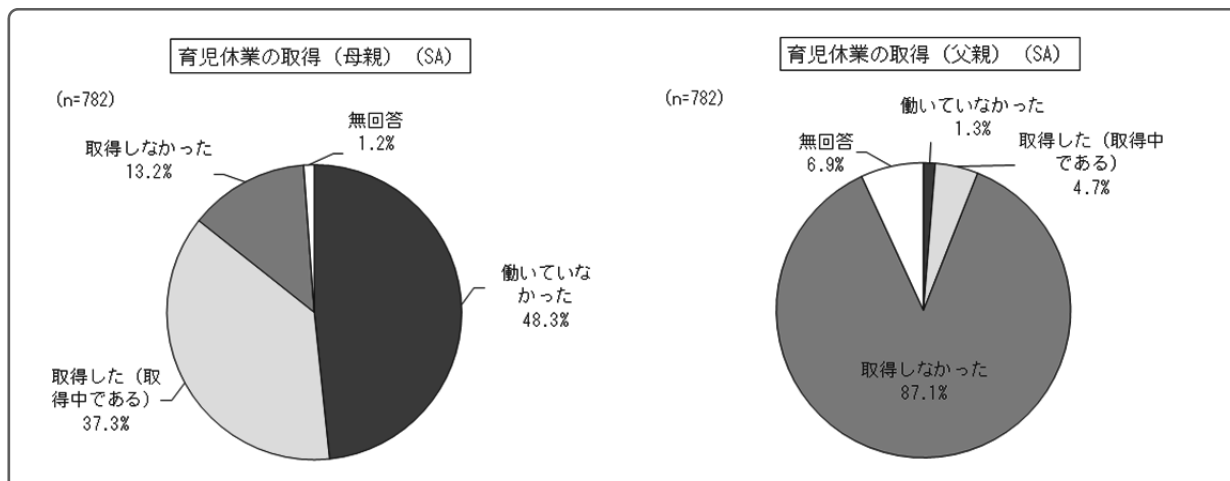
今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、「7時」の開始希望時刻の割合が増加しているとともに、終了希望時刻の「17時」への回答割合も増加する結果となっています。



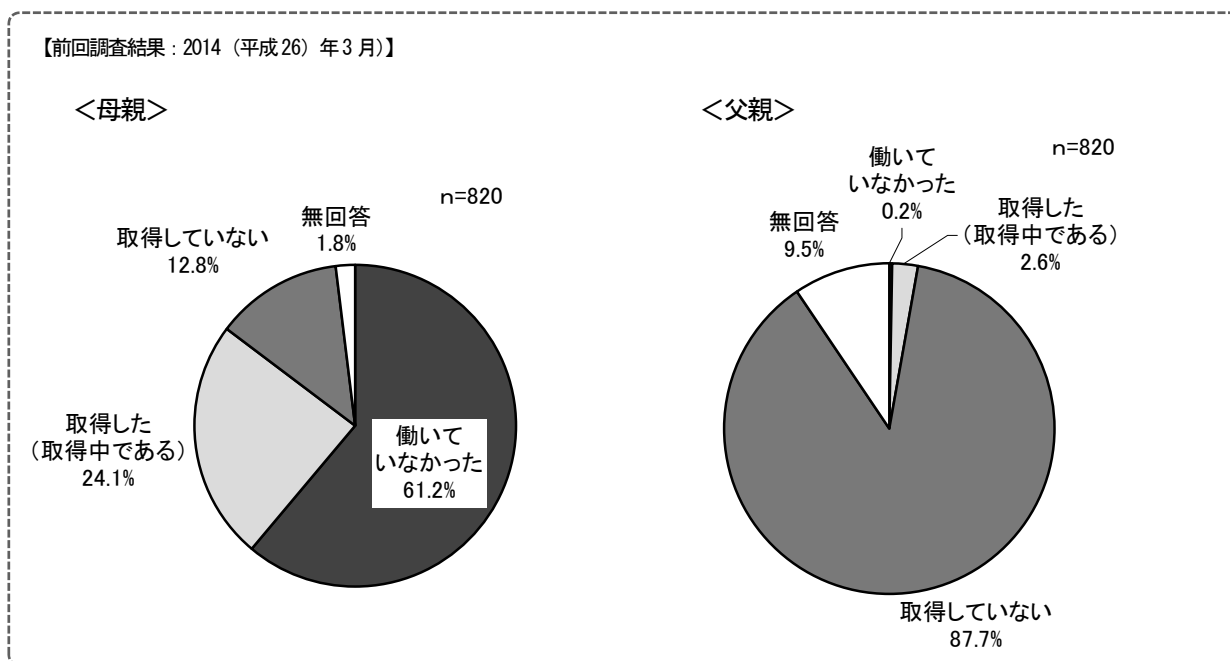
7. 育児休業

問 28 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。なお、「3. 取得しなかった」に○をつけた場合は、その理由として当てはまる番号を口内にご記入ください。

子どもが生まれたときの育児休業について、母親で育児休業を「取得した」方は全体の37.3%、父親で育児休業を「取得した」方は全体の4.7%となっています。



今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、母親の育児休業の取得割合は増加しているとともに、父親の取得割合も僅かに増加している結果となっています。



■取得していない理由

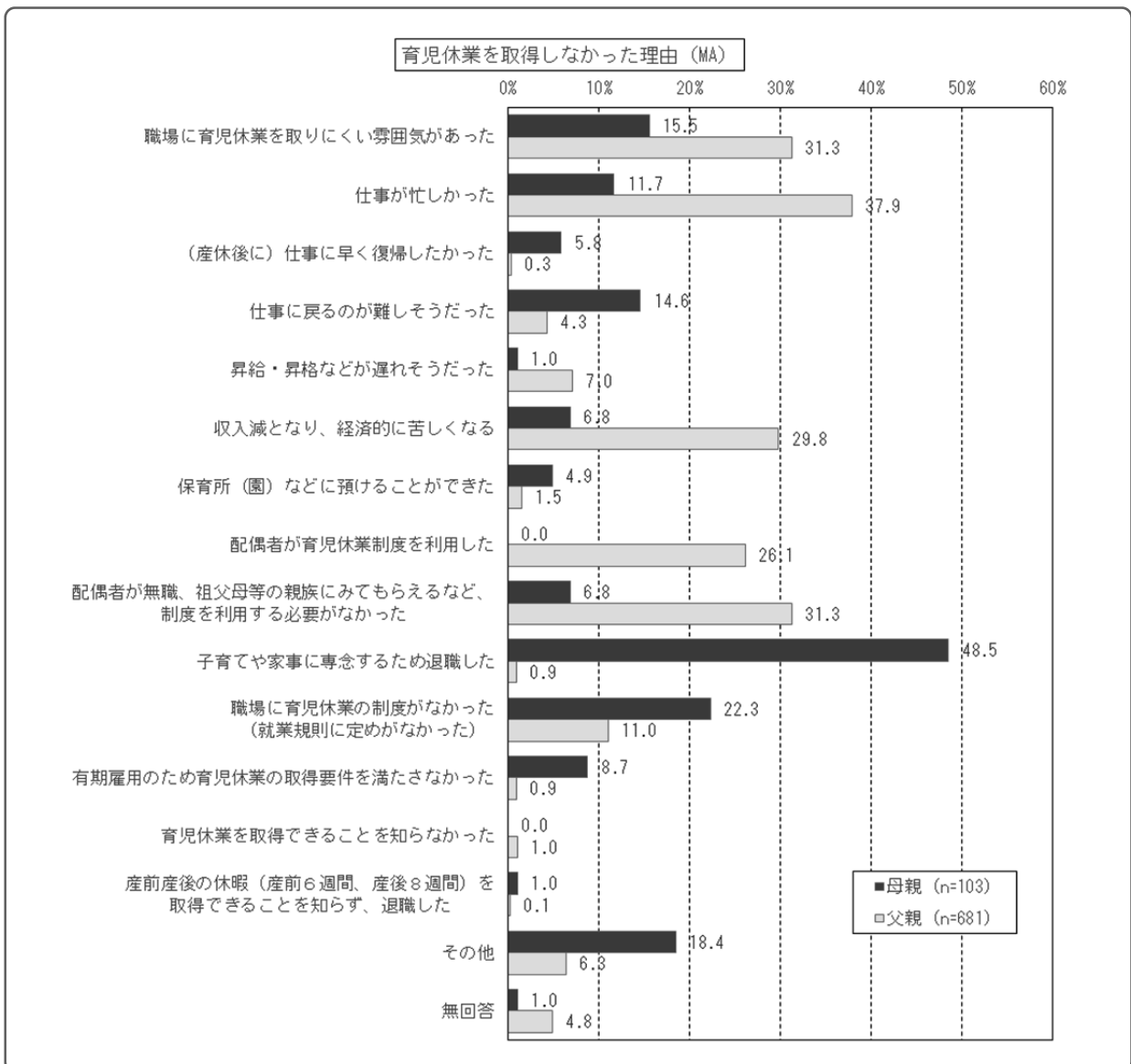
育児休業について「取得していない」と回答した方にその理由をお聞きしたところ、結果は以下のとおりとなっています。

母親では「子育てや家事に専念するために退職した」への回答割合が48.5%と半数近くになっており、次いで、「職場に育児休業の制度がなかった」が22.3%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が15.5%となっています。（※「その他」の回答割合は除く。）

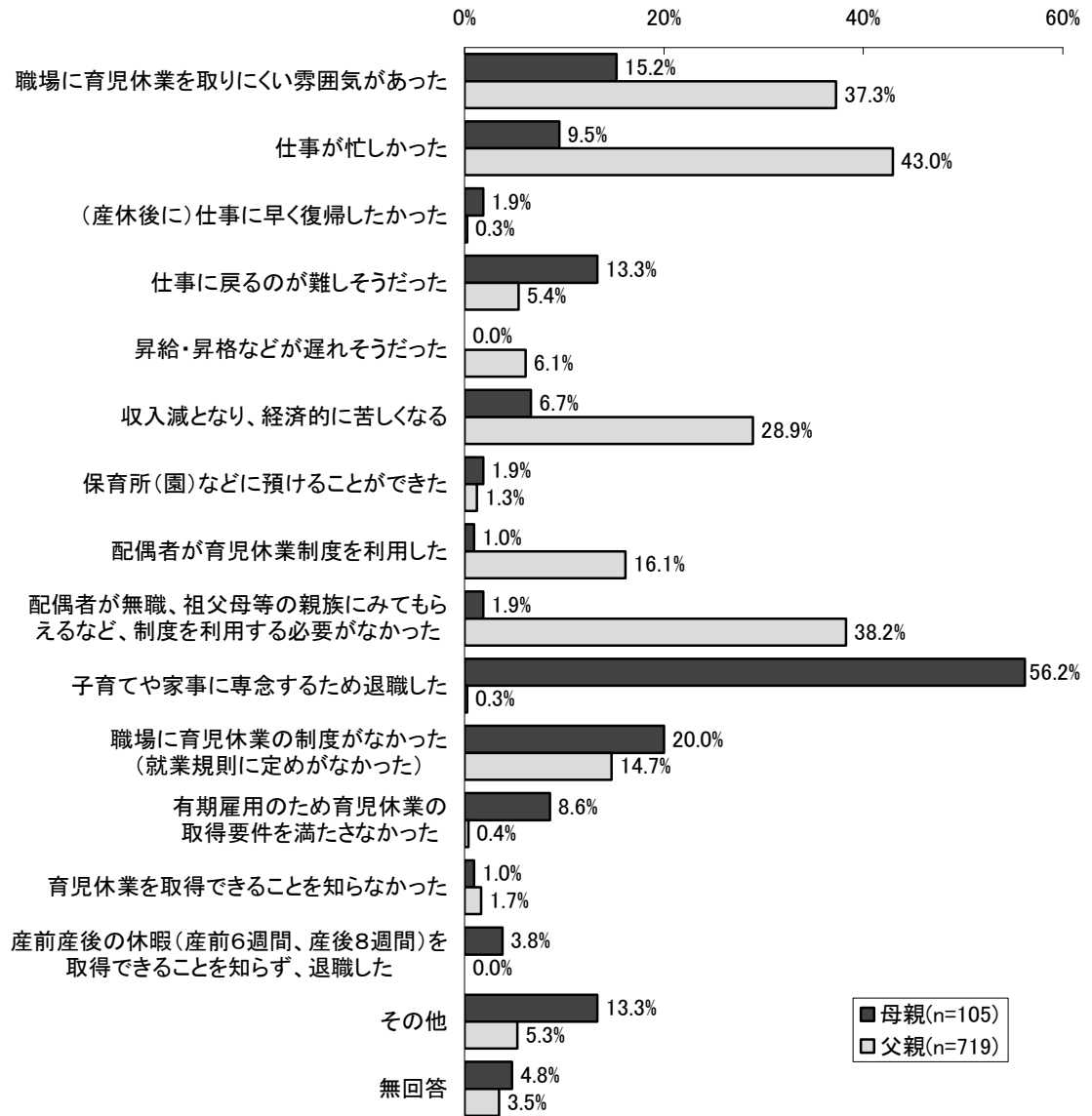
父親では「仕事が忙しかった」への回答割合が37.9%と最も高く、次いで、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」及び「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」がともに31.3%、「収入源となり、経済的に苦しくなる」が29.8%と続いています。

この設問を母親と父親で比較してみると、母親の方が高い項目については「子育てや家事に専念するために退職した」が47.6ポイントと大きく差がついているのをはじめ、「職場に育児休業の制度がなかった」が11.3ポイント、「仕事に戻るのが難しそうだった」が10.3ポイントと、この3項目で高くなっています。

父親の方が高い項目については、「仕事が忙しかった」が26.2ポイント、「配偶者が育児休業制度を利用した」が26.1ポイント、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が24.5ポイント、「収入源となり、経済的に苦しくなる」が23.0ポイント、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が15.8ポイントと、この5項目で高くなっており、母親と父親で理由に大きな違いがある結果となっています。



【前回調査結果：2014（平成26）年3月】

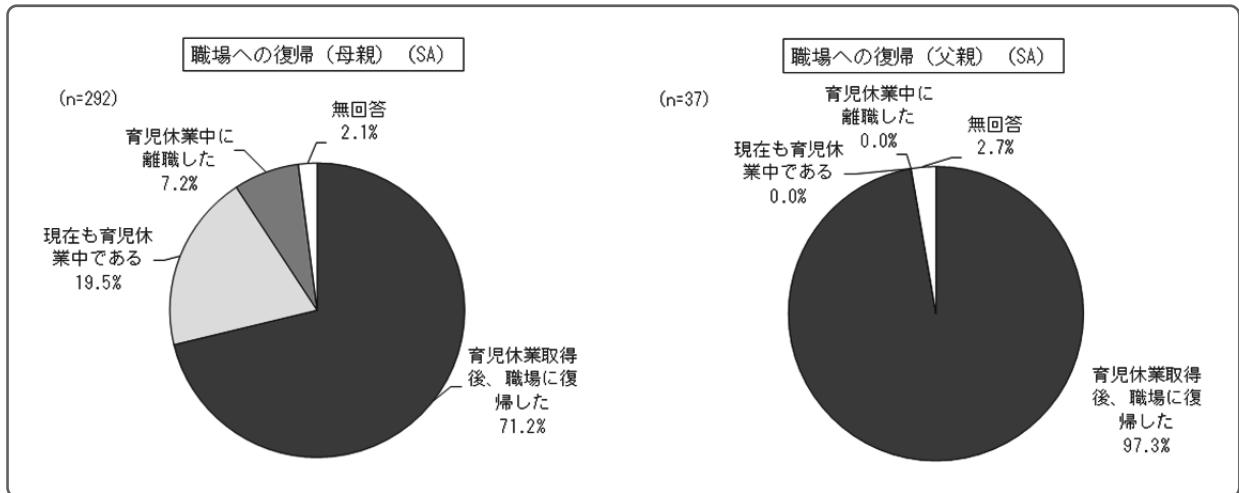


問28-1 問28で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

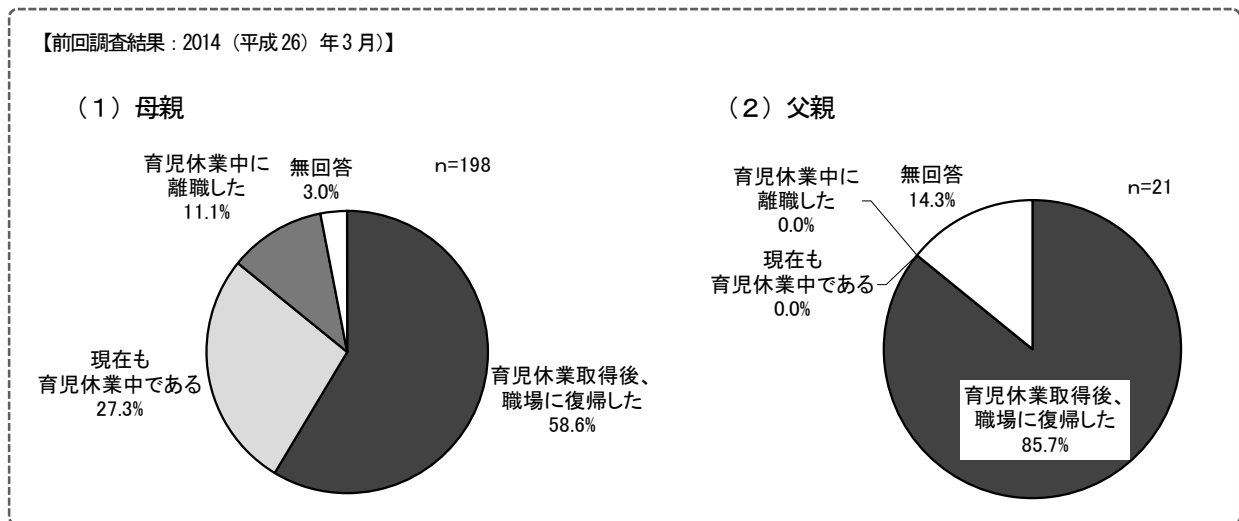
育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

育児休業を「取得した（取得中である）」と回答した方に職場復帰についてお聞きしたところ、母親・父親ともに「育児休業取得後、職場に復帰した」への回答割合が最も高くなっています。

父親の回答者数は少なくなっていますが、「現在も育児休業中である」や「育児休業中に離職した」への回答はありませんでした。（※従って、次の問27-2（2）については、父親は回答者無しのため省略）



今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、母親、父親ともに「育児休業取得後、職場に復帰した」への回答割合が増加しています。

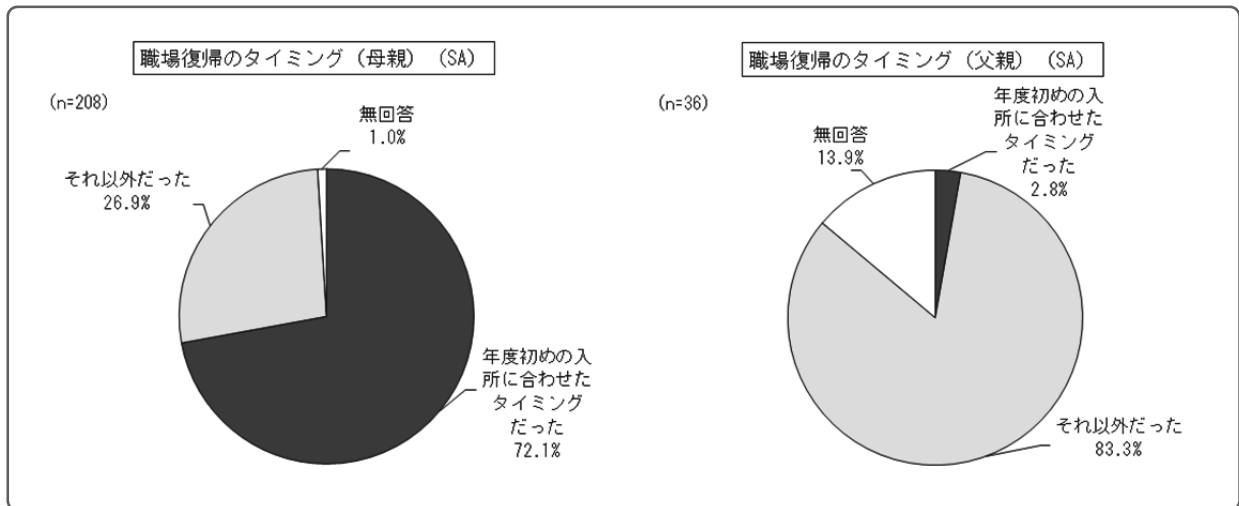


問 28-2 問 28-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。

※年度初めでの認可保育所入所を希望しながら、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合などは、「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

年度初めの保育所入所に合わせて育児休業から職場に復帰したかをお聞きしたところ、母親は72.1%が「年度初めの保育所入所に合わせたタイミングだった」と回答していますが、父親は僅か2.8%にとどまっています。



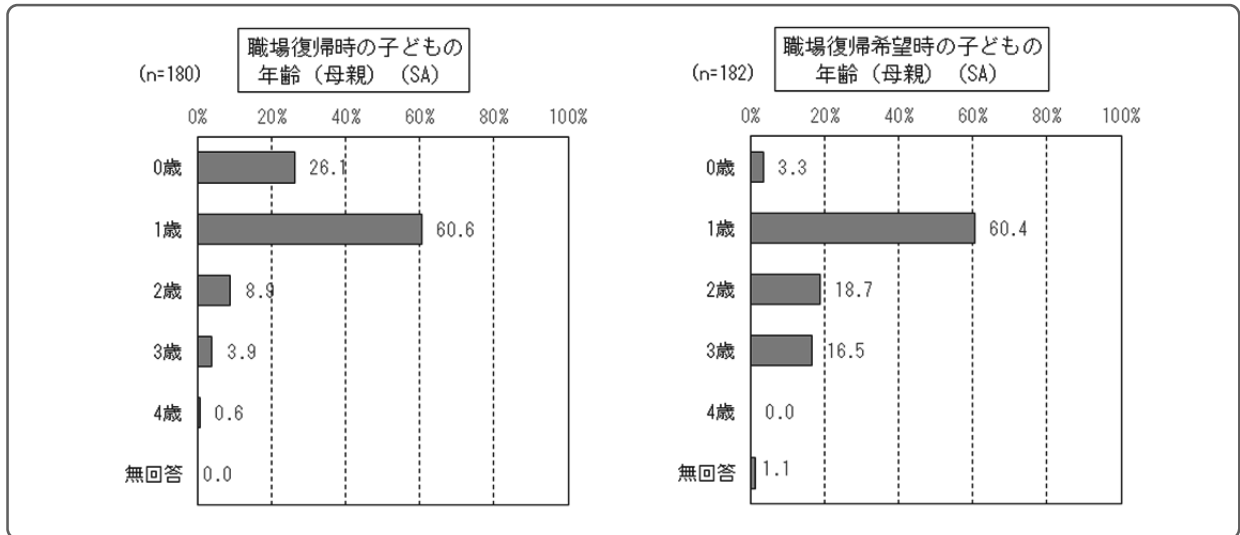
問28-3 問28-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。

(1) 母親

育児休業から職場復帰した時の、子どもの年齢は「1歳」が60.6%と最も高くなっており、「0歳」が26.1%と続いています。

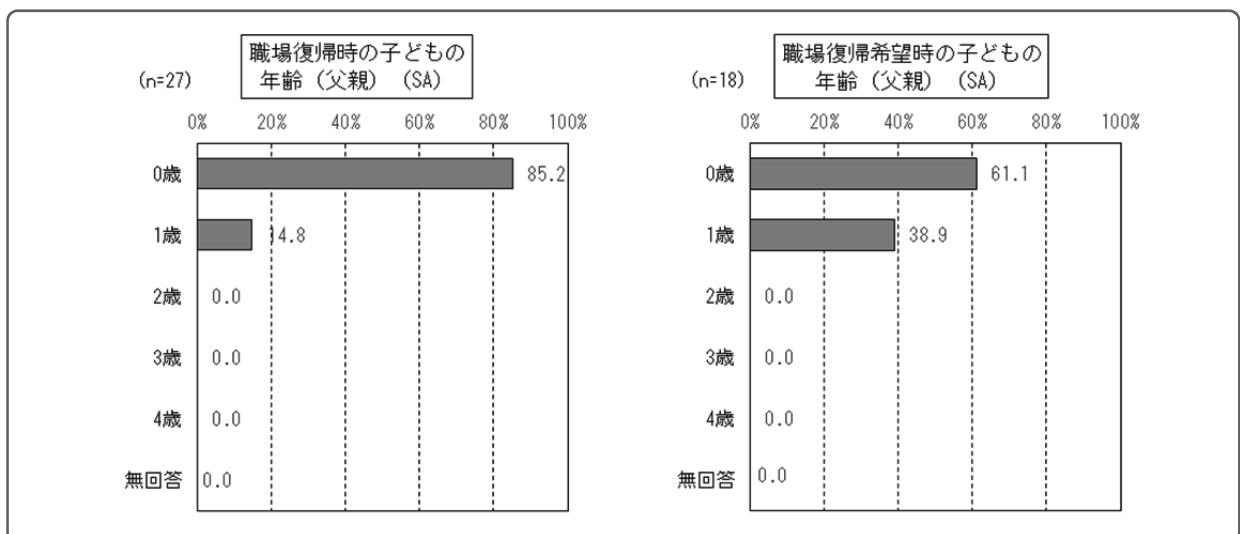
また、職場復帰を希望する時の子どもの年齢は、「1歳」が60.4%、「2歳」が18.7%、「3歳」が16.5%となっており、実際に職場復帰した時と、希望する職場復帰時の子どもの年齢は、「1歳」を除き差異がみられる結果となっています。



(2) 父親

育児休業から職場復帰した時の、子どもの年齢は「0歳」が85.2%と最も高くなっており、「1歳」が14.8%と続いています。

また、職場復帰を希望する時の子どもの年齢は、「0歳」が61.1%、「1歳」が38.9%となっており、実際に職場復帰した時と、希望する職場復帰時の子どもの年齢は、父親においても差異がみられる結果となっています。



問 28-4 問 28-3 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

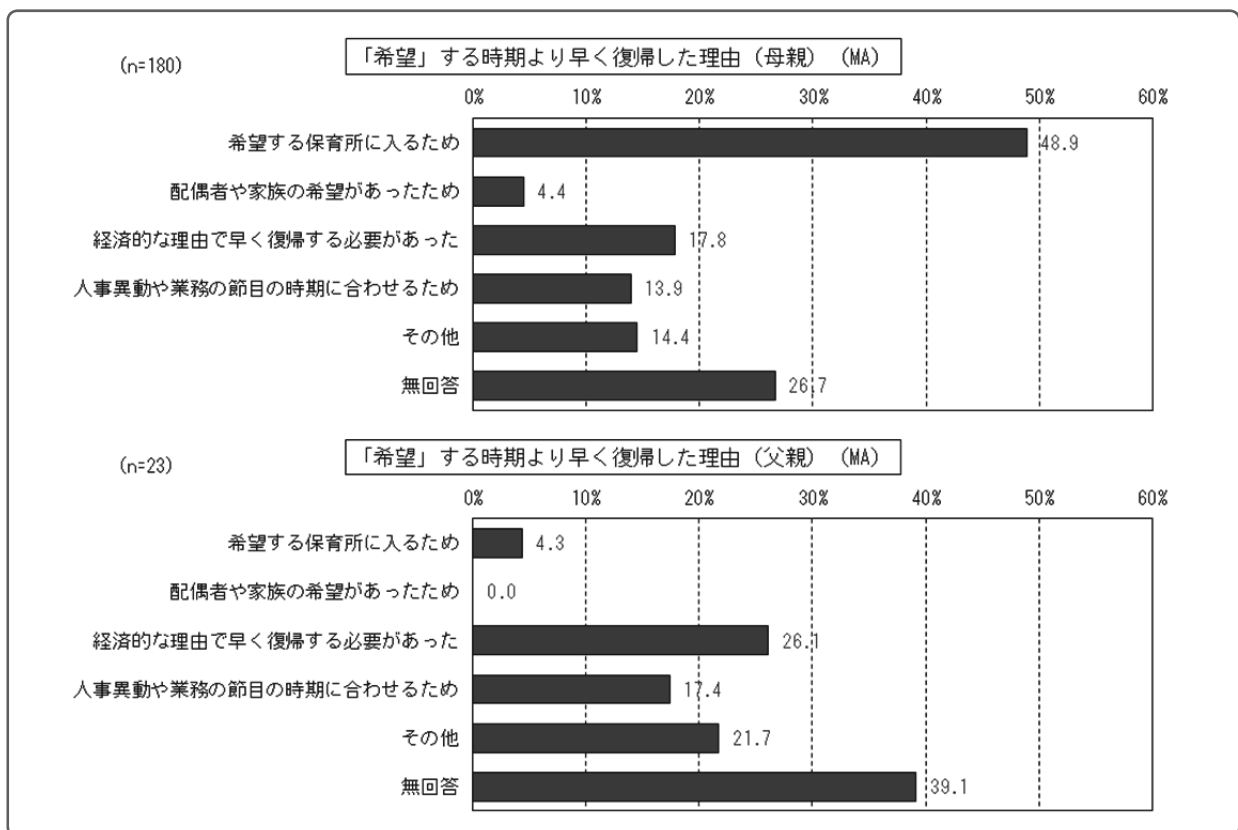
希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 「希望」より早く復帰した方

「希望」する時期より早く復帰した方について、母親と父親にその理由をお聞きしたところ、母親は、「希望する保育所に（子どもが）入るため」が48.9%と最も高くなっており、次いで、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が17.8%と続いています。（※無回答を除く。）

一方、父親は、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が26.1%と最も高い結果となっています。（※無回答及びその他を除く。）

母親と父親の回答結果を比較すると、「希望する保育所に（子どもが）入るため」の回答が非常に大きい差異となっていることがみられます。

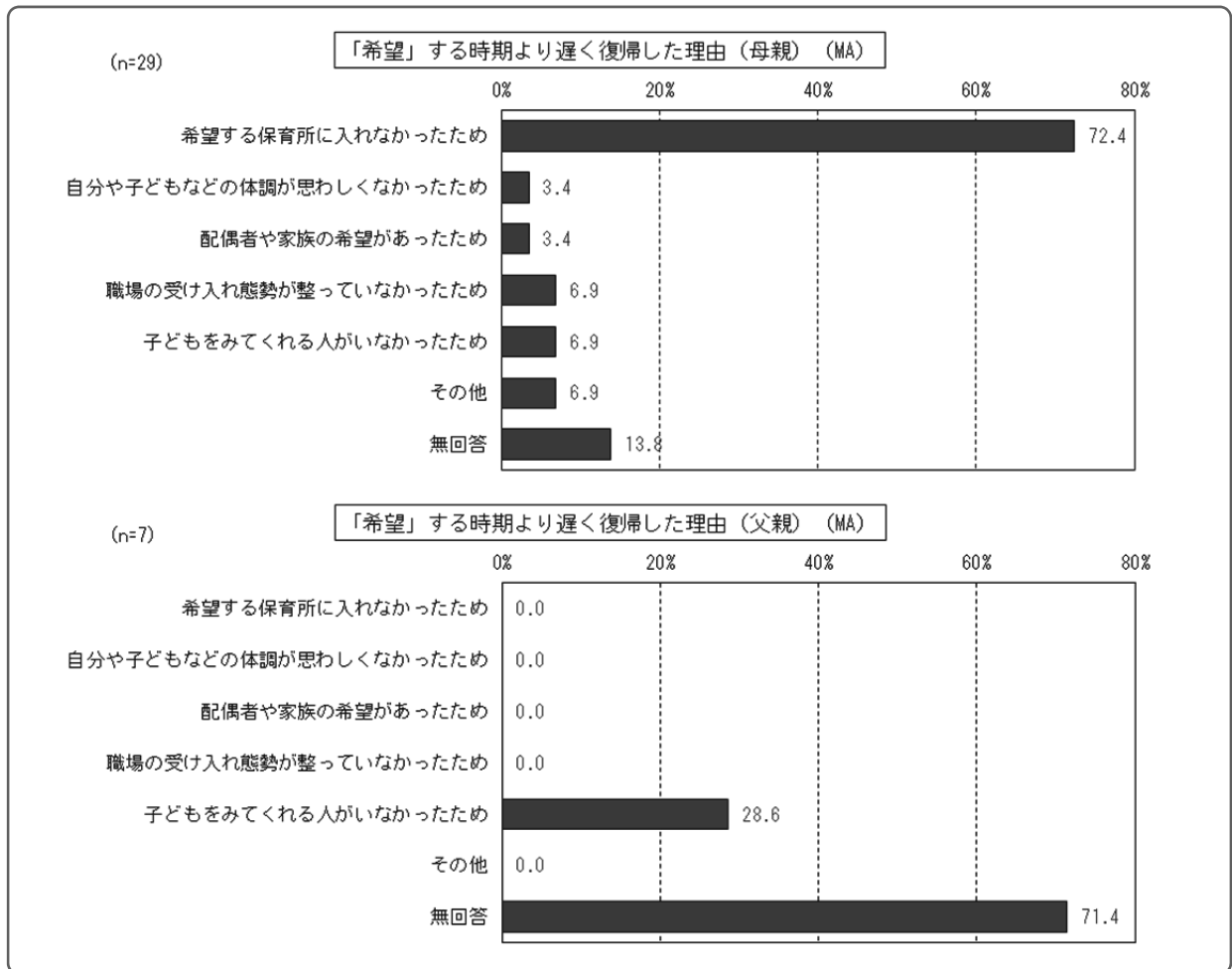


(2) 「希望」より遅く復帰した方

「希望」する時期より遅く復帰した方について、母親と父親にその理由をお聞きしたところ、母親は、「希望する保育所に（子どもが）入るため」が72.4%と最も高くなっています。

一方、父親は、「子どもをみてくれる人がいなかったため」が28.6%と最も高い結果となっています。（※無回答及びその他を除く。）

母親と父親の回答結果を比較すると、遅く復帰した理由が大きく異なっていることがみられます。

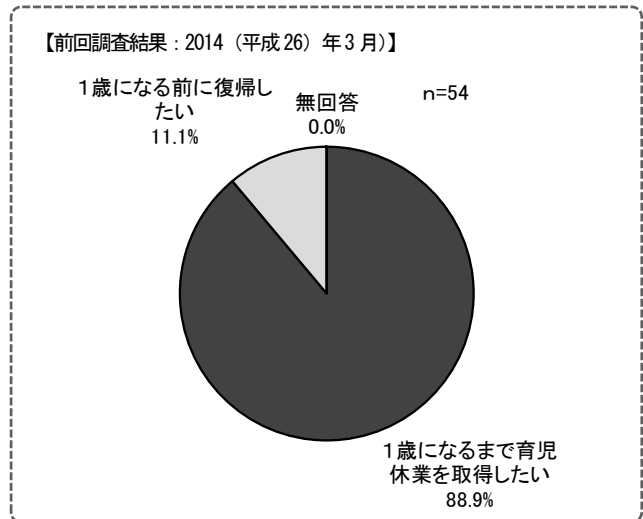
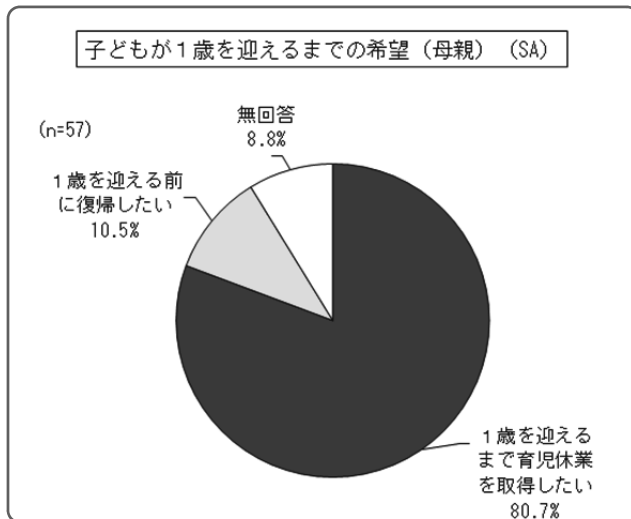


問28-5 問28-1で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

宛名のお子さんが1歳を迎えるときに必ず利用できる事業があれば、1歳を迎えるまで育児休業を取得したいですか。または、宛名のお子さんが1歳を迎えるときに必ず利用できる事業があっても、1歳を迎える前に復帰したいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

育児休業を「取得」し、かつ、「現在も休業中である」と回答した母親に利用できる事業があることを前提としての1歳前後での職場復帰についてお聞きしたところ、「1歳になるまで育児休業を取得したい」との回答が、80.7%となっています。

※なお、今回、前回ともに「父親」の回答はありませんでした。



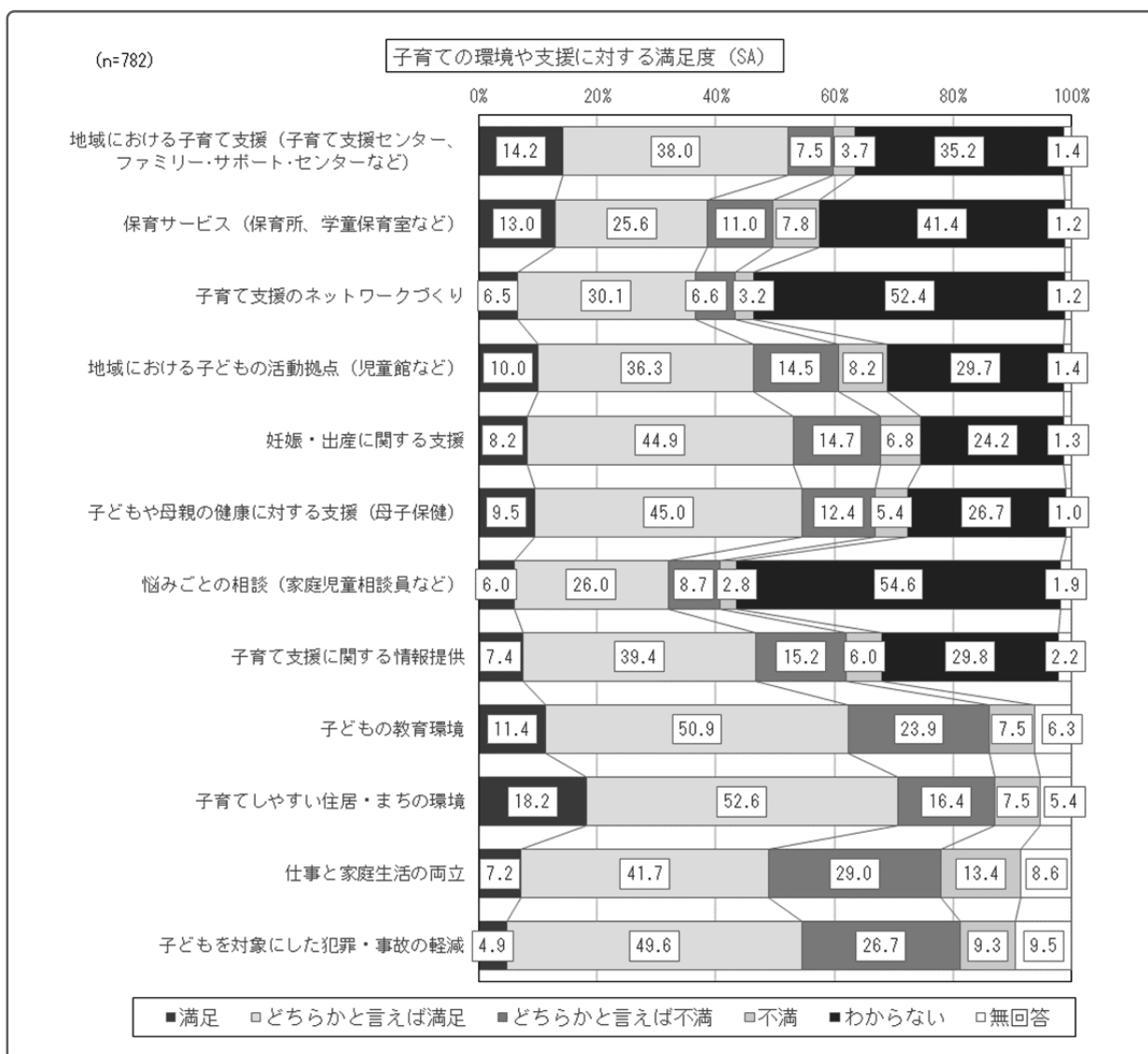
8. 子育て施策

①子育ての各分野への満足度

問 29 次の各項目における子育ての環境や支援に対してどのように感じているかがいます。「1.」～「12.」の項目ごとに、該当するものをそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

子育ての各分野に対する環境や支援に対しての満足度について、「満足」と「どちらかと言えば満足」を合わせた、『満足』は、「子育てしやすい住居・まちの環境」が70.8%と最も高くなっています。次いで、「子どもの教育環境」が62.3%、「子どもや母親の健康に対する支援（母子保健）」及び「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」が54.5%、「妊娠・出産に関する支援」が53.1%となっています。

一方、「どちらかと言えば不満」と「不満」を合わせた『不満』は、「仕事と家庭生活の両立」が42.4%と最も高くなっています。次いで、「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」が36.0%、「子どもの教育環境」が31.4%と続いています。



※「子どもの教育環境」、「子育てしやすい住居・まちの環境」「仕事と家庭生活の両立」、「犯罪・事故の軽減」の4項目については「分からない」の選択肢は設定していません。

今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、

○今回の調査結果で『満足』の高い順に、前回の調査結果との比較をすると、

- ①「子育てしやすい住居・まちの環境」が61.9%から70.8%に増加
- ②「子どもの教育環境」が58.1%から62.3%に増加
- ③「子どもや母親の健康に対する支援（母子保健）」が62.3%から54.5%に低下
「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」が42.0%から54.5%に増加
- ⑤「妊娠・出産に関する支援」が47.7%から53.1%に増加

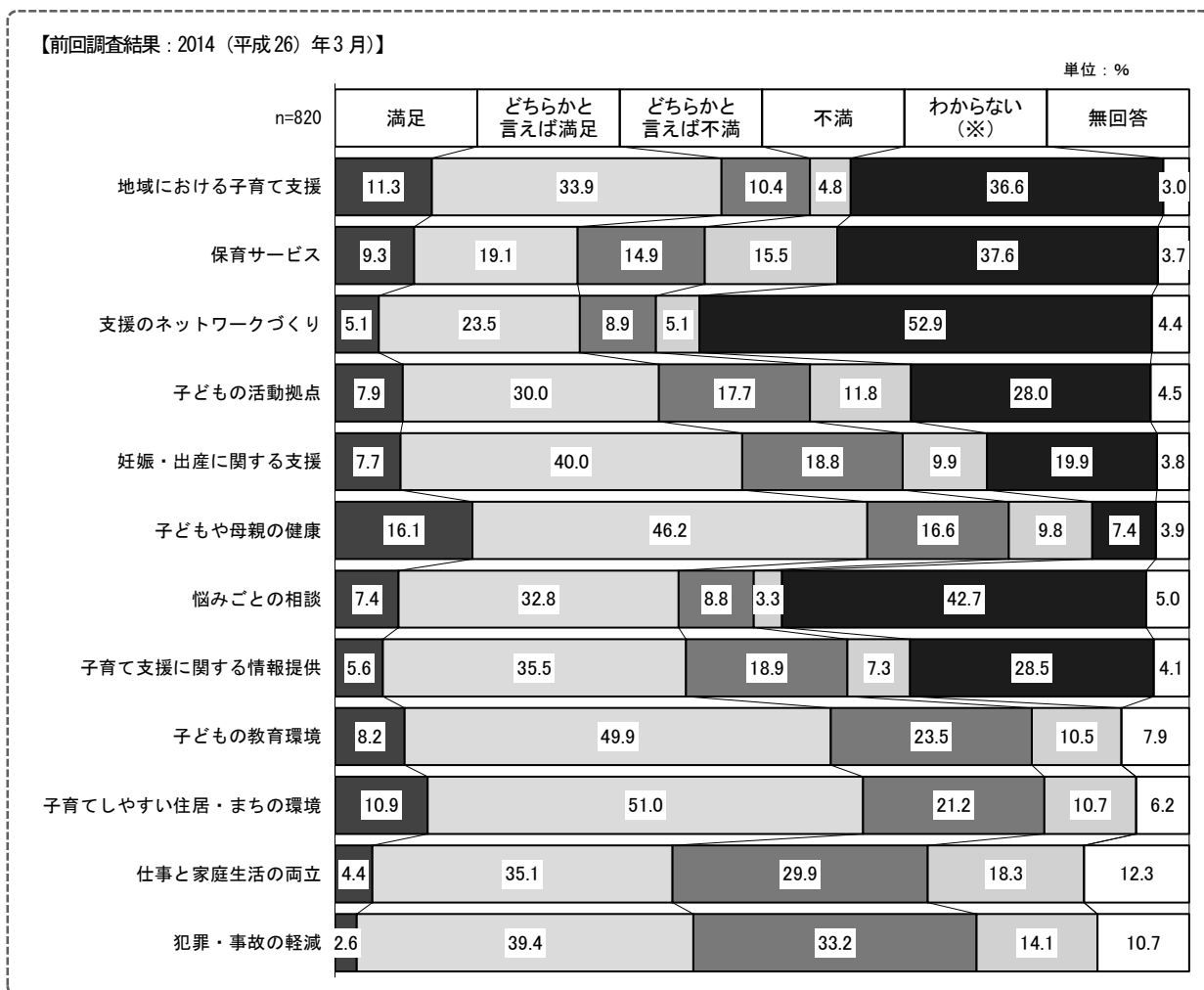
となっています。一方、

○今回の調査結果で『不満』の高い順に、前回の調査結果との比較をすると、

- ①「仕事と家庭生活の両立」が48.2%から42.4%に低下
- ②「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」が47.3%から36.0%に低下
- ③「子どもの教育環境」が34.0%から31.4%に低下
- ④「子育てしやすい住居・まちの環境」が31.9%から23.9%に低下

となっています。

このうち、「子どもや母親の健康に対する支援（母子保健）」の『満足』が低下しているとともに、「仕事と家庭生活の両立」への『不満』は低下しているものの、40%を超えていることに留意する必要があるといえます。



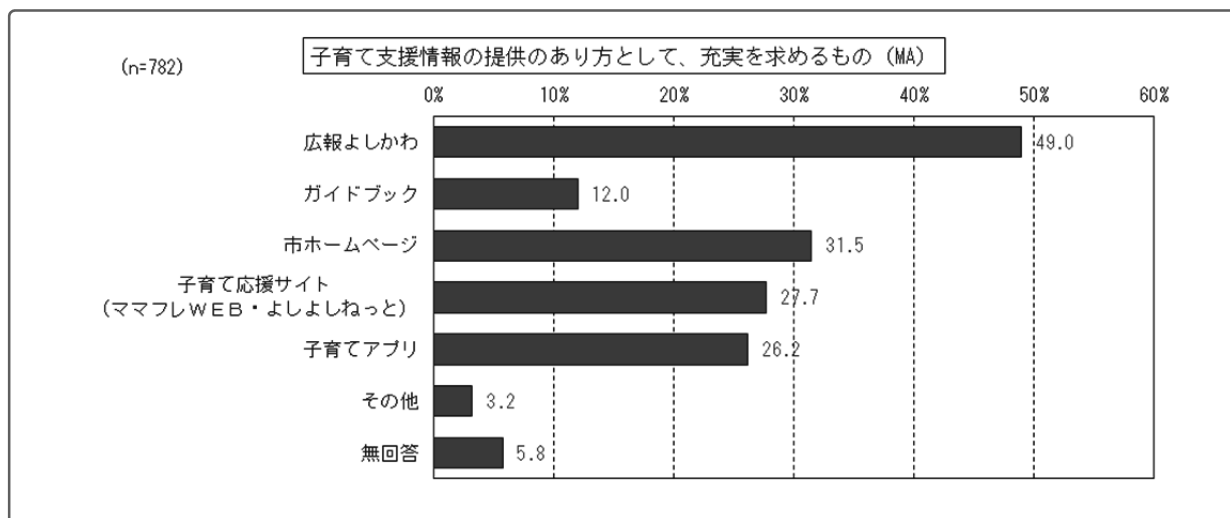
※「子どもの教育環境」、「子育てしやすい住居・まちの環境」「仕事と家庭生活の両立」、「犯罪・事故の軽減」の4項目については「分からない」の選択肢はありませんでした。

②情報提供のあり方

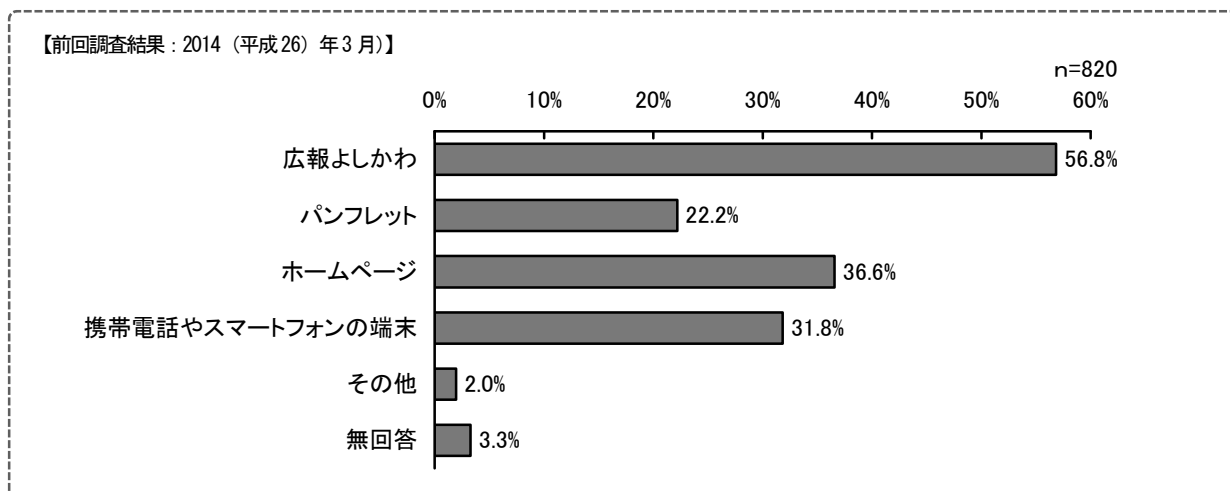
問 30 市が行っている子育て支援の情報提供のあり方として、特に何の充実を望みますか。該当するものを選んで○をつけてください。

子育て支援に関する情報提供のあり方としては、「広報よしかわ」への回答が49.0%と最も高くなっており、次いで「市ホームページ」が31.5%、「子育て応援サイト」が27.7%、「子育てアプリ」が26.2%と続いています。

広報の充実を求める回答が最も高い結果となっていますが、インターネットを利用した情報提供の充実や、ソフトの活用も望まれています。



今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、情報の活用手段や提供方法の多様化に対する要望が高まっていることがうかがえます。



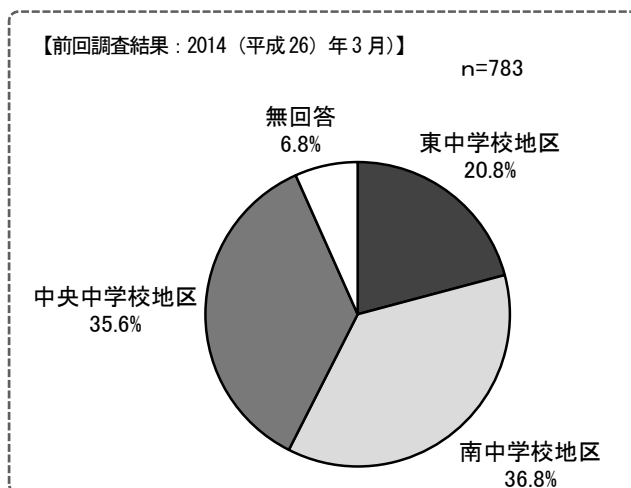
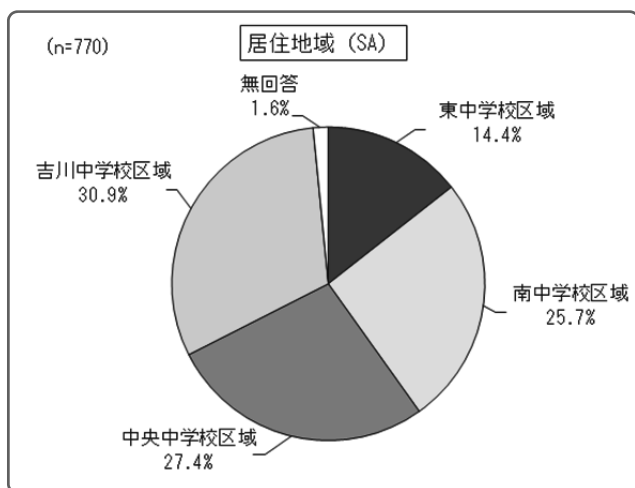
第3章 調査結果（小学生児童）

第3章 調査結果（小学生児童）

1. 地域と家庭の状況

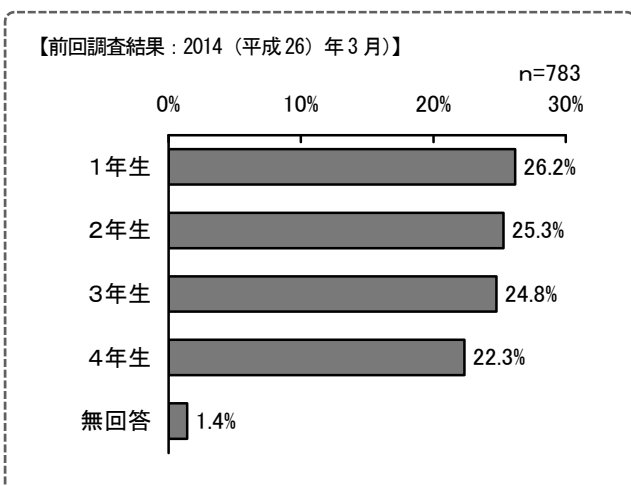
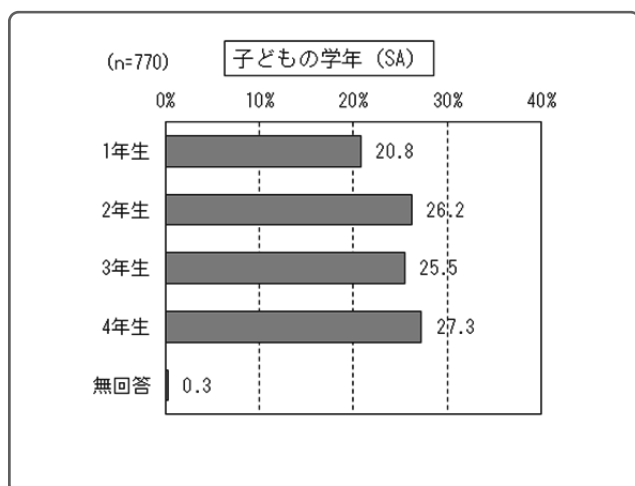
問1 お住まいの地域として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

平成32年4月の吉川中学校の開校に伴い設定した、吉川中学校区域の居住者割合が30.9%と最も高い回答割合となっています。



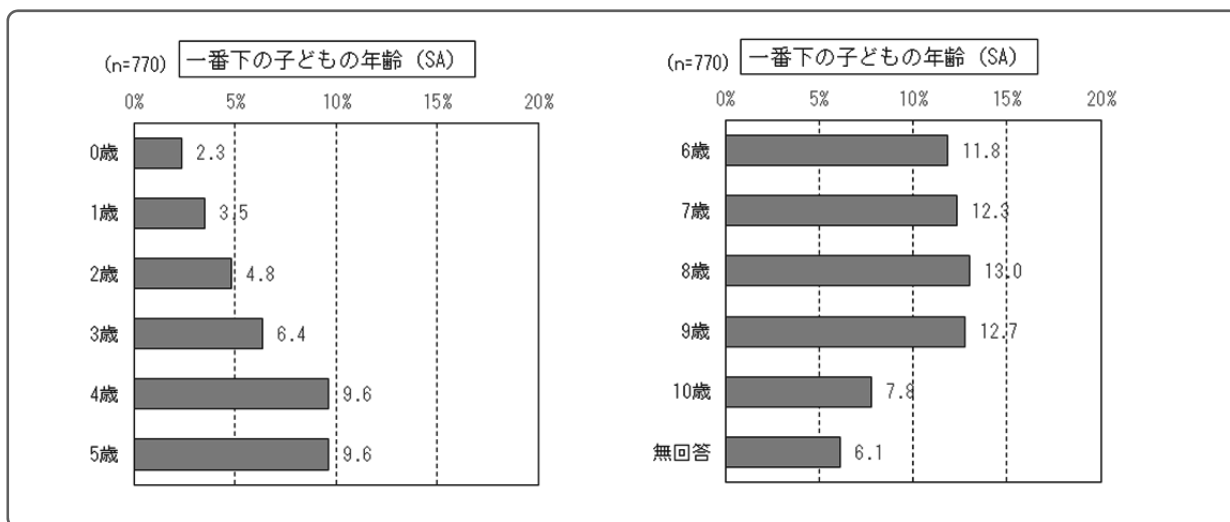
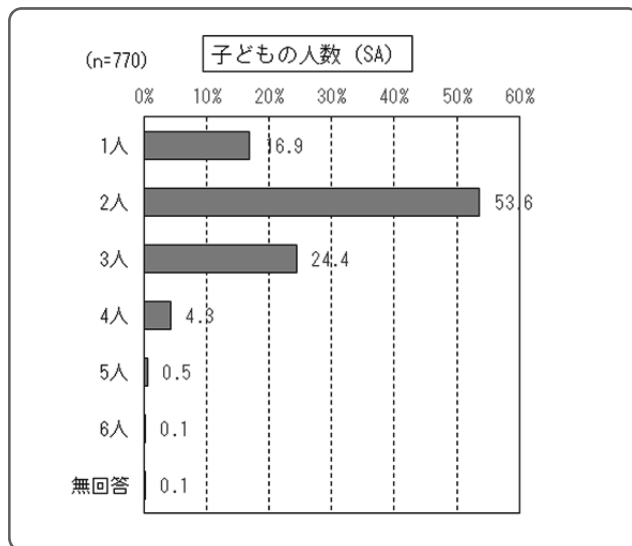
問2 宛名のお子さんは、小学校何年生ですか。現在の学年をご記入ください。（口内に数字でご記入ください。）

回答者の子どもの年齢構成は、以下のとおりでした。



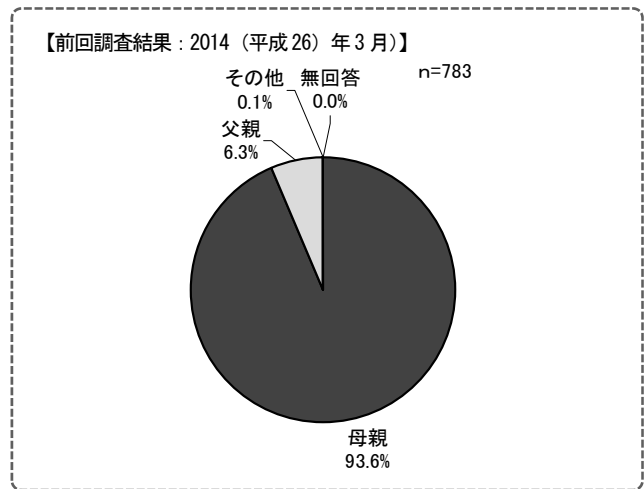
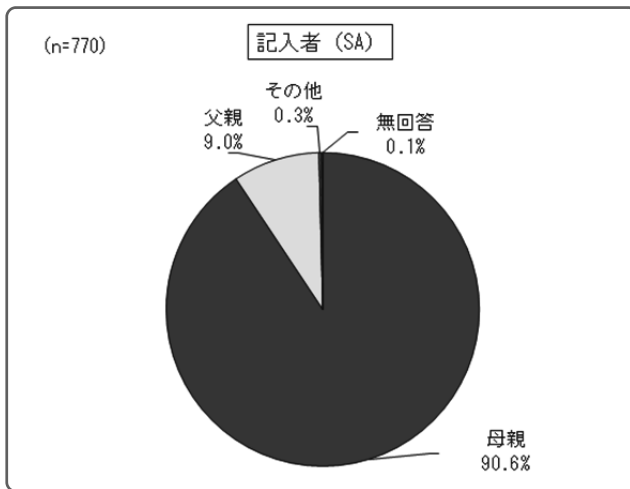
問2-1 宛名のお子さんを含めたお子さんの人数をご記入ください。また、一番下のお子さんの年齢（平成30年4月1日現在）をご記入ください。（口内に数字でご記入ください。）

回答者の子どもの人数は、2人が53.6%と最も高く、次いで3人が24.4%、1人が16.9%となっています。



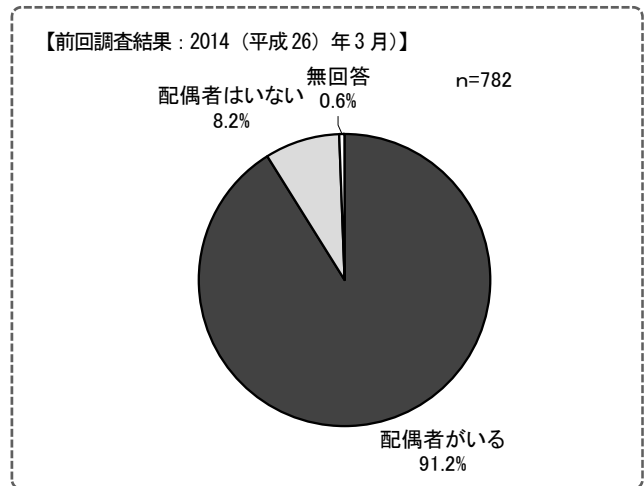
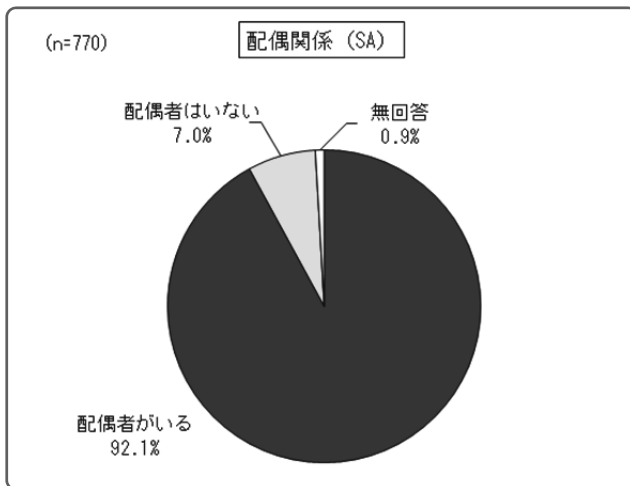
問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

回答者は「母親」が90.6%と、回答者のほとんどが母親となっています。



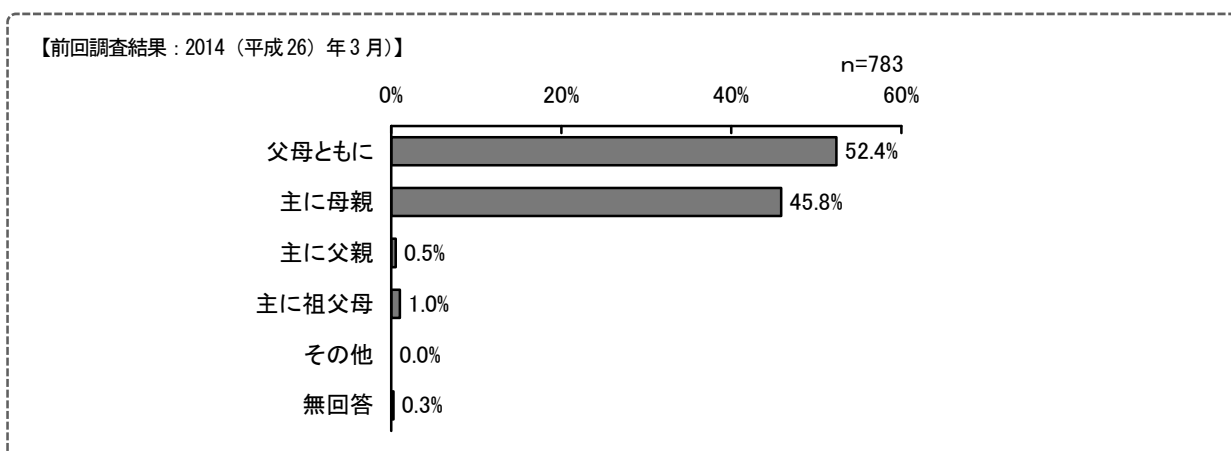
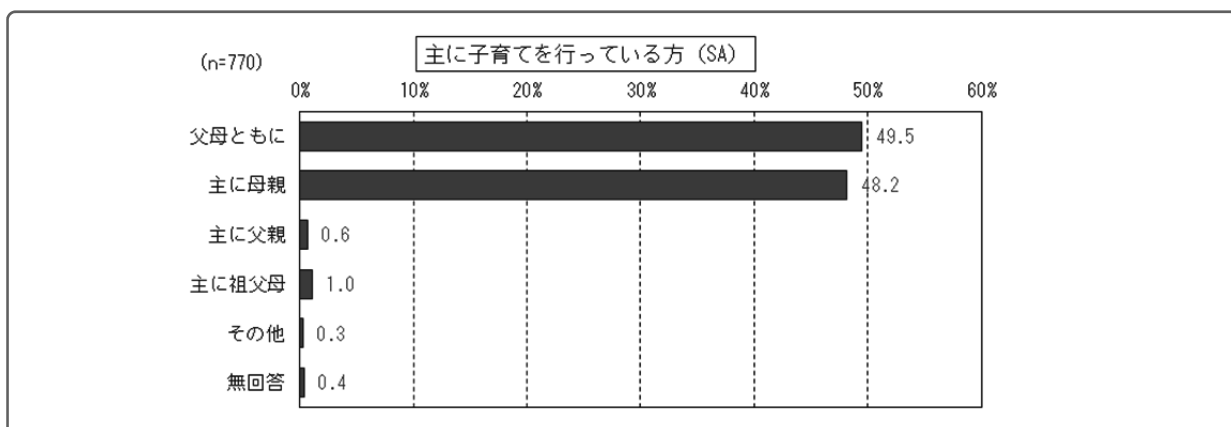
問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。（問3で「3. その他」と回答した方は回答不要です）

回答者の92.1%が「配偶者がいる」と回答し、「配偶者がいない」への回答は7.0%となっています。



問5 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

子育てを主に行っているのは「父母ともに」が49.5%で最も高く、次いで「主に母親」が48.2%となっています。

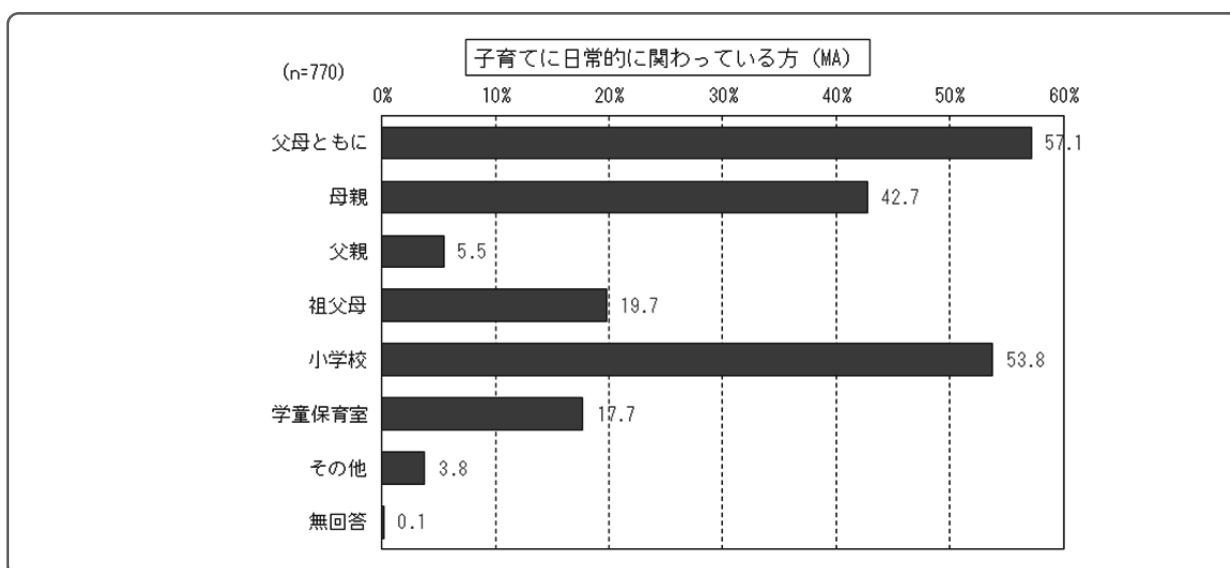


2. 子どもの育ちをめぐる環境

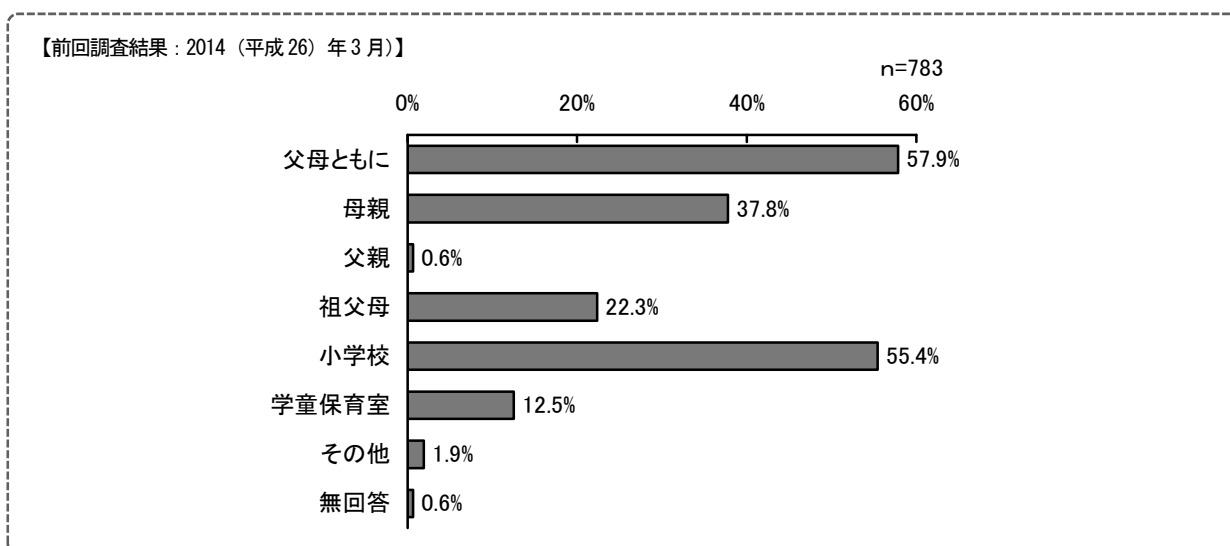
① 子育て

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子育てに日常的に関わってる人については、「父母ともに」が57.1%で最も高く、次いで「小学校」が53.8%、「母親」が42.7%、「祖父母」が19.7%、「学童保育室」が17.7%と続いています。



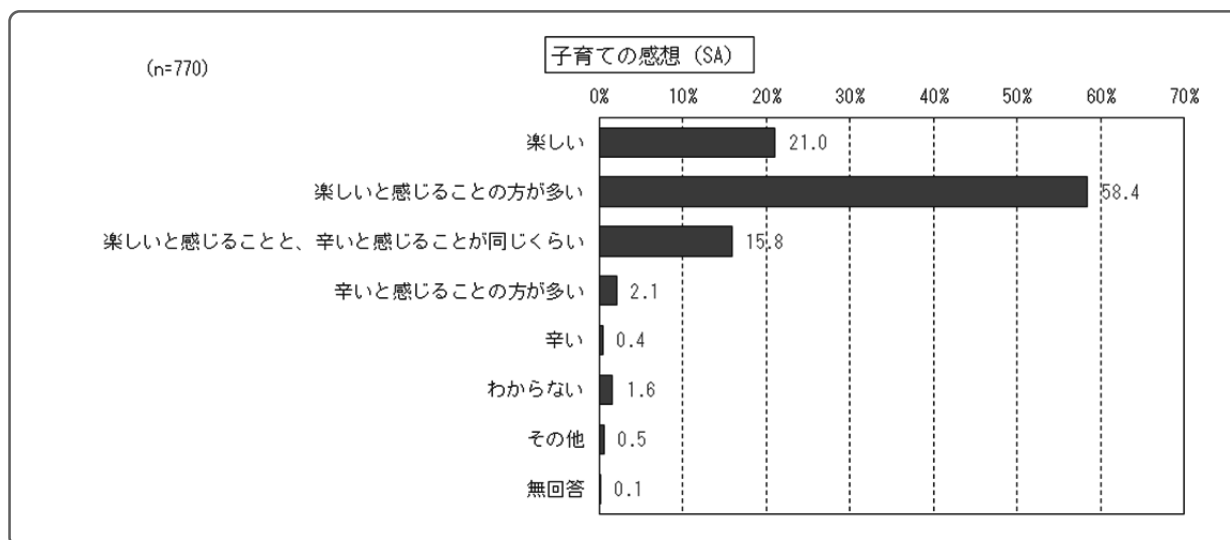
今回の調査結果を前回調査（2014年（平成26年）3月実施）と比較すると、「母親」及び「父親」の回答割合が僅かに高くなっている一方、「父母ともに」、「小学校」及び「祖父母」の回答割合が多少低下しています。



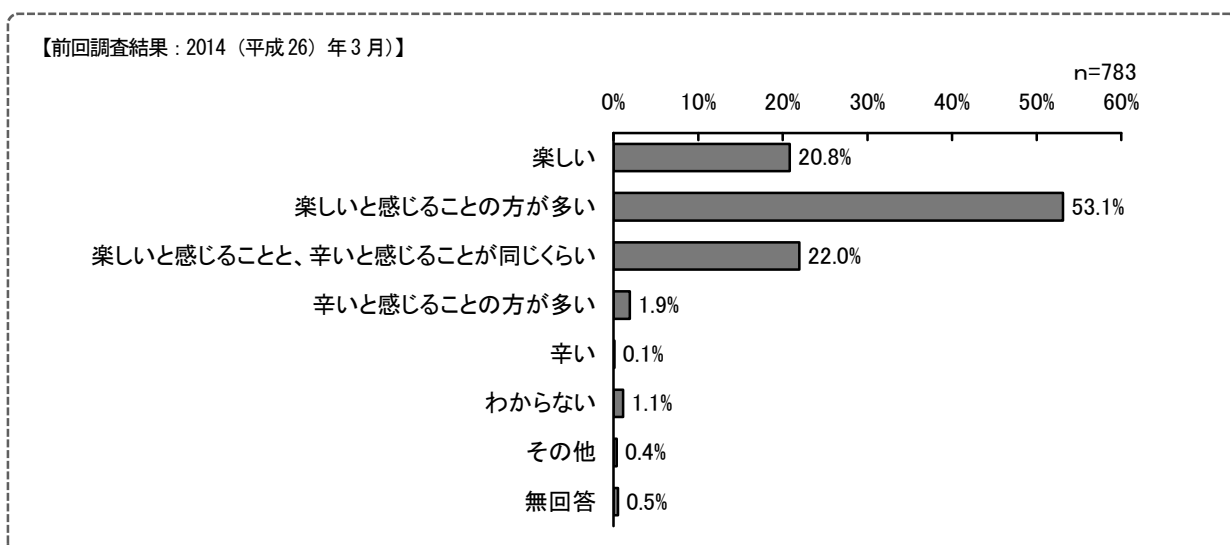
問7 宛名のお子さんの子育てに関して、もっとも近いと感じている番号1つに○をつけてください。

子育てをどう感じるかについては、「楽しいと感じるほうが多い」への回答が58.4%と最も高く、6割に近くになっています。

また、「楽しい」は21.0%となっており、「楽しいと感じることのほうが多い」を合わせた『楽しいと感じている』層は、79.4%で8割近い結果となっています。



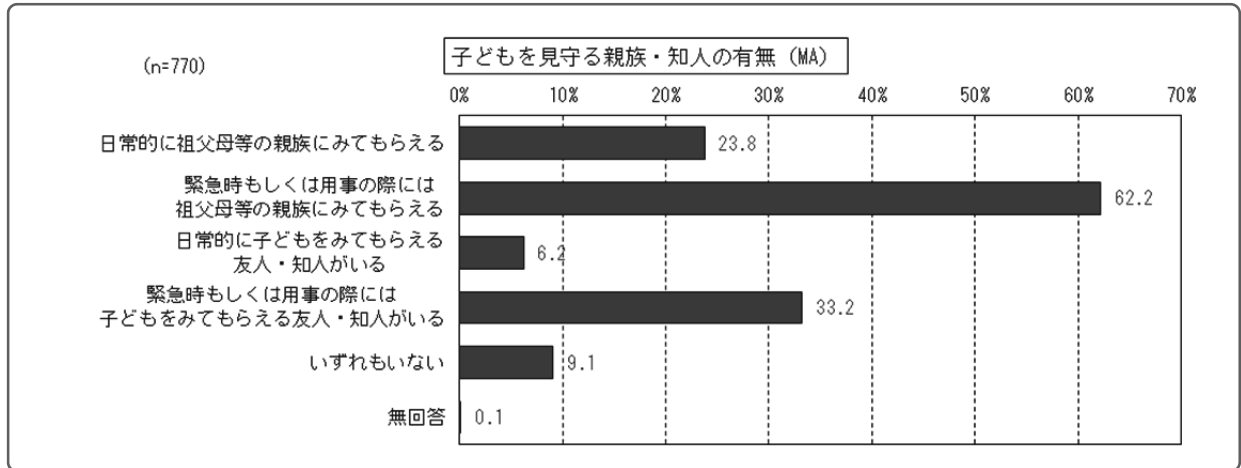
今回の調査結果を前回調査結果と比較すると、『楽しいと感じている』層は、今回が79.4%、前回は73.9%と増加する結果となっています。



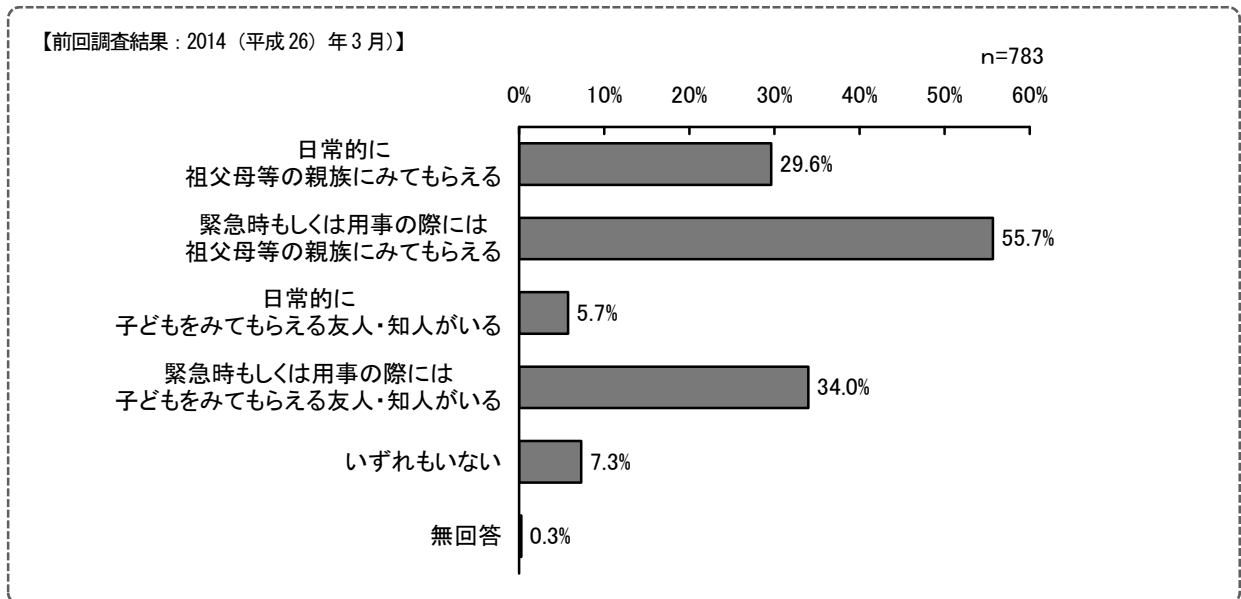
問8 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

日頃子どもを見てもらえるか、については「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が62.2%で最も高くなっています。

一方、「いずれもない」との回答は9.1%となっています。



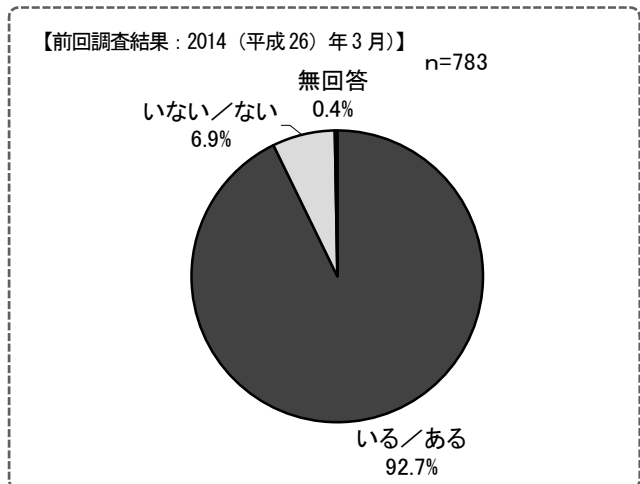
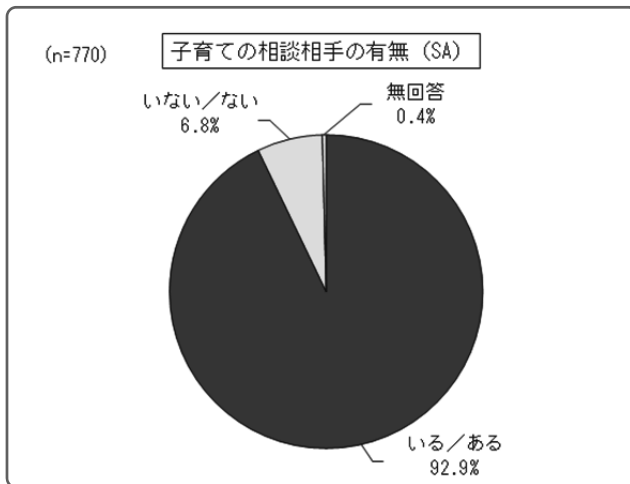
今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の回答割合が増加している一方、「日常的に祖父母等の親族に見てもらえる」の回答割合は低下しています。



② 子育ての相談先

問9 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

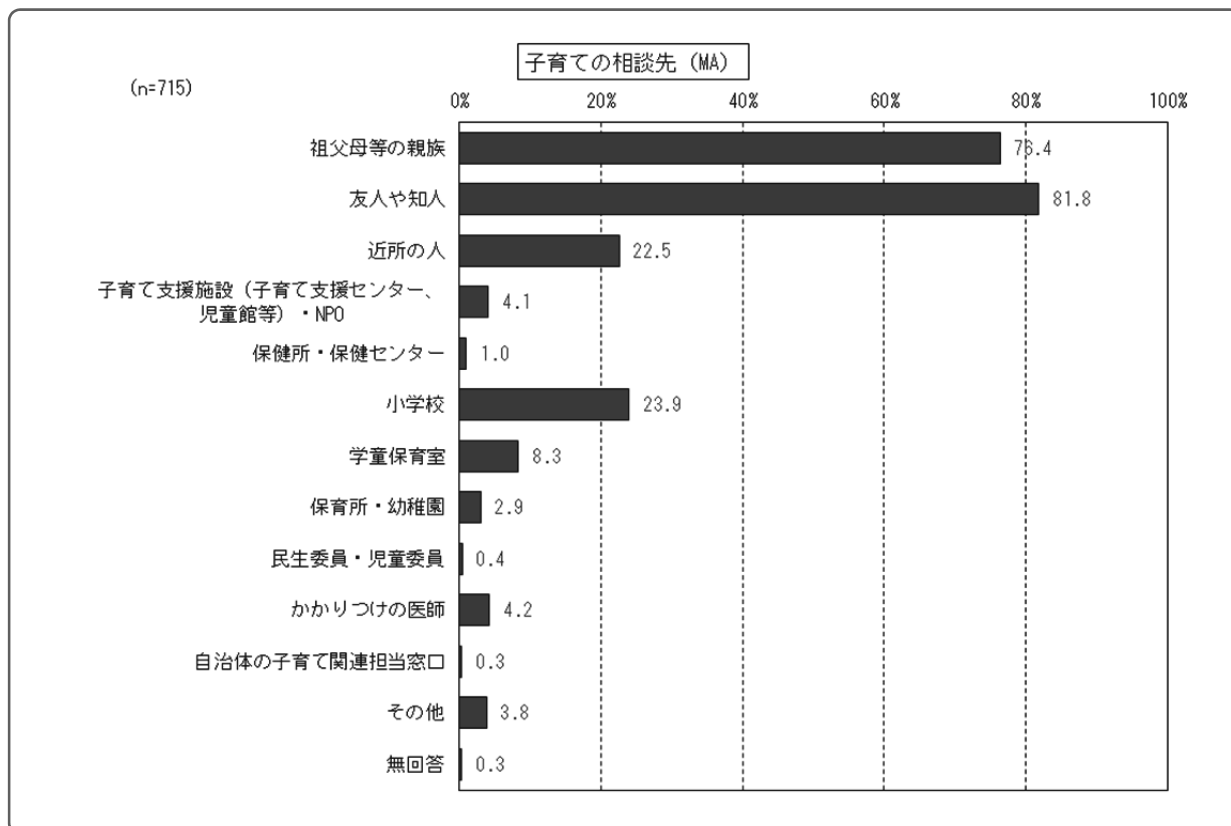
気軽に相談できる人、については「いる／ある」が92.9%と9割を超える結果となっています。今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、ほぼ同じ回答結果となっています。



問9-1 問9で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

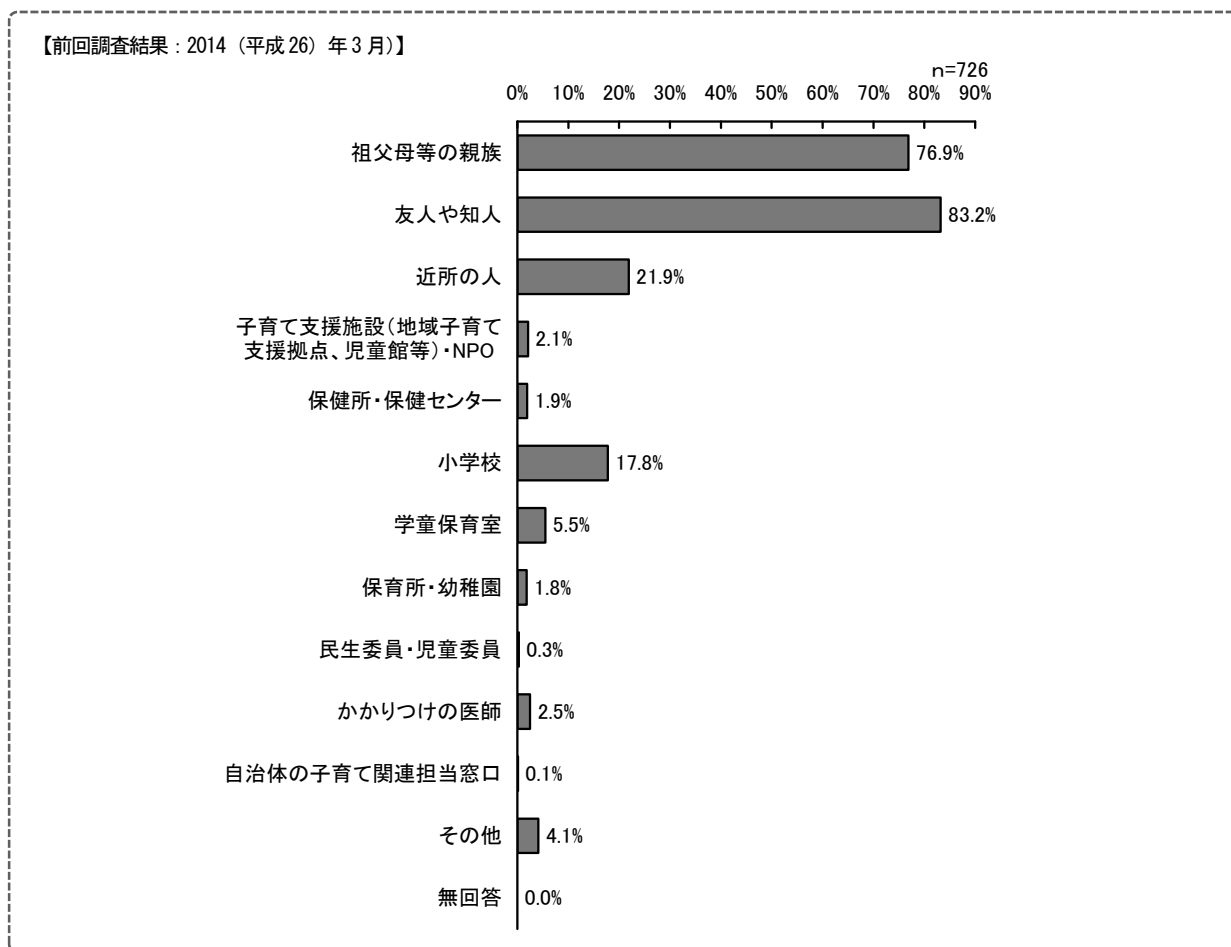
気軽に相談できる人・場所が「いる／ある」と回答した人に、その相談先についてたずねたところ、「友人や知人」が81.8%で最も高く、次いで「祖父母等の親族」が76.4%と、この2項目が特に高くなっています。

次いで、「小学校」が23.9%、「近所の人」が22.5%と続いています。



今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、回答割合の高い「友人や知人」及び「祖父母等の親族」は僅かに低下しています。

一方、「小学校」は回答割合が増加しています。



3. 就労状況

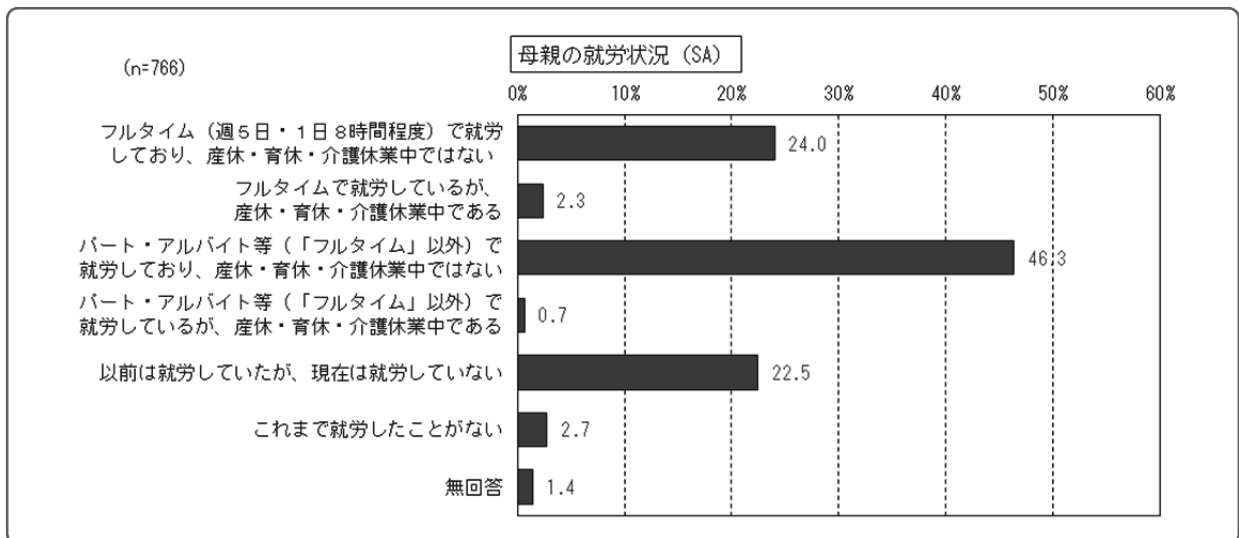
① 就労状況

問10 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

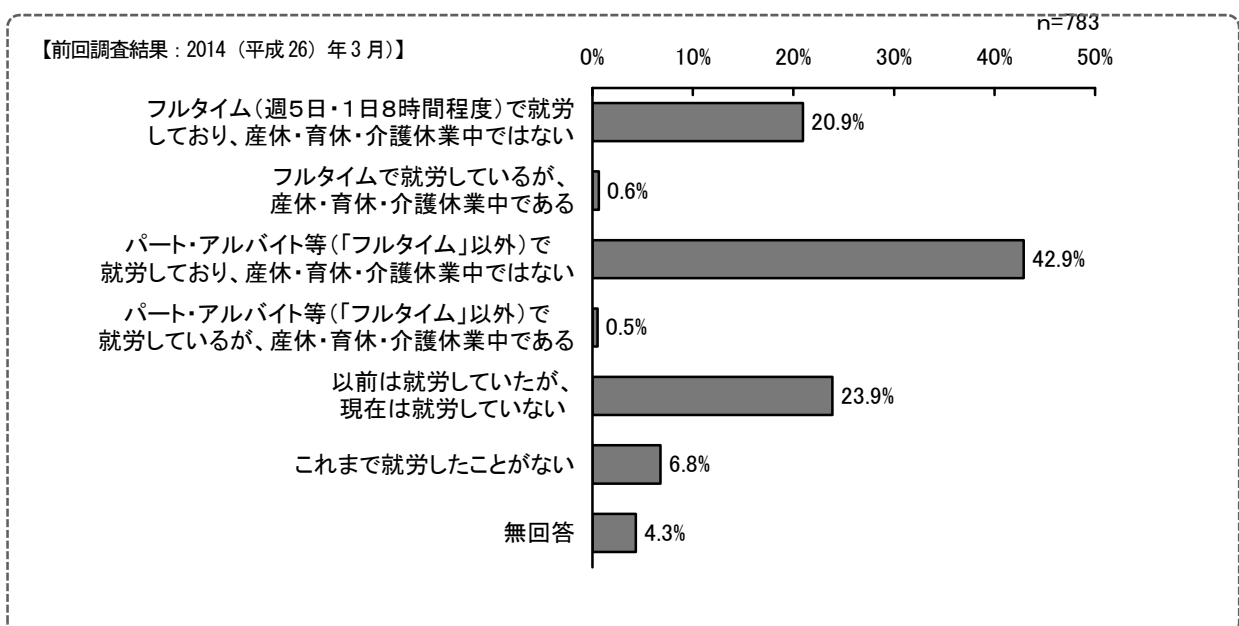
(1) 母親 【父子家庭の場合は、記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親の就労状況は、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が46.3%と最も高くなっています。

次いで、「フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が24.0%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が22.5%と続いており、産休等ではない『働いている』層は全体の70.3%となっています。

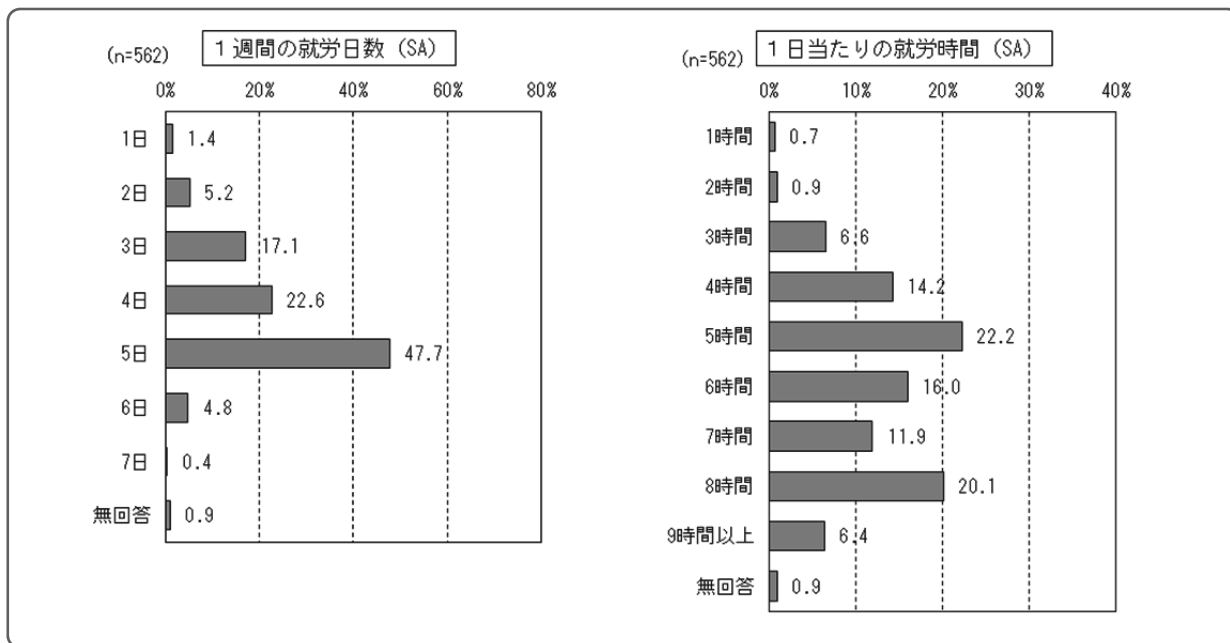


今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、「フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」とともに増加しています。

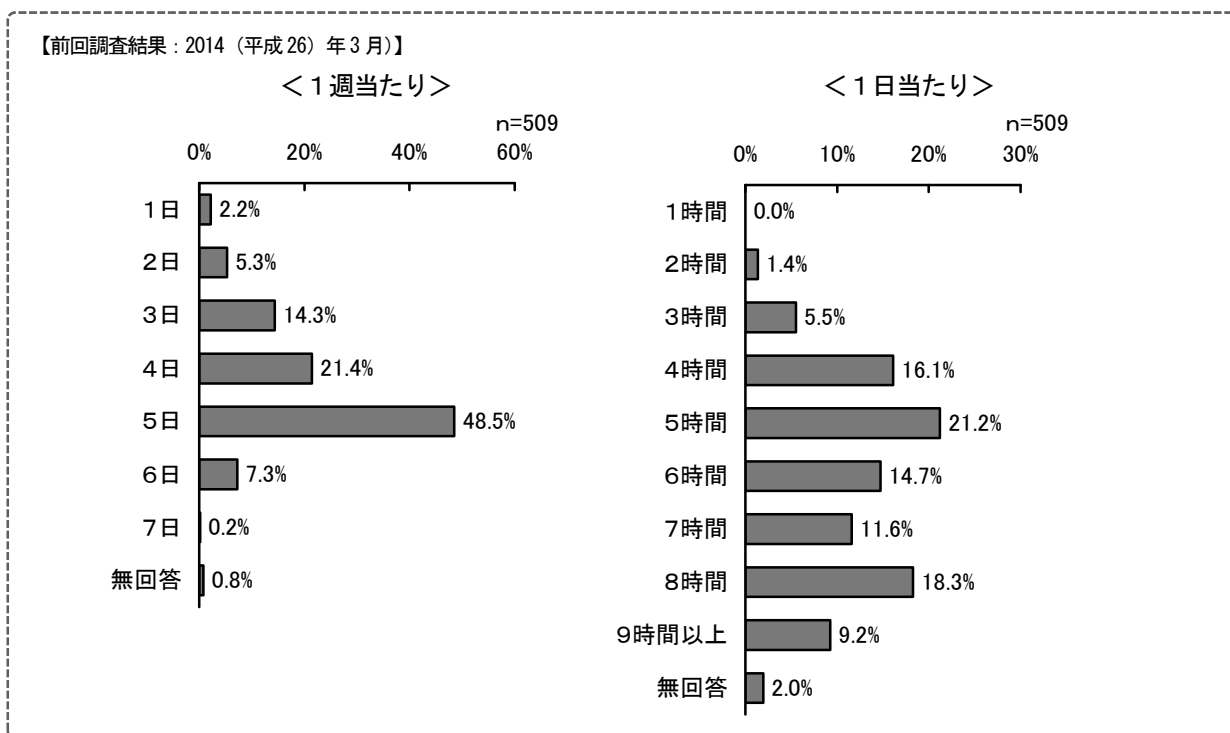


(1) -1 (1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(口内に数字でご記入ください。)

就労している母親の就労状況については、1週当たりの就労日数では「5日」との回答が47.7%で最も高く、1日当たりの就労時間では「5時間」が22.2%で最も高く、次いで、「8時間」が20.1%と続いています。

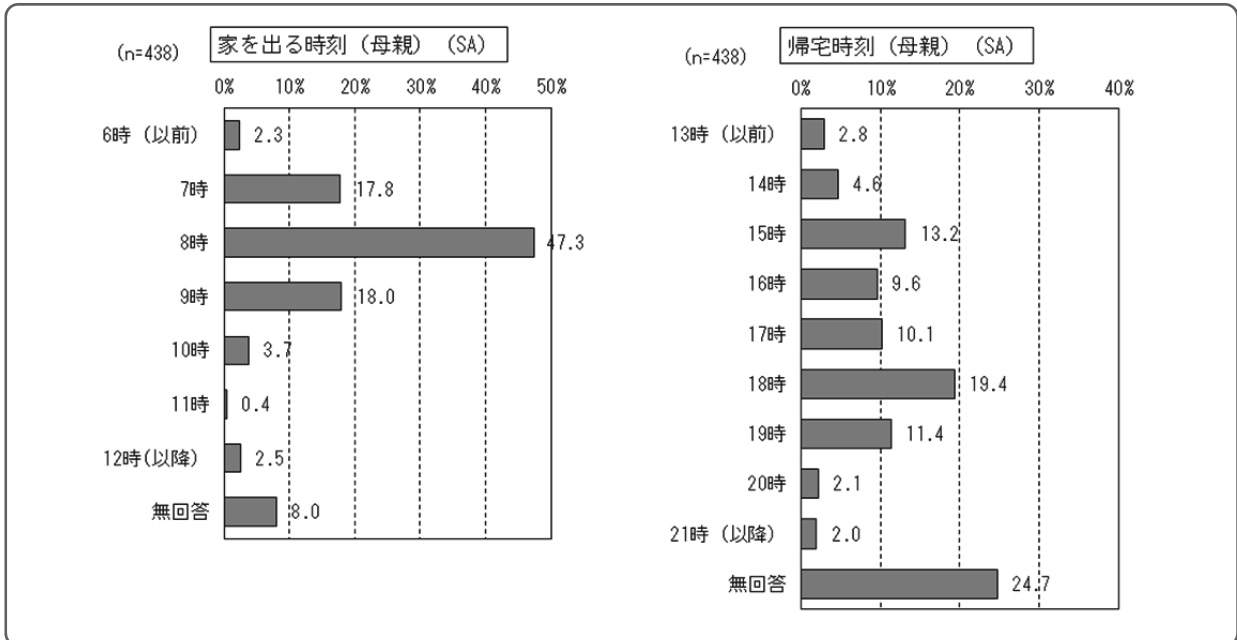


今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、就労日数は全体的に増加し、就労時間も「5時間」から「8時間」で増加しています。

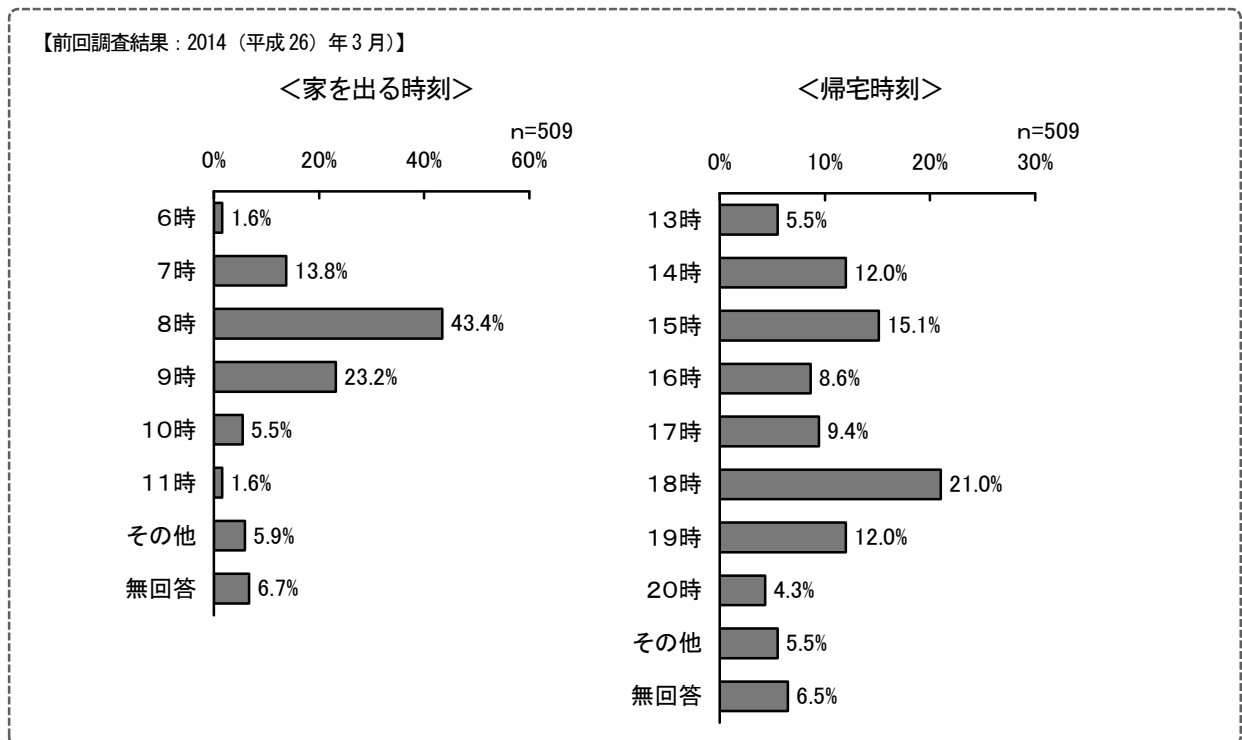


(1) -2 (1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時刻は、必ず(例)8時、18時のように、24時間制でお答えください。(口内に数字でご記入ください。)

就労している母親が家を出る時刻は、「8時」台が47.3%、帰宅時刻は「18時」台が19.4%で最も高くなっています。

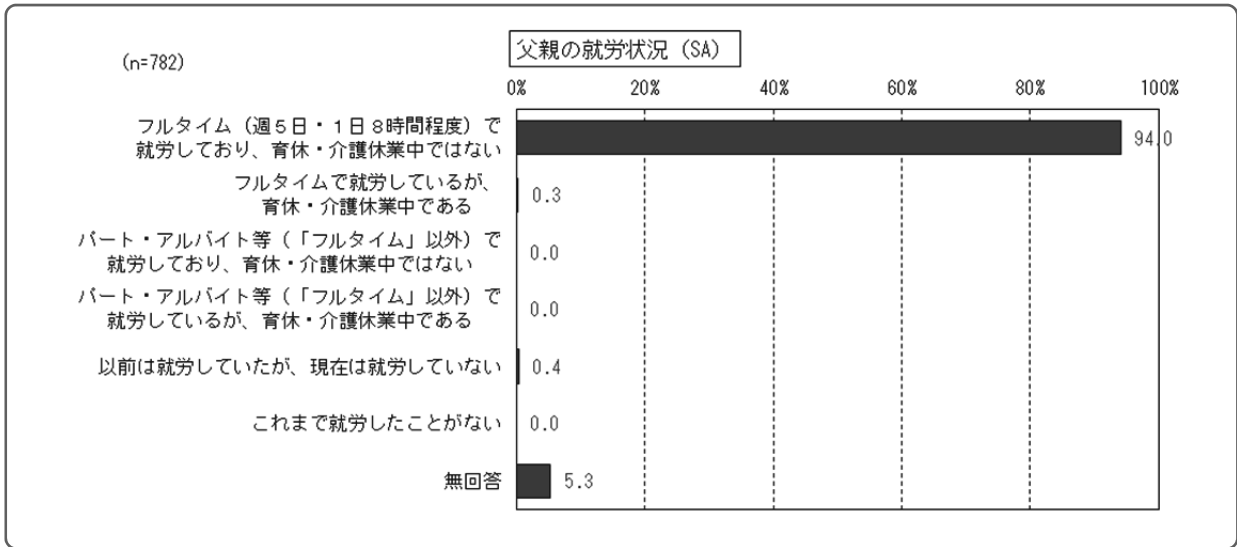


今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、家を出る時刻は「7時」台及び「8時」台がともに増加していますが、帰宅時刻は「18時」台が僅かに低下しています。

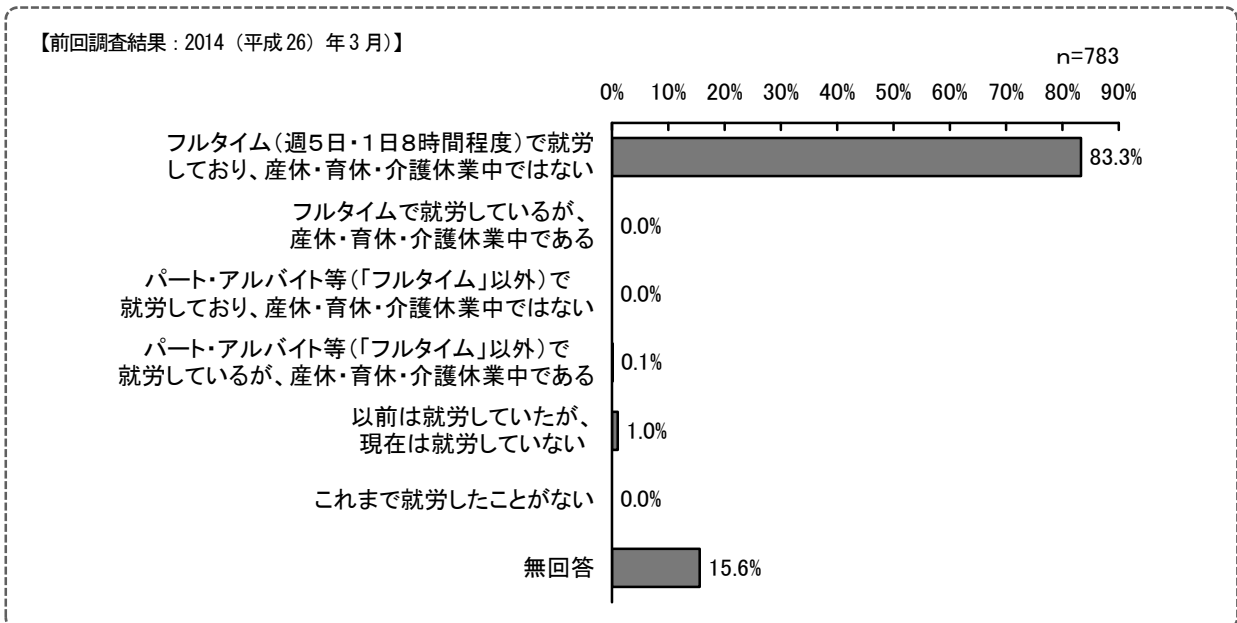


(2) 父親 【母子家庭の場合は、記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

父親の就労状況は、「フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労しており、育休・介護休業中ではない」が94.0%です。

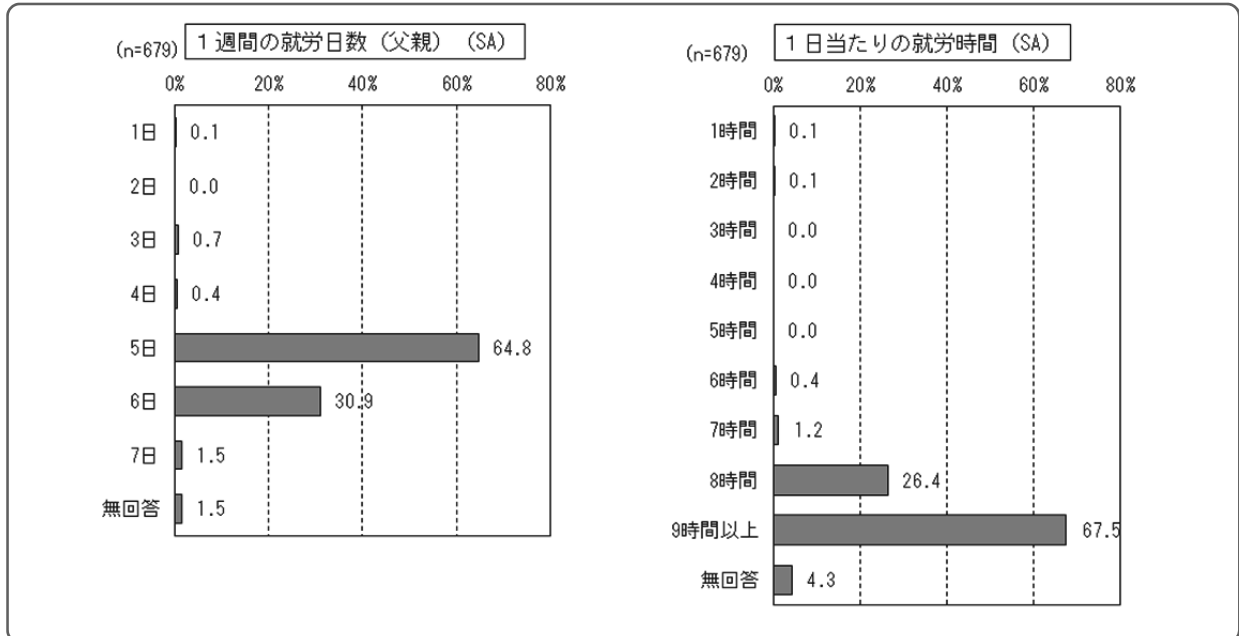


今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、大きな違いは出ていません。

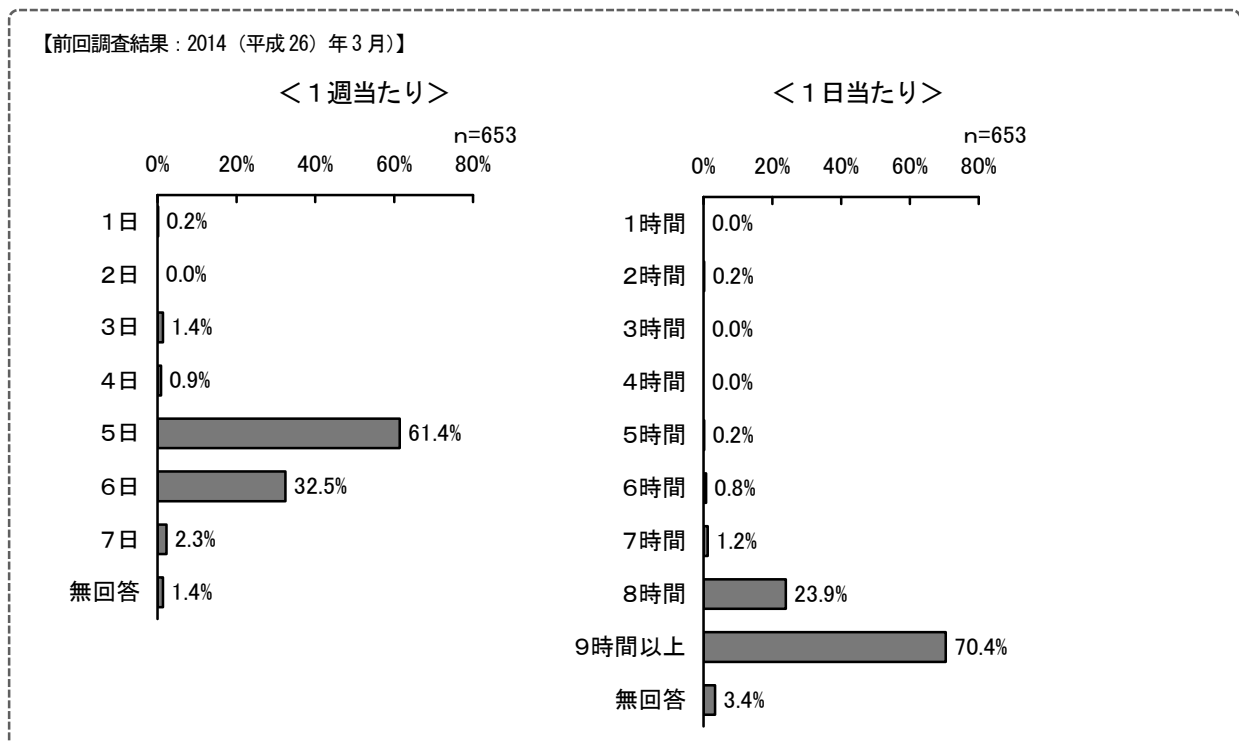


(2) -1 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(口内に数字でご記入ください。)

就労している父親の就労状況は、1週当たりの就労日数では「5日」との回答が64.8%で最も高く、1日当たりの就労時間では「9時間以上」が67.5%で最も高くなっています。

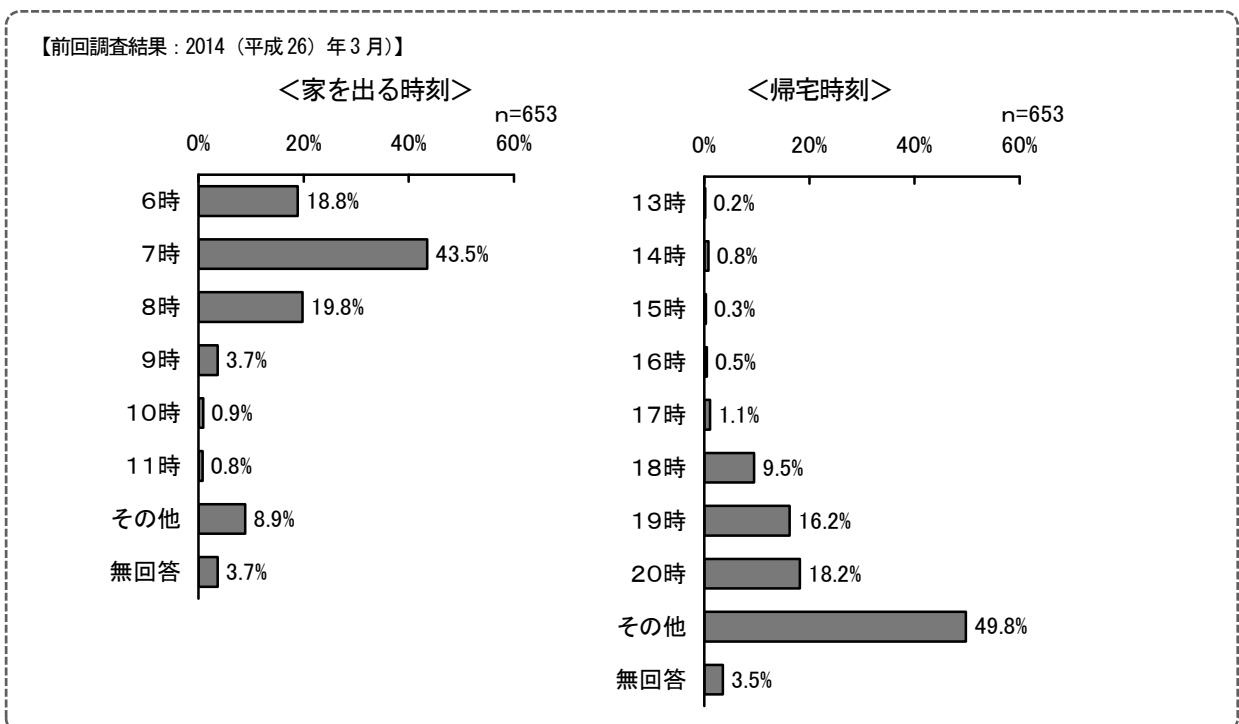
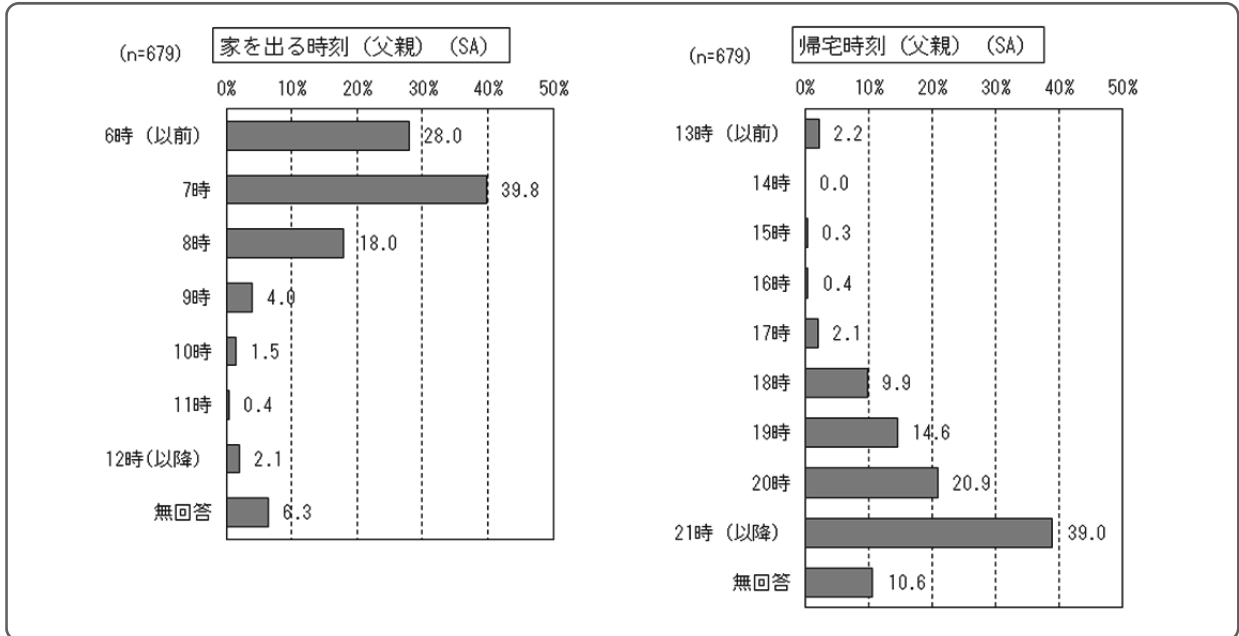


今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、就労日数は「5日」が増加し、就労時間は「8時間」で多少増加し、「9時間以上」で多少減少する結果となっています。



(2) -2 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時刻は、必ず(例)8時、18時のように、24時間制でお答えください。(口内に数字でご記入ください。)

就労している父親が家を出る時刻は、「7時」台が39.8%、帰宅時刻は「21時(以降)」台が39.0%で最も高くなっています。



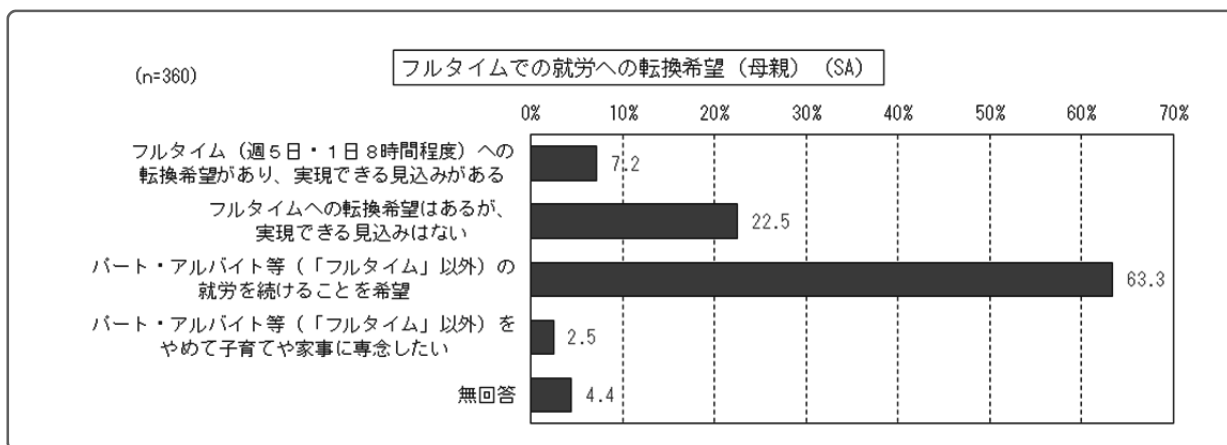
② 就労の転換意向

問 11 問 10 の「(1) 母親」または「(2) 父親」で「3.」または「4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。

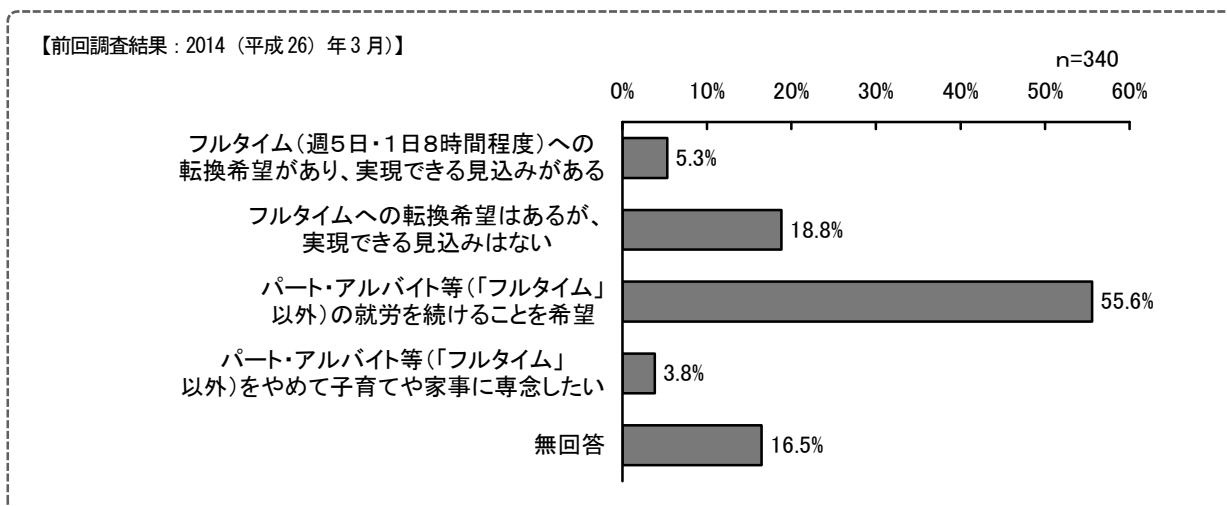
フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

パート、アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」との回答が63.3%で最も高くなっています。



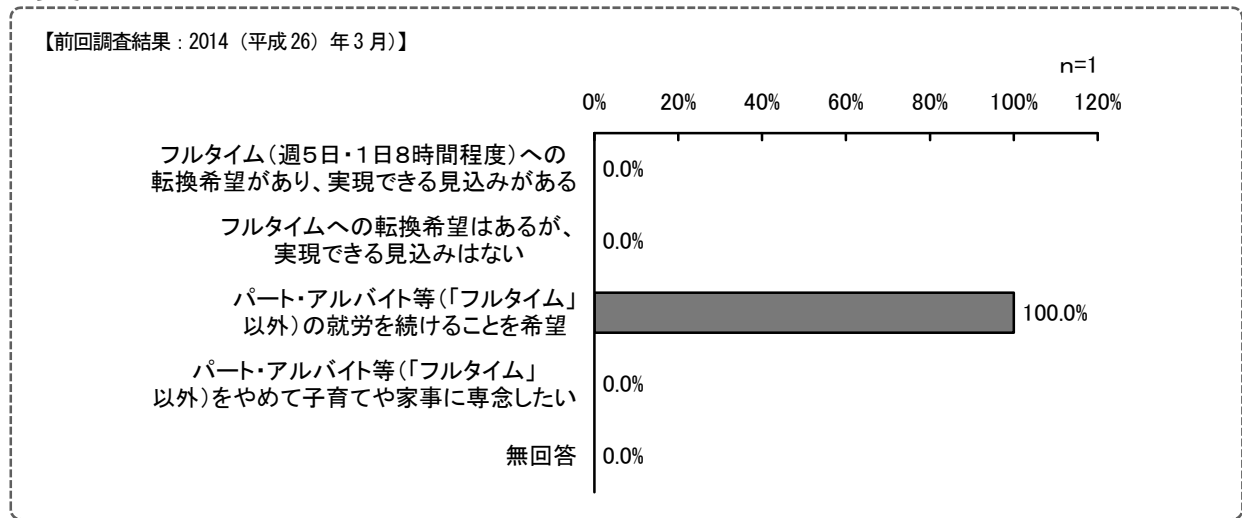
今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」が増加し、「フルタイム(週5日・1日8時間程度)への転換希望があり、実現できる見込みがある」と「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が多少増加しています。



(2) 父親

パート、アルバイト等で就労していると回答した父親はいませんでした。

☆参考

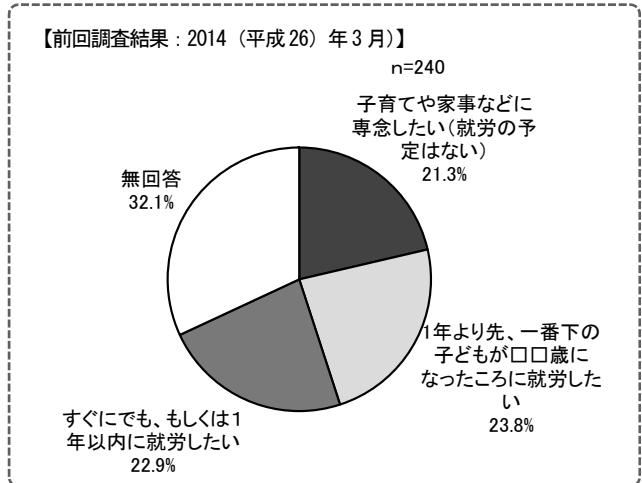
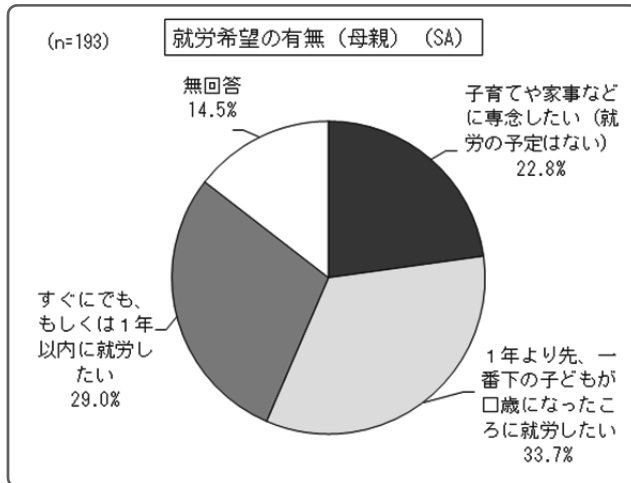


問12 問10の「(1) 母親」または「(2) 父親」で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。
 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。

(1) 母親

現在、休業等以外で就労していない母親の就労意向については、「1年より先、一番下の子どもが□歳になったころに就労したい」との回答が33.7%で最も高くなっています。

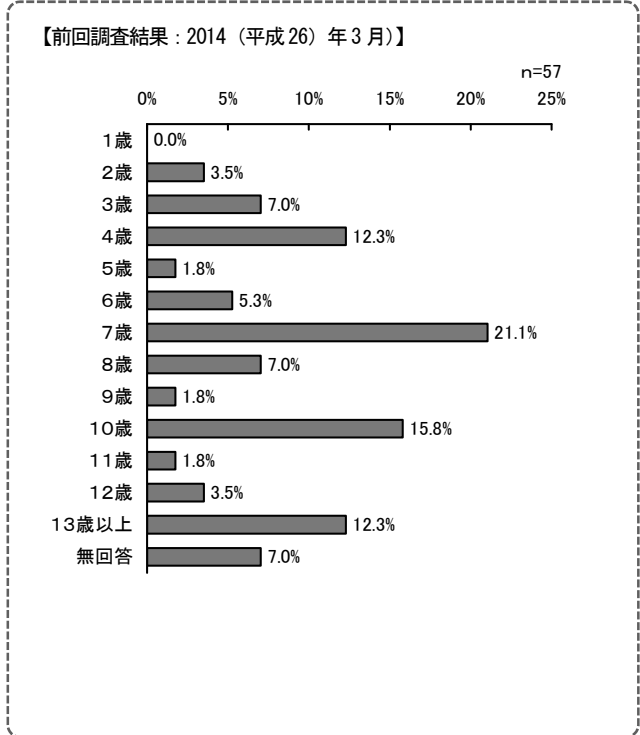
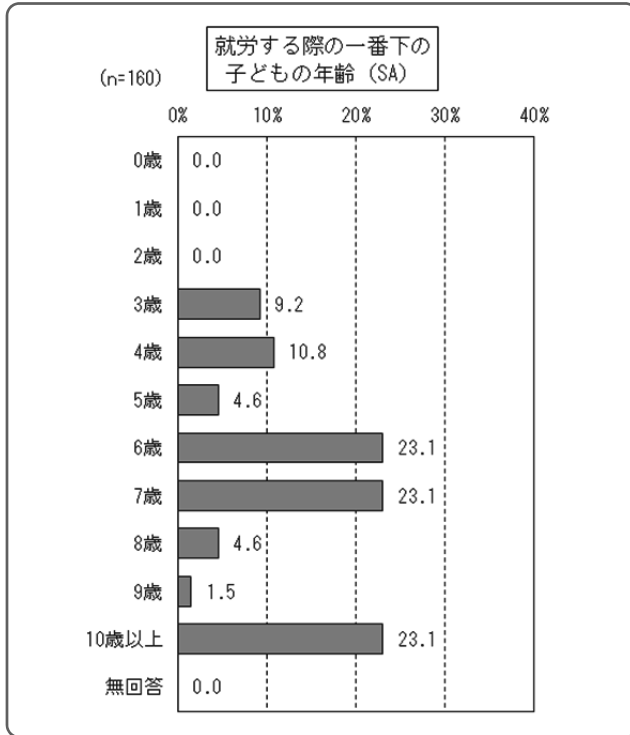
今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が僅かに増加しているとともに、「1年より先、一番下の子どもが□歳になったころに就労したい」及び「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」も増加する結果となっています。



■ 『1年より先、一番下の子どもが□歳になったところに就労したい』の年齢

『1年より先、一番下子どもが□歳になったところに就労したい』と回答した人にその年齢を記入していたところ、「6歳」、「7歳」及び「10歳以上」がともに23.1%と高くなっています。

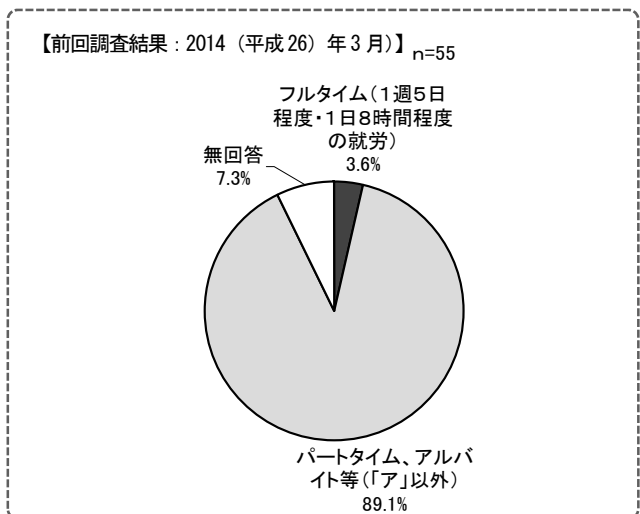
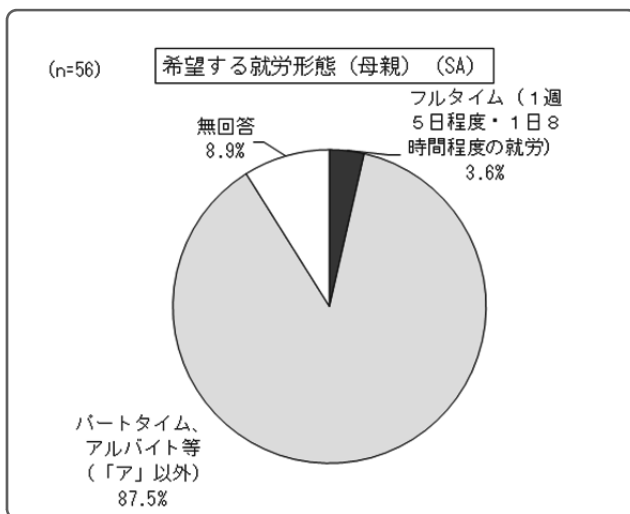
今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、「2歳」の回答割合が低下し、「6歳」の回答割合が増加する結果となっています。



■ 希望する就労形態

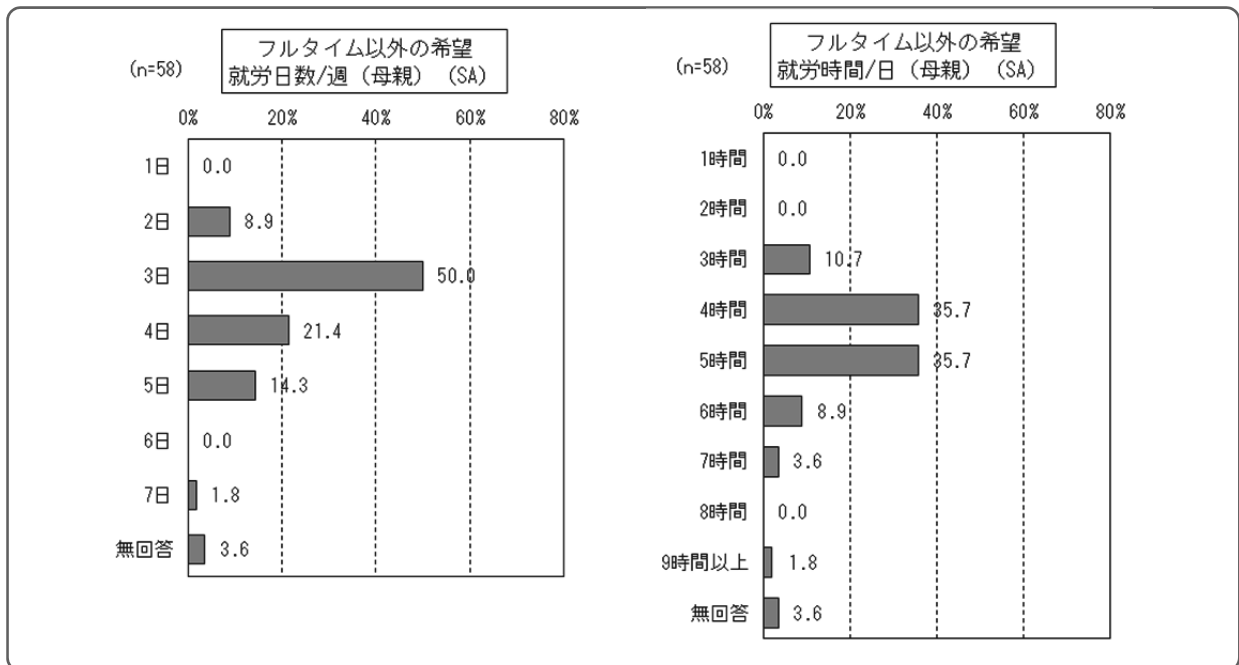
『すぐにも、もしくは1年以内に就労したい』と回答した人に就労形態をたずねたところ、「パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）」が87.5%で最も高くなっています。

今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、大きな差異はない結果となっています。

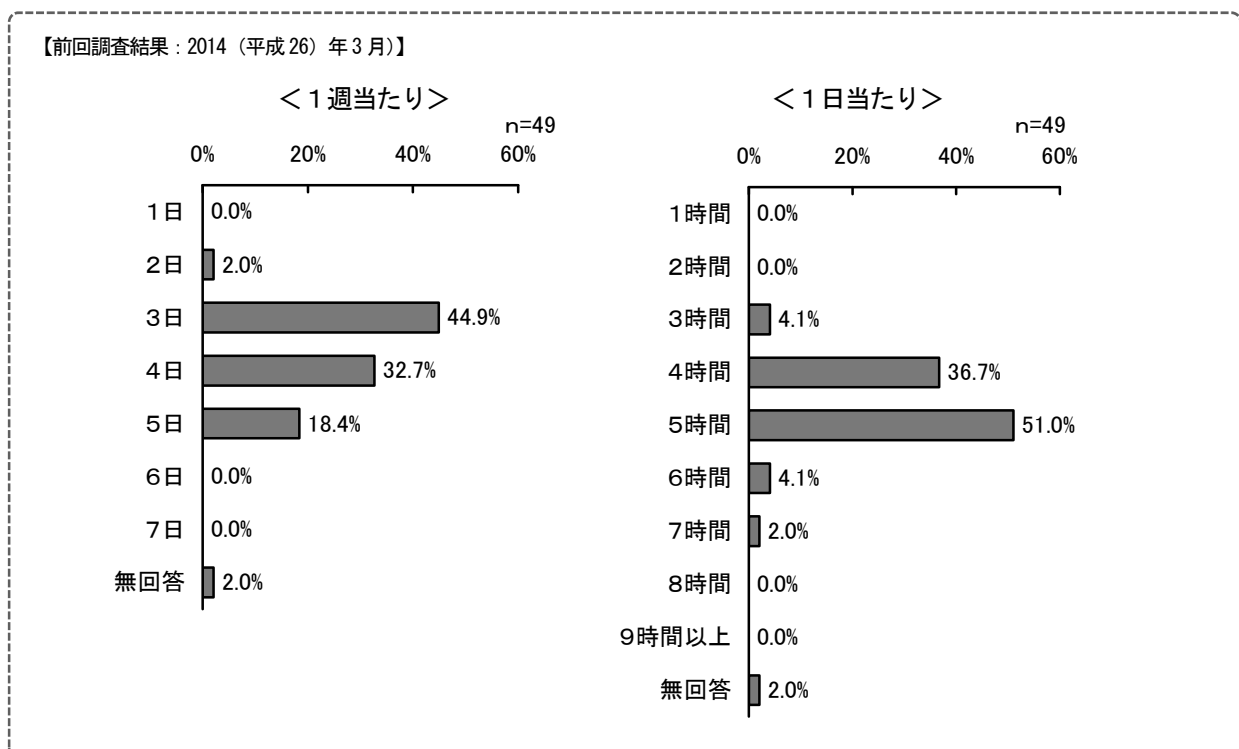


■ フルタイム以外の働き方

希望する就労形態で「パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）」を選んだ方に働き方をお聞きしたところ、1週当たりの希望就労日数では「3日」が50.0%、希望就労時間では「4時間」及び「5時間」が35.7%で最も高い結果となっています。



今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、1週当たりの希望就労日数では「3日」が増加し、希望就労時間では「4時間」が僅かに低下、「5時間」が低下する結果となっています。



(2) 父親

現在、休業等以外で就労していない父親の就労意向については、回答者数3名の回答結果は以下のとおりとなっています。

※なお、本回答結果は回答者数が少ないため、参考数値としてみる必要があります。

n=3	割合 (%)
子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)	33.3
1年より先、一番下の子どもが □□歳になったころに就労したい	33.3
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	0.0
無回答	33.3
全体	100.0

【前回調査結果：2014（平成26）年3月】

n=1	割合 (%)
子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)	0.0
1年より先、一番下の子どもが □□歳になったころに就労したい	0.0
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	100.0
無回答	0.0
全体	100.0

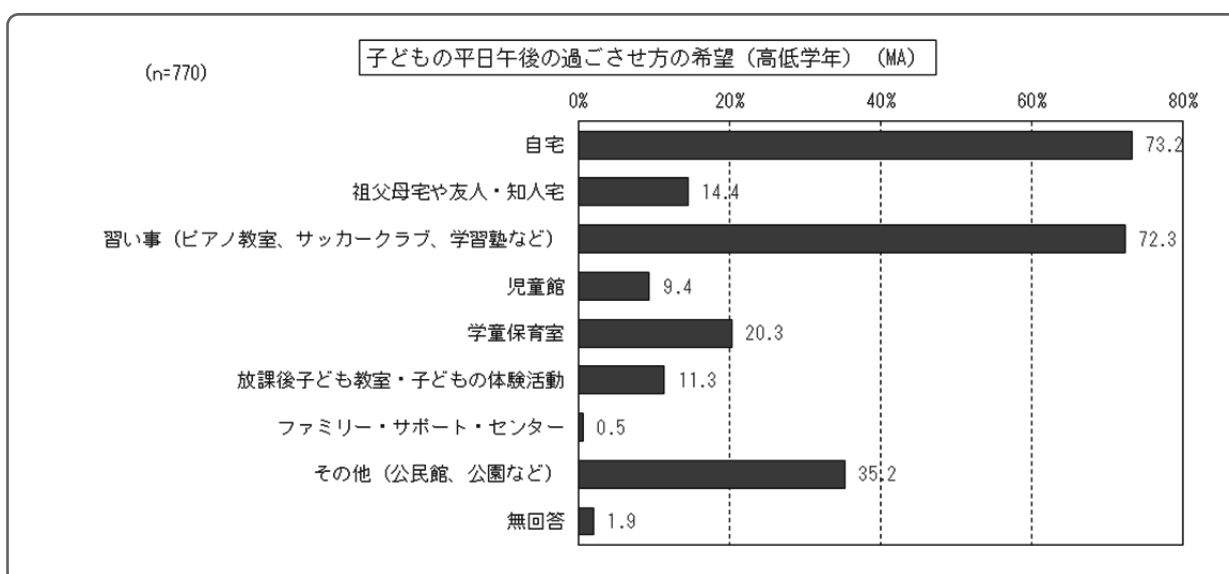
4. 小学校高学年での放課後の過ごし方

①平日放課後の過ごし方の希望

問 13 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を数字でご記入ください。

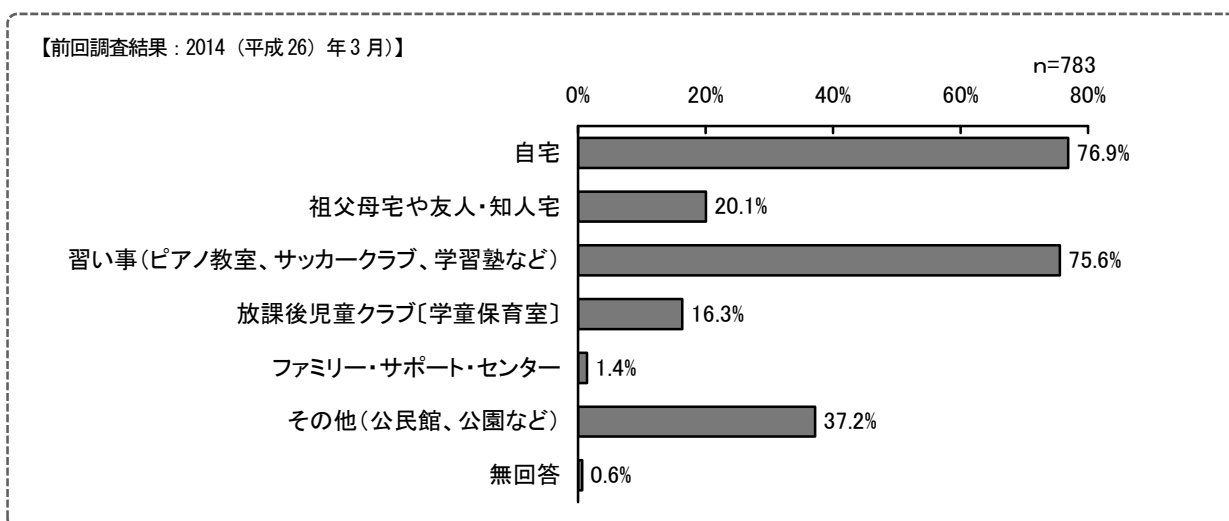
また、「学童保育室」の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

子どもが高学年の間、放課後をどのように過ごさせたいかについてお聞きしたところ、「自宅」への回答割合が73.2%と最も高く、次いで、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が72.3%、「その他（公民館、公園など）」が35.2%、「学童保育室」が20.3%、「祖父母宅や友人・知人宅」が14.4%。「放課後子ども教室・子どもの体験活動」が11.3%と続いています。



今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、「自宅」及び「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」への回答割合が僅かに低下する結果となっているとともに、「学童保育室」への回答割合は増加しています。

※前回調査の回答選択肢は、今回調査の回答選択肢と一部異なっています。



■ 放課後の過ごし方の日数

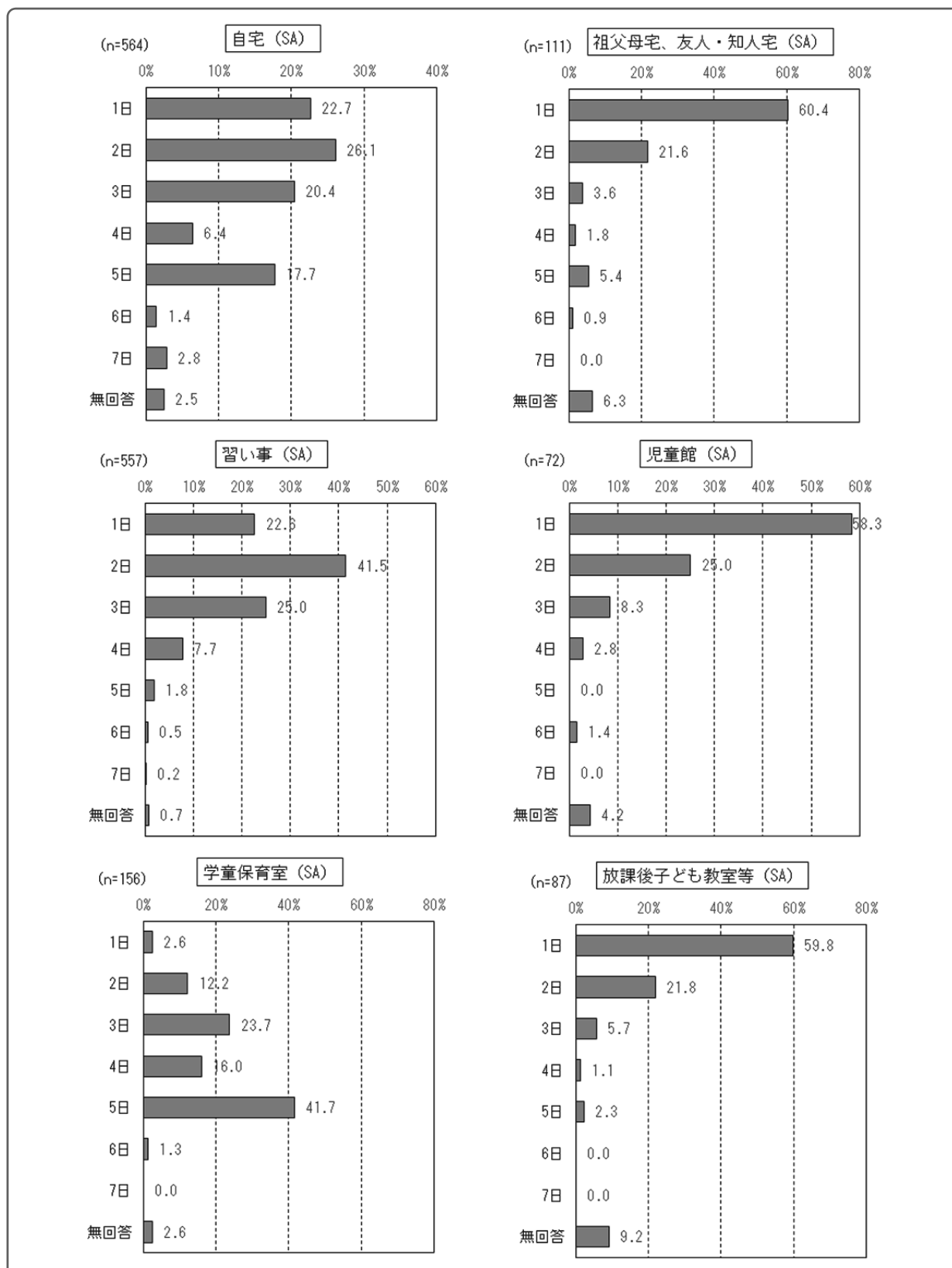
子どもが高学年の間の、放課後の過ごし方の日数を記入していただいたところ、以下の結果となりました。

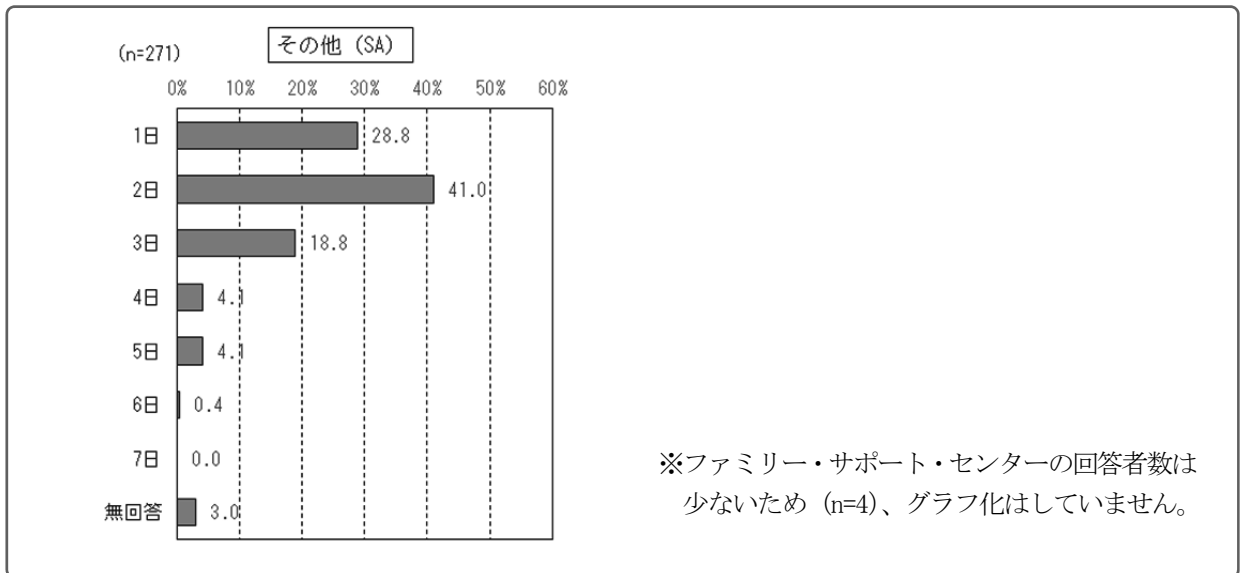
「自宅」では、「2日」への回答割合が26.1%と最も高く、次いで、「1日」の22.7%となっています。

「習い事」では、「2日」への回答割合が41.5%と最も高く、次いで、「3日」の25.0%となっています。

「学童保育室」では、「5日」への回答割合が41.7%と最も高くなっています。

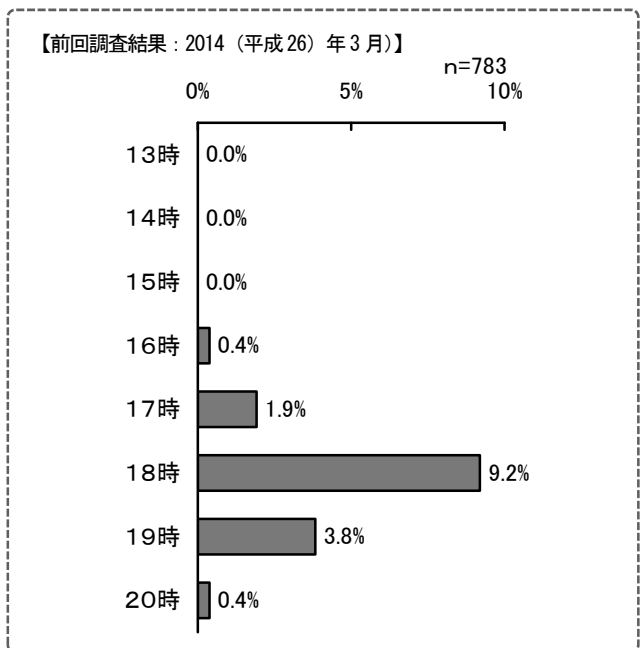
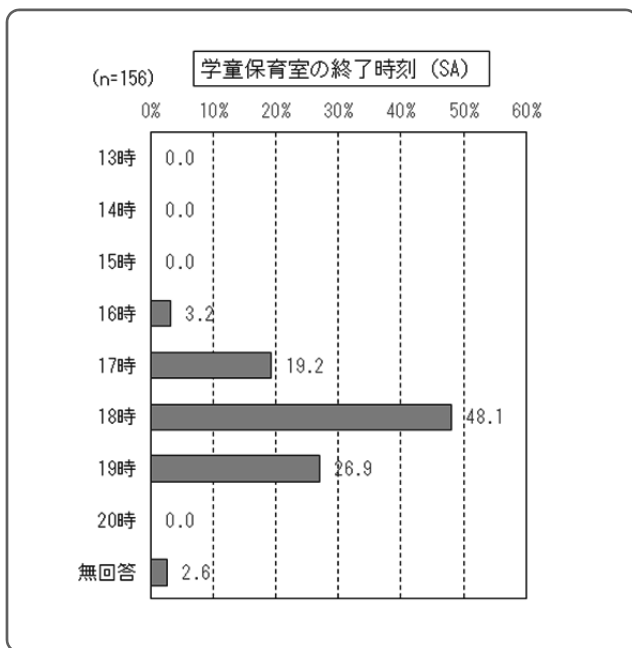
その他の「祖父母宅、友人・知人宅」、「児童館」、「放課後子ども教室等」ではともに「1日」への回答割合が最も高い結果となっています。





■ 学童保育室の終了時刻

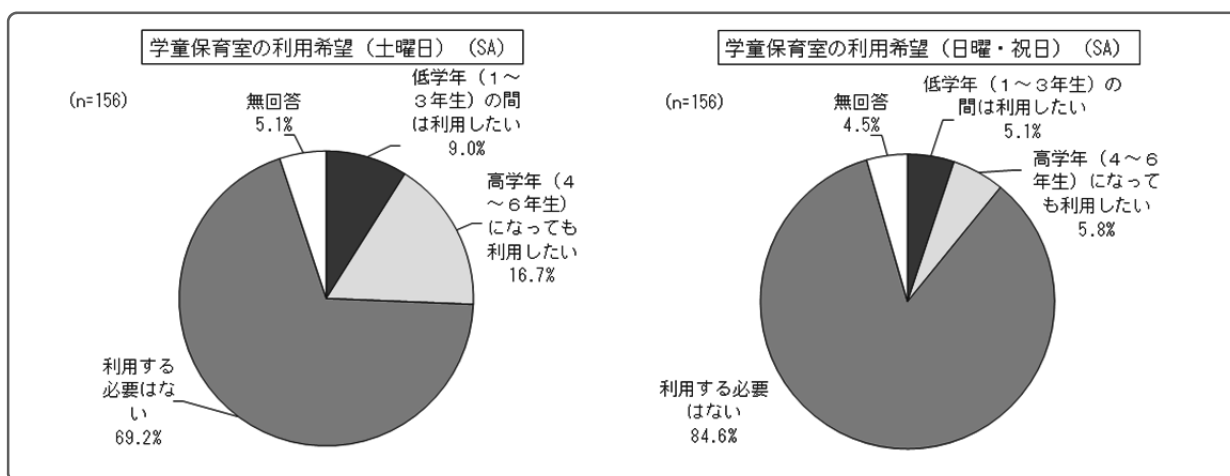
「学童保育室」と回答された方の、希望する終了時刻については、「18時」への回答割合が48.1%と最も高く、次いで、「19時」が26.9%、「17時」が19.2%と続いています。



問14 問13で「5. 学童保育室」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育室の利用希望はありますか。(1)(2)それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。
 また利用したい時間帯を、口内に(例)9時から18時までのように24時間制でご記入ください。
 なお、この事業の利用には一定の利用料がかかります。

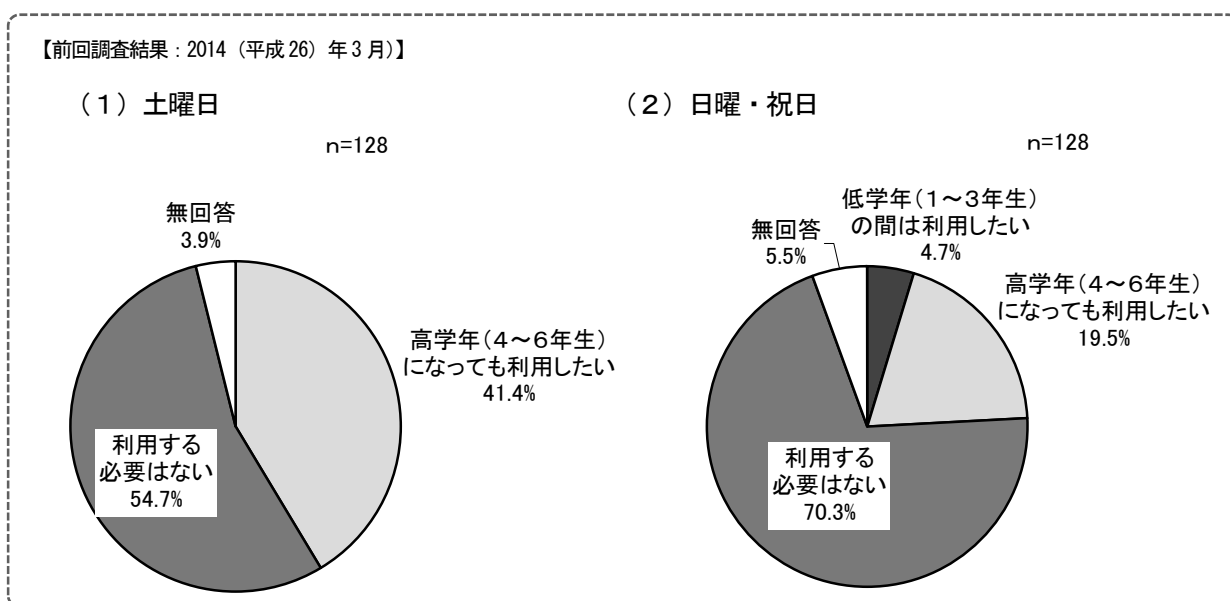
小学校の低学年または高学年になった際、「学童保育室」の利用を希望されている方に、土曜日、または日曜・祝日に「学童保育室」の利用希望があるかをお聞きしたところ、土曜日について、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が9.0%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」と回答した方は全体の16.7%に上っています。

また、日曜・祝日については、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が5.1%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が5.8%であり、学童保育室の『利用意向がある』方は合計で10.9%と、全体の1割程度にとどまっています。



今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、土曜日では「利用する必要はない」が54.7%から69.2%に増加する結果となっています。

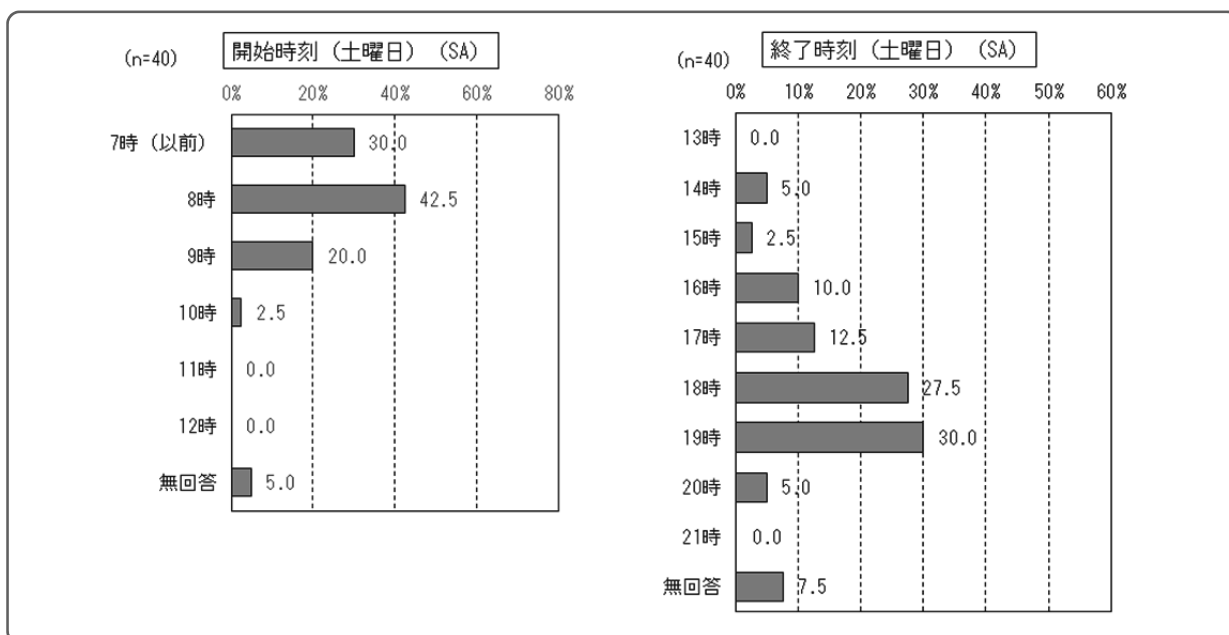
また、日曜・祝日では、「利用する必要はない」への回答割合が増加し、学童保育室の利用意向は低下する結果となっています。



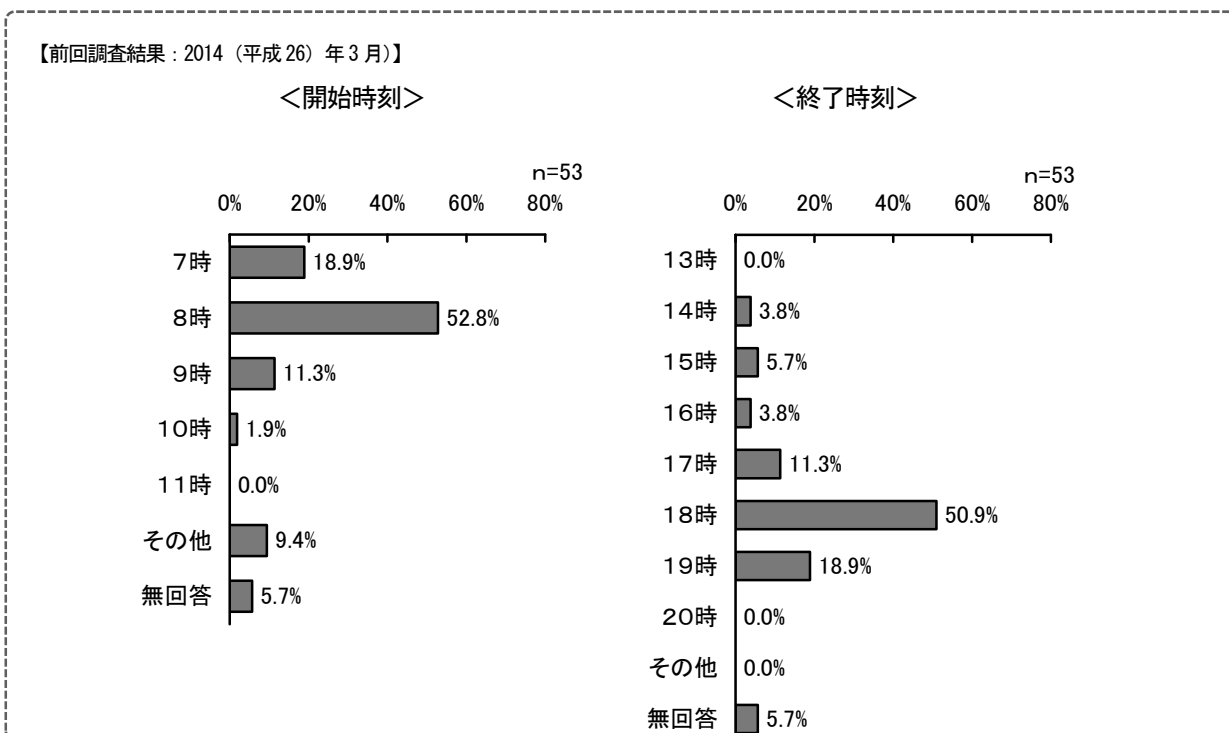
■利用希望時間

【土曜日】

土曜日に利用希望がある方の、希望開始時刻は「8時」が42.5%と最も高く、終了時刻は「19時」が30.0%と最も高くなっています。

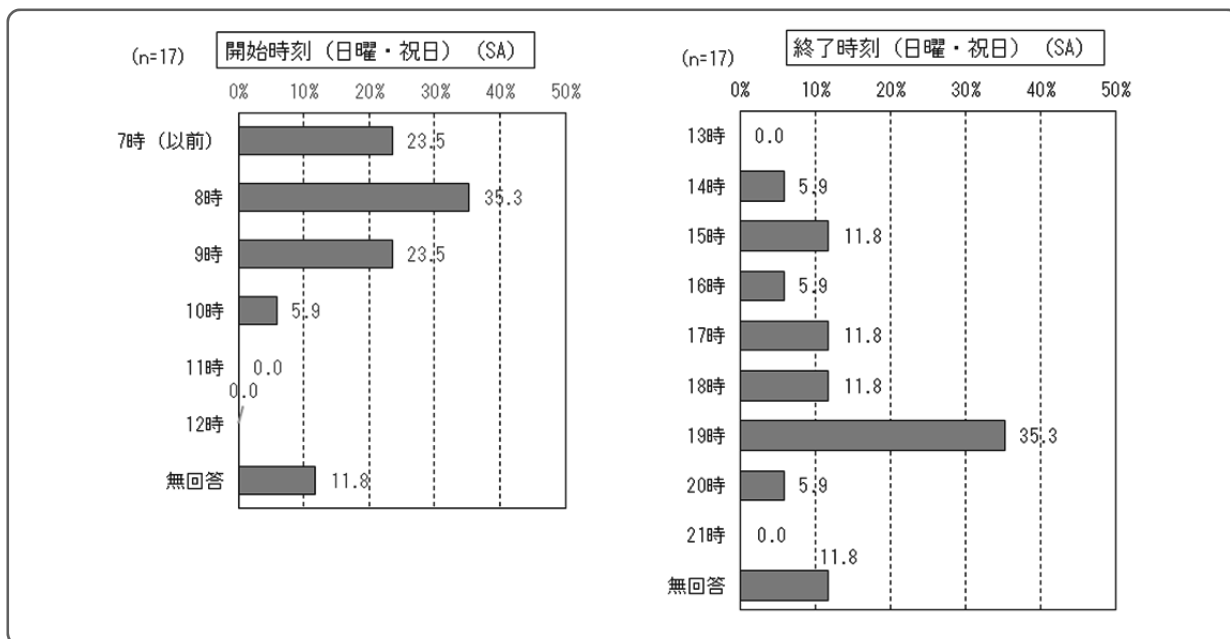


今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、希望開始時刻では「8時」の回答割合が低下し、「7時 (以前)」が増加しています。また、希望終了時刻では「18時」の回答割合が低下し、「19時」が増加する結果となっています。

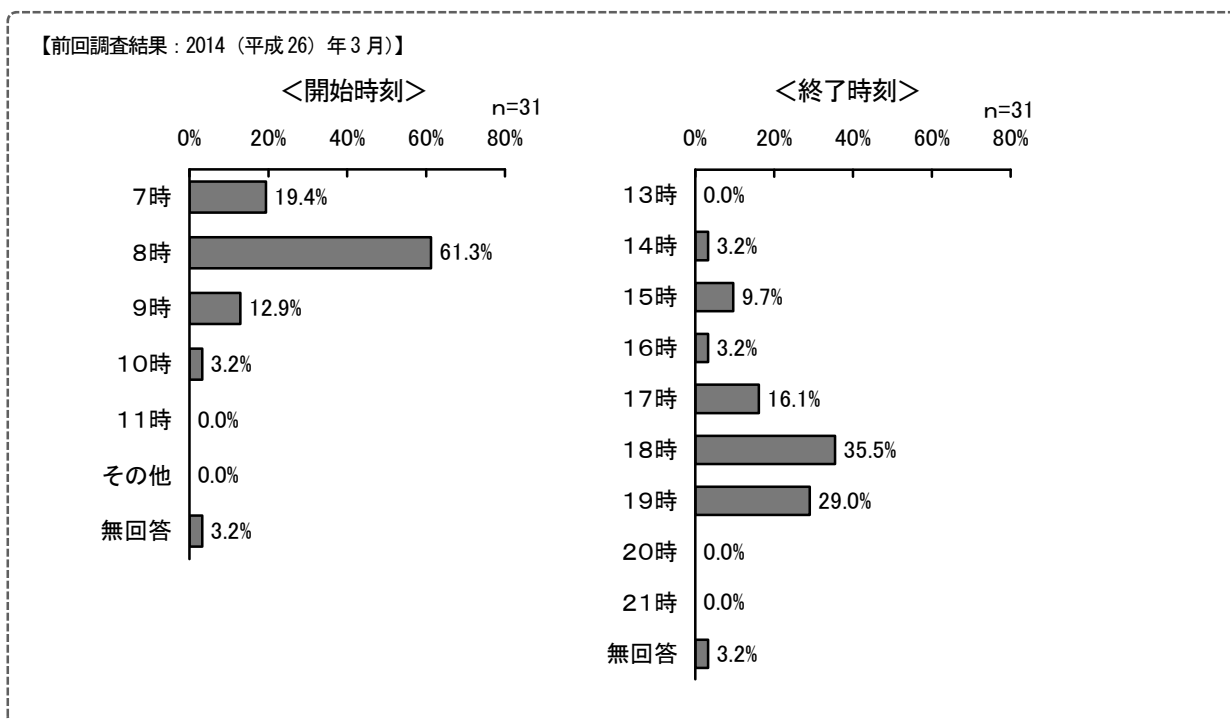


【日曜・祝日】

日曜・祝日に利用希望がある方の、希望開始時刻は「8時」が35.3%と最も高く、終了時刻は「19時」が35.3%と最も高くなっています。

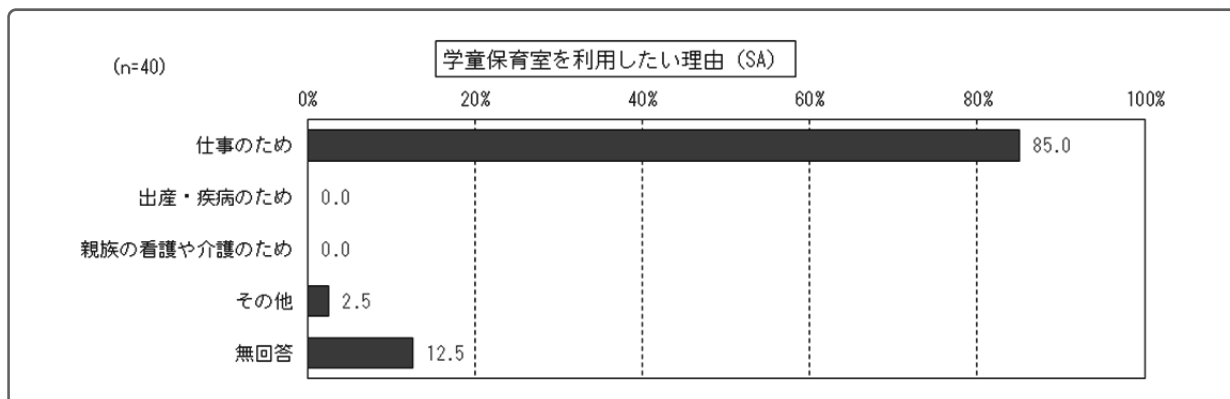


今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、希望開始時刻では「8時」の回答割合が低下し、「7時 (以前)」が増加しています。また、希望終了時刻では「18時」の回答割合が低下し、「19時」が増加する結果となっています。

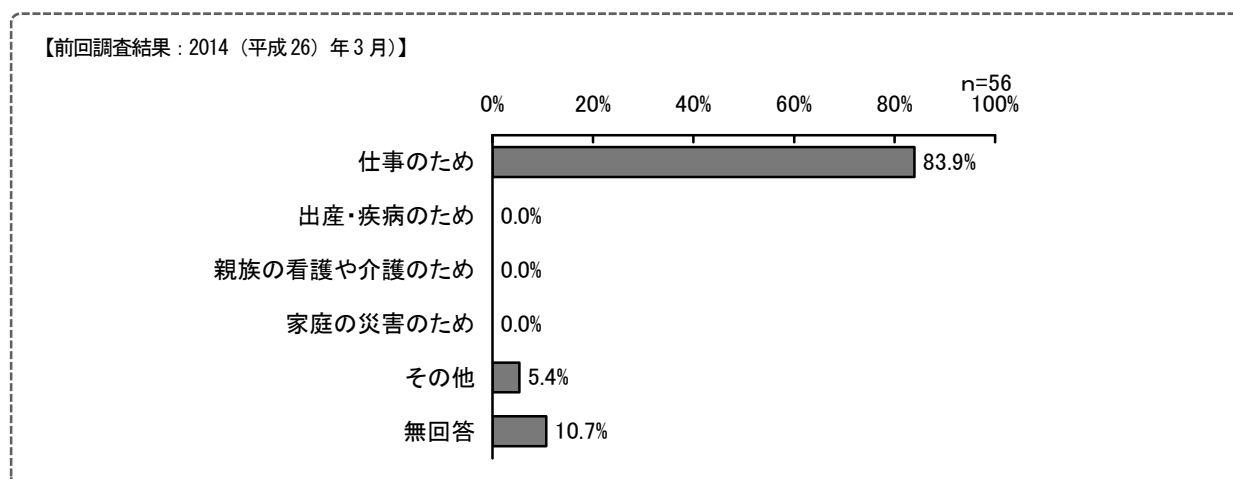


問 14-1 問 14 (1) (2) のいずれか、または両方で「利用したい」に○をつけた方にうかがいます。利用したい理由は何ですか。
 当てはまる番号1つに○をつけてください。

土曜日または日曜・祝日に「利用意向がある」と回答した方に、学童保育室を利用したい理由についてお聞きしたところ、回答者数は少ないものの、「仕事のため」との回答が 85.0%となっています。



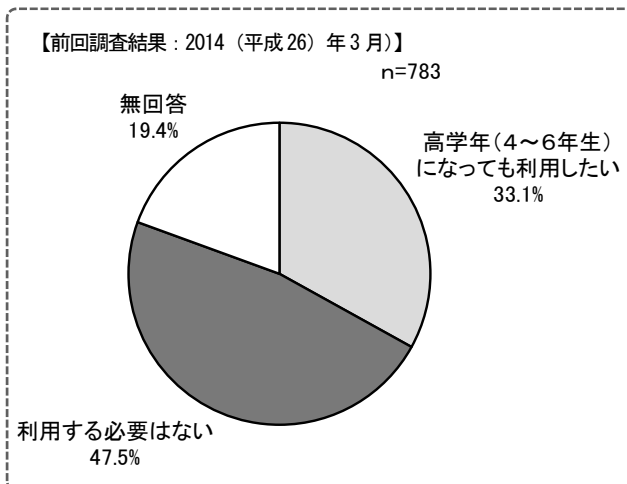
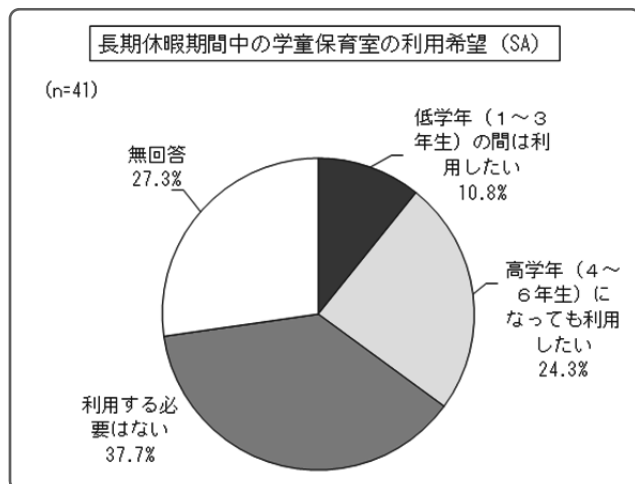
今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、ほぼ同様の結果となっています。



問 15 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育室の利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）9時から18時までのように24時間制でご記入ください。

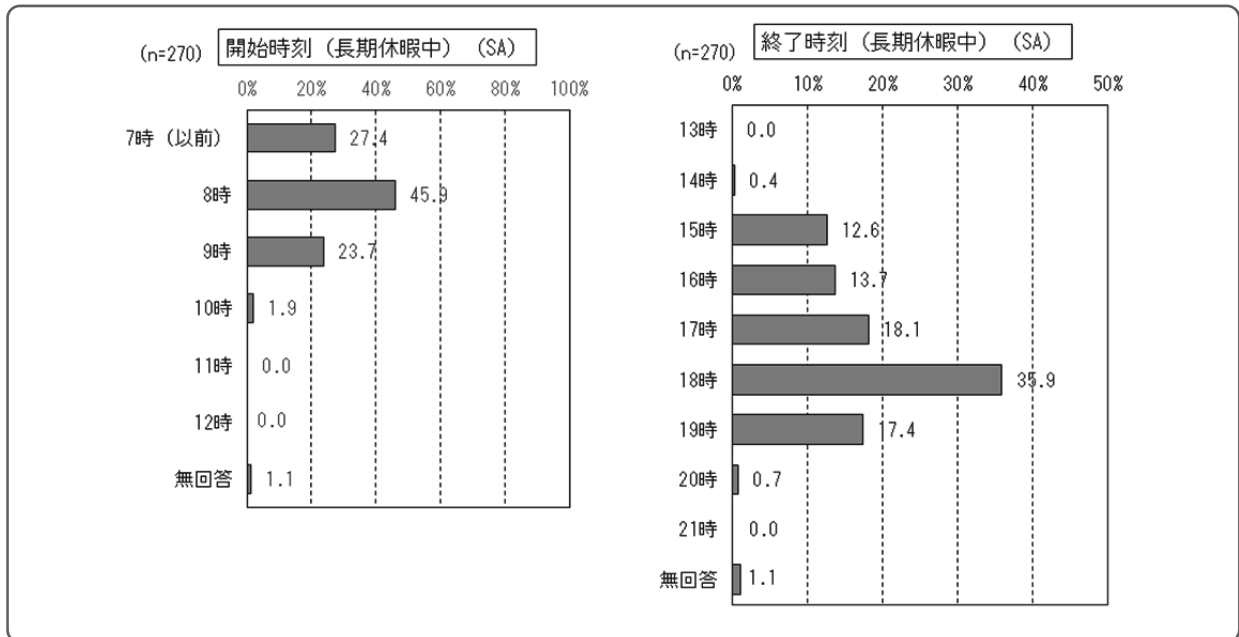
なお、この事業の利用には一定の利用料がかかります。

夏休みや冬休みなどの長期休暇中、「学童保育室」の利用希望があるかをお聞きしたところ、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が10.8%、「高学年になっても利用したい」と回答した方は24.3%となっています。

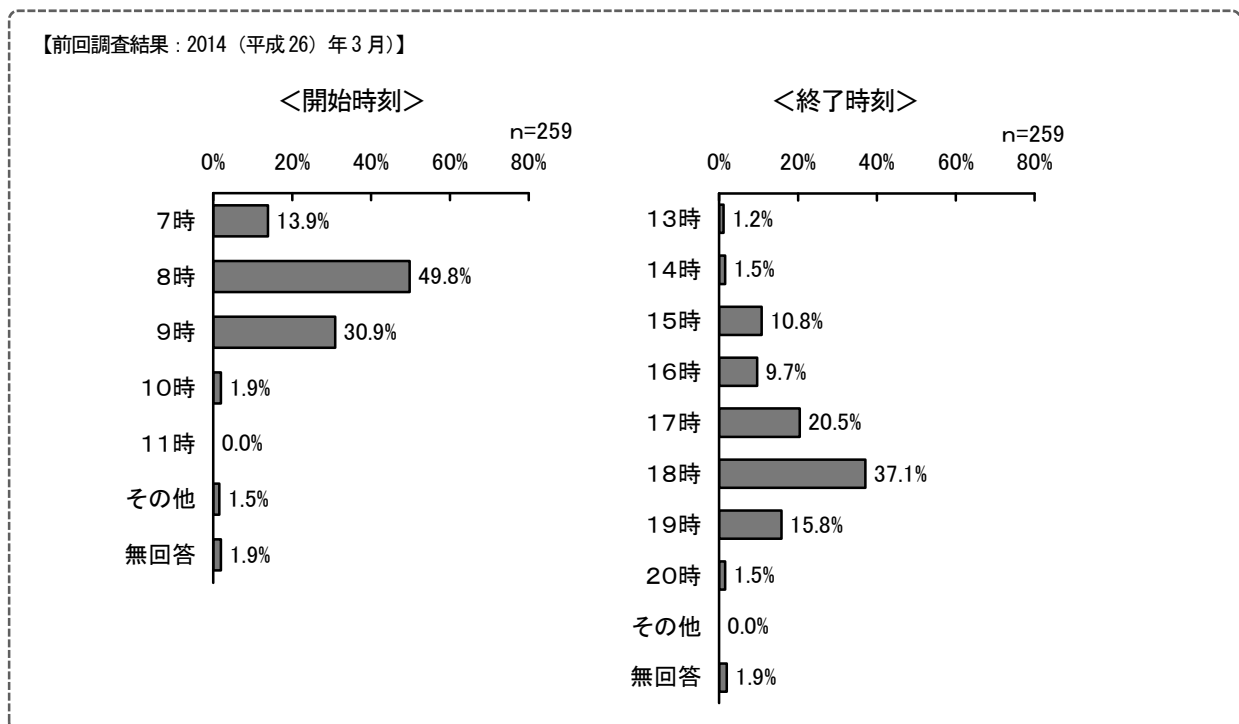


■長期休暇時の利用希望時間

長期休暇時に利用希望がある方の、希望開始時刻は「8時」が45.9%と最も高く、終了時刻は「18時」が35.9%と最も高くなっています。



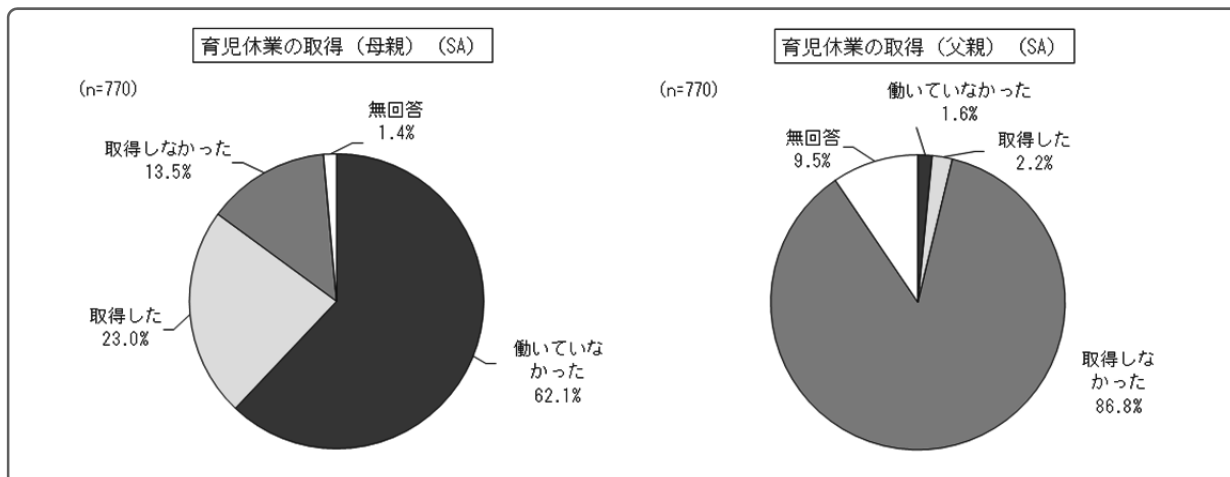
今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、希望開始時刻では「8時」の回答割合が低下し、「7時（以前）」が増加しています。また、希望終了時刻では「15時」、「16時」及び「19時」の回答割合が増加し、「17時」及び「18時」の回答割合が低下する結果となっています。



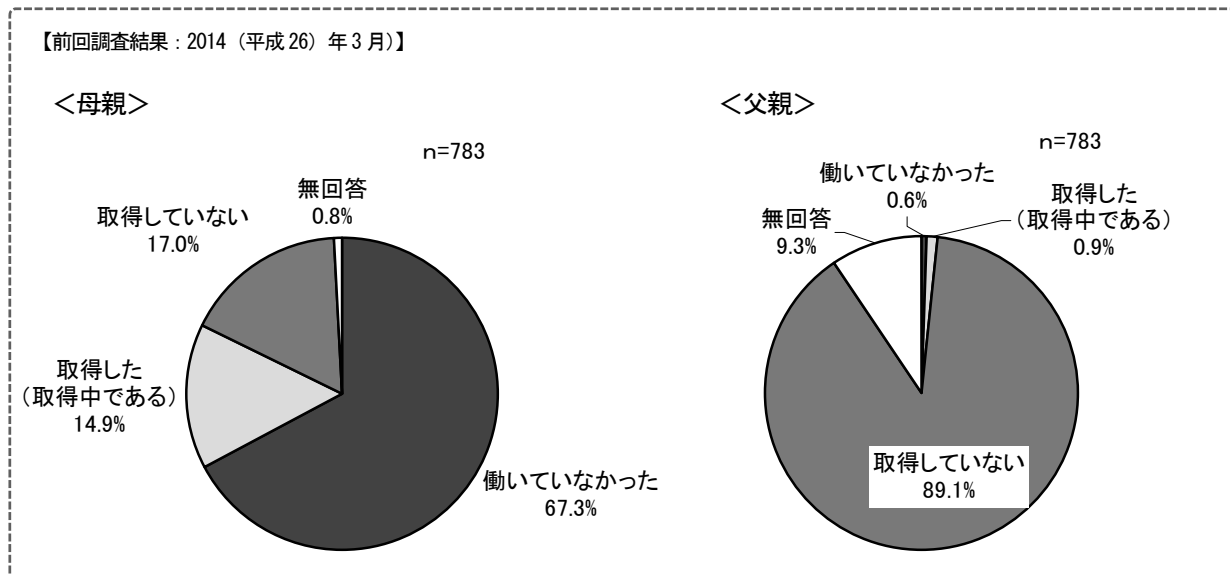
5. 育児休業

問 16 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。
 なお、「3. 取得しなかった」に○をつけた場合は、その理由として当てはまる番号を、□内にご記入ください。

子どもが生まれたときの育児休業について、母親で育児休業を「取得した」方は全体の 23.0%、父親で育児休業を「取得した」方は全体の 2.2%となっています。



今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、母親の育児休業の取得割合は増加しているとともに、父親の取得割合も僅かに増加している結果となっています。



■取得していない理由

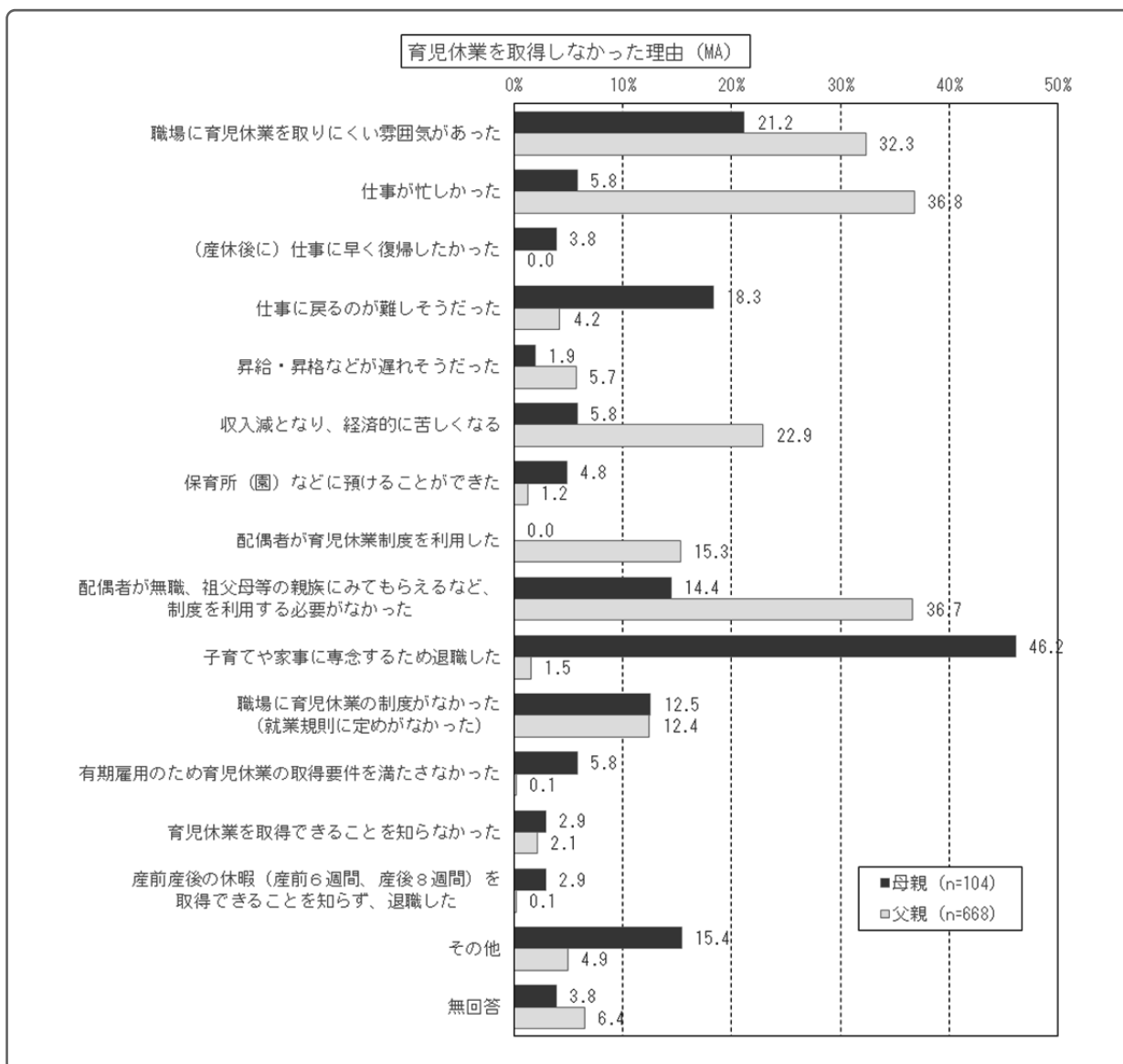
育児休業について「取得していない」と回答した方にその理由をお聞きしたところ、結果は以下のとおりとなっています。

母親では「子育てや家事に専念するために退職した」への回答割合が46.2%と半数近くになっており、次いで、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が21.2%、「仕事に戻るのが難しそうだった」が18.3%、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が14.4%、「職場に育児休業の制度がなかった」が12.5%となっています。（※「その他」の回答割合は除く。）

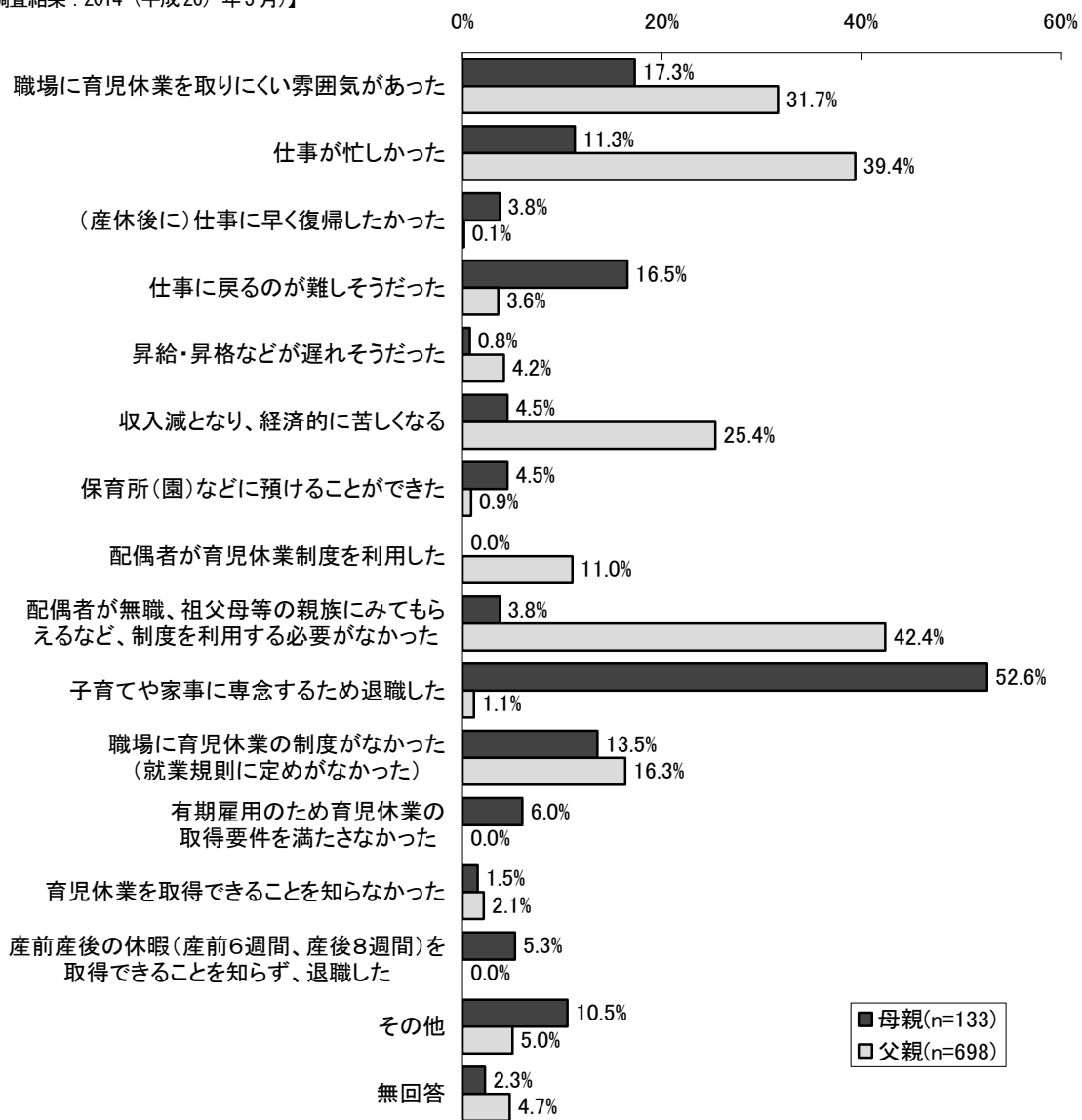
父親では「仕事が忙しかった」への回答割合が36.8%と最も高く、次いで、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が36.7%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が32.3%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が22.9%と続いています。

この設問を母親と父親で比較してみると、母親の方が高い項目については「子育てや家事に専念するために退職した」が44.7ポイントと大きく差がついているのをはじめ、「仕事に戻るのが難しそうだった」が14.1ポイントと、この2項目で高くなっています。

父親の方が高い項目については、「仕事が忙しかった」が31.0ポイント、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が22.3ポイント、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が17.1ポイント、「配偶者が育児休業制度を利用した」が15.3ポイントと、この4項目で高くなっており、母親と父親で理由に大きな違いがある結果となっています。



【前回調査結果：2014（平成26）年3月】

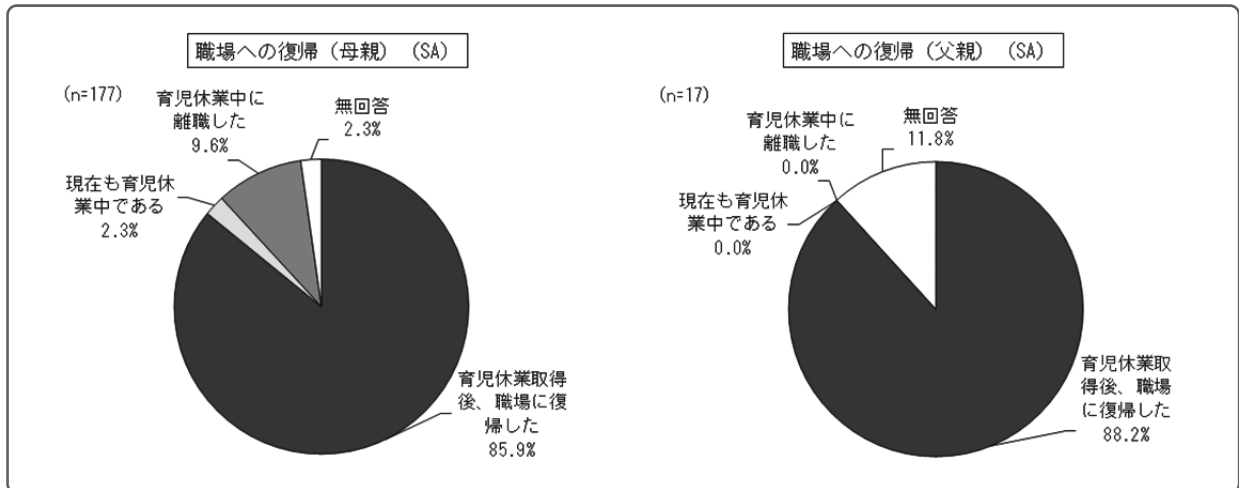


問16-1 問16で「2. 取得した」と回答した方にうかがいます。

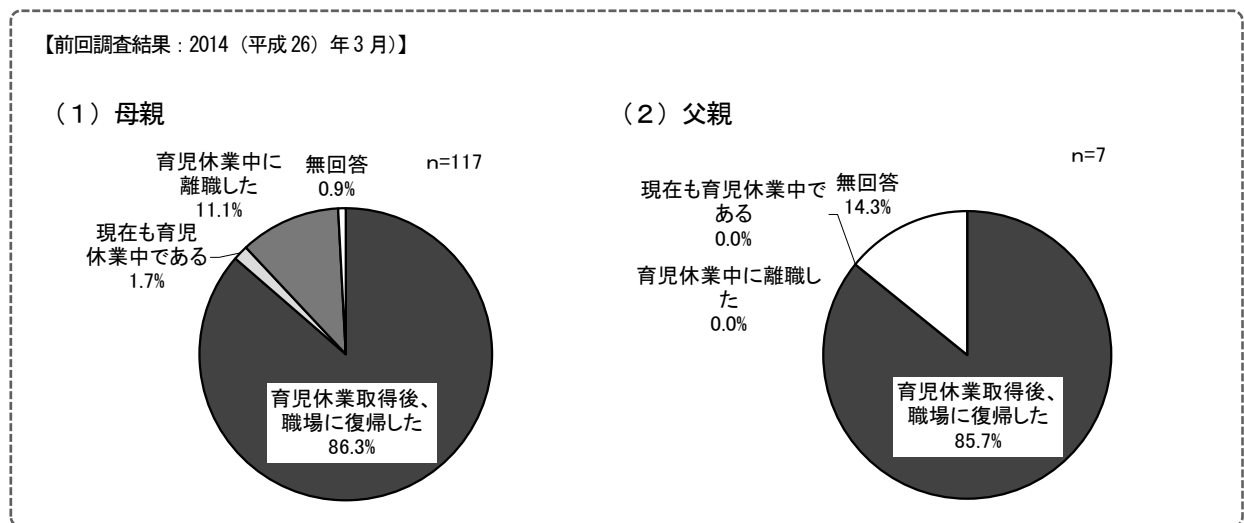
育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

育児休業を「取得した」と回答した方に職場復帰についてお聞きしたところ、母親・父親ともに「育児休業取得後、職場に復帰した」への回答割合が最も高くなっています。

父親の回答者数は少なくなっていますが、「現在も育児休業中である」や「育児休業中に離職した」への回答はありませんでした。



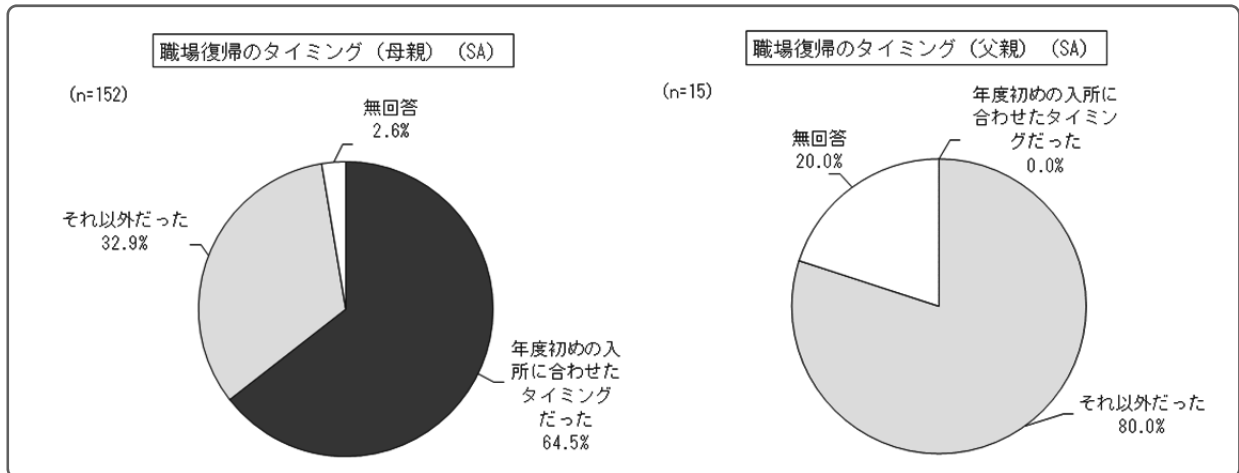
今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、母親、父親ともにほぼ同じ回答割合となっています。



問 16-2 問 16-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに〇をつけてください。

年度初めの保育所入所に合わせて育児休業から職場に復帰したかをお聞きしたところ、母親は 64.5%が「年度初めの保育所入所に合わせたタイミングだった」と回答していますが、父親の回答はありませんでした。



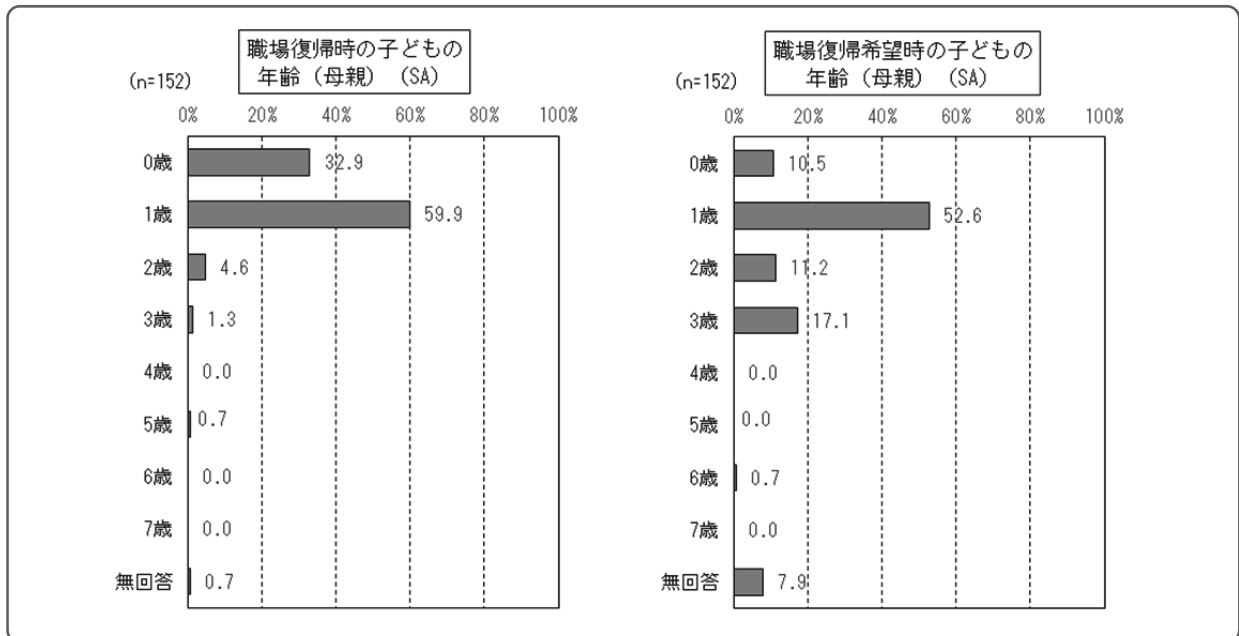
問16-3 問16-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。

(1) 母親

育児休業から職場復帰した時の、子どもの年齢は「1歳」が59.9%と最も高くなっており、「0歳」が32.9%と続いています。

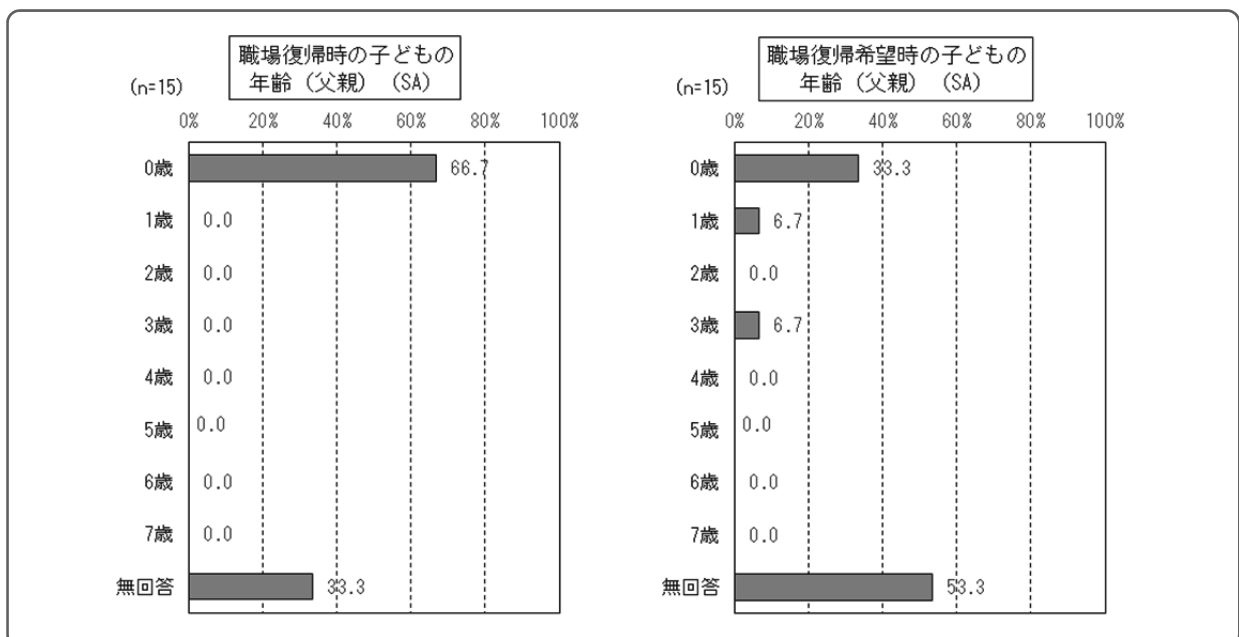
また、職場復帰を希望する時の子どもの年齢は、「0歳」が10.5%、「1歳」が52.6%、「2歳」が11.2%、「3歳」が17.1%となっており、実際に職場復帰した時と、希望する職場復帰時の子どもの年齢は、「1歳」を除き差異がみられる結果となっています。



(2) 父親

育児休業から職場復帰した時の、子どもの年齢は「0歳」が66.7%と最も高くなっており、その他の年齢での回答はありませんでした。

また、職場復帰を希望する時の子どもの年齢は、「0歳」が33.3%、「1歳」及び「3歳」が6.7%となっており、実際に職場復帰した時と、希望する職場復帰時の子どもの年齢は、父親においても差異がみられる結果となっています。



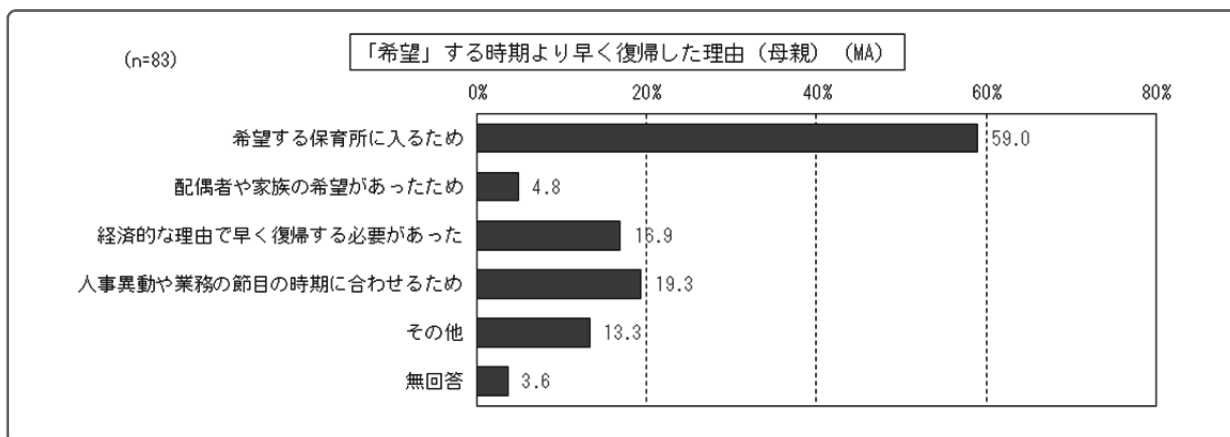
問 16-4 問 16-3 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 「希望」より早く復帰した方

「希望」する時期より早く復帰した方について、母親と父親にその理由をお聞きしたところ、母親は、「希望する保育所に入るため」が59.0%と最も高くなっており、次いで、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が19.3%、「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」が16.9%と続いています。

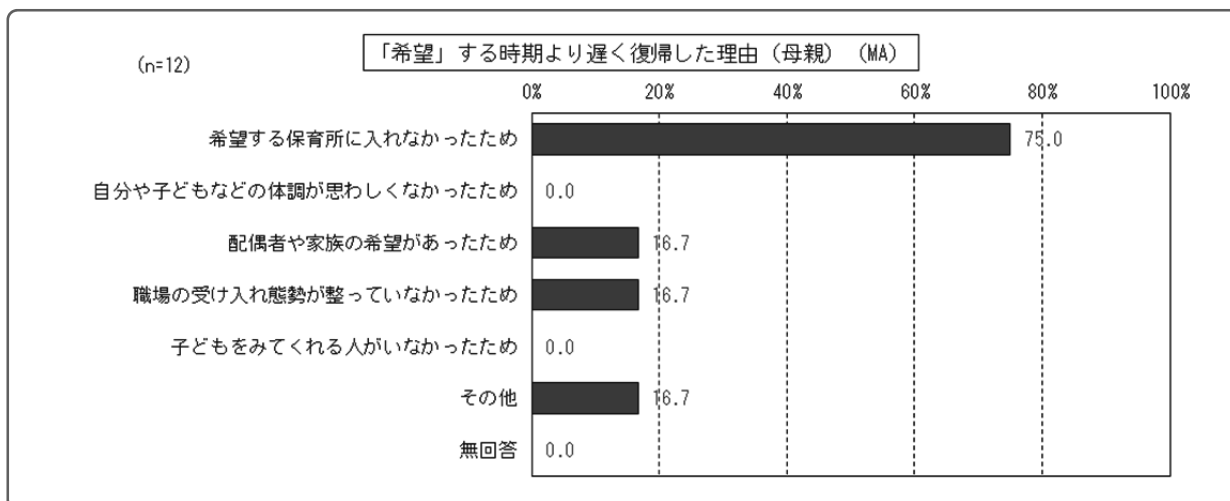
一方、父親の回答者数は2名にとどまり、「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」が選択されています。



(2) 「希望」より遅く復帰した方

「希望」する時期より遅く復帰した方について、母親と父親にその理由をお聞きしたところ、母親は、「希望する保育所に入れなかったため」が75.0%と最も高くなっています。

一方、父親の回答者数は15名で、すべて無回答となっています。



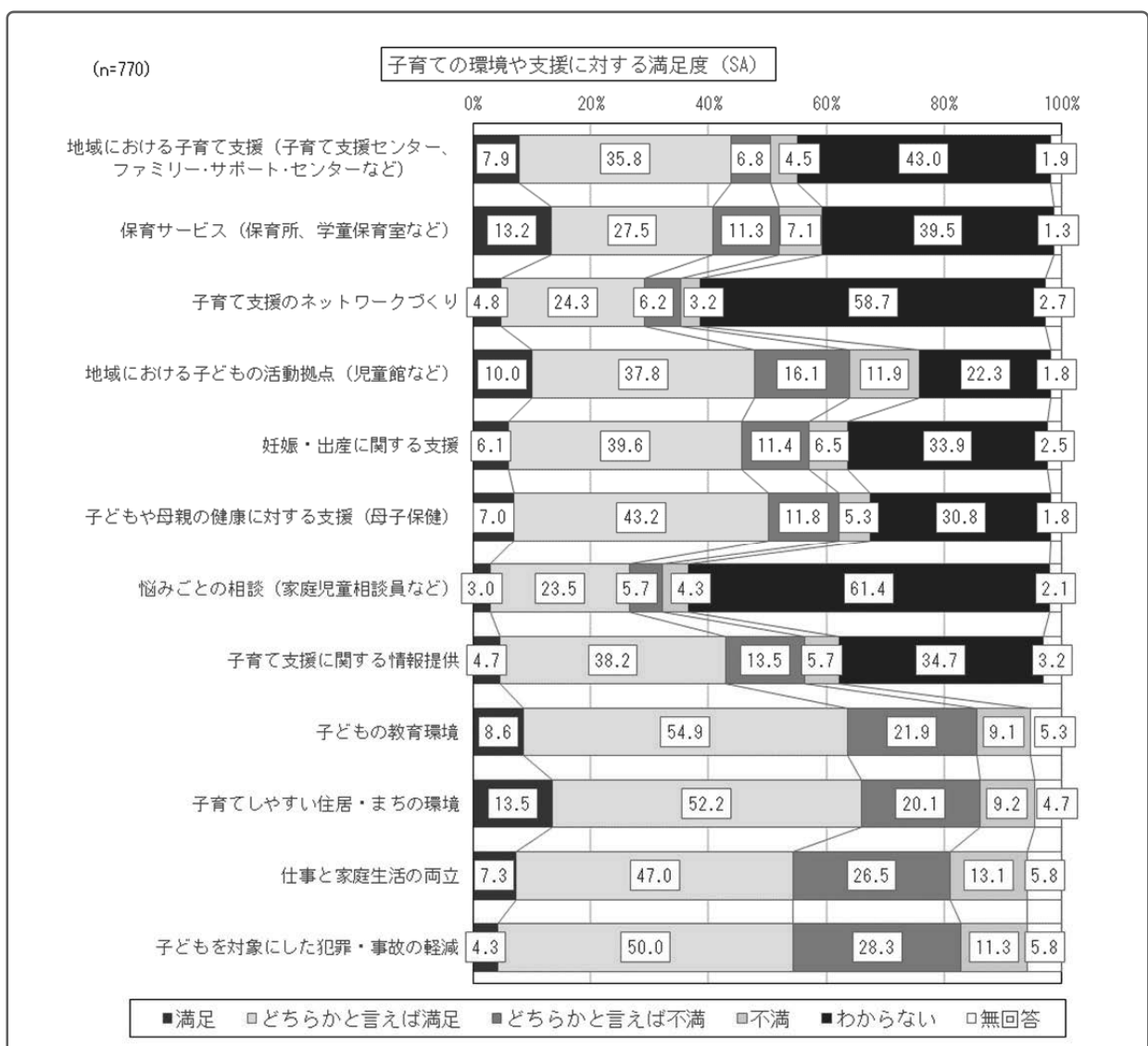
6. 子育て施策

①子育ての各分野への満足度

問17 次の各項目における子育ての環境や支援に対してどのように感じているかがいます。「1.」～「12.」の項目ごとに、該当するものをそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

子育ての各分野に対する環境や支援に対する満足度について、「満足」と「どちらかと言えば満足」を合わせた、『満足』は、「子育てしやすい住居・まちの環境」が65.7%と最も高くなっています。次いで、「子どもの教育環境」が63.5%、「仕事と家庭生活の両立」及び「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」が54.3%、「子どもや母親の健康に対する支援（母子保健）」が50.2%となっています。

一方、「どちらかと言えば不満」と「不満」を合わせた『不満』は、「仕事と家庭生活の両立」及び「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」が39.6%、「子どもの教育環境」が31.0%、「子育てしやすい住居・まちの環境」が29.3%と続いています。



今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、

○今回の調査結果で『満足』の高い順に、前回の調査結果との比較をすると、

- ①「子育てしやすい住居・まちの環境」が64.3%から65.7%に増加
- ②「子どもの教育環境」が58.2%から63.5%に増加
- ③「仕事と家庭生活の両立」が45.6%から54.3%に増加
- 「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」が37.0%から54.3%に増加
- ⑤「子どもや母親の健康に対する支援（母子保健）」が62.4%から50.2%に低下

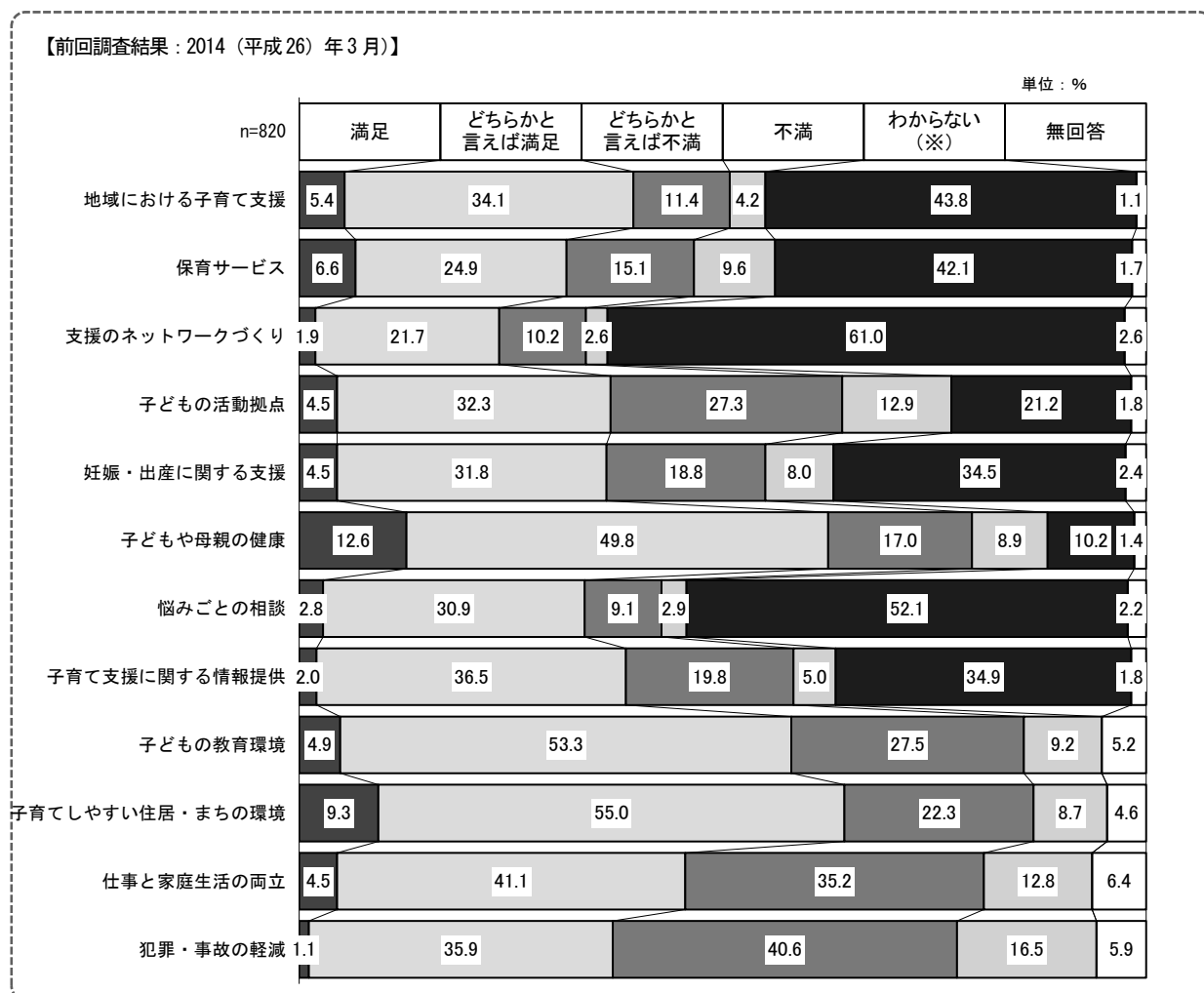
となっています。一方、

○今回の調査結果で『不満』の高い順に、前回の調査結果との比較をすると、

- ①「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」が57.1%から39.6%に低下
- ②「仕事と家庭生活の両立」が48.0%から39.6%に低下
- ③「子どもの教育環境」が36.7%から31.0%に低下
- ④「子育てしやすい住居・まちの環境」が31.0%から29.3%に低下

となっています。

このうち、「子どもや母親の健康に対する支援（母子保健）」の満足が低下しているとともに、「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」への不満は低下しているものの、40%近くとなっていることに留意する必要があります。

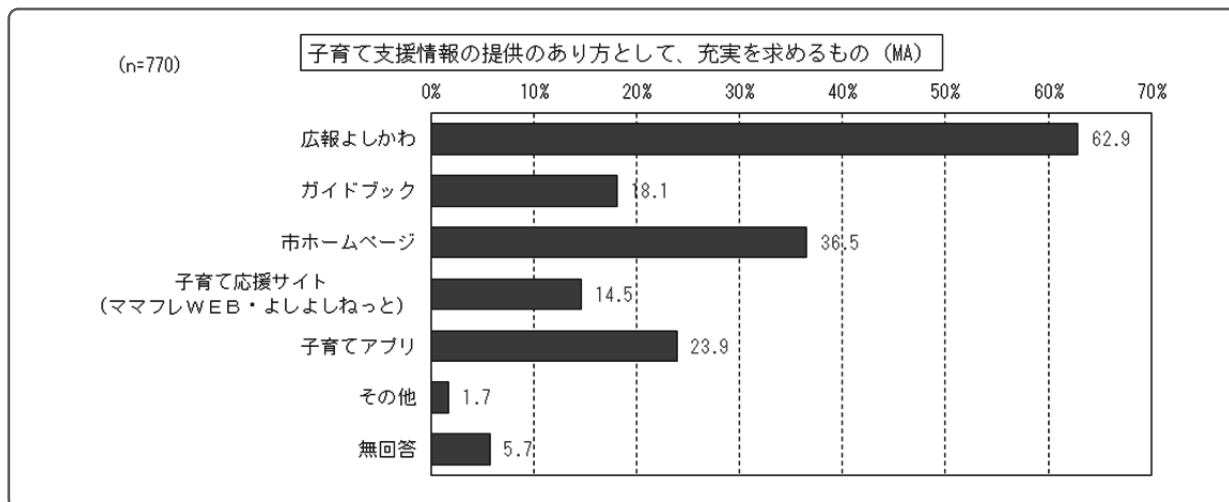


※「子どもの教育環境」、「子育てしやすい住居・まちの環境」「仕事と家庭生活の両立」、「犯罪・事故の軽減」の4項目については「分からない」の選択肢はありませんでした。

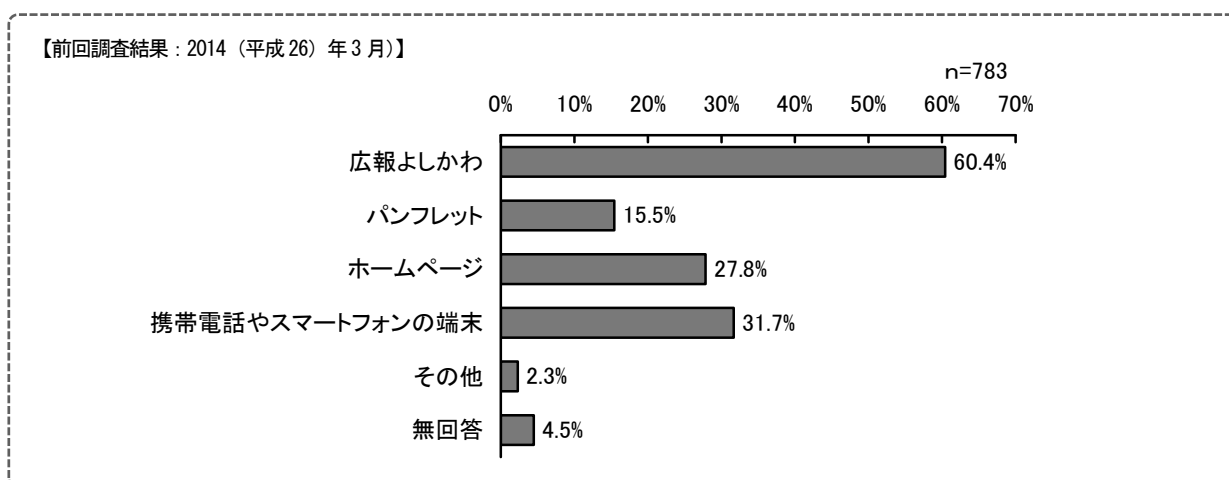
②情報提供のあり方

問 18 市が行っている子育て支援の情報提供のあり方として、特に何の充実を望みますか。該当するものを2つまで選んで○をつけてください。

子育て支援に関する情報提供のあり方としては、「広報よしかわ」への回答が62.9%と最も高くなっており、次いで「市ホームページ」が36.5%、「子育てアプリ」が23.9%、「ガイドブック」が18.1%と続いています。



今回の調査結果と前回調査結果を比較すると、市のホームページへの回答割合が増加しています。



調査票

吉川市 子ども・子育て支援に関するニーズ調査 ～ご協力のお願い～

市民の皆様におかれましては、日頃より市政の運営にご理解とご協力を賜り、御礼申し上げます。
本市では、平成27年度に策定した「吉川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において「子どもの笑顔と活気でまちを満たす」を基本テーマの一つに掲げ、その中で「子育て支援充実プラン」を施策の柱として、子育て環境の充実や保育所、幼稚園にかかる支援、子育て関連情報の充実など、子育てしやすいまちづくりを推進しています。

また、子ども・子育て支援法に基づき、平成27年3月に策定した「吉川市子ども・子育て支援事業計画」においては、待機児童の解消や子育ての不安、孤立感を減らすため、保育所や地域の子育て支援拠点の整備・充実等、具体的な年度計画に沿って、子育て支援施策を推進してまいりました。

このたび、この「吉川市子ども・子育て支援事業計画」の期間満了に伴い、「第2期吉川市子ども・子育て支援事業計画」を策定するため、子育て中の市民の皆様にご要望やご意見をお聞きする調査を実施することとなりました。

今後の吉川市の子ども・子育て支援を進めるうえで参考にしていく大切な調査ですので、皆様お忙しいことと存じますが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年11月吉日

吉川市長 中原恵人

ご記入に際してのお願い

- この調査票は、封筒の宛名のお子さんについて保護者の方が回答してください。
- 回答は、当てはまる番号に○をつけていただく場合と、数字を記入いただく場合があります。また、設問によって○をつける数を指定させていただいておりますのでご注意ください。
- 回答が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れて、**平成30年12月17日(月)まで**に郵便ポストに投函してください。
(返信用封筒にお名前等の記入は必要ありません。また、切手は不要です。)
- この調査票についてご不明な点は、下記までお問い合わせください。

※なお、回答はすべて統計的に処理されるため、回答者の個人が特定されることや他の目的に利用されることはございません。

お問い合わせ先

【吉川市 こども福祉部 子育て支援課】
TEL: 048-982-5111 (代表)
FAX: 048-981-5392
e-mail: kosodate2@city.yoshikawa.saitama.jp



お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地域として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。
(※現在の中学校区域とは異なりますのでご注意ください。)

1. 東中学校区域 2. 南中学校区域 3. 中央中学校区域 4. 吉川中学校区域

<参考>

1. 東中学校区域	旭、上内川、下内川、拾壹軒、鍋小路、八子新田、南広島、川藤、会野谷、会野谷一丁目・二丁目、飯島、加藤、上笹塚、上笹塚一丁目から三丁目、小松川、皿沼、皿沼一丁目・二丁目、鹿見塚、関新田、関新田一丁目・二丁目、土場、中井、中井一丁目から三丁目、中島、中島一丁目から三丁目、半割、平方新田、深井新田、二ツ沼、二ツ沼一丁目・二丁目、三輪野江、三輪野江一丁目・二丁目、吉屋、吉屋一丁目・二丁目、きよみ野一丁目、きよみ野四丁目・きよみ野五丁目
2. 南中学校区域	中川台、平沼1番地から50番地まで、53番地から195番地まで、214番地から316番地まで、平沼一丁目、保、保一丁目、木売新田、富新田、中野、木売、高富、高久、中曽根、道庭、木売一丁目から三丁目まで、高富一丁目、高富二丁目、美南一丁目
3. 中央中学校区域	吉川1400番地から2076番地、吉川一丁目・二丁目、須賀、川野、川富、関、吉川団地、きよみ野二丁目・三丁目、栄町、新栄一丁目・二丁目、平沼(南中学校区を除く)、中央土地区画整理地内
4. 吉川中学校区域*	高久一丁目、高久二丁目、中曽根一丁目、中曽根二丁目、道庭一丁目、道庭二丁目、美南二丁目、美南三丁目、美南四丁目、美南五丁目

*吉川中学校区域：吉川市では、平成32年4月の吉川中学校の開校に伴い、吉川中学校の通学区域の編成と、これに伴う南中学校の通学区域の見直しをした結果、上記の区分となる予定です。本調査は地域の子育て支援ニーズをより適切に把握するため、吉川中学校開校を前提とした地域区分としています。お手数ですが、現在お住いの町名を確認の上、該当する中学校区域に○をつけてください。

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。(口内に数字でご記入ください。)

平成 年 月 生まれ

問2-1 宛名のお子さんを含めたお子さんの人数をご記入ください。また、一番下のお子さんの年齢(平成30年4月1日現在)をご記入ください。(口内に数字でご記入ください。)

お子さんの人数 人 一番下のお子さんの年齢 歳

問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他 ()

問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。(問3で「3. その他」と回答した方は回答不要です)

1. 配偶者がいる 2. 配偶者がいない

問5 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他（ ）

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 母親 3. 父親 4. 祖父母 5. 幼稚園 6. 保育所
7. 認定こども園 8. その他（ ）

問7 宛名のお子さんの子育てに関して、もっとも近いと感じている番号1つに○をつけてください。

1. 楽しい
2. 楽しいと感じることの方が多い
3. 楽しいと感じることと、辛いと感じることが同じくらい
4. 辛いと感じることの方が多い
5. 辛い
6. わからない
7. その他（ ）

問8 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問9 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる／ある ⇒ 問9-1へ 2. いない／ない ⇒ 問10へ

問9-1 問9で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族 2. 友人や知人
3. 近所の人 4. 子育て支援施設（子育て支援センター、児童館等）・NPO
5. 保健所・保健センター 6. 保育所
7. 幼稚園 8. 民生委員・児童委員
9. かかりつけの医師 10. 自治体の子育て関連担当窓口
11. その他（ ）

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問10 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) **母親** 【父子家庭の場合は、記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	} ⇒ (1) -1へ
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	} ⇒ (2)へ
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	
6. これまで就労したことがない	

(1) -1 (1)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(□内に数字でご記入ください。)

1週当たり <input type="text"/> 日	1日当たり <input type="text"/> 時間
------------------------------	-------------------------------

(1) -2 (1)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時刻は、必ず(例)8時、18時のように、24時間制でお答えください。(□内に数字でご記入ください。)

家を出る時刻 <input type="text"/> 時	帰宅時間 <input type="text"/> 時
-------------------------------	-----------------------------

(2) **父親** 【母子家庭の場合は、記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労しており、 育休・介護休業中ではない	} ⇒ (2) -1へ
2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、 育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しているが、 育休・介護休業中である	} ⇒ 問12へ
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	
6. これまで就労したことがない	

(2) -1 (2)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(□内に数字でご記入ください。)

1週当たり <input type="text"/> 日	1日当たり <input type="text"/> 時間
------------------------------	-------------------------------

(2) -2 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時刻は、必ず(例)8時、18時のように、24時間制でお答えください。(口内に数字でご記入ください。)

家を出る時刻 <input style="width: 50px; height: 25px; border: 1px solid black;" type="text"/> 時 帰宅時間 <input style="width: 50px; height: 25px; border: 1px solid black;" type="text"/> 時
--

問11 問10の「(1) 母親」または「(2) 父親」で、「3.」または「4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。
フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. フルタイム (週5日・1日8時間程度) への転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等 (「フルタイム」以外) の就労を続けることを希望 4. パート・アルバイト等 (「フルタイム」以外) をやめて子育てや家事に専念したい |
|--|

(2) 父親

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. フルタイム (週5日・1日8時間程度) への転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等 (「フルタイム」以外) の就労を続けることを希望 4. パート・アルバイト等 (「フルタイム」以外) をやめて子育てや家事に専念したい |
|--|

問12 問10の「(1) 母親」または「(2) 父親」で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。
就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。

(1) 母親

- | | | |
|--|------------------------------|--------------------------|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない) 2. 1年より先、一番下の子どもが <input style="width: 50px; height: 25px; border: 1px solid black;" type="text"/> 歳になったころに就労したい 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい <div style="margin-left: 20px;"> →希望する就労形態 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle; border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px 10px;">ア. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px 10px;">イ. パートタイム、アルバイト等 (「ア」以外)</td> </tr> </table> </div> <div style="margin-left: 40px; margin-top: 10px;"> →1週当たり <input style="width: 40px; height: 25px; border: 1px solid black;" type="text"/> 日 1日当たり <input style="width: 40px; height: 25px; border: 1px solid black;" type="text"/> 時間 </div> | ア. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労) | イ. パートタイム、アルバイト等 (「ア」以外) |
| ア. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労) | | |
| イ. パートタイム、アルバイト等 (「ア」以外) | | |

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）

2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったころに就労したい

3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）

イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）

→1週当たり 日 1日当たり 時間

宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問13-1に示した事業が含まれます。

問13 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用している ⇒ 問13-1へ

2. 利用していない ⇒ 問13-5へ

問13-1 問13-1～問13-4は、問13で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園

（通常の就園時間の利用）

2. 幼稚園の預かり保育

（1の通常の就園に加え、就園時間を延長して預かる事業〔定期的な利用の場合のみ〕）

3. 認可保育所

（都道府県等の認可を受けたもの）

4. 認定こども園

（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）

5. 小規模保育施設

（市町村の認可を受けたもの）

6. 家庭的保育

（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する）

7. 事業所内保育施設

（企業が主に従業員用に運営する施設）

8. 家庭保育室

（市町村の指定・認定を受けた認可外保育施設）

9. その他の認可外の保育施設

（市町村の指定・認定を受けた認可外保育施設）

10. 居宅訪問型保育

（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭を訪問し保育する事業）

11. ファミリー・サポート・センター

（保育所への送迎や学童保育終了後に、一時的に子どもを預かる事業）

12. その他（）

問13-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、口内に具体的な数字でご記入ください。

※時間は、必ず（例）9時から18時までのように24時間制でご記入ください。

(1) 現在

1週当たり	<input type="text"/>	日	1日当たり	<input type="text"/>	時間	(<input type="text"/>	時から	<input type="text"/>	時まで)
-------	----------------------	---	-------	----------------------	----	---	----------------------	-----	----------------------	------

(2) 希望

1週当たり	<input type="text"/>	日	1日当たり	<input type="text"/>	時間	(<input type="text"/>	時から	<input type="text"/>	時まで)
-------	----------------------	---	-------	----------------------	----	---	----------------------	-----	----------------------	------

問13-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。

「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。「2. 他の市町村」を選んだ場合は、実施場所の市町村名を記入してください。

1. 吉川市内	2. 他の市町村 (_____ 市・町・村)
	↑ ※記入してください

問13-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育てをしている方が現在就労している
3. 子育てをしている方が就労予定がある／求職中である
4. 子育てをしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育てをしている方に病気や障がいがある
6. 子育てをしている方が学生である
7. その他 (_____)

問13-5 問13で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 利用する必要がない（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないため等）
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 使用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため (<input type="text"/> 歳くらいになったら利用しようと考えている)
9. その他 (_____)

問 14 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用) 〔保育料(月額) : 25,000円程度〕 ※入園料等は別途必要 ※所得に応じた利用料補助あり	2. 幼稚園の預かり保育 (1の通常の就園に加え、就園時間を延長して預かる事業〔定期的な利用の場合のみ〕)
3. 認可保育所 (都道府県等の認可を受けた保育所) (定員20人以上) 〔保育料(月額) : 0円~56,000円程度〕 ※所得・児童年齢に応じた利用料設定	4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設) 〔利用料 : 1日4時間程度利用…幼稚園と同様 1日8時間程度利用…保育所と同様〕
5. 小規模保育施設 (市町村の認可を受けた定員概ね6~19人のもの)	6. 家庭的保育 (保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)
7. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設) ※現在お勤めの企業が設置していない場合でも、利用希望があれば○をつけて下さい	8. 家庭保育室 (市町村の指定・認定を受けた認可外保育施設) 〔保育料(月額) : 44,000円~60,000円程度〕
9. その他の認可外の保育施設	10. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)
11. ファミリー・サポート・センター (保育所への送迎や学童保育終了後に一時的に子どもを預かる事業) 〔平均利用料(1時間) : 600円~800円程度〕	12. その他 ()

問 14-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。「2. 他の市町村」を選んだ場合は、実施場所の市町村名を記入してください。

1. 吉川市内	2. 他の市町村 (_____ 市・町・村) ↑ ※記入してください
---------	--

問 14-2 問 14 で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ3~12にも○をつけた方にうかがいます。

その中で、特に幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか。当てはまる番号 1つ に○をつけてください。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 15 平成 31 年 10 月以降、3～5 歳のお子さんを対象として、幼稚園や保育所などの利用料が無償化される予定です。(幼稚園は月額 25,700 円が上限。)

もし、予定通り無償化が実施された場合、宛名のお子さんについて、どのような施設を利用しますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 現在利用している施設を継続して利用したい。
2. 現在は保育施設を利用しているが、無償化後は幼稚園を利用したい。
3. 現在は幼稚園を利用しているが、無償化後は保育施設を利用したい。
4. 現在は保育施設や幼稚園を利用していないが、無償化後は幼稚園を利用したい。
5. 現在は保育施設や幼稚園を利用していないが、無償化後は保育施設を利用したい。
6. 現在は保育施設や幼稚園を利用していないが、無償化後も保育施設や幼稚園を利用する予定はない。

宛名のお子さんの、地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問 16 宛名のお子さんは、現在、子育て支援センター（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、市には子育て支援センター（おあしす内）、中央子育て支援センター（吉川団地名店会内）、美南子育て支援センター（美南小学校併設）の 3 か所があります。）を利用していますか。

当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

なお、利用されている場合は、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。

1. 利用している

1 週当たり 回 もしくは 1 ヶ月当たり 回程度

2. 利用していない

問 17 子育て支援センターについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号 1 つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。

また、利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。

1. 利用していないが、今後利用したい

1 週当たり 回 もしくは 1 ヶ月当たり 回程度

2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

1 週当たり 回 もしくは 1 ヶ月当たり 回程度

3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問 18 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。当てはまる番号1つに○をつけてください。

希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 9時から18時までのように24時間制でご記入ください。なお、この事業の利用には、一定の利用料がかかります。

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない	} ⇒ 利用したい時間帯	□	時から	□	時まで
2. ほぼ毎週利用したい					
3. 月に1～2回は利用したい					

(2) 日曜・祝日

1. 利用する必要はない	} ⇒ 利用したい時間帯	□	時から	□	時まで
2. ほぼ毎週利用したい					
3. 月に1～2回は利用したい					

問 18-1 問 18 の (1) (2) のいずれか、または両方で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にかがいます。

毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため	2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため	4. リフレッシュのため
5. その他 ()	

問 19 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 9時から18時までのように24時間制でご記入ください。なお、この事業の利用には、一定の利用料がかかります。

1. 利用する必要はない	} ⇒ 利用したい時間帯	□	時から	□	時まで
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい					
3. 休みの期間中、週に数日利用したい					

問 19-1 問 19 で、「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 週に数回仕事が入るため	2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため	4. リフレッシュのため
5. その他 ()	

宛名のお子さんの、病気の際の対応についてうかがいます。(平日の教育・保育を利用する方のみ)

問20 平日、幼稚園や保育所などを利用している方にうかがいます。

この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の教育・保育が利用できなかったことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. あった ⇒ 問20-1へ

2. なかった ⇒ 問22へ

問20-1 宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)。

1年間の対処方法	日数	
ア. 父親が休んだ	<input type="text"/> 日	⇒ 問20-2へ
イ. 母親が休んだ	<input type="text"/> 日	
ウ. 親族・知人に子どもをみてもらった	<input type="text"/> 日	
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	<input type="text"/> 日	
オ. 病児・病後児保育室「めぐみ」を利用した	<input type="text"/> 日	
カ. ベビーシッターを利用した	<input type="text"/> 日	⇒ 問21へ
キ. ファミリー・サポート・センターによる預かりを利用した	<input type="text"/> 日	
ク. 緊急サポートセンターによる預かりを利用した	<input type="text"/> 日	
ケ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/> 日	
コ. その他	<input type="text"/> 日	

問20-2 問20-1で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください。

なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。[保育料：0～2,000円程度]

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ 日 ⇒ 問21へ

2. 利用したいとは思わない ⇒ 問20-3へ

問 22 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。）。

1. 利用したい	計	<input type="text"/> 日
ア. 私用（買物・子どもや親の習い事等）、 リフレッシュ目的		<input type="text"/> 日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院 等		<input type="text"/> 日
ウ. 不定期の就労		<input type="text"/> 日
エ. その他		<input type="text"/> 日
2. 利用する必要はない		

問 23 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号と記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。

	1年間の対処方法	日数
1. あった	ア. （同居者を含む）親族・知人にみてもらった	<input type="text"/> 泊
	イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した （児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	<input type="text"/> 泊
	ウ. 緊急サポートセンターを利用した	<input type="text"/> 泊
	エ. 「イ」「ウ」以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等） を利用した	<input type="text"/> 泊
	オ. 預け先が見つからず、子どもを同行させた	<input type="text"/> 泊
	カ. 子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/> 泊
	キ. その他	<input type="text"/> 泊
2. なかった		

宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

⇒ 宛名のお子様は5歳未満の方は、問28へ

問24 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を数字でご記入ください。また、「学童保育室」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

1. 自宅	週 <input type="text"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 <input type="text"/> 日くらい
4. 児童館	週 <input type="text"/> 日くらい
5. 学童保育室	週 <input type="text"/> 日くらい ⇒ <input type="text"/> 時まで
6. 放課後子ども教室 ^{*1} ・ 子どもの体験活動 ^{*2}	週 <input type="text"/> 日くらい
7. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> 日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週 <input type="text"/> 日くらい

^{*1}「放課後子ども教室」…放課後などに小学校で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。
吉川市では三輪野江小学校で実施しています。

^{*2}「子どもの体験活動」…放課後や週末などに地域の中で体験活動を実施します。

問25 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を数字でご記入ください。また、「学童保育室」の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

1. 自宅	週 <input type="text"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 <input type="text"/> 日くらい
4. 児童館	週 <input type="text"/> 日くらい
5. 学童保育室	週 <input type="text"/> 日くらい ⇒ <input type="text"/> 時まで
6. 放課後子ども教室 ^{*1} ・ 子どもの体験活動 ^{*2}	週 <input type="text"/> 日くらい
7. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> 日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週 <input type="text"/> 日くらい

^{*1}「放課後子ども教室」…放課後などに小学校で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。
吉川市では三輪野江小学校で実施しています。

^{*2}「子どもの体験活動」…放課後や週末などに地域の中で体験活動を実施します。

問 26 問 24 または問 25 で「5. 学童保育室」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育室の利用希望はありますか。

(1) (2) それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に(例) 9時から18時までのように24時間制でご記入ください。

なお、この事業の利用には一定の利用料がかかります。

(1) 土曜日

1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい	} ⇒ 利用したい時間帯	□	時から	□	時まで
2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい					
3. 利用する必要はない					

(2) 日曜・祝日

1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい	} ⇒ 利用したい時間帯	□	時から	□	時まで
2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい					
3. 利用する必要はない					

問 26-1 問 26 (1) (2) のいずれか、または両方で「利用したい」に○をつけた方にうかがいます。利用したい理由は何ですか。

当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 仕事のため	2. 出産・疾病のため
3. 親族の看護や介護のため	4. その他 ()

問 27 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育室の利用希望はありますか。

当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に(例) 9時から18時までのように24時間制でご記入ください。

なお、この事業の利用には一定の利用料がかかります。

1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい	} ⇒ 利用したい時間帯	□	時から	□	時まで
2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい					
3. 利用する必要はない					

すべての方に、職場の両立支援制度についてうかがいます。

問 28 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。なお、「3. 取得しなかった」に○をつけた場合は、その理由として当てはまる番号を口内にご記入ください。

母親 (いずれかに○)	父親 (いずれかに○)
1. 働いていなかった 2. 取得した (取得中である) 3. 取得しなかった ⇒ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 取得しなかった理由 (下から番号を選んでご記入ください) (いくつでも) </div>	1. 働いていなかった 2. 取得した (取得中である) 3. 取得しなかった ⇒ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 取得しなかった理由 (下から番号を選んでご記入ください) (いくつでも) </div>

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育所 (園) などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めがなかった)
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇 (産前6週間、産後8週間) を取得できることを知らず、退職した
15. その他 ()

問 28-1 問 28 で「2. 取得した (取得中である)」と回答した方にうかがいます。

育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した

(2) 父親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した

問 28-2 問 28-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。

※年度初めでの認可保育所入所を希望しながら、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合などは、「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった
-------------------------	------------

(2) 父親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった
-------------------------	------------

問 28-3 問 28-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。

(1) 母親

実際の取得期間	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/> ヶ月	希望	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/> ヶ月
---------	------------------------	-------------------------	----	------------------------	-------------------------

(2) 父親

実際の取得期間	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/> ヶ月	希望	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/> ヶ月
---------	------------------------	-------------------------	----	------------------------	-------------------------

問 28-4 問 28-3 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 「希望」より早く復帰した方

① 母親

1. 希望する保育所に入るため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ()	

② 父親

1. 希望する保育所に入るため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ()	

(2) 「希望」より遅く復帰した方

①母親

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため | |
| 6. その他 () | |

②父親

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため | |
| 6. その他 () | |

問28-5 問28-1で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

宛名のお子さんが1歳を迎えるときに必ず利用できる事業があれば、1歳を迎えるまで育児休業を取得したいですか。または、宛名のお子さんが1歳を迎えるときに必ず利用できる事業があっても、1歳を迎える前に復帰したいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1. 1歳を迎えるまで育児休業を取得したい | 2. 1歳を迎える前に復帰したい |
|-----------------------|------------------|

(2) 父親

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1. 1歳を迎えるまで育児休業を取得したい | 2. 1歳を迎える前に復帰したい |
|-----------------------|------------------|

すべての方に、子育て支援全般に関することについてうかがいます。

問 29 次の各項目における子育ての環境や支援に対してどのように感じているかがいます。「1.」～「12.」の項目ごとに、該当するものをそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

	満 足	どちらか と言え ば満足	どちらか と言え ば不 満	不 満	わから ない
1. 地域における子育て支援（子育て支援センター、ファミリー・サポート・センターなど）					
2. 保育サービス（保育所、学童保育室など）					
3. 子育て支援のネットワークづくり					
4. 地域における子どもの活動拠点（児童館など）					
5. 妊娠・出産に関する支援					
6. 子どもや母親の健康に対する支援（母子保健）					
7. 悩みごとの相談（家庭児童相談員など）					
8. 子育て支援に関する情報提供					
9. 子どもの教育環境					/
10. 子育てしやすい住居・まちの環境					
11. 仕事と家庭生活の両立					
12. 子どもを対象にした犯罪・事故の軽減					

問 30 市が行っている子育て支援の情報提供のあり方として、特に何の充実を望みますか。該当するものを選んで○をつけてください。

1. 広報よしかわ	2. ガイドブック
3. 市ホームページ	4. 子育て応援サイト（ママフレWEB・よしよしねっと）
5. 子育てアプリ	6. その他（ ）

問 31 子育て支援に関することで、本市に対して何を望みますか。

問 32 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査項目は以上です。

お忙しい中、調査にご協力いただき、誠に有り難うございました。

本調査票は、同封の封筒に入れ、平成30年12月17日(月)までに、郵便ポストに投函してください。(切手は不要です。)

吉川市 子ども・子育て支援に関するニーズ調査 ～ご協力のお願い～

市民の皆様におかれましては、日頃より市政の運営にご理解とご協力を賜り、御礼申し上げます。本市では、平成27年度に策定した「吉川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において「子どもの笑顔と活気でまちを満たす」を基本テーマの一つに掲げ、その中で「子育て支援充実プラン」を施策の柱として、子育て環境の充実や保育所、幼稚園にかかる支援、子育て関連情報の充実など、子育てしやすいまちづくりを推進しています。

また、子ども・子育て支援法に基づき、平成27年3月に策定した「吉川市子ども・子育て支援事業計画」においては、待機児童の解消や子育ての不安、孤立感を減らすため、保育所や地域の子育て支援拠点の整備・充実等、具体的な年度計画に沿って、子育て支援施策を推進してまいりました。

このたび、この「吉川市子ども・子育て支援事業計画」の期間満了に伴い、「第2期吉川市子ども・子育て支援事業計画」を策定するため、子育て中の市民の皆様にご要望やご意見をお聞きする調査を実施することとなりました。

今後の吉川市の子ども・子育て支援を進めるうえで参考にしていく大切な調査ですので、皆様お忙しいことと存じますが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年11月吉日

吉川市長 中原恵人

ご記入に際してのお願い

- この調査票は、封筒の宛名のお子さんについて保護者の方が回答してください。
- 回答は、当てはまる番号に○をつけていただく場合と、数字を記入いただく場合があります。また、設問によって○をつける数を指定させていただいておりますのでご注意ください。
- 回答が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れて、平成30年12月17日(月)までに郵便ポストに投函してください。
(返信用封筒にお名前等の記入は必要ありません。また、切手は不要です。)
- この調査票についてご不明な点は、下記までお問い合わせください。

※なお、回答はすべて統計的に処理されるため、回答者の個人が特定されることや他の目的に利用されることはございません。

お問い合わせ

【吉川市 こども福祉部 子育て支援課】

TEL： 048-982-5111 (代表)

FAX： 048-981-5392

e-mail： kosodate2@city.yoshikawa.saitama.jp



お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地域として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。
(※現在の中学校区域とは異なりますのでご注意ください。)

1. 東中学校区域 2. 南中学校区域 3. 中央中学校区域 4. 吉川中学校区域

<参考>

1. 東中学校区域	旭、上内川、下内川、拾壹軒、鍋小路、八子新田、南広島、川藤、会野谷、会野谷一丁目・二丁目、飯島、加藤、上笹塚、上笹塚一丁目から三丁目、小松川、皿沼、皿沼一丁目・二丁目、鹿見塚、関新田、関新田一丁目・二丁目、土場、中井、中井一丁目から三丁目、中島、中島一丁目から三丁目、半割、平方新田、深井新田、二ツ沼、二ツ沼一丁目・二丁目、三輪野江、三輪野江一丁目・二丁目、吉屋、吉屋一丁目・二丁目、きよみ野一丁目、きよみ野四丁目・きよみ野五丁目
2. 南中学校区域	中川台、平沼1番地から50番地まで、53番地から195番地まで、214番地から316番地まで、平沼一丁目、保、保一丁目、木売新田、富新田、中野、木売、高富、高久、中曽根、道庭、木売一丁目から三丁目まで、高富一丁目、高富二丁目、美南一丁目
3. 中央中学校区域	吉川1400番地から2076番地、吉川一丁目・二丁目、須賀、川野、川富、関、吉川団地、きよみ野二丁目・三丁目、栄町、新栄一丁目・二丁目、平沼（南中学校区を除く）、中央土地区画整理地内
4. 吉川中学校区域*	高久一丁目、高久二丁目、中曽根一丁目、中曽根二丁目、道庭一丁目、道庭二丁目、美南二丁目、美南三丁目、美南四丁目、美南五丁目

*吉川中学校区域：吉川市では、平成32年4月の吉川中学校の開校に伴い、吉川中学校の通学区域の編成と、これに伴う南中学校の通学区域の見直しをした結果、上記の区分となる予定です。本調査は地域の子育て支援ニーズをより適切に把握するため、吉川中学校開校を前提とした地域区分としています。お手数ですが、現在お住いの町名を確認の上、該当する中学校区域に○をつけてください。

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のおさんは、小学校何年生ですか。現在の学年をご記入ください。(口内に数字でご記入ください。)

小学校 年生

問2-1 宛名のお子さんを含めたお子さんの人数をご記入ください。また、一番下のお子さんの年齢（平成30年4月1日現在）をご記入ください。(口内に数字でご記入ください。)

お子さんの人数 人

一番下のお子さんの年齢 歳

問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他 ()

問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。(問3で「3. その他」と回答した方は回答不要です)

1. 配偶者がいる 2. 配偶者がいない

問5 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他（ ）

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 母親 3. 父親 4. 祖父母 5. 小学校
6. 学童保育室 7. その他（ ）

問7 宛名のお子さんの子育てに関して、もっとも近いと感じている番号1つに○をつけてください。

1. 楽しい
2. 楽しいと感じることの方が多い
3. 楽しいと感じることと、辛いと感じることが同じくらい
4. 辛いと感じることの方が多い
5. 辛い
6. わからない
7. その他（ ）

問8 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問9 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる／ある ⇒ 問9-1へ 2. いない／ない ⇒ 問10へ

問9-1 問9で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族 2. 友人や知人
3. 近所の人 4. 子育て支援施設（子育て支援センター、児童館等）・NPO
5. 保健所・保健センター 6. 小学校
7. 学童保育室 8. 保育所・幼稚園
9. 民生委員・児童委員 10. かかりつけの医師
11. 自治体の子育て関連担当窓口 12. その他（ ）

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問10 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) **母親** 【父子家庭の場合は、記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	} ⇒ (1) -1へ
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	} ⇒ (2)へ
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	
6. これまで就労したことがない	

(1) -1 (1)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（□内に数字でご記入ください。）

1週当たり <input type="text"/> 日	1日当たり <input type="text"/> 時間
------------------------------	-------------------------------

(1) -2 (1)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時刻は、必ず（例）8時、18時のように、24時間制でお答えください。（□内に数字でご記入ください。）

家を出る時刻 <input type="text"/> 時	帰宅時間 <input type="text"/> 時間
-------------------------------	------------------------------

(2) **父親** 【母子家庭の場合は、記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労しており、 育休・介護休業中ではない	} ⇒ (2) -1へ
2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、 育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しているが、 育休・介護休業中である	} ⇒ 問12へ
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	
6. これまで就労したことがない	

(2) -1 (2)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（□内に数字でご記入ください。）

1週当たり <input type="text"/> 日	1日当たり <input type="text"/> 時間
------------------------------	-------------------------------

(2) -2 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時刻は、必ず(例)8時、18時のように、24時間制でお答えください。(口内に数字でご記入ください。)

家を出る時刻 <input style="width: 50px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text"/> 時 帰宅時間 <input style="width: 50px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text"/> 時
--

問11 問10の「(1) 母親」または「(2) 父親」で「3.」または「4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。
フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. フルタイム (週5日・1日8時間程度) への転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等 (「フルタイム」以外) の就労を続けることを希望 4. パート・アルバイト等 (「フルタイム」以外) をやめて子育てや家事に専念したい |
|--|

(2) 父親

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. フルタイム (週5日・1日8時間程度) への転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等 (「フルタイム」以外) の就労を続けることを希望 4. パート・アルバイト等 (「フルタイム」以外) をやめて子育てや家事に専念したい |
|--|

問12 問10の「(1) 母親」または「(2) 父親」で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。
就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。

(1) 母親

- | | | | | | | |
|---|--|--|---|---|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない) 2. 1年より先、一番下の子どもが <input style="width: 50px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text"/> 歳になったころに就労したい 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
 →希望する就労形態 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle; margin-left: 20px;"> <tr> <td style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">{</td> <td style="padding: 0 10px;"> <ol style="list-style-type: none"> ア. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労) イ. パートタイム、アルバイト等 (「ア」以外) </td> <td style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">}</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="padding-top: 10px;"> →1週当たり <input style="width: 50px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text"/> 日 1日当たり <input style="width: 50px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text"/> 時間 </td> </tr> </table> | { | <ol style="list-style-type: none"> ア. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労) イ. パートタイム、アルバイト等 (「ア」以外) | } | →1週当たり <input style="width: 50px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text"/> 日 1日当たり <input style="width: 50px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text"/> 時間 | | |
| { | <ol style="list-style-type: none"> ア. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労) イ. パートタイム、アルバイト等 (「ア」以外) | } | | | | |
| →1週当たり <input style="width: 50px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text"/> 日 1日当たり <input style="width: 50px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text"/> 時間 | | | | | | |

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）

2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったころに就労したい

3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
 →希望する就労形態

ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）

イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）

→1週当たり 日 1日当たり 時間

宛名のお子さんについて、放課後の過ごし方についてうかがいます。

問 13 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を数字でご記入ください。
 また、「学童保育室」の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

1. 自宅	週 <input type="text"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 <input type="text"/> 日くらい
4. 児童館	週 <input type="text"/> 日くらい
5. 学童保育室	週 <input type="text"/> 日くらい ⇒ <input type="text"/> 時まで
6. 放課後子ども教室 ^{※1} ・ 子どもの体験活動 ^{※2}	週 <input type="text"/> 日くらい
7. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> 日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週 <input type="text"/> 日くらい

※1 「放課後子ども教室」…放課後などに小学校で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。
 吉川市では三輪野江小学校で実施しています。

※2 「子どもの体験活動」…放課後や週末などに地域の中で体験活動を実施します。

問14 問13で「5. 学童保育室」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育室の利用希望はありますか。(1)(2)それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

また利用したい時間帯を、口内に(例)9時から18時までのように24時間制でご記入ください。

なお、この事業の利用には一定の利用料がかかります。

(1) 土曜日

1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい	} ⇒ 利用したい時間帯	□	時から	□	時まで
2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい					
3. 利用する必要はない					

(2) 日曜・祝日

1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい	} ⇒ 利用したい時間帯	□	時から	□	時まで
2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい					
3. 利用する必要はない					

問14-1 問14(1)(2)のいずれか、または両方で「利用したい」に○をつけた方にうかがいます。利用したい理由は何ですか。

当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 仕事のため	2. 出産・疾病のため
3. 親族の看護や介護のため	4. その他 ()

問15 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育室の利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に(例)9時から18時までのように24時間制でご記入ください。

なお、この事業の利用には一定の利用料がかかります。

1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい	} ⇒ 利用したい時間帯	□	時から	□	時まで
2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい					
3. 利用する必要はない					

すべての方に、職場の両立支援制度についてうかがいます。

問 16 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

なお、「3. 取得しなかった」に○をつけた場合は、その理由として当てはまる番号を、□内にご記入ください。

母親 (いずれかに○)	父親 (いずれかに○)
1. 働いていなかった 2. 取得した 3. 取得しなかった ⇒ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 取得しなかった理由 (下から番号を選んでご記入ください) (いくつでも) </div>	1. 働いていなかった 2. 取得した 3. 取得しなかった ⇒ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 取得しなかった理由 (下から番号を選んでご記入ください) (いくつでも) </div>

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
 2. 仕事が忙しかった
 3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
 4. 仕事に戻るのが難しそうだった
 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
 7. 保育所(園)などに預けることができた
 8. 配偶者が育児休業制度を利用した
 9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
 10. 子育てや家事に専念するため退職した
 11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
 13. 育児休業を取得できることを知らなかった
 14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
 15. その他 ()

問16-1 問16で「2. 取得した」と回答した方にうかがいます。

育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した

(2) 父親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した

問16-2 問16-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。

※年度初めでの認可保育所入所を希望しながら、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合などは、「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった
-------------------------	------------

(2) 父親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった
-------------------------	------------

問16-3 問16-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。

(1) 母親

実際の取得期間	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/> ヶ月	希望	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/> ヶ月
---------	------------------------	-------------------------	----	------------------------	-------------------------

(2) 父親

実際の取得期間	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/> ヶ月	希望	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/> ヶ月
---------	------------------------	-------------------------	----	------------------------	-------------------------

問16-4 問16-3で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 「希望」より早く復帰した方

①母親

1. 希望する保育所に入るため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ()	

②父親

1. 希望する保育所に入るため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ()	

(2) 「希望」より遅く復帰した方

①母親

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため | |
| 6. その他 () | |

②父親

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため | |
| 6. その他 () | |

すべての方に、子育て支援全般に関することについてうかがいます。

問 17 次の各項目における子育ての環境や支援に対してどのように感じているかがいます。「1.」～「12.」の項目ごとに、該当するものをそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

	満 足	どちらか と言え ば満 足	どちらか と言え ば不 満	不 満	わか ら な い
1. 地域における子育て支援（子育て支援センター、ファミリー・サポート・センターなど）					
2. 保育サービス（保育所、学童保育室など）					
3. 子育て支援のネットワークづくり					
4. 地域における子どもの活動拠点（児童館など）					
5. 妊娠・出産に関する支援					
6. 子どもや母親の健康に対する支援（母子保健）					
7. 悩みごとの相談（家庭児童相談員など）					
8. 子育て支援に関する情報提供					
9. 子どもの教育環境					/
10. 子育てしやすい住居・まちの環境					
11. 仕事と家庭生活の両立					
12. 子どもを対象にした犯罪・事故の軽減					

問 18 市が行っている子育て支援の情報提供のあり方として、特に何の充実を望みますか。該当するものを2つまで選んで○をつけてください。

1. 広報よしかわ	2. ガイドブック
3. 市ホームページ	4. 子育て応援サイト（ママフレWEB・よしよしねっと）
5. 子育てアプリ	6. その他（ ）

問 19 子育て支援に関することで、本市に対して何を望みますか。

問 20 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査項目は以上です。

お忙しい中、調査にご協力いただき、誠に有り難うございました。

本調査票は、同封の封筒に入れ、平成30年12月17日(月)までに、郵便ポストに投函してください。(切手は不要です。)

吉川市子ども・子育て支援に関するニーズ調査報告書

発行：2019（平成31）年3月

発行者：吉川市

〒342-8501

埼玉県吉川市きよみ野一丁目1番地

編集：吉川市 こども福祉部 子育て支援課

TEL：048-982-5111（代表）

FAX：048-981-5392

URL <http://www.city.yoshikawa.saitama.jp/>